

平成25年度
狭山市消費動向調査報告書

駿河台大学
飯能信用金庫
狭山商工会議所
狭山市

目 次

第1章 調査の実施概要	
1. 調査方法の概要	1
2. 調査対象者の概要	3
3. 調査対象商品	4
4. 調査資料利用上の注意	5
第2章 狭山市の商圈動向	
1. 狭山市の商業の動向	
(1) 狭山市の大規模小売店舗一覧	6
(2) 狭山市の小売業の推移	7
(3) 狭山市の小売業の規模と店舗効率	8
(4) 埼玉県内の小売業の吸引率と充足度	9
(5) 商品群別の市内吸引率と市外流出率	10
2. 狭山市の商圈	
(1) 商業集積地別の商圈	12
(2) 商品群別の市内商業集積地別吸引率	13
3. 居住地区別の商業集積地利用概要	
(1) 入間川地区	14
(2) 入曽地区	16
(3) 堀兼地区	18
(4) 奥富・新狭山地区	20
(5) 柏原地区	22
(6) 水富地区	24
(7) 狭山台地区	26
第3章 狭山市民の買物行動	
1. 消費者の買物行動	
(1) 普段の買物頻度	28
(2) 1回の買物の平均予算	29
(3) 買物時に利用する主な交通手段	30
(4) 買物時間帯	31
(5) パソコンの普及率とインターネット利用状況	33
(6) 通信販売の利用状況	34
2. 狭山市内の商店街の利用状況と改善課題	
(1) 狭山市内の商店街の利用状況	42
(2) 狭山市内の商店街、個人商店を「ほとんど利用しない」理由	43
(3) 狭山市内の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目	45
(4) 身近にあれば良いと思う買物施設	46
(5) コンビニエンスストアの利用状況	49
3. 狭山市駅前周辺の再開発地域について	
(1) 狭山市駅前周辺の再開発地域施設の利用状況	52
(2) 狭山市駅前再開発地域内で利用する店舗・施設等	57
(3) 狭山市駅前周辺の再開発地域で充実してほしい店舗・施設等	59
4. 狭山市内の観光地などについて	
(1) おすすめしたい狭山市の観光地やイベント	60
(2) 入間川での遊びやレジャー	62
(3) 市内から見える富士山のビューポイント	62

第4章 狭山市内の買物環境と居住継続意向

1. 居住地域の買物環境満足度	
(1) 飲食料品	65
(2) 日用品・雑貨.....	67
(3) 衣服・下着類.....	69
2. 数年後を予測して必要と思われる買物支援策	
(1) 飲食料品	72
(2) 日用品・雑貨.....	74
(3) 衣服・下着類.....	76
3. 居住者の家族類型.....	77
4. 60歳以上の家族類型別買物支援策	
(1) 飲食料品	78
(2) 日用品・雑貨.....	79
(3) 衣服・下着類.....	80
5. 買物支援策のまとめ.....	80
6. 狭山市への居住継続意向	
(1) 狭山市への居住継続意向.....	81
(2) 居住継続意向に関する理由.....	82
(3) 居住継続意向に関する個別理由の主なもの.....	86
7. 狭山市への意見・要望等	
(1) 狭山市への意見・要望等.....	91
(2) 狭山市への個別意見・要望等の主なもの.....	94

第5章 資料編

1. 狭山市の人口と世帯	
(1) 市内全域の人口と世帯.....	107
(2) 人口の動態	108
2. 狭山市各地区の人口ピラミッド.....	109
3. アンケート調査票.....	113

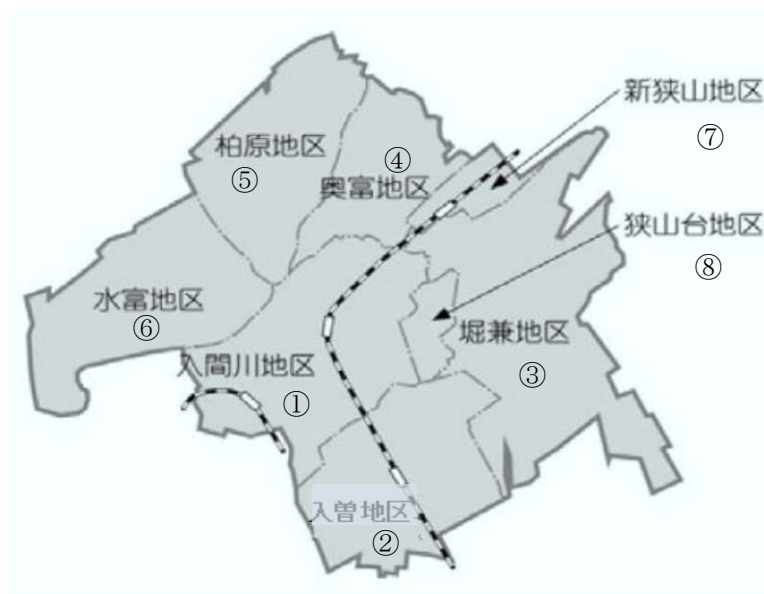
第1章 調査の実施概要

1. 調査方法の概要

- (1)調査実施期間 平成 25 年 9 月 5 日～27 日
- (2)調査地域 狭山市全域
- (3)調査対象 狭山市に居住する世帯
- (4)調査方法 郵送法による自記式アンケート調査
- (5)調査対象の抽出と回収状況

- ①抽出方法 平成 25 年 4 月 1 日現在の狭山市の住民基本台帳から、図表 1-1 の居住地区別に等間隔抽出法により、3,000 世帯を抽出しました。
- ②回収状況 配布先: 3,000 世帯
有効回収数: 1,104 件
有効回収率: 36.8 %

図表 1-1 狭山市内の居住地区図



居住地区区分	
①	入間川地区
②	入曽地区
③	堀兼地区
④	奥富地区
⑤	柏原地区
⑥	水富地区
⑦	新狭山地区
⑧	狭山台地区

③回収数に対する各地区の割合

狭山市の地区別回収枚数及びその割合は、図表 1-2 のとおりです。
本報告書における地区別分析は、奥富地区と新狭山地区を合わせて奥富・新狭山地区として実施しています。

図表 1-2 地区別回収数とその割合

(単位:件・%)

行政区分上の地区			本報告書における地区別分析の地区			
地区	回収数	構成比	回収数	構成比	地区	地区
① 入間川	319	28.9	319	28.9	①	入間川
② 入曽	273	24.7	273	24.7	②	入曽
③ 堀兼	92	8.3	92	8.3	③	堀兼
④ 奥富	38	3.4	83	7.5	④	奥富・新狭山
⑦ 新狭山	45	4.1				
⑤ 柏原	96	8.7	96	8.7	⑤	柏原
⑥ 水富	148	13.4	148	13.4	⑥	水富
⑧ 狭山台	93	8.4	93	8.4	⑦	狭山台
総計	1,104	100	1,104	100		

(6) 居住地区および商業集積地(買物場所)区分

① 狭山市居住地区と大字名

各居住地区に含まれる大字名は図表 1-3 のとおりです。

図表 1-3 狭山市居住地区と大字名

地区	町 名				
入間川	101. 沢	102. 狭山	103. 入間川	104. 入間川1丁目	105. 入間川2丁目
	106. 入間川3丁目	107. 入間川4丁目	108. 鶺ノ木	109. 稲荷山1丁目	
	110. 稲荷山2丁目	111. 祇園	112. 中央1丁目	113. 中央2丁目	
	114. 中央3丁目	115. 中央4丁目	116. 富士見1丁目	117. 富士見2丁目	
入 曽	201. 北入曽	202. 南入曽	203. 水野		
堀 兼	301. 堀兼	302. 上赤坂	303. 中新田	304. 青柳	
	305. 加佐志	306. 東三ツ木			
奥 富	401. 上奥富	402. 下奥富	403. 柏原新田		
柏 原	501. 柏原				
水 富	601. 上広瀬	602. 広瀬台1丁目	603. 広瀬台2丁目	604. 広瀬台3丁目	
	605. 下広瀬	606. 広瀬1丁目	607. 広瀬2丁目	608. 広瀬3丁目	
	609. 広瀬東1丁目	610. 広瀬東2丁目	611. 広瀬東3丁目	612. 広瀬東4丁目	
	613. つつじ野	614. 根岸	615. 根岸1丁目	616. 根岸2丁目	
	617. 笹井	618. 笹井1丁目	619. 笹井2丁目	620. 笹井3丁目	
新狭山	701. 新狭山1丁目	702. 新狭山2丁目	703. 新狭山3丁目		
狭山台	801. 狭山台1丁目	802. 狭山台2丁目	803. 狭山台3丁目	804. 狭山台4丁目	

② 狭山市買物場所

大型店を中心に狭山市内の買物場所をみると、図表 1-4 のとおりです。

図表 1-4 狭山市地区別買物場所(平成 25 年 9 月 1 日時点)

地区	買物施設等の名称・店舗名等			
入間川	スカイテラス Emio 狭山市(ブルーミングブルーミー等) 西友狭山市駅前店 イオン武蔵狭山店 マルエツ入間川店 ヤマダ電機テックランド狭山富士見店(旧:ベスト電器狭山店) ビッグ A 狭山店 ビッグ A 狭山台店 ベルクベスタ狭山店(含 ザ・ダイソー、マツモトキヨシ) ケーヨーデイツー狭山店 ユニクロベスタ狭山店 サンドラッグ狭山店			
入 曽	ヤオコー北入曽店(含ザ・ダイソー、スギ薬局) しまむら・Avail 北入曽ファッションモール セキチュー北入曽店 ヤオコー入曽店 A コープ入間店 ウエルシア狭山北入曽店			
堀 兼	-			
奥富・ 新狭山	イオン狭山店 ヤマダ電機テックランド狭山店 PC DEPOT いなげや新狭山駅前店 しまむら新狭山店 Avail 新狭山店 ウエルシア狭山東三ツ木薬局			
柏 原	かしわばらマート(現在閉店)			
水 富	ヤオコー狭山店(含:パシオス、スギ薬局、キャンドウ) ザ・ダイソー狭山店 バイゴー上広瀬店 バイゴー根岸店 ビッグA狭山広瀬東店 ドラッグエース広瀬東店 ジャパン狭山店 TUTAYA 狭山店			
狭山台	コープ狭山台店			

2. 調査対象者の概要

(1) 職業構成

調査対象世帯の主たる収入のある方の職業は、図表 1-5 のとおりです。

給与所得者が 50.0%、うち 29.4%は狭山市内、33.6%は狭山市以外の県内市町村、24.0%が東京 23 区に通勤しています。

図表 1-5 主たる収入のある方の職業区分

(単位:%)

給与所得者(勤務地別)					商工 自営業	自由業	農林水 産業	その他	計
埼玉県		東京都		その他 の府県					
狭山市	他市町村	23 区	都下						
14.7	16.8	12.0	5.0	1.6	4.4	1.4	0.9	43.1	100

(2) 年齢構成

主に買物されている方の 5 歳区分と 10 歳区分の年代は、図表 1-6 のとおりです。

今回調査の結果の分析は、年代別(10 歳区分)で実施しています。

年代構成としては、60 代(30.9%)と 70 歳以上(26.9%)で半数以上を占めています。

図表 1-6 主に買物されている方の年代

(単位:%)

区 分	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75 歳	計
	24 歳	29 歳	34 歳	39 歳	44 歳	49 歳	54 歳	59 歳	64 歳	69 歳	74 歳	以上	
	0.3	1.5	3.7	6.8	7.1	7.0	6.3	9.5	15.6	15.3	14.1	12.8	100
年 代	20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		70 歳以上		計
	1.8		10.5		14.1		15.8		30.9		26.9		100

(3) 買物担当者の有職状況

買物担当者が有給の仕事に就いているかどうかの状況は、図表 1-7 のとおりです。

有給の仕事に就いていない専業主婦などの割合が 61.1%と、6 割を超えています。

図表 1-7 主に買物されている方の有職状況

(単位:%)

区 分	構成比
有給の仕事(常勤・パート等)に就いている	38.9
有給の仕事には就いていない(専業主婦など)	61.1
計	100.0

年代別に有職状況を見ると、図表 1-8 のとおりです。

有給の仕事の就業率は、20 代、40 代で約 7 割、50 代で約 6 割です。30 代では 5 割を割っています。

図表 1-8 主に買物されている方の年代別有職状況

(単位:%)

区 分	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上
有給の仕事(常勤・パート等)に 就いている	70.0	48.3	72.9	60.7	33.0	5.9
有給の仕事には就いていない (専業主婦など)	30.0	51.7	27.1	39.3	67.0	94.1

3. 調査対象商品

調査対象商品は図表 1-9 のとおりです。

埼玉県が実施している「広域消費動向調査」と同基準として、商品群は 5 群 22 商品としています。

買物行動特性は図表 1-10 のとおり、独自に 1 群 2 項目に分類しています。

図表 1-9 商品区分表

A 群	1	肉・魚・野菜・果物
	2	調理済み食品(惣菜、弁当等)
	3	その他の食料品、飲料
	4	日用・家庭雑貨
B 群	5	呉服・帯
	6	寝具
	7	紳士服、紳士用品雑貨
	8	婦人服・婦人用品雑貨
	9	子供服・ベビー用品
	10	下着・肌着
C 群	11	靴・はきもの
	12	かばん・ハンドバッグ
D 群	13	家具・インテリア
	14	家庭用電化製品
	15	自転車
E 群	16	時計・メガネ・コンタクトレンズ
	17	医薬・化粧品
	18	書籍・文房具
	19	楽器・CD
	20	玩具
	21	スポーツ用品
	22	花木・園芸・生花

図表 1-10 買物行動特性区分

F 群	23	家族で買物を楽しむ
	24	飲食を楽しむ

4. 調査資料利用上の注意

本文中の集計方法や用語は次のとおりです。

(1) 比率

集計結果は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを算出していますので、合計欄が 100 にならない場合があります。

(2) 集計単位

「市全体」「居住地区別」「買物担当者年代別」に集計しています。

(3) 使用した用語

① 吸引率

全市の吸引率は、市民が狭山市内の商店で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{吸引率(\%)} = \text{買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別吸引率は、居住者が同一地区内にある商店で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

② 流出率

全市の流出率は、市民が狭山市以外の都市の商店街などの商業集積地で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{流出率(\%)} = \text{他市での買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別流出率は、居住者が住んでいる地区以外の地区の商店および商業集積地で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

(4) 標本誤差について

無作為抽出法を仮定した場合の標本誤差は、次の式によって得られます。ただし信頼度は 95% です。

$$b = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b=標本誤差
N=母集団数(20歳以上の総人口 130,060人:平成25年1月1日現在)
n=比率算定の基数(サンプル数)
p=回答比率

ある設問の回答者数が 1,104 人で、設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最大でも ±2.94%以内(57.06%～62.94%)であると見ることができます。

(早見表)

p \ n	10%又は90%	20%又は80%	30%又は70%	40%又は60%	50%
1600	±1.49%	±1.99%	±2.28%	±2.43%	±2.48%
1300	±1.66%	±2.21%	±2.53%	±2.70%	±2.76%
1104	±1.80%	±2.40%	±2.75%	±2.94%	±3.00%
1000	±1.89%	±2.52%	±2.89%	±3.09%	±3.15%
700	±2.26%	±3.02%	±3.45%	±3.69%	±3.77%

第2章 狭山市の商圈動向

1. 狭山市の商業の動向

(1) 狭山市の大規模小売店舗一覧

狭山市における平成 25 年 9 月 1 日現在の大規模小売店舗立地法対象店舗は、図表 2-1 のとおりです。

図表 2-1 狭山市の大規模小売店舗一覧

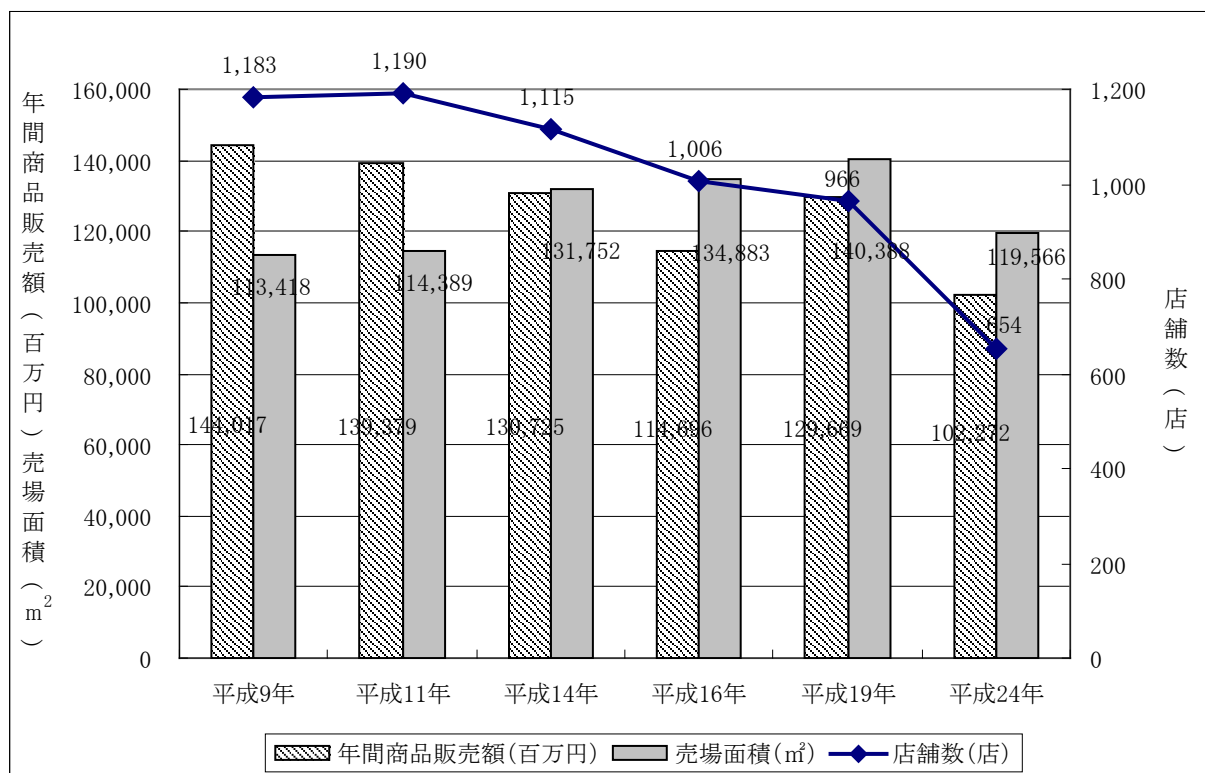
地 区	大規模小売店舗の名称（主な小売店）〈旧店名〉	開設年月	店舗面積(m ²)
①入間川	西友 狭山市駅前店	S47.11	2,321
	マルエツ 入間川店	S53.12	2,656
	イオン武蔵狭山店 〈狭山サティ〉	S54.11	16,691
	ヤマダ電機テックランド狭山富士見店 〈ベスト電器狭山店〉	H04.04	2,643
	ベスタ狭山 B (ケーヨーデイツー狭山店)	H19.09	6,220
	ベスタ狭山 A (バルク狭山店)	H19.10	5,906
	スカイテラス	H22.03	2,186
	Emio狭山市 (ブルーミングブルーミー狭山市駅店)	H23.06	1,920
	アイランド狭山 (オートボックス狭山店)	H24.11	1,773
②入 曽	A コープ入間店	H06.12	1,502
	Market City 入曽 (ヤオコー北入曽店)	H12.12	12,467
	ヤオコー入曽店	H15.01	1,984
③堀 兼	—	—	—
④奥富・ 新狭山	PC DEPOT狭山本店 〈ラオックス新狭山店〉	H14.01	3,691
	イオン狭山店〈カルフル狭山店〉	H14.10	18,472
	ヤマダ電機テックランド狭山店	H18.10	4,640
⑤柏 原	—	—	—
⑥水 富	狭山ショッピングプラザヤオコー (ヤオコー狭山店)	H06.04	7,132
	ザ・ダイソー狭山店	H17.11	1,518
⑦狭山台	コープみらい コープ狭山台店 〈さいたまコープ ポレール狭山台〉	H10.04	1,347

(出所:埼玉県・狭山市/平成 25 年 4 月の埼玉県大規模小売店舗名簿を基に最新の名称等に修正)

(2) 狭山市の小売業の推移

狭山市の小売業の店舗数と年間商品販売額および売場面積の推移は、図表 2-2 のとおりです。
 小売業の店舗数は、平成 11 年から平成 19 年まで減少傾向にあり、平成 24 年でさらに大きく減少しています。
 年間商品販売額は、平成 16 年まで減少傾向にあり、平成 19 年に増加したものの、平成 24 年には減少しています。
 売場面積は、平成 19 年まで増加傾向にありましたが、平成 24 年には減少しています。

図表 2-2 狭山市内の小売業の店舗数・年間商品販売額・売場面積の推移 (単位: 店、百万円)



(出所: 平成 19 年までは埼玉県商業統計調査。平成 24 年は経済センサス活動調査)

狭山市内の小売業の従業員数の推移は、図表 2-3 のとおりです。
 従業員数は、平成 11 年以降減少傾向にありましたが、平成 19 年で若干増加したものの、平成 24 年には大きく減少しています。

図表 2-3 狭山市内の小売業の推移

区分	店舗数(店)	従業員数(人)	年間商品販売額(百万円)	売場面積(m ²)
平成 9 年	1,183	7,260	144,017	113,418
平成 11 年	1,190	8,339	139,379	114,389
平成 14 年	1,115	8,191	130,725	131,752
平成 16 年	1,006	7,149	114,696	134,883
平成 19 年	966	7,418	129,669	140,388
平成 24 年	654	5,536	102,272	119,566

(出所: 平成 19 年までは埼玉県商業統計調査。平成 24 年は経済センサス活動調査)

(3) 狭山市の小売業の規模と店舗効率

平成 24 年の狭山市、埼玉県および近隣市(所沢市、飯能市、入間市、川越市)の小売業の店舗数、従業員数、年間商品販売額、売場面積は、図表 2-4 のとおりです。

図表 2-4 平成 24 年の 狭山市、埼玉県、近隣市の店舗数、従業員数、年間商品販売額、売場面積

区 分	狭山市	埼玉県	所沢市	飯能市	入間市	川越市
店舗数(店)	654	32,359	1,310	496	703	1,507
従業員数(人)	5,536	284,792	12,276	3,446	6,676	13,485
年間商品販売額(百万円)	102,272	5,529,402	257,416	52,956	133,285	288,538
売場面積(㎡)	119,566	6,552,214	245,938	84,664	178,270	305,849

(出所:平成 24 年経済センサス活動調査)

平成 24 年の狭山市、埼玉県および近隣市(所沢市、飯能市、入間市、川越市)の小売業の 1 店舗当たりの従業員数、年間商品販売額、売場面積は図表 2-5 のとおりです。

1店舗当たりの従業員数、年間商品販売額、売場面積のいずれも、飯能市を上回っているものの、埼玉県の平均、近隣市の所沢市、入間市、川越市を下回っています。

図表 2-5 狭山市、埼玉県、近隣市の 1 店舗当たりの従業員数、年間商品販売額、売場面積

区 分	狭山市	埼玉県	所沢市	飯能市	入間市	川越市
1店舗当たり従業員数(人)	8.5	8.8	9.4	6.9	9.5	8.9
1店舗当たり年間商品販売額(百万円)	156.4	170.9	196.5	106.8	189.6	191.5
1店舗当たり売場面積(㎡)	182.8	202.5	187.7	170.7	253.6	203.0

(出所:平成 24 年経済センサス活動調査)

従業員 1 人当たりおよび売場面積当たりの年間商品販売額は、図表 2-6 のとおりです。

従業員 1 人当たりの年間商品販売額は、飯能市を上回っているものの、埼玉県の平均、近隣市の所沢市、入間市、川越市を下回っています。

売場面積当たりの年間商品販売額は、埼玉県の平均および飯能市、入間市を上回っています。

図表 2-6 狭山市、埼玉県および近隣市の従業員 1 人当たり、売場面積当たりの年間商品販売額

区 分	狭山市	埼玉県	所沢市	飯能市	入間市	川越市
従業員1人当たり年間商品販売額(百万円)	18.5	19.4	21.0	15.4	20.0	21.4
売場面積当たり年間商品販売額(百万円)	0.86	0.84	1.05	0.63	0.75	0.94

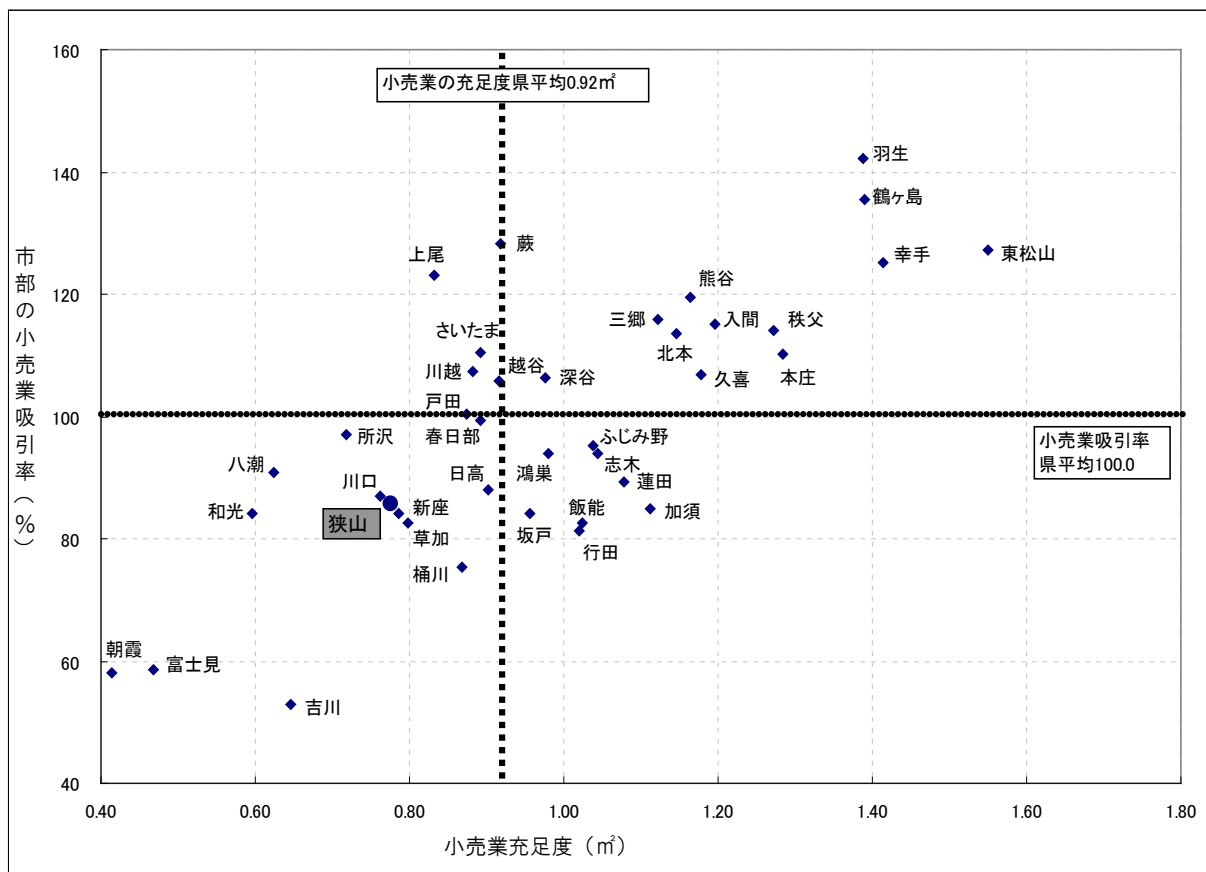
(出所:平成 24 年経済センサス活動調査)

(4) 埼玉県内の小売業の吸引率と充足度

埼玉県内の市部における小売業の吸引率と充足度の相関関係は、図表 2-7 のとおりです。

狭山市の小売充足度は 0.78 m²/人、小売業吸引率は 86%で、小売業充足度、小売業吸引率はいずれも県平均を下回っています。

図表 2-7 埼玉県内の市部における小売業の吸引率と充足率



(出所:平成 24 年経済センサス活動調査より作成)

- (注) 1. 人口は、平成 24 年の経済センサス活動調査結果を基にしているため、各都市の人口も平成 24 年の年度末(平成 25 年 3 月)の数値を使用している。
2. 「小売業の充足度」は、都市商業の充足の程度をみる指標であり、人口1人当たりの売場面積である。数値が高いほど消費者の買物利便性が高いとされている。

$$\text{小売業吸引率(m}^2\text{)} = \text{売場面積} \div \text{人口}$$

3. 「小売業吸引率」は、都市商業の販売力の程度をみる指標であり、当該都市の1人当たり販売額を県民1人当たりの販売額で割った値で示している。100 超ならば他都市から買物人口が流入していることを表し、100 未満ならば他都市へ流出していることを示す。

$$\text{小売業吸引率(\%)} = \left(\frac{\text{当該都市の年間商品販売額}}{\text{当該市の人口}} \right) \div \left(\frac{\text{県の年間商品販売額}}{\text{県の人口}} \right) \times 100$$

(5)商品群別の市内吸引率と市外流出率

商品群別の市内吸引率と市外流出率は、図表 2-8 のとおりです。

商品総合でみた狭山市内の吸引率は 65.4%、市外への流出率は 34.6%です。

F 群については、狭山市内の吸引率は 39.3%、市外への流出率は 60.7%です。

図表 2-8 商品群別の市内吸引率と市外流出率

(単位:%)

商品群	狭山市内吸引率	計	狭山市外への流出率						
			入間市	所沢市	川越市	県内市	都心部	東京都下	東京以外の県外
生鮮食料品	88.1	11.9	7.0	1.3	1.7	1.4	0.0	0.0	0.7
調理済み食品	89.1	10.9	5.2	1.8	2.1	1.3	0.2	0.0	0.2
その他飲食料品	87.7	12.3	6.5	1.7	1.8	1.6	0.0	0.0	0.5
日用雑貨	83.3	16.7	6.2	2.2	2.1	5.8	0.2	0.2	0.0
A 群計	87.0	13.0	6.2	1.7	1.9	2.5	0.1	0.1	0.4
呉服・帯	42.6	57.4	5.8	11.0	17.4	1.3	18.7	0.0	3.2
寝具	56.7	43.3	11.5	6.3	8.5	3.4	3.2	0.0	10.3
紳士服・用品雑貨	59.2	40.8	8.7	7.5	8.7	3.4	8.0	1.8	2.7
婦人服・用品雑貨	53.9	46.1	10.2	8.0	9.8	2.8	8.7	2.9	3.7
子供・ベビー服	56.7	43.3	13.4	7.2	9.4	2.5	5.1	2.2	3.6
肌着・下着	72.3	27.7	8.6	5.4	5.0	1.3	3.0	0.7	3.6
B 群計	59.9	40.1	9.7	7.1	8.5	2.5	6.4	1.4	4.5
靴・はきもの	48.4	51.6	12.2	8.3	11.8	2.9	11.7	1.4	3.2
カバン・バッグ	31.6	68.4	14.8	9.7	15.5	2.4	18.4	2.1	5.5
C 群計	41.2	58.8	13.3	8.9	13.4	2.7	14.6	1.7	4.2
家具・インテリア	24.5	75.5	19.1	13.0	15.1	11.5	5.5	1.3	10.1
家電	68.1	31.9	13.7	3.2	2.5	2.8	4.1	0.4	5.2
自転車	80.0	20.0	8.6	2.6	2.0	3.3	0.2	0.2	3.1
D 群計	59.1	40.9	13.8	5.8	5.9	5.4	3.5	0.6	6.0
時計・メガネ	49.0	51.0	12.2	10.7	10.3	4.9	7.5	1.5	3.9
医薬・化粧品	81.2	18.8	6.2	4.8	2.0	1.6	0.5	0.1	3.6
書籍・文房具	67.7	32.3	8.6	8.5	5.6	1.5	4.9	0.4	2.8
楽器・CD	34.2	65.8	6.8	9.8	12.2	3.1	11.9	1.4	20.7
玩具	32.4	67.6	29.6	10.7	8.3	3.6	3.6	0.8	11.1
スポーツ用品	24.4	75.6	9.2	19.5	20.4	7.5	8.3	2.0	8.6
花木・園芸・生花	77.0	23.0	4.6	2.1	2.9	12.2	0.3	0.5	0.5
E 群計	60.2	39.8	9.2	8.2	7.2	4.8	4.3	0.8	5.3
商品総合	65.4	34.6	9.5	5.9	6.5	3.5	4.6	0.8	3.7
家族で買物を楽しむ	35.9	64.1	17.7	6.3	13.6	8.8	12.1	3.9	1.7
飲食を楽しむ	42.5	57.5	11.6	14.6	11.7	6.0	10.6	2.1	0.8
F 群計	39.3	60.7	14.5	10.6	12.6	7.4	11.3	3.0	1.2

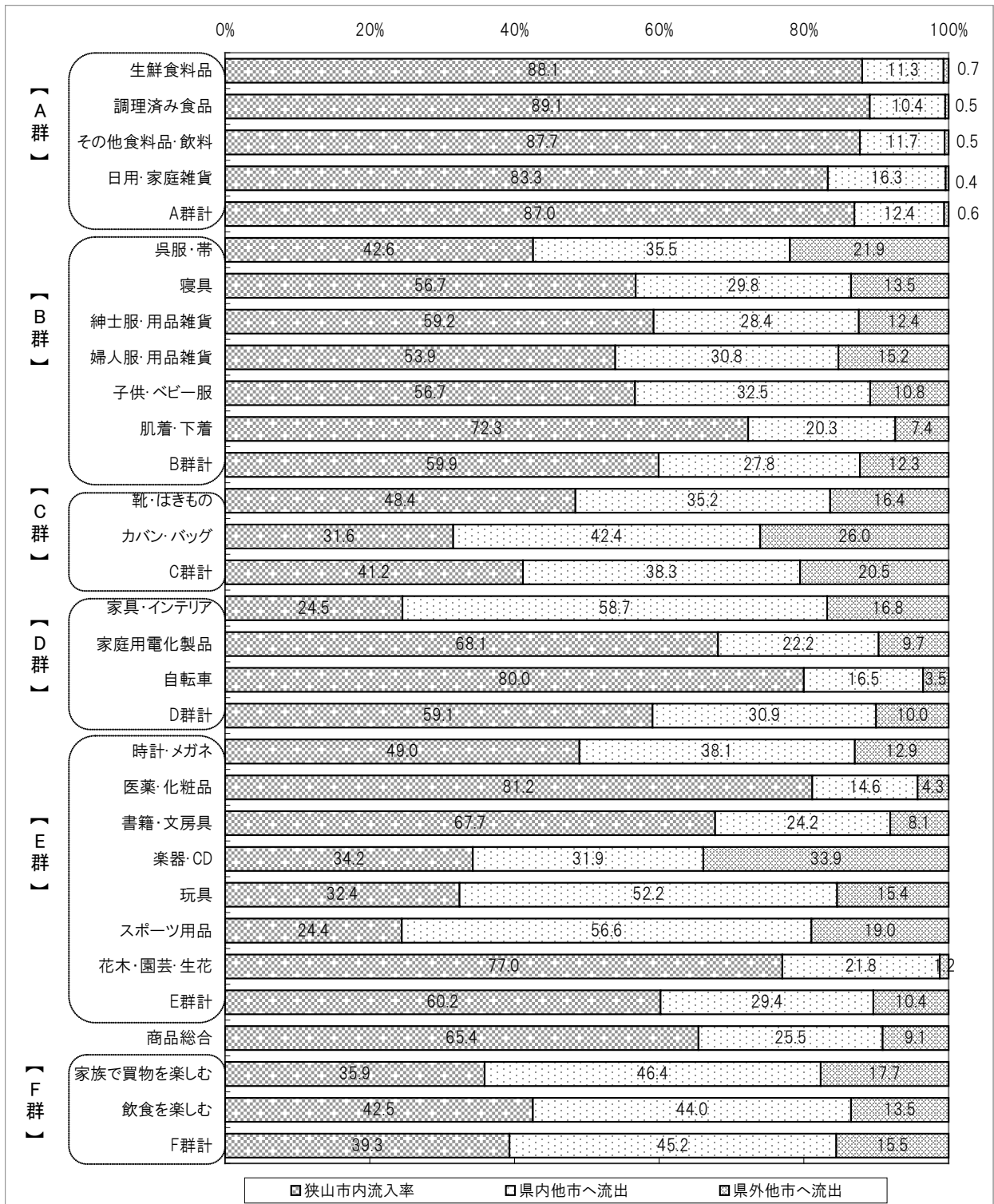
商品別の市内吸引率および市外流出率は、図表 2-9 のとおりです。

A 群の商品は、いずれも 8 割を超える高い市内吸引率であり、D 群の自転車、E 群の医薬・化粧品も 8 割を超えています。

一方、B 群の呉服・帯、C 群の靴、カバン・バッグ、D 群の家具・インテリア、E 群の 時計・メガネ、楽器・CD、玩具、スポーツ用品、F 群の家族で買物や飲食を楽しむ場合は、市外への流出率の方が高くなっています。

図表 2-9 商品別の市内吸引率および市外流出率の比較

(単位:%)



2. 狭山市の商圈

(1) 商業集積地別の商圈

① 市内集積地ごとの商圈区分

市内の商業集積地を商圈基準により商圈区分に分類すると、図表 2-10 のとおりです。

図表 2-10 市内商業集積地ごとの商圈区分

商 圏 基 準	市内商業集積地	商 圏 区 分
市内の全居住区分から5%以上吸引	入間川	地域型商圈
3居住地区以上から5%以上吸引	入曽、奥富・新狭山	準地域型商圈
2居住地区以上から5%以上吸引	水富	地区型商圈
1居住地区以上から5%以上吸引	狭山台	近隣型商圈

② 商品総合からみた商業集積地別吸引率

商業集積地別吸引率は、図表 2-11 のとおりです。市内の全居住地区から5%以上吸引している商業集積地は入間川です。一方、堀兼、柏原地区は、商業集積地がほとんどないため居住地区住民の利用が5%未満です。

図表 2-11 商品総合からみた商業集積地別吸引率

(単位:%)

区 分	居 住 地 区								
	商業集積地	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏 原	水 富	狭山台	市内計
入間川		44.9	10.9	24.4	23.2	30.2	18.1	35.0	26.9
入曽		11.2	38.9	9.4	3.6	0.9	1.1	13.7	15.5
堀兼		0.1	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
奥富・新狭山		9.0	2.8	30.0	37.0	11.4	7.2	12.6	11.7
柏原		0.2	0.1	0.2	0.2	2.8	0.5	0.1	0.4
水富		4.5	0.1	0.3	1.6	17.6	35.5	0.6	7.9
狭山台		1.8	1.5	4.9	2.0	1.1	0.2	17.0	2.9
狭山市内吸引率		71.8	54.4	70.0	67.6	64.0	62.5	79.0	65.4
狭山市外流出率		28.2	45.6	30.0	32.4	36.0	37.5	21.0	34.6
入間市		8.5	14.6	2.5	0.9	5.7	17.9	2.4	9.5
所沢市		3.3	14.7	5.3	2.6	1.9	1.4	2.9	5.9
川越市		4.3	3.5	13.2	17.4	11.5	3.1	6.3	6.5
県内他市		1.7	2.5	3.3	3.2	8.4	7.5	1.2	3.5
都心部		5.1	5.9	3.1	4.2	3.7	3.3	3.5	4.6
都下		1.2	0.8	0.1	0.9	1.0	0.3	0.8	0.8
東京以外の県外		4.2	3.6	2.5	3.1	3.9	4.0	3.9	3.7

(注) 網部分は吸引率5%以上

③ 食料品からみた商業集積地別吸引率

食料品(生鮮食品、調理済み食品、その他の食品・飲料)からみた市内商業集積地の商圈は、図表 2-12 のとおりです。

堀兼、柏原は、居住地区住民の利用がそれぞれ5%未満で、堀兼地区は入間川、奥富・新狭山、入曽、狭山台、柏原地区は入間川、水富、奥富・新狭山、川越市への流出が多くなっています。

図表 2-12 食料品からみた商業集積地別吸引率

(単位:%)

区 分	居 住 地 区								
	商業集積地	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・新狭山	柏 原	水 富	狭山台	市内計
入間川		63.9	8.1	38.6	25.9	37.9	13.1	50.9	34.7
入曽		14.9	73.2	11.4	6.7	0.4	0.0	9.6	24.4
堀兼		0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
奥富・新狭山		2.2	1.0	25.4	53.1	7.8	2.1	3.0	8.5
柏原		0.0	0.3	0.0	0.4	4.5	0.0	0.0	0.5
水富		7.4	0.0	0.0	1.3	30.5	61.4	0.4	13.5
狭山台		3.8	3.5	14.4	5.4	2.9	0.0	33.5	6.6
狭山市内吸引率		92.1	86.2	91.9	92.9	84.0	76.6	97.4	88.3
狭山市外流出率		7.9	13.8	8.1	7.1	16.0	23.4	2.6	11.7
入間市		5.1	7.4	0.4	0.0	4.1	19.0	0.0	6.3
所沢市		0.6	4.4	2.5	0.0	0.4	0.0	0.9	1.6
川越市		0.8	1.2	3.4	4.9	6.6	0.8	0.0	1.9
県内他市		0.6	0.1	1.7	1.8	4.9	3.6	0.0	1.4
都心部		0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
都下		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東京以外の県外		0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.5

(注) 網部分は吸引率5%以上

(2)商品群別の市内商業集積地別吸引率

商品群別の市内商業集積地別吸引率は、図表 2-13 のとおりです。

A～F 群すべてにおいて入間川地区、奥富・新狭山地区の利用がみられます。

また、入曽地区はC 群以外の利用がみられます。

そのほかは、A 群は水富地区、狭山台地区の利用が、また、B 群・E 群は、水富地区の利用がみられます。

図表 2-13 商品群別の市内商業集積地別吸引率

(単位:%)

商品群区分	商 業 集 積 地							
	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・新狭山	柏 原	水 富	狭山台	市内計
A 群 食料品・日用雑貨	35.6	24.0	0.2	8.1	0.4	12.5	6.0	86.9
B 群 衣料品・男女用品	25.1	14.4	0.1	12.1	0.2	6.8	1.2	59.9
C 群 靴・カバン	21.6	4.2	0.0	11.3	0.1	3.5	0.6	41.2
D 群 家具家電・自転車	19.5	11.8	0.1	25.4	0.2	1.1	1.1	59.1
E 群 医薬化粧・書籍玩具	25.1	13.6	0.1	8.6	0.9	8.9	3.0	60.2
商 品 総 合	26.9	15.5	0.1	11.7	0.4	7.9	2.9	65.4
F 群 買物・飲食を楽しむ	14.4	6.0	0.2	12.3	0.1	3.4	2.9	39.3

(注) 網部分は吸引率5%以上

3. 居住地区別の商業集積地利用概要

(1) 入間川地区

① 入間川地区の居住者が買物に行く商業集積地について

入間川地区居住者の主な買物場所は、図表 2-14 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A～F群のすべての商品・サービス群を地元で利用しています。

地元以外の市内では、A群は入曽、水富の2地区を、B群とD群は入曽、奥富・新狭山の2地区、C群とF群は奥富・新狭山地区、E群は入曽、奥富・新狭山、水富の3地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について入間市を利用しています。

そのほか、B群とC群は川越市と都心部を、E群は川越市、F群は川越市、都心部と都下を利用しています。

図表 2-14 入間川地区居住者の商品群別にみた主な買物場所

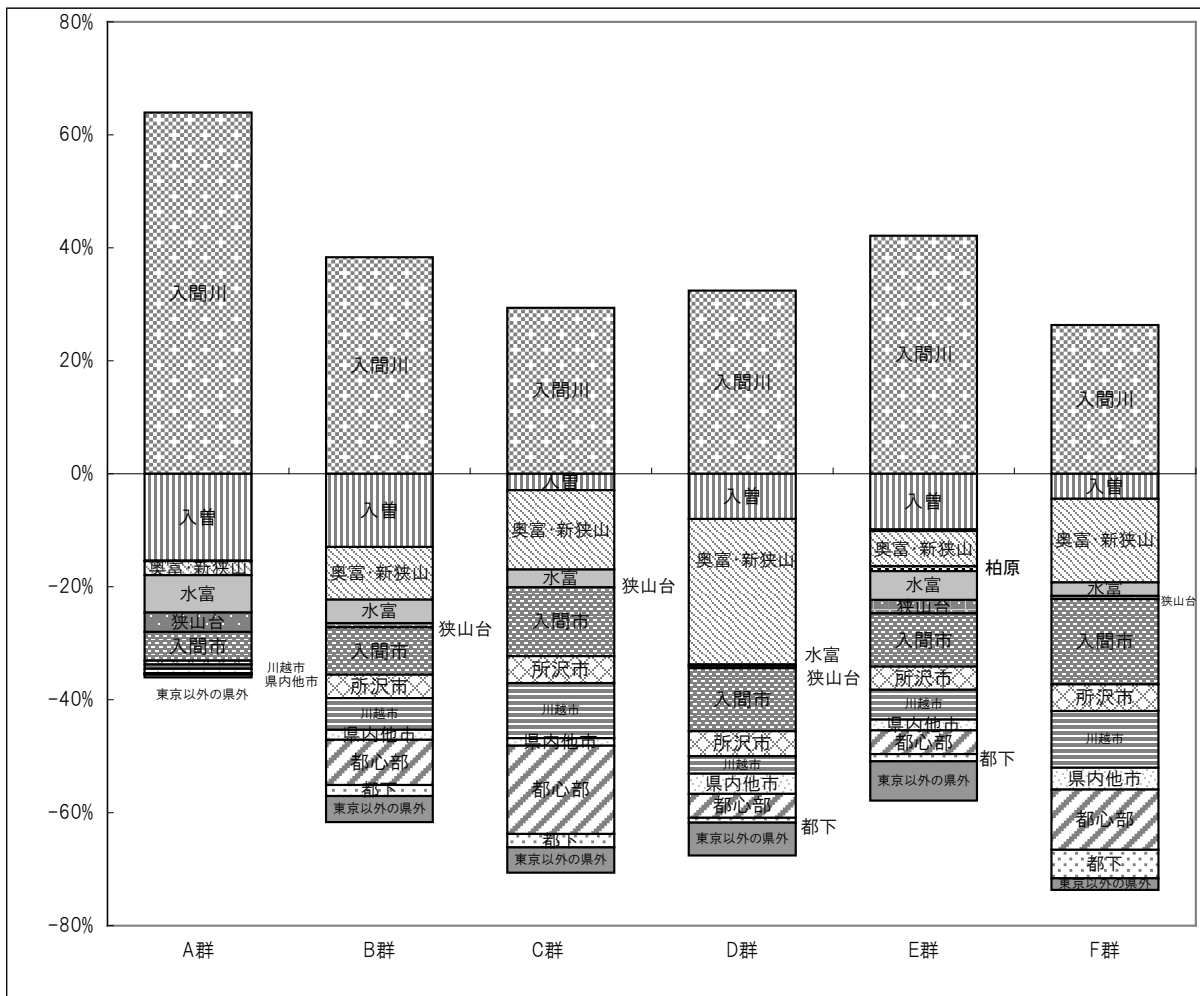
(単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電・ 自転車	E群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	入間川	63.8	38.3	29.4	32.4	42.1	26.3
	入 曽	15.4	13.0	2.9	8.0	9.9	4.4
	堀 兼	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	奥富・新狭山	2.5	9.3	14.0	25.8	6.2	14.8
	柏 原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
	水 富	6.6	4.1	3.2	0.2	5.1	2.4
	狭山台	3.4	0.8	0.0	0.4	2.4	0.6
	市内計	91.8	65.6	49.5	66.9	66.8	48.5
県 内 市 外	入間市	5.1	8.4	12.2	11.1	9.5	15.1
	所沢市	0.7	4.1	4.8	4.4	4.1	4.7
	川越市	0.8	5.6	9.8	3.1	5.3	10.1
	県内他市	0.8	1.7	1.3	3.6	1.9	3.8
県 外	都心部	0.2	8.0	15.6	4.2	4.2	10.7
	都 下	0.1	2.0	2.4	0.9	1.3	5.0
	東京以外の県外	0.5	4.6	4.5	5.8	7.0	2.1

入間川地区居住者の地区外流出率は、図表 2-15 のとおりです。

図表 2-15 入間川地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②入間川地区への流入状況

入間川地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-16 のとおりです。
すべての居住地区から入間川地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-16 入間川地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

入間川地区へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
入曽地区から	9.6	11.8	10.5	11.1	11.6	4.7
堀兼地区から	39.6	17.5	21.1	20.7	18.3	14.4
奥富・新狭山地区から	30.4	22.2	14.5	13.9	24.5	12.1
柏原地区から	37.8	32.5	29.5	13.0	28.1	17.5
水富地区から	13.9	23.6	22.8	16.0	16.6	6.1
狭山台地区から	51.5	30.0	26.6	22.8	29.9	18.3

(注) 網部分は吸引率5%以上

(2)入曽地区

①入曽地区の居住者が買物に行く商業集積地について

入曽地区居住者の主な買物場所は、図表 2-17 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A～F群のすべての商品・サービス群を地元で利用しています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区を利用しているほか、D 群は奥富・新狭山地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について入間市を利用しています。

また、A 群を除く商品・サービス群について、所沢市を利用しています。

そのほか、B 群と E 群は都心部を、C 群は川越市と都心部を、F 群は川越市、県内他市、都心部を利用しています。

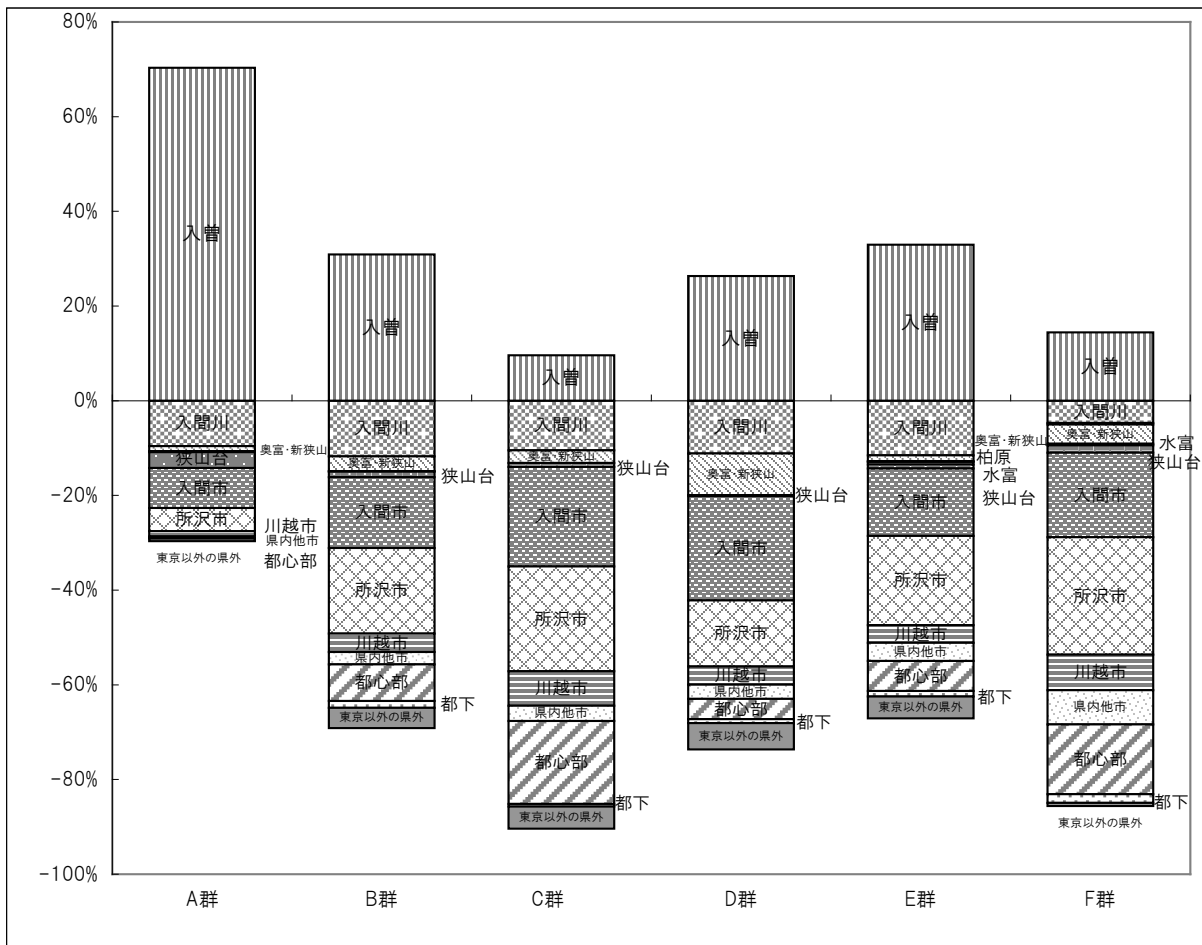
図表 2-17 入曽地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	入曽	70.3	30.9	9.6	26.3	32.9	14.4
	入間川	9.6	11.8	10.5	11.1	11.6	4.7
	堀兼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	奥富・新狭山	1.1	3.1	2.6	8.8	1.2	4.1
	柏原	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
	水富	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3
	狭山台	3.3	1.2	0.9	0.2	0.9	1.6
	市内計	84.6	47.0	23.6	46.5	47.3	25.4
県 内 市 外	入間市	8.4	15.0	21.0	22.1	14.2	17.9
	所沢市	4.9	18.1	22.2	13.9	18.8	24.8
	川越市	1.1	3.9	7.3	3.9	3.7	7.5
	県内他市	0.3	2.6	3.2	3.0	3.9	7.2
県 外	都心部	0.1	7.7	17.5	4.3	6.3	14.7
	都下	0.0	1.4	0.6	0.9	1.2	1.9
	東京以外の県外	0.6	4.3	4.7	5.6	4.6	0.6

入曽地区居住者の地区外流出率は、図表 2-18 のとおりです。

図表 2-18 入曽地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②入曽地区への流入状況

入曽地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-19 のとおりです。

狭山台地区からは、すべての商品・サービス群について入曽地区内商業集積地へ流入しています。

そのほか、A 群は、入間川地区、堀兼地区、奥富・新狭山地区から、B 群、D 群、E 群は、入間川地区、堀兼地区から、入曽地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-19 入曽地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

入曽地区へ	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
入間川地区から	15.4	13.0	2.9	8.0	9.9	4.4
堀兼地区から	11.2	9.6	3.5	8.0	10.1	2.7
奥富・新狭山地区から	6.0	3.6	0.9	3.5	2.1	0.0
柏原地区から	0.6	0.7	0.9	1.4	1.0	1.0
水富地区から	0.4	2.7	0.0	0.9	0.8	0.0
狭山台地区から	12.8	15.8	6.4	16.5	14.6	8.6

(注) 網部分は吸引率 5%以上

(3)堀兼地区

①堀兼地区の居住者が買物に行く商業集積地について

堀兼地区居住者の主な買物場所は、図表 2-20 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、すべての商品・サービス群についての地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区と奥富・新狭山地区を利用しています。

そのほか、A 群は入曽地区と狭山台地区、B 群と D 群、E 群は入曽地区、F 群は狭山台地区を利用しています。

市外では、A 群以外は川越市を利用しています。そのほか、C 群は所沢市、都心部と東京以外の県外を、D 群は入間市、県内他市、E 群は所沢市、F 群は入間市、所沢市、県内他市と都心部を利用しています。

図表 2-20 堀兼地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

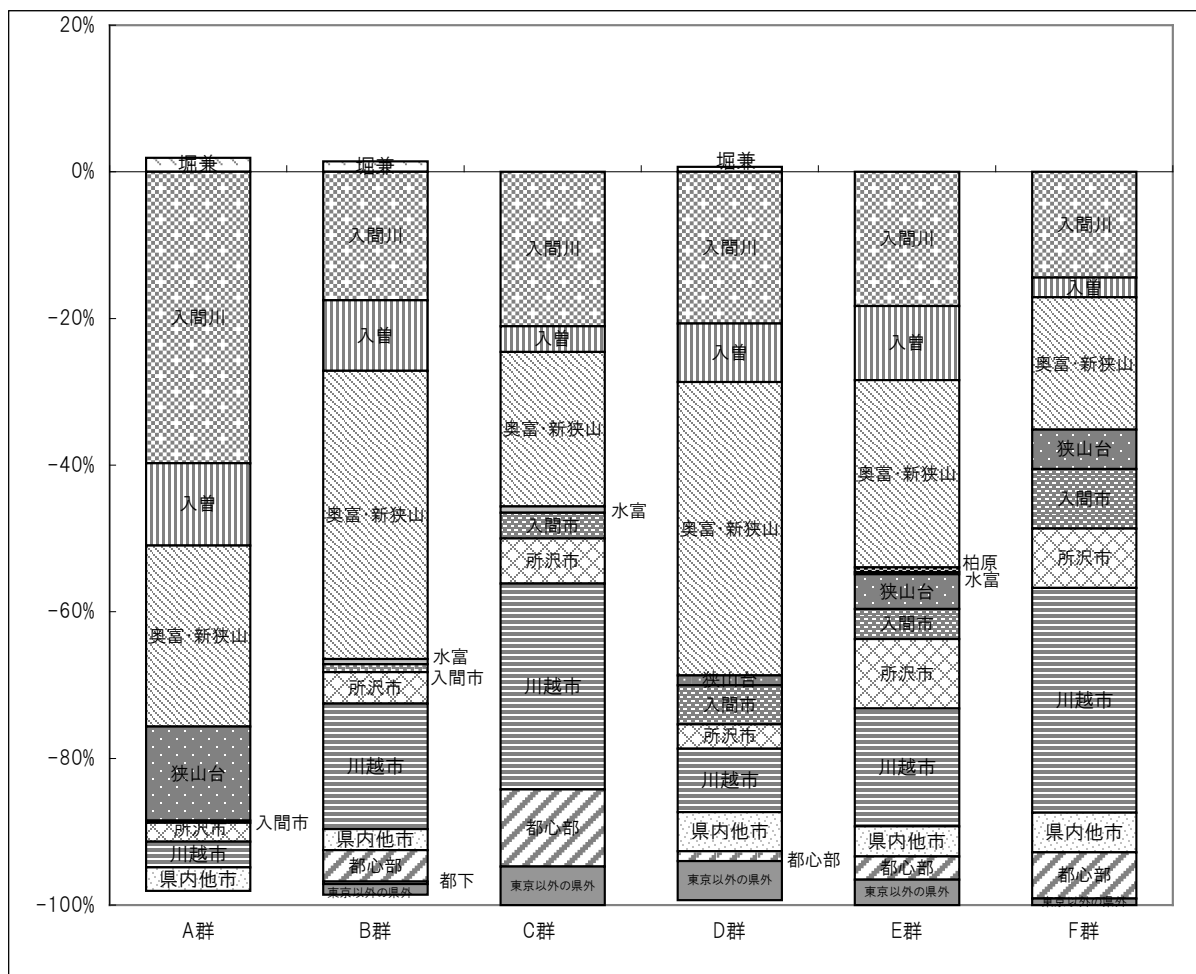
商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	堀兼	1.9	1.4	0.0	0.7	0.0	0.0
	入間川	39.6	17.5	21.1	20.7	18.3	14.4
	入曽	11.2	9.6	3.5	8.0	10.1	2.7
	奥富・新狭山	24.6	39.3	21.1	40.0	25.6	18.0
	柏原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	水富	0.0	0.7	0.9	0.0	0.3	0.0
	狭山台	12.8	0.0	0.0	1.3	4.7	5.4
	市内計	90.1	68.6	46.5	70.7	59.6	40.5
県 内 市 外	入間市	0.3	1.1	3.5	5.3	4.1	8.1
	所沢市	2.6	4.3	6.1	3.3	9.5	8.1
	川越市	3.5	17.1	28.1	8.7	16.1	30.6
	県内他市	3.2	2.9	0.0	5.3	4.1	5.4
県 外	都心部	0.0	4.3	10.5	1.3	3.2	6.3
	都下	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	東京以外の県外	0.0	1.4	5.3	5.3	3.5	0.9

(注) 網部分は吸引率 5%以上

堀兼地区居住者の地区外流出率は、図表 2-21 のとおりです。

図表 2-21 堀兼地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②堀兼地区への流入状況

堀兼地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-22 のとおりです。

他地区から堀兼地区内商業集積地の利用はほとんどありません。

図表 2-22 堀兼地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

堀兼地区へ	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
入間川地区から	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
入曽地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
奥富・新狭山地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柏原地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水富地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
狭山台地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4)奥富・新狭山地区

①奥富・新狭山地区の居住者が買物に行く商業集積地について

奥富・新狭山地区居住者の主な買物場所は、図表 2-23 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A～F群のすべての商品・サービス群を地元で利用しています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区を利用しているほか、A 群は入曽地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について川越市を利用しています。

また、B 群は都心部と東京以外の県外、C 群と F 群は県内他市と都心部を、E 群は東京以外の県外を利用しています。

図表 2-23 奥富・新狭山地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	奥富・新狭山	48.5	28.6	18.2	47.9	34.0	26.4
	入間川	30.4	22.2	14.5	13.9	24.5	12.1
	入曽	6.0	3.6	0.9	3.5	2.1	0.0
	堀兼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	柏原	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	1.1
	水富	1.3	2.4	0.9	0.7	1.8	2.2
	狭山台	4.7	1.2	0.0	0.7	1.4	2.2
	市内計	91.3	58.1	34.5	66.7	64.2	44.0
県 内 市 外	入間市	0.3	1.2	1.8	0.0	1.4	4.4
	所沢市	0.3	3.2	1.8	0.7	5.7	3.3
	川越市	5.7	21.4	35.5	20.1	17.7	29.7
	県内他市	2.0	3.2	5.5	4.9	2.8	9.9
県 外	都心部	0.3	6.5	15.5	3.5	2.5	5.5
	都下	0.0	1.2	4.5	0.7	0.4	1.1
	東京以外の県外	0.0	5.2	0.9	3.5	5.3	2.2

(注) 網部分は吸引率 5%以上

(5) 柏原地区

① 柏原地区の居住者が買物に行く商業集積地について

柏原地区居住者の主な買物場所は、図表 2-26 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、すべての商品・サービス群についての地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区と奥富・新狭山地区を利用しています。

また、A 群、B 群、E 群は、水富地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について川越市を利用しており、B 群以外は県内他市を利用しています。

そのほか、B 群は東京以外の県外、C 群は入間市と都心部、D 群と E 群は入間市と東京以外の県外、F 群は入間市、所沢市と都心部を利用しています。

図表 2-26 柏原地区居住者の商品群別にみた主な買物場所

(単位:%)

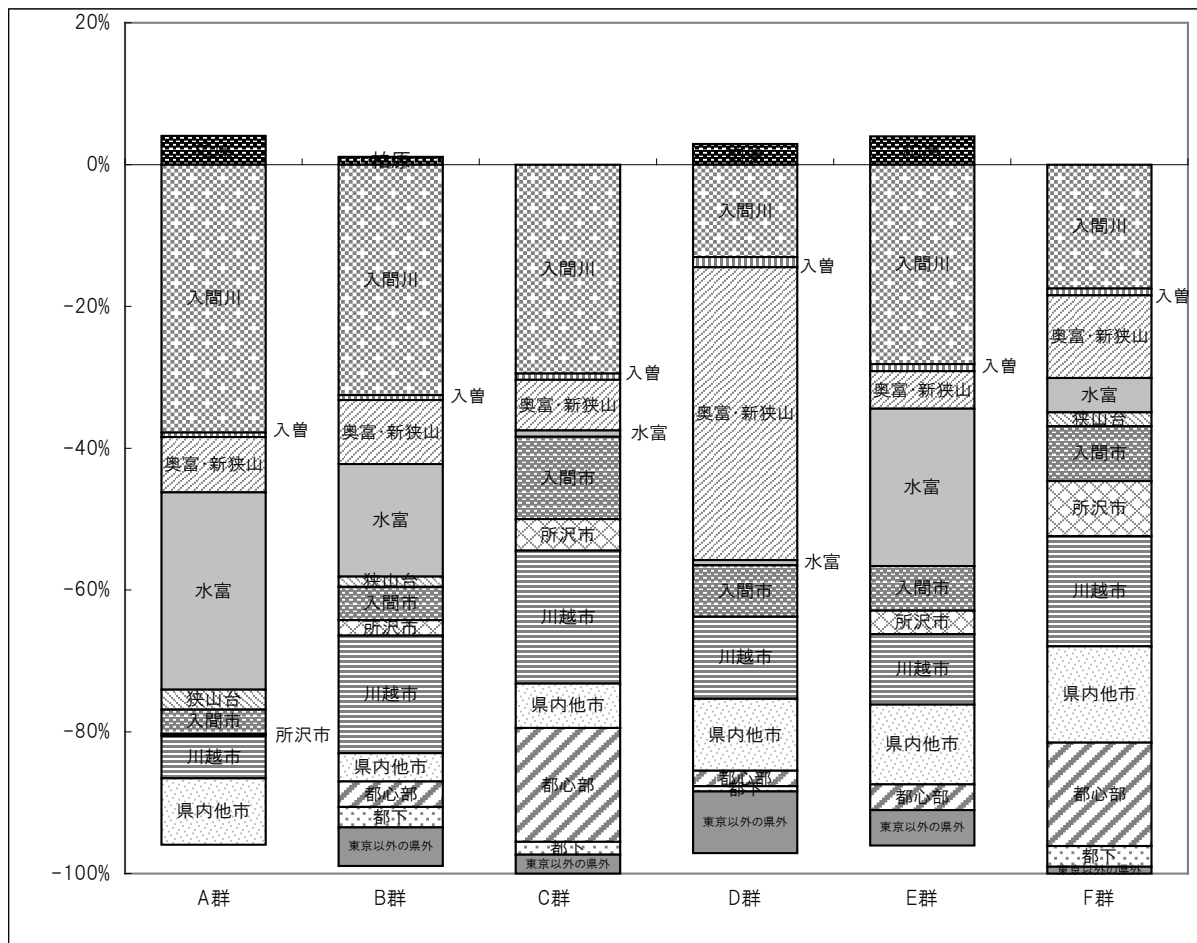
商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	柏原	4.1	1.1	0.0	2.9	4.0	0.0
	入間川	37.8	32.5	29.5	13.0	28.1	17.5
	入曾	0.6	0.7	0.9	1.4	1.0	1.0
	堀兼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	奥富・新狭山	7.8	9.0	7.1	41.3	5.3	11.7
	水富	27.8	15.9	0.9	0.7	22.2	4.9
	狭山台	2.8	1.4	0.0	0.0	0.0	1.9
	市内計	80.9	60.6	38.4	59.4	60.6	36.9
県 内 市 外	入間市	3.4	4.7	11.6	7.2	6.3	7.8
	所沢市	0.3	2.2	4.5	0.0	3.3	7.8
	川越市	5.9	16.6	18.8	11.6	9.9	15.5
	県内他市	9.4	4.0	6.3	10.1	11.3	13.6
県 外	都心部	0.0	3.6	16.1	2.2	3.6	14.6
	都下	0.0	2.9	1.8	0.7	0.0	2.9
	東京以外の県外	0.0	5.4	2.7	8.7	5.0	1.0

(注) 網部分は吸引率 5%以上

柏原地区居住者の地区外流出率は、図表 2-27 のとおりです。

図表 2-27 柏原地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



② 柏原地区への流入状況

柏原地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-28 のとおりです。
他地区から柏原地区内商業集積地の利用は、ほとんどありません。

図表 2-28 柏原地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

柏原地区へ	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
入間川地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
入曽地区から	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
堀兼地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
奥富・新狭山地区から	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	1.1
水富地区から	0.0	0.0	0.5	0.0	1.6	0.0
狭山谷地区から	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(6)水富地区

①水富地区の居住者が買物に行く商業集積地について

水富地区居住者の主な買物場所は、図表 2-29 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A～F群のすべての商品・サービス群を地元で利用しています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区を利用しているほか、A 群と E 群以外の商品・サービス群について、奥富・新狭山地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について入間市を利用しており、A 群は県内他市を、B 群は東京以外の県外、C 群は川越市、都心部と東京以外の県外、D 群と E 群は県内他市と東京以外の県外、F 群は川越市、県内他市と都心部を利用しています。

図表 2-29 水富地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

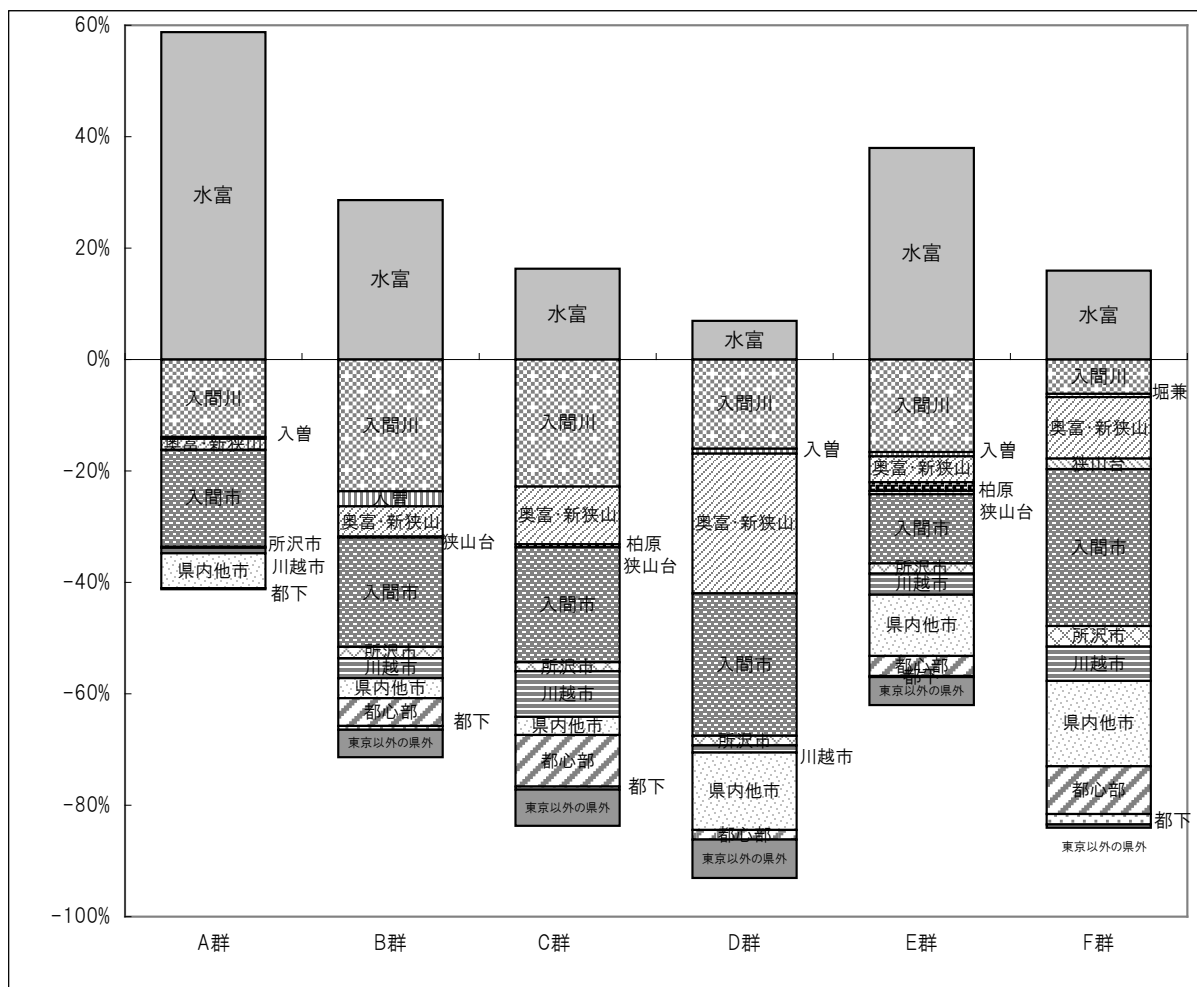
商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	水富	58.8	28.6	16.3	6.9	38.0	16.0
	入間川	13.9	23.6	22.8	16.0	16.6	6.1
	入曽	0.4	2.7	0.0	0.9	0.8	0.0
	堀兼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	奥富・新狭山	2.0	5.4	10.3	25.1	4.6	11.0
	柏原	0.0	0.0	0.5	0.0	1.6	0.0
	狭山台	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	1.8
	市内計	75.0	60.6	50.0	48.9	62.2	35.6
県 内 市 外	入間市	17.4	19.6	20.7	25.5	12.4	28.2
	所沢市	0.2	2.0	1.6	1.7	1.8	3.7
	川越市	1.0	3.6	8.2	1.3	3.8	6.1
	県内他市	6.3	3.6	3.3	13.9	11.0	15.3
県 外	都心部	0.0	5.0	9.2	1.7	3.6	8.6
	都下	0.2	0.7	0.5	0.0	0.2	1.8
	東京以外の県外	0.0	5.0	6.5	6.9	5.0	0.6

(注) 網部分は吸引率5%以上

水富地区居住者の地区外流出率は、図表 2-30 のとおりです。

図表 2-30 水富地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②水富地区への流入状況

水富地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-31 のとおりです。

A 群と E 群は、入間川地区と柏原地区から、B 群は柏原地区から水富地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-31 水富地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

水富地区へ	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
入間川地区から	6.6	4.1	3.2	0.2	5.1	2.4
入間地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3
堀兼地区から	0.0	0.7	0.9	0.0	0.3	0.0
奥富・新狭山地区から	1.3	2.4	0.9	0.7	1.8	2.2
柏原地区から	27.8	15.9	0.9	0.7	22.2	4.9
狭山台地区から	0.3	0.8	1.8	0.0	0.4	0.0

(注) 網部分は吸引率 5%以上

(7)狭山台地区

①狭山台地区の居住者が買物に行く商業集積地について

狭山台地区居住者の主な買物場所は、図表 2-32 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、C 群を除く商品・サービス群を地元で利用しています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について入間川地区と入曽地区を利用しています。また、A 群以外の商品・サービス群は奥富・新狭山地区を利用しています。

市外では、B 群、D 群、E 群は川越市と東京以外の県外、C 群は所沢市、川越市、都心部、F 群は所沢市、川越市、都心部と都下を利用しています。

図表 2-32 狭山台地区居住者の商品群別にみた主な買物場所

(単位:%)

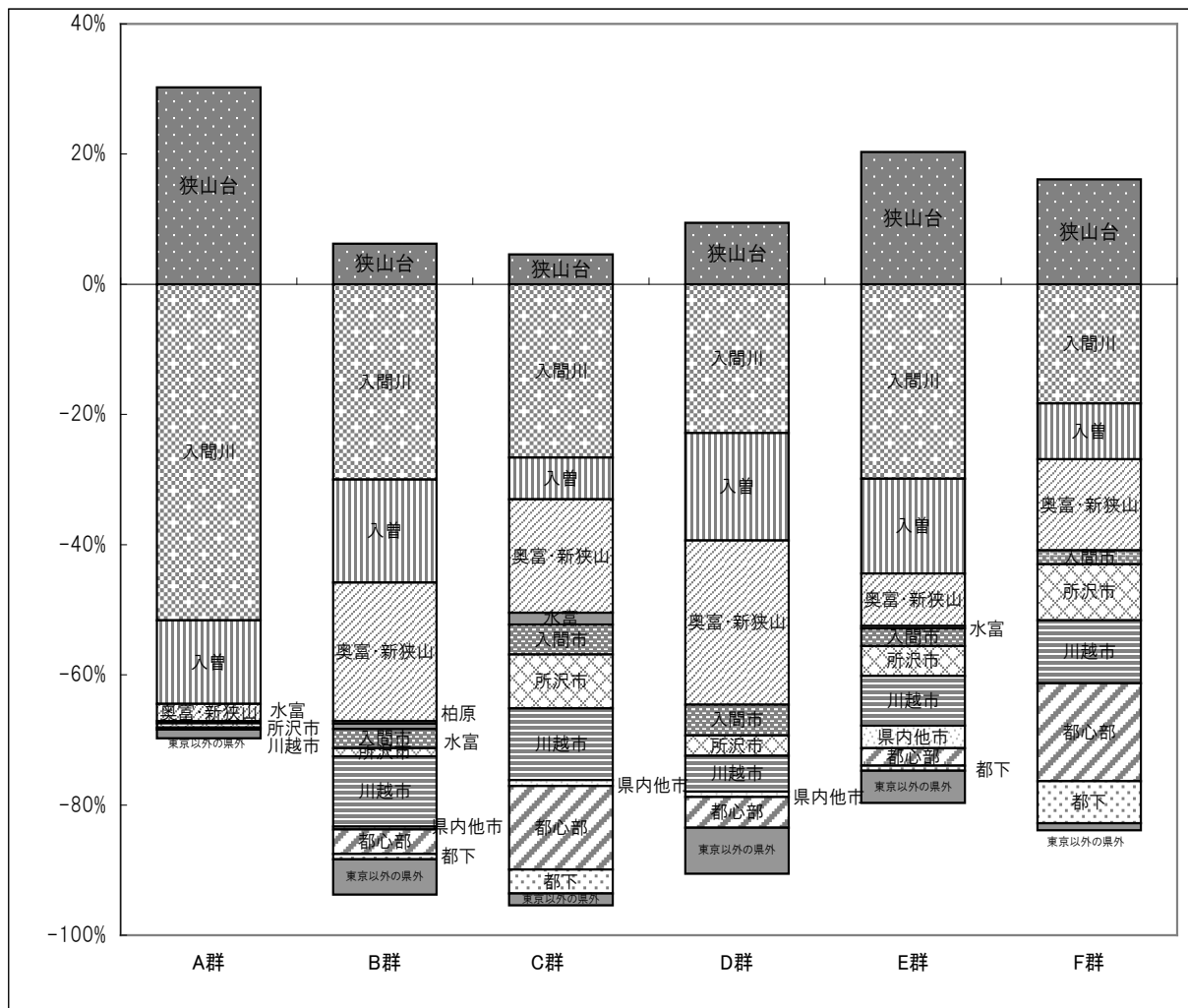
商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具家電・ 自転車	E 群 医薬化粧品・ 書籍玩具	F 群 買物・飲食を 楽しむ
市 内	狭山台	30.2	6.3	4.6	9.4	20.3	16.1
	入間川	51.5	30.0	26.6	22.8	29.9	18.3
	入曽	12.8	15.8	6.4	16.5	14.6	8.6
	堀兼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	奥富・新狭山	2.6	21.3	17.4	25.2	8.0	14.0
	柏原	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	水富	0.3	0.8	1.8	0.0	0.4	0.0
	市内計	97.4	74.6	56.9	74.0	73.2	57.0
県 内 市 外	入間市	0.0	2.9	4.6	4.7	2.7	2.2
	所沢市	0.7	1.3	8.3	3.1	4.6	8.6
	川越市	0.3	10.8	11.0	5.5	7.7	9.7
	県内他市	0.0	0.4	0.9	0.8	3.4	0.0
県 外	都心部	0.0	3.8	12.8	4.7	2.7	15.1
	都下	0.0	0.8	3.7	0.0	0.8	6.5
	東京以外の県外	1.3	5.4	1.8	7.1	5.0	1.1

(注) 網部分は吸引率5%以上

狭山台地区居住者の地区外流出率は、図表 2-33 のとおりです。

図表 2-33 狭山台地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②狭山台地区への流入状況

狭山台地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-34 のとおりです。

A 群と F 群は、堀兼地区から狭山台地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-34 狭山台地区内商業集積地への流入状況

(単位:%)

狭山台地区へ	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
入間川地区から	3.4	0.8	0.0	0.4	2.4	0.6
入曽地区から	3.3	1.2	0.9	0.2	0.9	1.6
堀兼地区から	12.8	0.0	0.0	1.3	4.7	5.4
奥富・新狭山地区から	4.7	1.2	0.0	0.7	1.4	2.2
柏原地区から	2.8	1.4	0.0	0.0	0.0	1.9
水富地区から	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	1.8

(注) 網部分は吸引率 5%以上

第3章 狭山市民の買物行動

1. 消費者の買物行動

(1) 普段の買物頻度

普段の買物回数は、図表 3-1 のとおりです。

市全体では、「週に 2～3 回」が 44.4%と最も多く、次いで「週に 4～5 回」が 24.8%、「ほとんど毎日」が 20.4%と続いています。

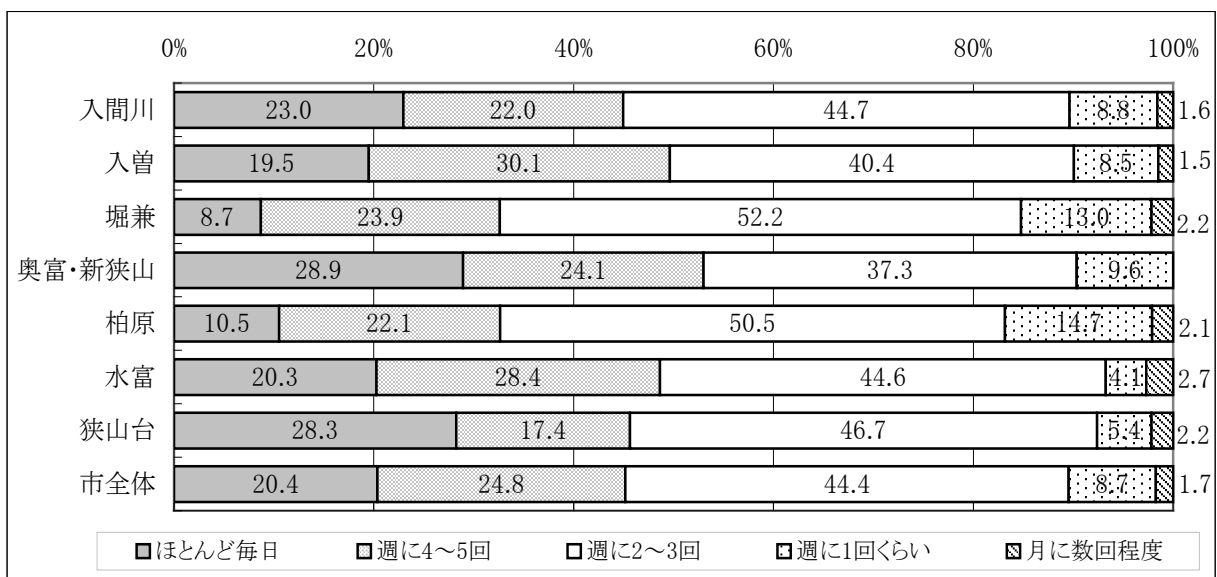
普段の買物回数が比較的多い(「ほとんど毎日」～「週に 4～5 回」の合計)地区は、奥富・新狭山地区の 53.0%、入曽地区 49.6%、水富地区 48.7%、狭山台地区 45.7%、入間川地区 45.0%の順となっています。

このうち、「ほとんど毎日」が多いのは、奥富・新狭山地区で 28.9%、狭山台 28.3%、入間川 23.0%です。

一方、堀兼地区、柏原地区は「週に 2～3 回」以下の割合がともに 67.4%と買物回数は、少なくなっています。

図表 3-1 市全体と地区別の普段の買物回数

(N=1104 単位:%)

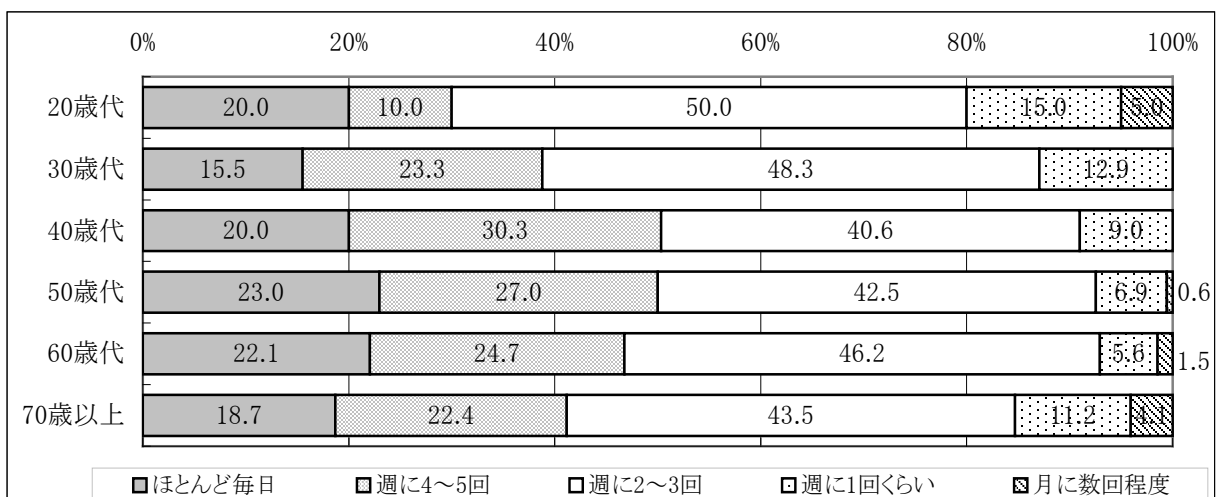


年代別の普段の買物回数は図表 3-2 のとおりです。

買物回数(「ほとんど毎日」～「週に 4～5 回」の合計)を年代別にみると、20 歳代から 40 歳代までは年代が高くなるにつれて買物回数が多くなり、50 歳代は 40 歳代とほぼ同じですが、60 歳代以上では減少しています。

図表 3-2 年代別の普段の買物回数

(単位:%)



(2) 1回の買物の平均予算

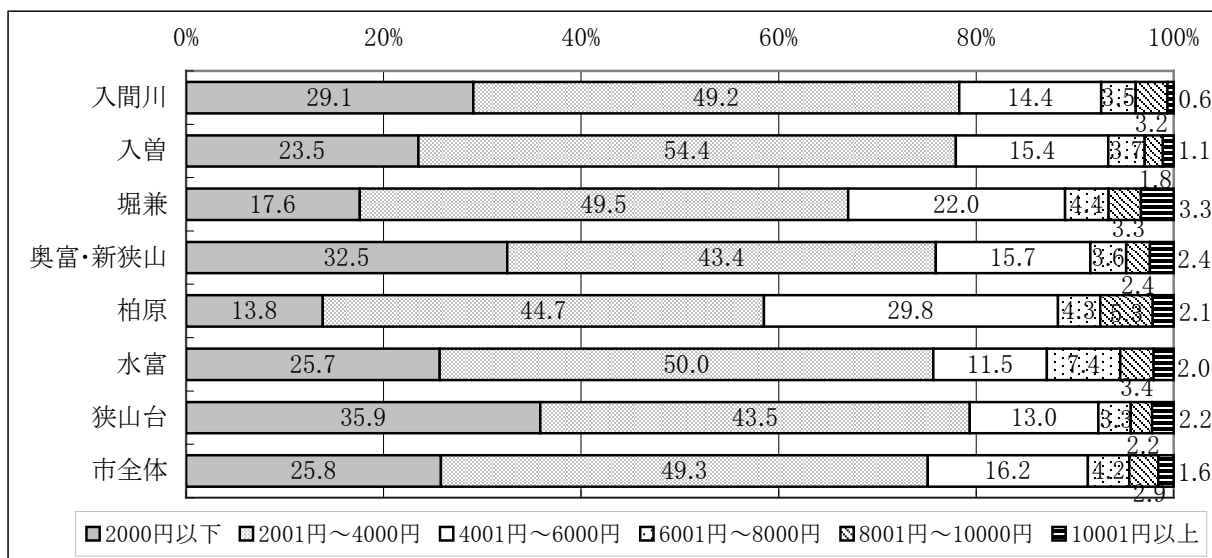
1回の買物の平均予算は、図表 3-3 のとおりです。

市全体では「2001円～4000円」が49.3%と最も多く、次いで「2000円以下」25.8%、「4001円～6000円」16.2%の順となっています。

地区別では、柏原地区の1回の買物予算は、4,001円以上が41.5%と40%を超えており、同様に堀兼地区も4,001円以上が32.9%と、他地区よりも多くなっています。商業集積地が不十分なためか、買物回数が少なくまとめ買いをしていると考えられます。

図表 3-3 地区別にみた1回の買物の予算

(N=1093 単位:%)



年代別にみた1回の買物の平均予算は、図表 3-4 のとおりです。

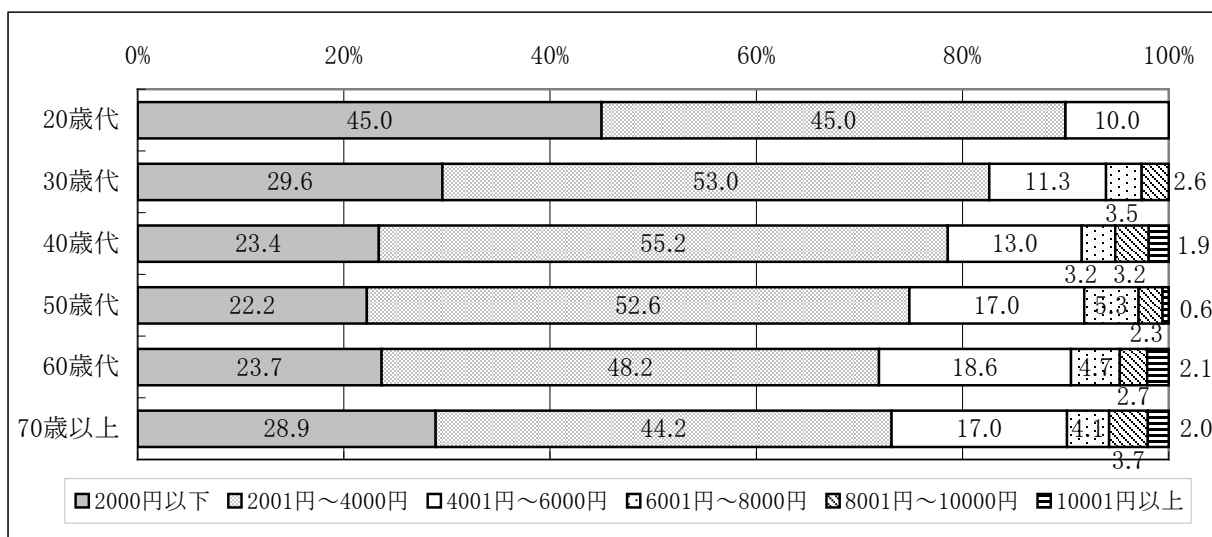
すべての年代で「2,001円～4,000円」が最多となっています。

また、「2,000円以下」の割合は20歳代が45.0%と最も多く、年代が高くなるにつれて50歳代まで減少していますが、60歳代、70歳代では増加しています。

4001円以上が多いのは、60歳代28.1%、70歳以上26.9%、50歳代25.2%の順となっています。

図表 3-4 年代別にみた1回の買物の平均予算

(単位:%)



(3) 買物時に利用する主な交通手段

買物時に利用する主な交通手段は、図表 3-5 のとおりです。

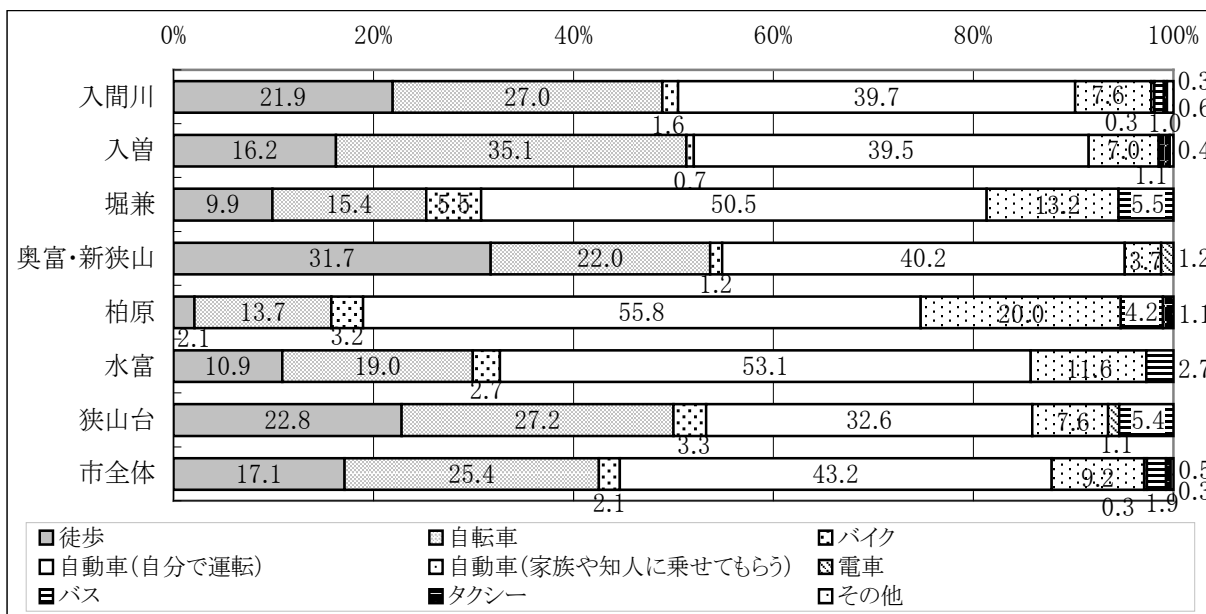
自動車の利用は、「自分の運転」と「家族知人の運転」とに区分しています。

市全体では、「自動車(自分)」が 43.2%で最も多く、次いで「自転車」25.4%、「徒歩」17.1%、「自動車(家族知人)」9.2%と続いています。

地区別の自動車利用(計)が多いのは、柏原地区の 75.8%、水富地区 64.7%、堀兼地区 63.7%です。

一方、「徒歩」「自転車」「バイク」を合わせた利用率が半数を超えているのは、奥富・新狭山地区が 54.9%、狭山台 53.3%、入曾地区 52.0%、入間川地区 50.5%です。地区内に買物集積地があるかどうかで、買物に利用する交通手段が大きく異なっています。

図表 3-5 地区別の買物時に利用する主な交通手段 (N=1093 単位:%)

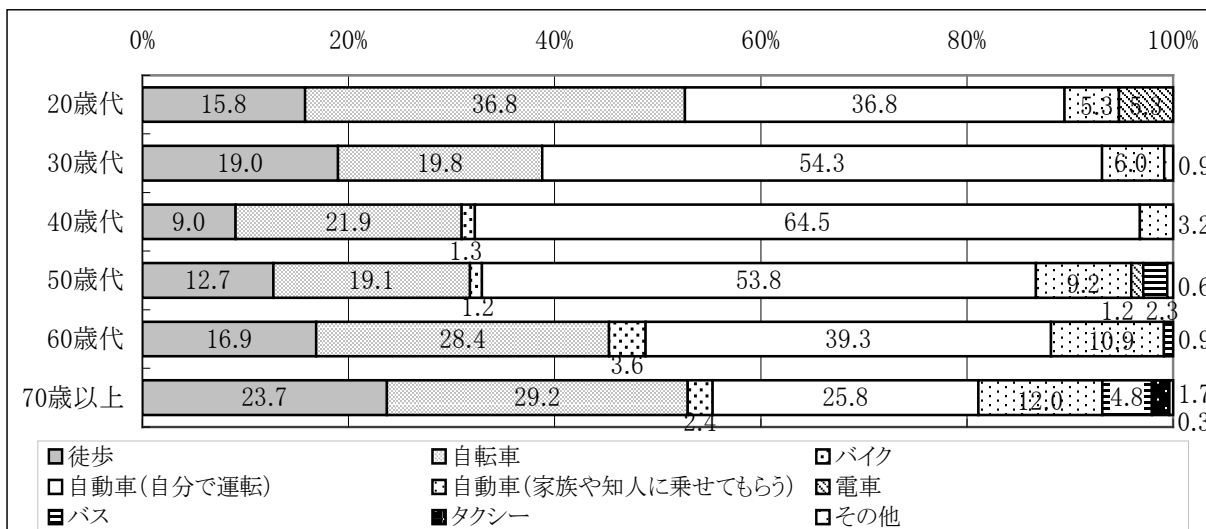


年代別の買物時の主な利用交通手段は、図表 3-6 のとおりです。

自動車利用(自分+家族知人)の割合は、40歳代が 67.7%と最も多く、次いで 50歳代 63.0%、30歳代 60.3%、60歳代 50.2%と続いており、20歳代は 42.1%、70歳以上は 37.8%と少なくなっています。

一方、「徒歩」「自転車」「バイク」の利用率は、70歳以上 55.3%、20歳代 52.6%、60歳代 48.9%と 50%前後に対し、30歳代~50歳代は 30%台と低くなっています。

図表 3-6 年代別の買物時に利用する主な交通手段 (単位:%)



(4)買物時間帯

①平日

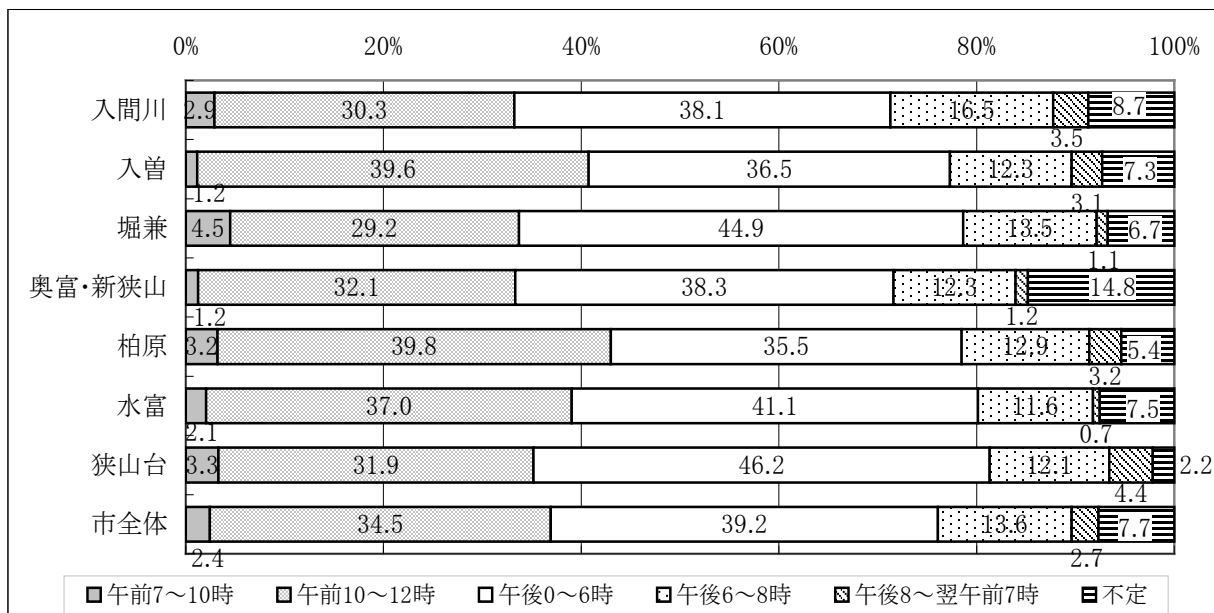
平日の買物時間帯は、図表 3-7 のとおりです。

市全体では、「午後 0～6 時」が 39.2%と最も多く、次いで「午前 10～12 時」34.5%、「午後 6～8 時」13.6%の順となっています。

地区別にみると、「午後 0～6 時」が多いのは、狭山台、堀兼、水富、奥富・新狭山、入間川の 5 地区で、「午前 10～12 時」が多いのは、入曽、柏原の 2 地区です。

図表 3-7 地区別の平日の買物時間帯

(N=1070 単位:%)



年代別の平日の買物時間帯は、図表 3-8 のとおりです。

60 歳代は「午前 10～12 時」が最多ですが、他の年代は「午後 0～6 時」が多くなっています。

2 番目に多い時間帯は、30 歳代、50 歳代で「午前 10～12 時」です。

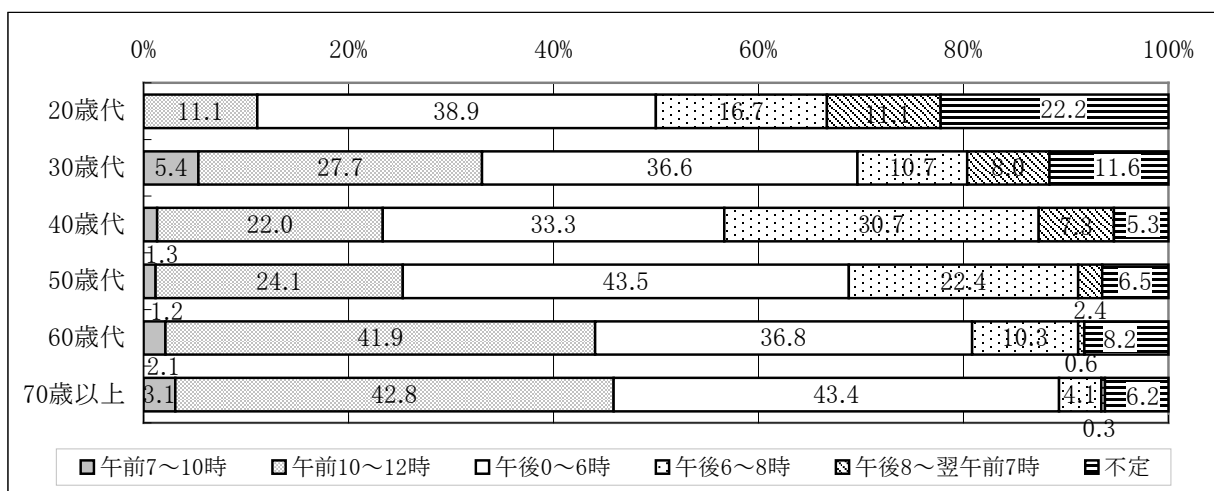
40 歳代は、「午後 6～8 時」が 2 番目に多い時間帯となっていますが、図表 1-8 のとおり有職比率が高いことと関連していると考えられます。

70 歳以上では、「午前 10～12 時」42.8%、「午後 0～6 時」43.4%とほぼ同率となっています。

なお、20 歳代の利用時間帯は、「午後 0～6 時」が多いものの、午前、夕方、夜など多様性がみられます。

図表 3-8 年代別の買物平日の時間帯

(単位:%)



②土日

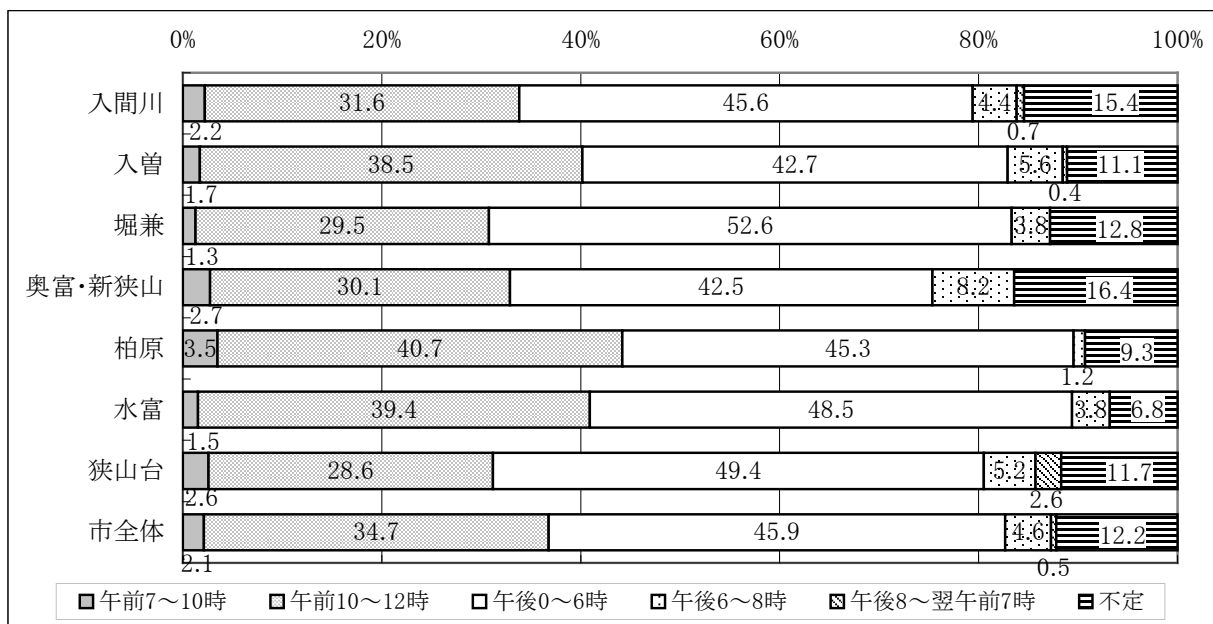
土日の買物時間帯は、図表 3-9 のとおりです。

市全体では、「午後 0～6 時」が 45.9%と最も多く、次いで「午前 10～12 時」34.7%、「不定」12.2%の順となっており、平日と比べて「午後 0～6 時」と「不定」が増えています。

地区別には、すべての地区で「午後 6～8 時」が減少し、「午後 0～6 時」が増加して最多となっています。「午前 10～12 時」は、平日と比べ変動はみられません。

図表 3-9 市全体・地区別の土日の買物時間帯

(N=952 単位:%)



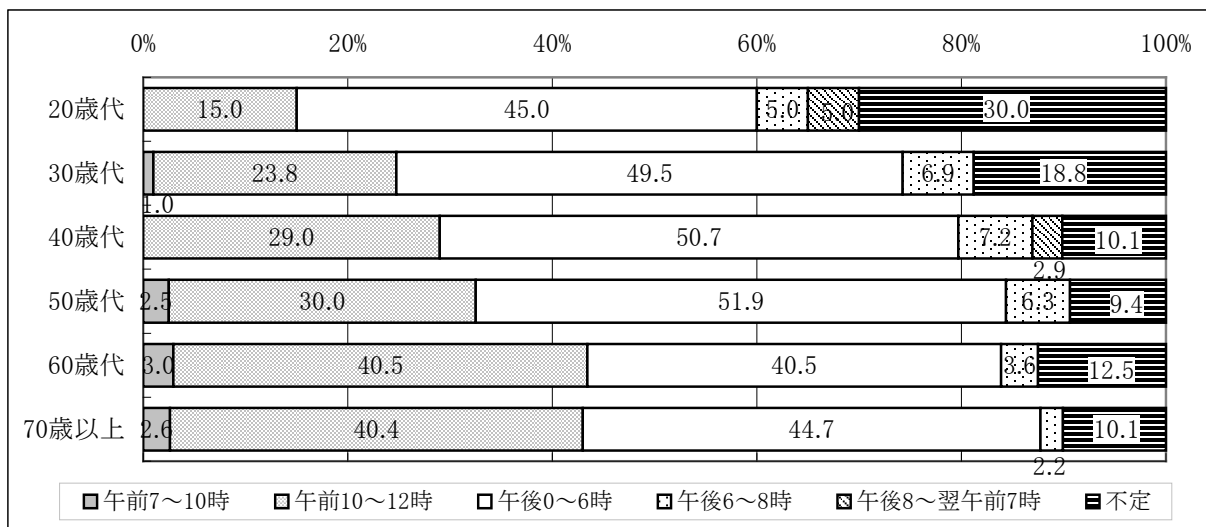
年代別の土日の買物時間帯は、図表 3-10 のとおりです。

午前中に買物をする割合は、年代が高くなるにつれて多くなる傾向にあり、「午後 0～6 時」に買物をする割合は 45～50%程度です。

一方、買物時間が「不定」という割合は、20 歳代と 30 歳代で高くなっています。

図表 3-10 年代別の買物時間帯

(単位:%)



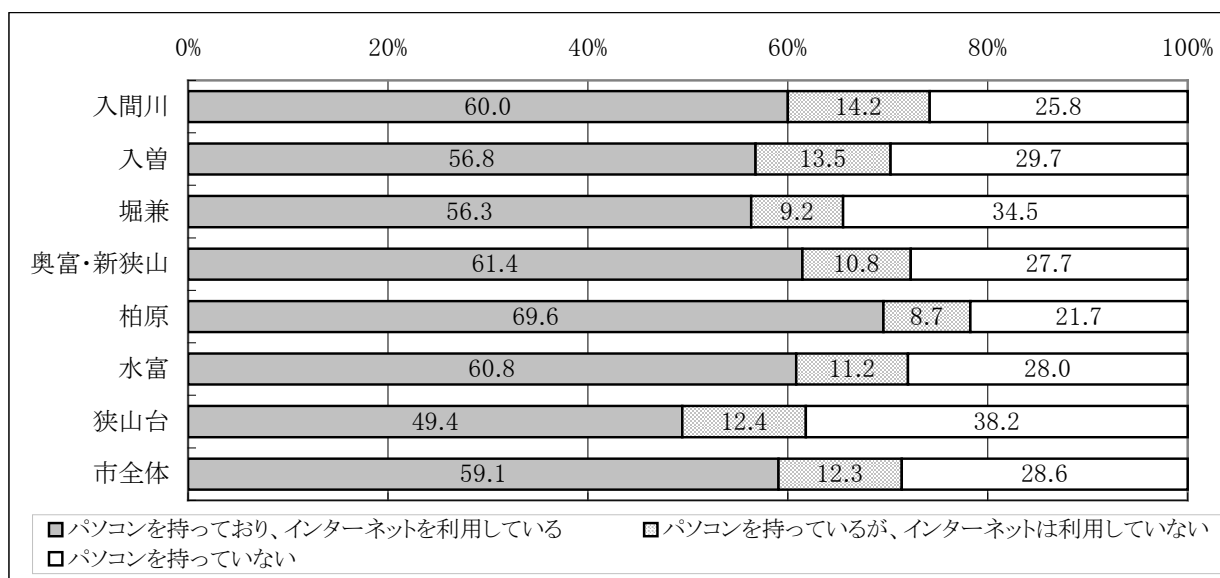
(5) パソコンの普及率とインターネット利用状況

パソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表 3-11 のとおりです。

市全体のパソコンの普及率は、71.4%であり、インターネット利用者の割合は 59.1%です。また、パソコン所有者のインターネット利用率は 82.8%となっています。

地区別のパソコン保有率は、柏原地区が 78.3%と最も高く、他の地区では狭山台地区の 61.8%を除いて 70%前後となっています。

図表 3-11 地区別のパソコン普及率とインターネットの利用状況 (N=1063 単位:%)

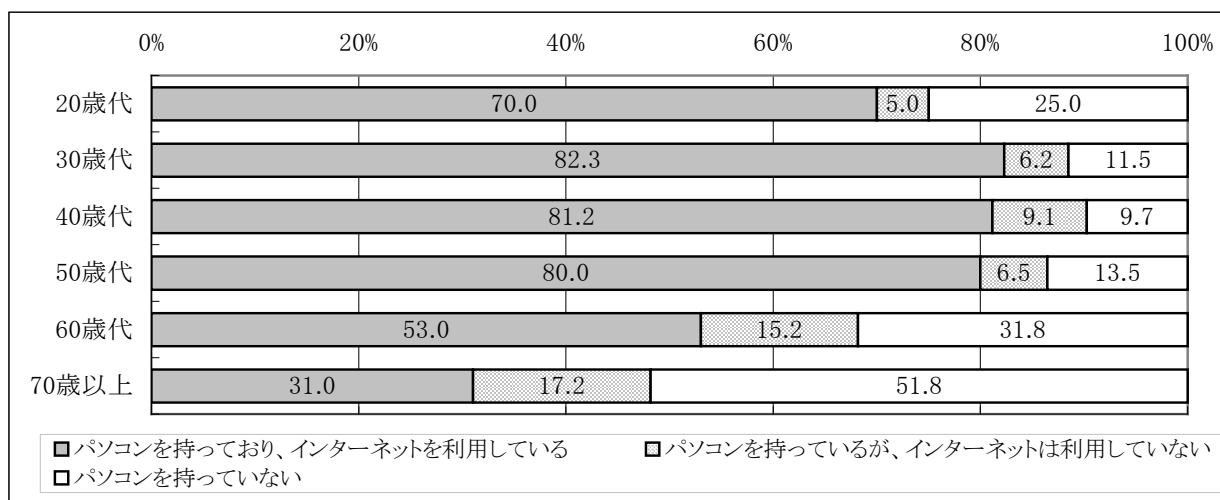


年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表 3-12 のとおりです。

30～50歳代のパソコン保有率は 86.5～90.3%に達しており、これらの年代のインターネット利用率は 80%を超えています。

一方、年配者のパソコン保有率は、60歳代は 68.2%、70歳以上は 48.2%にとどまっており、インターネットの利用率も 60歳代が 53.0%、70歳代 31.0%と低率です。

図表 3-12 年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況 (単位:%)



(6)通信販売の利用状況

最近は、実店舗以外にさまざまな媒体による通信販売の利用率が高まっていることから、媒体別にその利用状況をまとめました。

①通信販売の利用時の媒体

a) インターネットショッピング

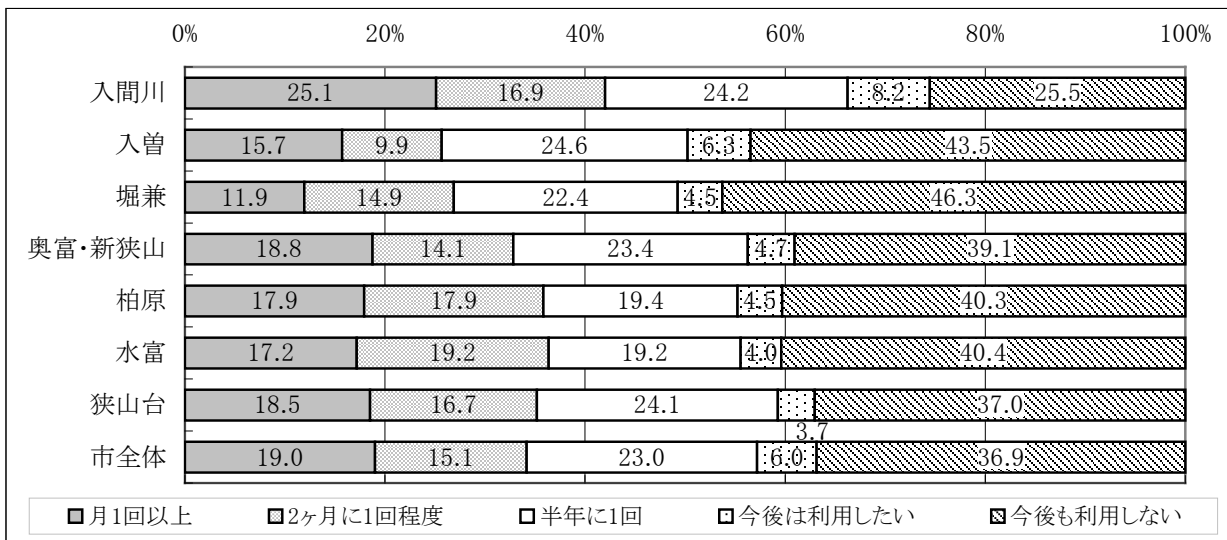
市全体および地区別のインターネットショッピングの利用状況は、図表 3-13 のとおりです。

市全体では、「月1回以上」が19.0%、「2ヶ月に1回程度」が15.1%、「半年に1回程度」が23.0%で、合計すると57.1%と、60%近くの人が利用しています。また、「今後は利用したい」が6.0%、「今後も利用しない」は36.9%です。

地区別のインターネットショッピング利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)をみると、入間川地区が66.2%と突出して多くなっています。一方、入曽、堀兼の2地区は50%前後であり、その他の地域は55%を超えています。

図表 3-13 インターネットショッピング利用状況(市全体・地区別)

(N=773 単位:%)



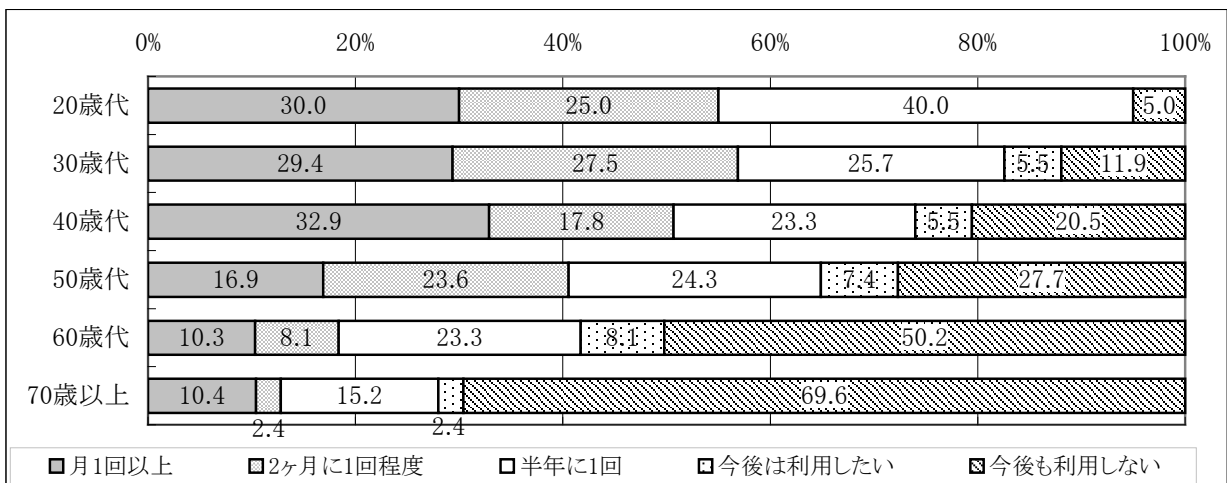
年代別のインターネットショッピング利用状況は、図表 3-14 のとおりです。

利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で95.0%、30歳代82.6%、40歳代74.0%、50歳代64.8%、60歳代41.7%、70歳以上28.0%となっています。

月1回以上のヘビーユーザーは、20歳代30.0%、30歳代29.4%、40歳代32.9%となっています。

図表 3-14 年代別のインターネットショッピング利用状況

(単位:%)



b) テレフォンショッピング(テレビ・ラジオ)

市全体および地区別のテレフォンショッピングの利用状況は、図表 3-15 のとおりです。

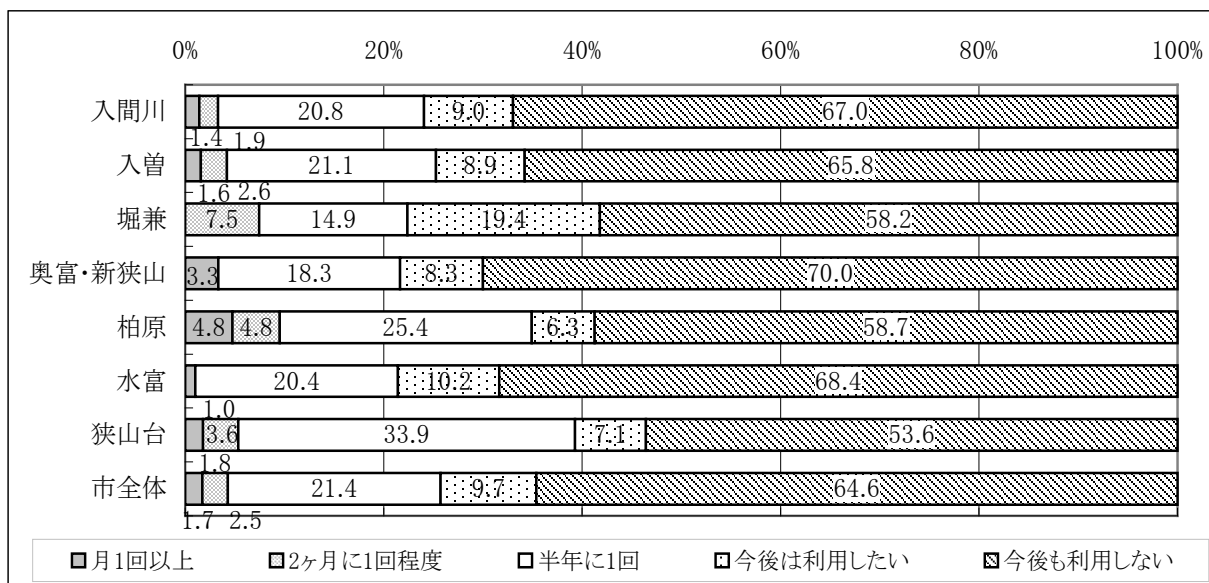
市全体では、「月1回以上」が1.7%、「2ヶ月に1回程度」が2.5%、「半年に1回程度」が21.4%で、合計すると25.6%となっています。

また、「利用していない」割合は74.3%と圧倒的に多くなっています。

地区別のテレフォンショッピング利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、狭山台地区の39.3%が最多であり、次いで柏原地区が35.0%となっています。他地区は20～25%程度です。

図表 3-15 テレフォンショッピング利用状況(市全体・地区別)

(N=746 単位:%)



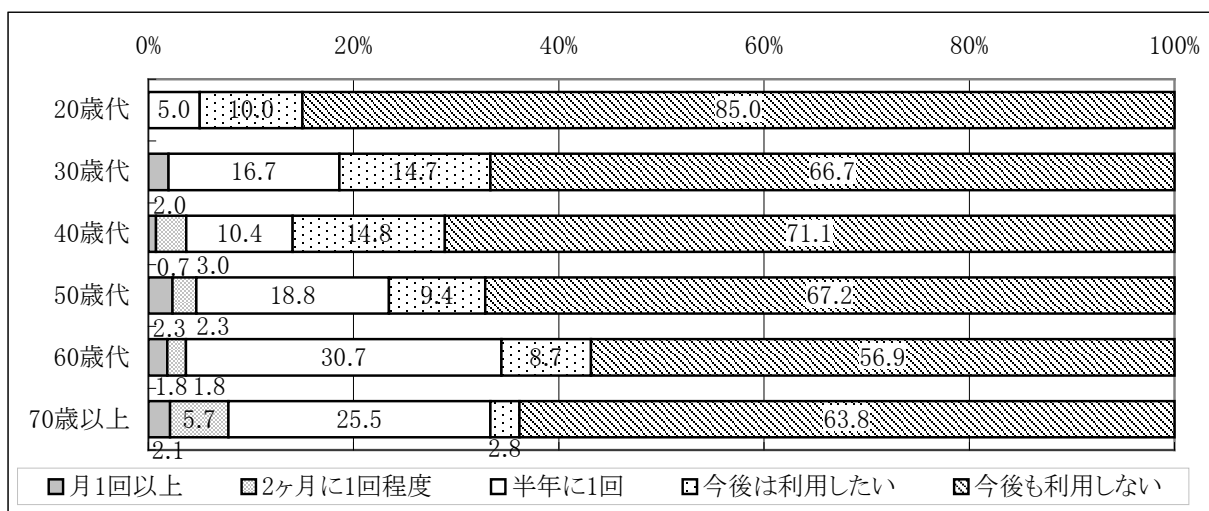
年代別のテレフォンショッピング利用状況は、図表 3-16 のとおりです。

利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で5.0%、30歳代18.7%、40歳代14.1%、50歳代23.4%、60歳代34.3%、70歳以上で33.3%と、年配者の方が高くなっています。

このように、テレフォンショッピングは、50歳代以上の人に利用しやすい形態と推測されます。

図表 3-16 年代別のテレフォンショッピング利用状況

(単位:%)



c) 新聞・雑誌・カタログ販売

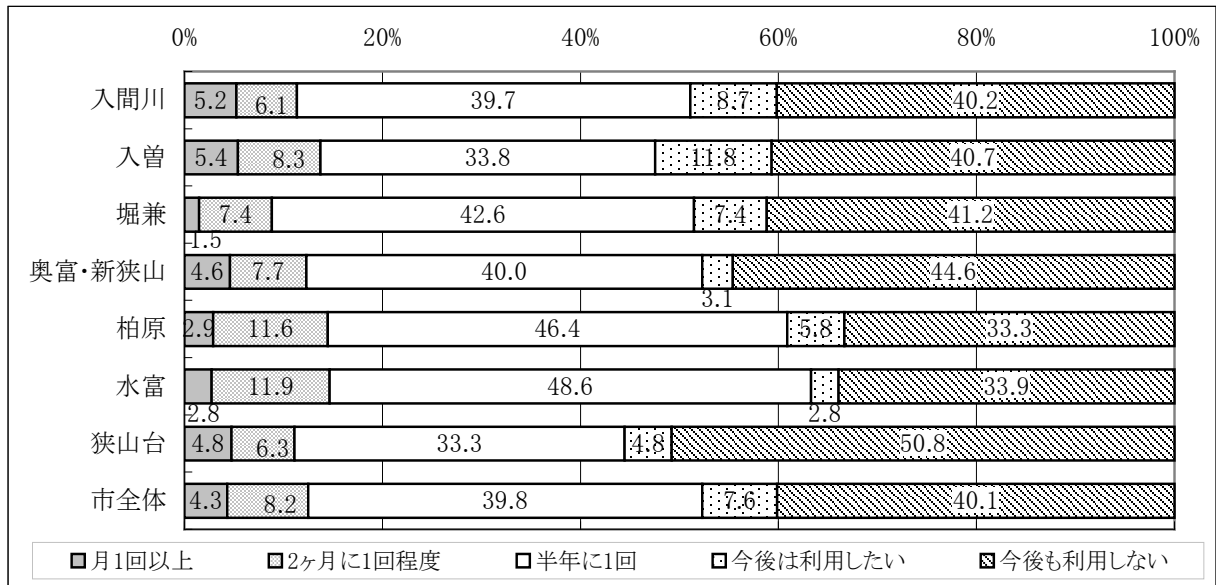
市全体および地区別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況は図表 3-17 のとおりです。

市全体では「月1回以上」が4.3%、「2ヶ月に1回程度」が8.2%、「半年に1回程度」が39.8%で、合計すると52.3%となっています。また、「利用していない」割合は47.7%です。

地区別の利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)では、柏原、水富地区は、60.9%、63.3%と市全体より高く、入間川、堀兼、奥富・新狭山地区は市全体と同じ52%前後であり、入曽、狭山台地区は47.5%、44.4%と低くなっています。

図表 3-17 新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況(市全体・地区別)

(N=807 単位:%)

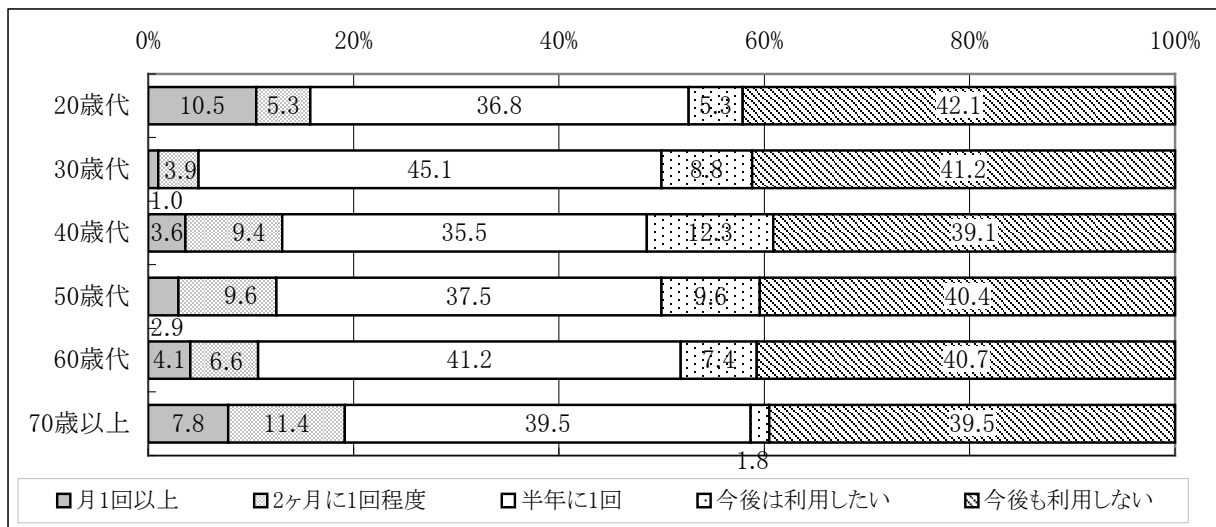


年代別の新聞・雑誌・カタログ販売利用状況は、図表 3-18 のとおりです。

利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で52.6%、30歳代50.0%、40歳代48.5%、50歳代50.0%、60歳代51.9%と、50%前後ですが、70歳以上は58.7%と最も多く利用しています。

図表 3-18 年代別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況

(単位:%)



d) 共同購入(生協等が行う)

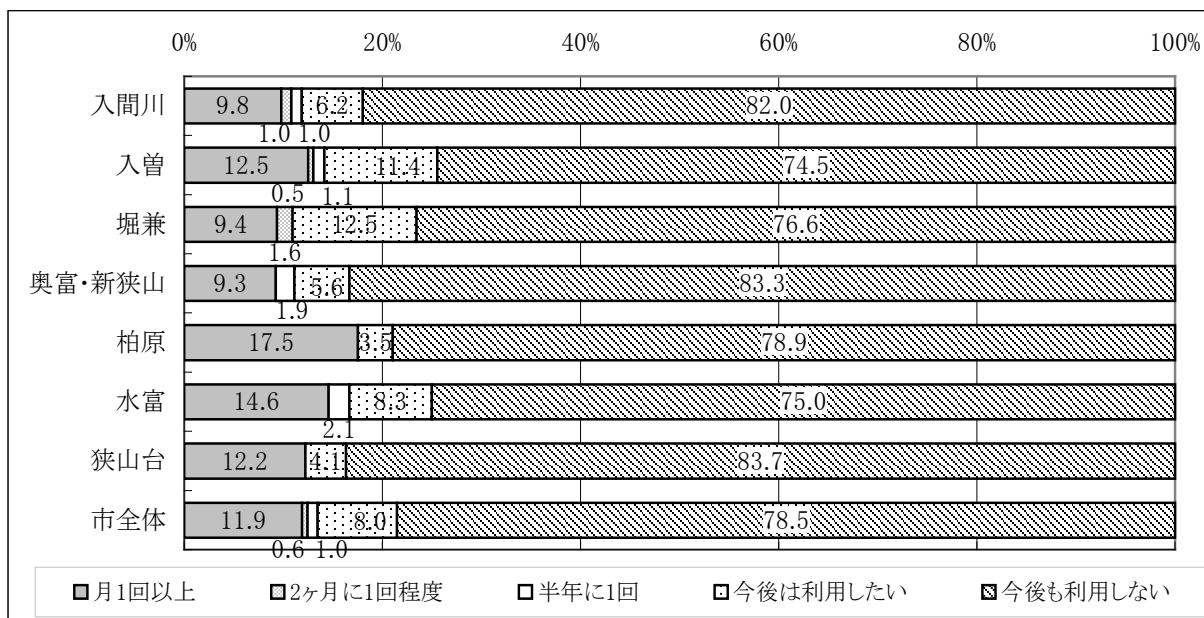
市全体および地区別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-19 のとおりです。

市全体では、「月1回以上」11.9%、「2ヶ月に1回程度」0.6%、「半年に1回程度」1.0で合計しても13.5%と利用率は低く、「利用していない」割合は86.5%と非常に多くなっています。

地区別にみると、柏原地区は「月1回以上」が17.5%と、最も高い利用率となっています。

図表 3-19 生協等が行う共同購入の利用状況(市全体・地区別)

(N=698 単位:%)



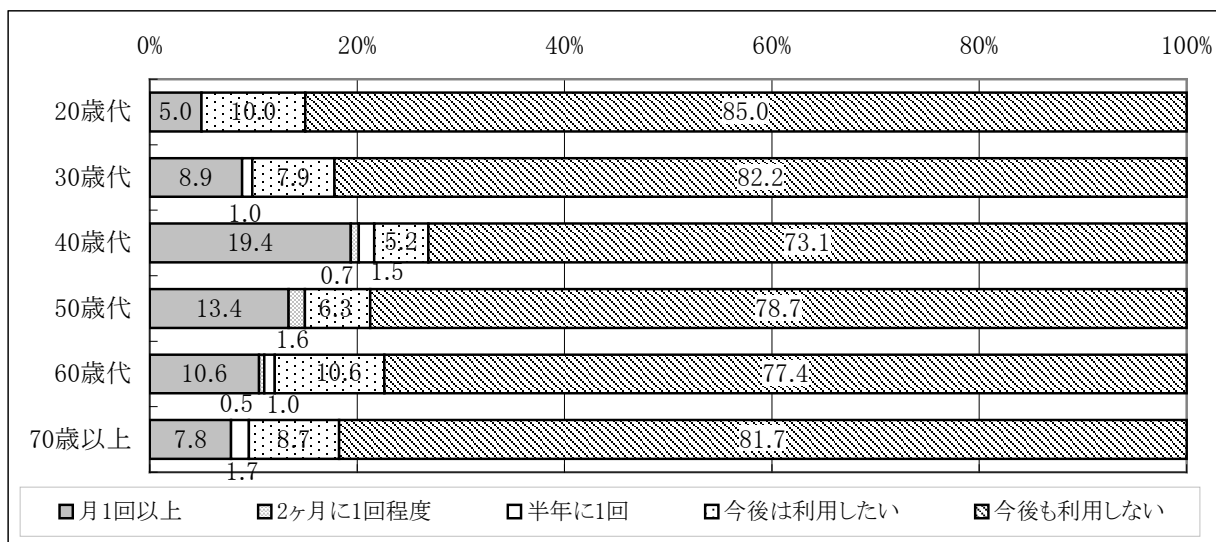
年代別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-20 のとおりです。

利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で5.0%、30歳代9.9%、40歳代21.6%、50歳代15.0%、60歳代12.1%、70歳代以上9.5%です。

買物担当者の有職率が高い40歳代の利用率が最も高くなっています。

図表 3-20 年代別の生協等が行う共同購入の利用状況

(単位:%)

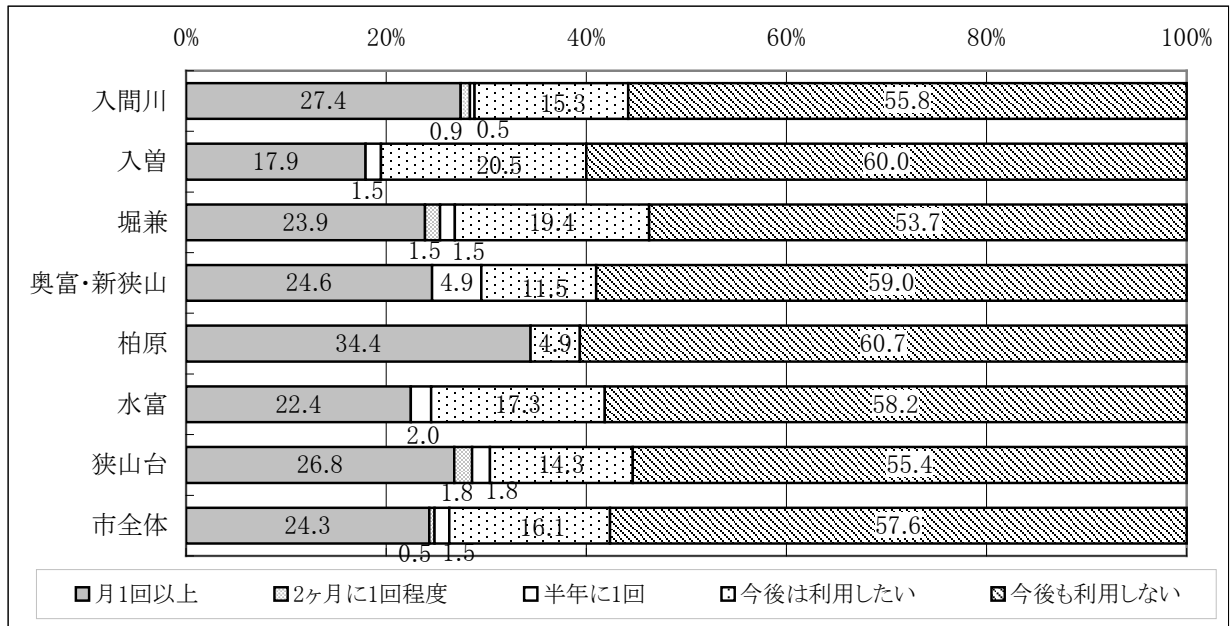


e) 宅配サービス(生協等が行う)

市全体および地区別の生協等が行う宅配サービスの利用状況は、図表 3-21 のとおりです。
 市全体では、「月1回以上」24.3%、「2ヶ月に1回程度」0.5%、「半年に1回程度」1.5%で合計 26.3%であり、前項の共同購入利用率 13.5%より高くなっています。一方、「利用していない」割合は 73.7%です。
 地区別に利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)をみると、柏原地区、狭山台地区の利用率が、34.4%、30.4%と他地区より高くなっています。
 なお、「今後は利用したい」が多い地区は、入曽地区 20.5%、堀兼地区 19.4%です。

図表 3-21 宅配サービス(生協等が行う)の利用状況(市全体・地区別)

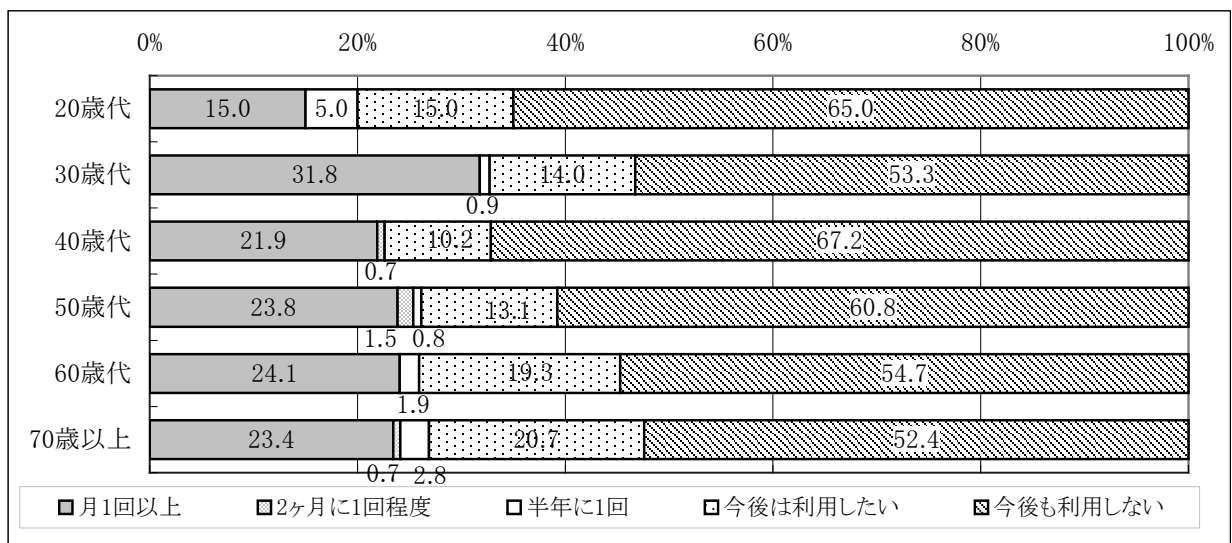
(単位:%)



年代別の生協等が行う宅配サービスの利用状況は、図表 3-22 のとおりです。
 利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で20.0%、30歳代32.7%、40歳代22.6%、50歳代26.1%、60歳代26.0%、70歳代以上26.9%となっており、30歳代が突出して多くなっています。

図表 3-22 年代別の宅配サービス(生協等が行う)利用状況

(単位:%)



f) 通信販売の媒体別利用状況

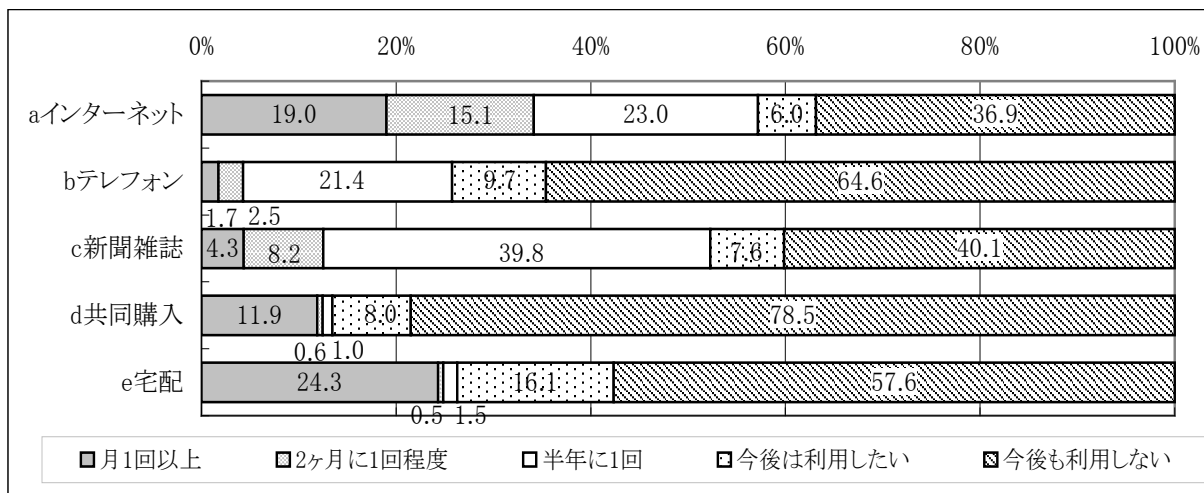
通信販売の媒体別利用頻度をまとめると、図表 3-23 のとおりです。

利用率(「月に1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、インターネットショッピングが 57.1%で最も高く、次いで、新聞・雑誌・カタログ販売 52.3%、宅配サービス 26.3%、テレフォンショッピング 25.6%となっています。

「月に1回以上」の多頻度の利用率は、宅配サービス 24.3%、インターネットショッピング 19.0%、共同購入 11.9%の順で、生活スタイルの変化もあり、生協等の行っている販売方法では、共同購入より宅配サービスの方が高くなっています。

図表 3-23 通信販売の媒体別利用状況

(単位:%)



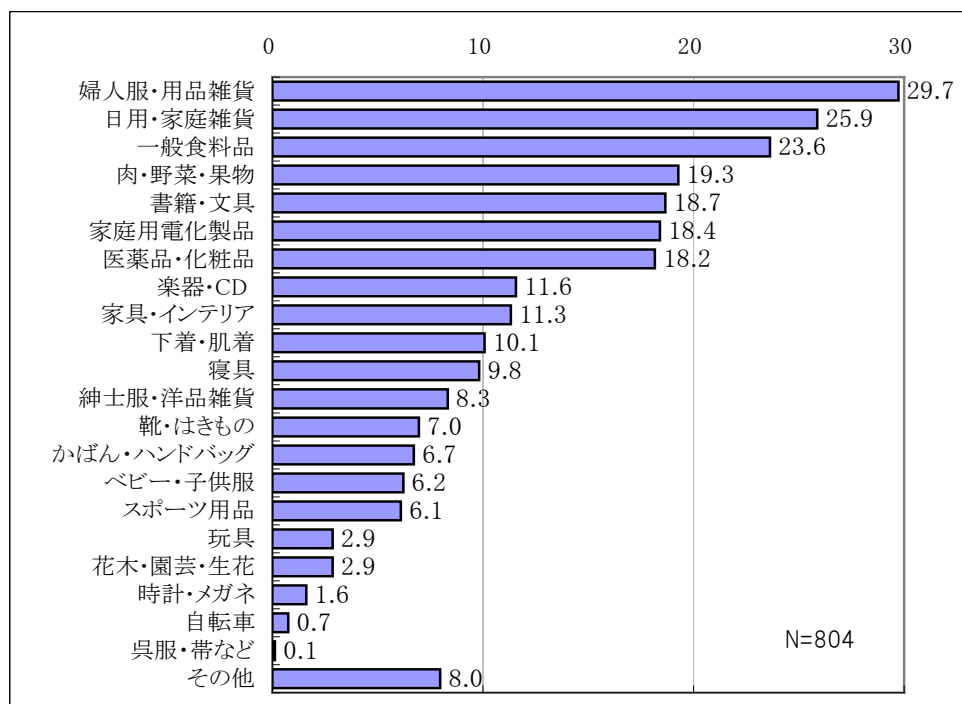
②通信販売で購入する商品

通信販売により購入する商品は、図表 3-24 のとおりです。

市全体では「婦人服・婦人洋品雑貨」が 29.7%と最も多く、次いで「日用・家庭雑貨」が 25.9%、「一般食料品」が 23.6%と続いています。

図表 3-24 通信販売により購入する商品(複数回答)

(単位:%)



地区別にみた通信販売による購入商品の上位3商品は、図表3-25のとおりです。

入間川 ①「日用・家庭雑貨」28.5% ②「婦人服・婦人用品雑貨」25.5% ③「一般食料品」23.0%
 入 曽 ①「婦人服・婦人用品雑貨」27.3%②「日用・家庭雑貨」25.3% ③「一般食料品」24.7%
 堀 兼 ①「一般食料品」31.8% ②「日用・家庭雑貨」30.3% ③「婦人服・婦人用品雑貨」28.8%
 奥富・新狭山①「書籍・文房具」29.3% ②「日用・家庭雑貨」27.6% ③「婦人服・婦人用品雑貨」25.9%
 柏 原 ①「婦人服・婦人用品雑貨」41.4%②「一般食料品」21.4%
 ③「肉・野菜・果物」「医薬品・化粧品」20.0%
 水 富 ①「婦人服・婦人用品雑貨」32.1%②「日用・家庭雑貨」27.5% ③「家庭用電化製品」23.9%
 狭山台 ①「婦人服・婦人用品雑貨」40.6%②「一般食料品」・「家庭用電化製品」28.1%

購入商品で一番多いのは、入曽、柏原、水富、狭山台の4地区では「婦人服・婦人用品雑貨」です。
 また、奥富・新狭山地区では「書籍・文房具」を、柏原地区では「医薬品・化粧品」を、水富、狭山台地区では「家庭用電化製品」を上位にあげていますが、地区内での買物が困難な商品と思われます。

図表3-25 地区別の通信販売により購入する商品(複数回答) (単位:%)

商品区分	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
婦人服・用品雑貨	②25.5	①27.3	③28.8	③25.9	①41.4	①32.1	①40.6	①29.7
日用・家庭雑貨	①28.5	②25.3	②30.3	②27.6	15.7	②27.5	20.3	②25.9
一般食料品	③23.0	③24.7	①31.8	19.0	②21.4	19.3	②28.1	③23.6
肉・野菜・果物	19.7	18.2	18.2	17.2	③20.0	22.0	18.8	19.3
書籍・文具	19.7	22.2	13.6	①29.3	18.6	11.0	12.5	18.7
家庭用電化製品	19.2	15.2	9.1	15.5	18.6	③23.9	②28.1	18.4
医薬品・化粧品	20.9	17.7	16.7	27.6	③20.0	12.8	9.4	18.2
楽器・CD	14.2	12.6	7.6	17.2	10.0	7.3	6.3	11.6
家具・インテリア	9.6	10.1	13.6	10.3	12.9	17.4	7.8	11.3
下着・肌着	10.5	8.6	18.2	6.9	10.0	11.0	6.3	10.1
寝具	8.4	10.6	7.6	13.8	10.0	11.9	7.8	9.8
紳士服・洋品雑貨	5.0	8.6	9.1	12.1	12.9	10.1	7.8	8.3
靴・はきもの	7.5	6.1	6.1	3.4	11.4	7.3	6.3	7.0
かばん・ハンドバッグ	5.4	8.6	6.1	8.6	5.7	5.5	7.8	6.7
ベビー・子供服	6.7	4.0	4.5	10.3	5.7	6.4	9.4	6.2
スポーツ用品	5.9	5.6	6.1	8.6	8.6	6.4	3.1	6.1
玩具	5.0	2.5	0.0	1.7	1.4	2.8	1.6	2.9
花木・園芸・生花	2.5	3.0	6.1	1.7	4.3	2.8	0.0	2.9
時計・メガネ	1.7	2.0	0.0	1.7	4.3	0.9	0.0	1.6
自転車	0.4	0.5	0.0	1.7	0.0	1.8	1.6	0.7
呉服・帯など	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.1
その他	8.8	10.6	4.5	3.4	8.6	6.4	6.3	8.0
回答者数	239	198	66	58	70	109	64	804

年代別の購入商品の上位3品目は、図表3-26のとおりです。

20歳代	①「書籍・文房具」42.1%	②「日用・家庭雑貨」・「家庭用電化製品」31.6%
30歳代	①「婦人服・婦人用品雑貨」36.9%	②「日用・家庭雑貨」35.0% ③「ベビー・子供服」27.2%
40歳代	①「一般食料品」30.5%	②「婦人服・婦人用品雑貨」29.0%
		③「書籍・文房具」27.5%
50歳代	①「婦人服・婦人用品雑貨」・「日用・家庭雑貨」30.4%	③「書籍・文房具」25.2%
60歳代	①「婦人服・婦人用品雑貨」28.9%	②「一般食料品」25.9% ③「日用・家庭雑貨」22.2%
70歳以上	①「婦人服・婦人用品雑貨」28.0%	②「肉・野菜・果物」24.6% ③「一般食料品」23.4%

以上のように、20歳代を除いた各年代で「婦人服・婦人用品雑貨」が上位に入っています。

また、「日用・家庭雑貨」「一般食料品」も、多くの年代で上位に入っています。

20歳代、40歳代～50歳代で、「書籍・文房具」が上位に入っているのが目立ちます。

30歳代の子育て世代では、「ベビー・子供服」が上位に入っています。

購入商品で一番多いのは、30歳代と50歳代～70歳以上で「婦人服・婦人洋品雑貨」であり、20歳代では「書籍・文房具」、40歳代は「一般食料品」となっています。

表3-26 年代別の通信販売により購入する商品(複数回答) (単位:%)

商品区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	市全体
婦人服・用品雑貨	15.8	①36.9	②29.0	①30.4	①28.9	①28.0	①29.7
日用・家庭雑貨	②31.6	②35.0	26.0	①30.4	③22.2	20.6	②25.9
一般食料品	15.8	14.6	①30.5	21.5	②25.9	③23.4	③23.6
肉・野菜・果物	0.0	18.4	20.6	17.8	17.6	②24.6	19.3
書籍・文具	①42.1	22.3	③27.5	③25.2	15.9	6.3	18.7
家庭用電化製品	②31.6	22.3	15.3	21.5	20.1	12.6	18.4
医薬品・化粧品	5.3	6.8	21.4	23.0	18.0	20.0	18.2
楽器・CD	26.3	9.7	23.7	17.8	6.7	4.0	11.6
家具・インテリア	21.1	14.6	13.7	11.9	10.9	6.9	11.3
下着・肌着	5.3	7.8	12.2	12.6	8.8	9.7	10.1
寝具	10.5	2.9	6.9	11.1	11.3	13.1	9.8
紳士服・洋品雑貨	10.5	10.7	6.9	8.9	8.4	7.4	8.3
靴・はきもの	0.0	11.7	4.6	5.9	7.5	6.3	7.0
かばん・ハンドバッグ	0.0	2.9	3.8	11.1	7.9	6.9	6.7
ベビー・子供服	21.1	③27.2	9.9	1.5	0.4	1.1	6.2
スポーツ用品	5.3	4.9	13.7	6.7	4.6	2.9	6.1
玩具	21.1	7.8	6.9	0.0	0.8	0.0	2.9
花木・園芸・生花	0.0	1.0	0.8	3.0	4.2	4.0	2.9
時計・メガネ	5.3	0.0	3.1	1.5	0.8	2.3	1.6
自転車	0.0	1.9	0.8	1.5	0.4	0.0	0.7
呉服・帯など	0.0	1.0	0.0-	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	5.3	4.9	6.9	7.4	10.9	7.4	8.0
回答者数	19	103	131	135	239	175	804

2. 狭山市内の商店街の利用状況と改善課題

(1) 狭山市内の商店街の利用状況

地元商店街の利用状況は、図表 3-27 のとおりです。

市全体の地元商店街の利用状況(「ほとんど毎日」～「週1回」の合計)は、38.8%となっています。

内訳をみると、「ほとんど毎日」と「週に4～5回」の多頻度利用者は、11.2%です。

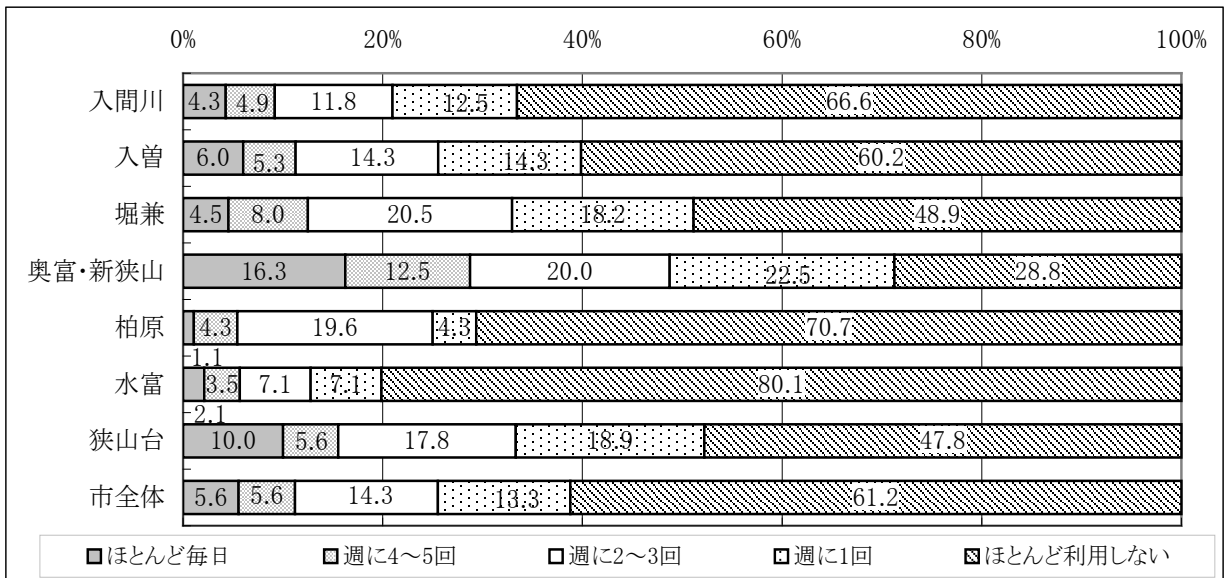
一方、「ほとんど利用しない」は、61.2%と、60%を超えています。

地区別の地元商店街の利用状況(「ほとんど毎日」～「週1回」の合計)は、奥富・新狭山地区の利用率が71.3%と突出して高く、次いで狭山台52.3%、堀兼地区51.2%の順です。

なお、多頻度利用は奥富・新狭山地区の28.8%が最多であり、同地区の「ほとんど利用しない」は28.8%で最少です。

図表 3-27 地区別の地元商店街の利用状況

(単位:%)



年代別の地元商店街の利用状況は、図表 3-28 のとおりです。

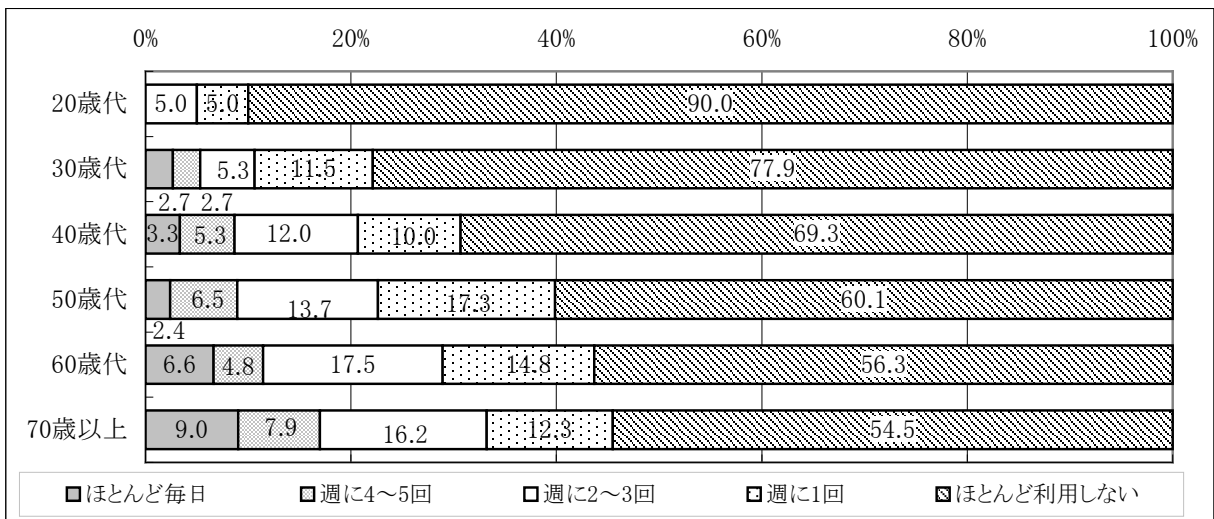
年齢が高くなるにつれて、地元商店街の利用率は高くなっています。

「ほとんど毎日」と「週に4～5回」の多頻度利用者も、年代が高くなるにつれて増加しています。

20歳代では、多頻度利用者は0%で、「ほとんど利用しない」が90%を占めています。

図表 3-28 年代別の地元商店街の利用状況

(単位:%)



(2) 狭山市内の商店街、個人商店を「ほとんど利用しない」理由

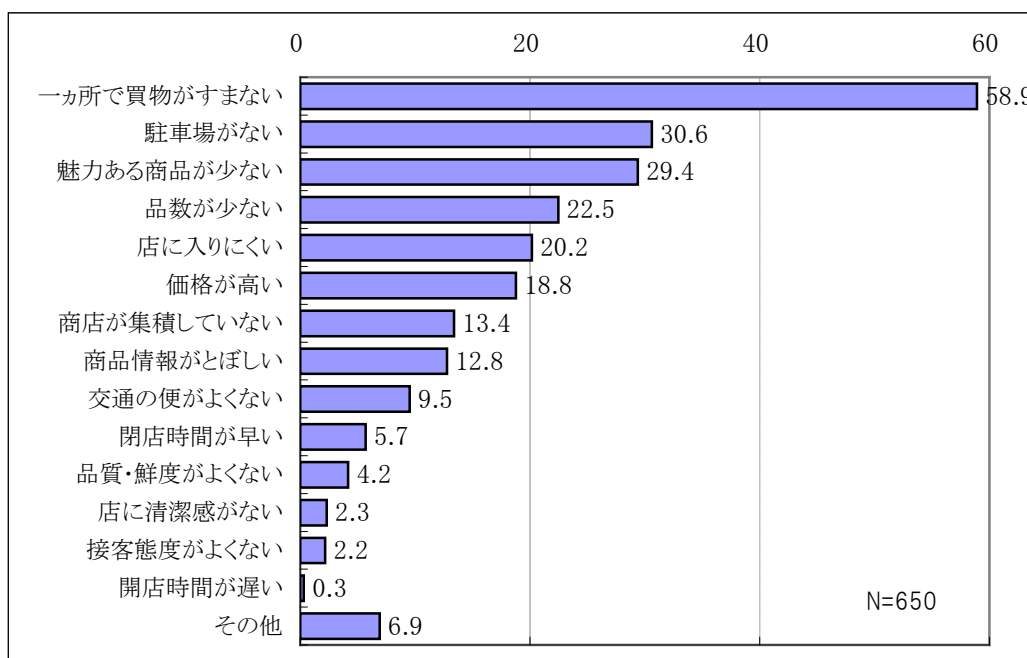
地元商店街をほとんど利用しない理由は、図表 3-29 のとおりです。

最も多かった理由は、「一ヶ所で買物がすまない」であり、58.9%と突出して高くなっています。時短(買物時間の短縮化)という買物行動が取れないことが、最大の難点となっています。

次いで、「駐車場がない」が30.6%、「魅力ある商品が少ない」29.4%、「品数が少ない」22.5%と続いています。

図表 3-29 地元商店街を利用しない理由(複数回答)

(単位:%)



地区別にみた地元商店街を利用しない理由は、図表 3-30 のとおりです。

地元商店街を利用しない理由の一番多い項目は、奥富・新狭山地区では「駐車場がない」ですが、他の地区で「一ヶ所で買物がすまない」となっています。

入間川、入曽、水富の3地区では、2番目、3番目の理由に「魅力ある商品が少ない」「駐車場がない」をあげており、堀兼、狭山台の2地区では、「駐車場がない」を2番目にあげています。

柏原地区では、2番目に「品数が少ない」、3番目に「魅力ある商品が少ない」といった商品に関する理由をあげています。

狭山台地区では、3番目に「品数が少ない」と雰囲気理由とした「店に入りにくい」をあげています。

図表 3-30 地区別の地元商店街を利用しない理由(複数回答)

(単位:%)

利用しない理由	入間川	入曽	堀兼	奥富・新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
一カ所で買物がすまない	①56.2	①55.0	①67.4	②47.8	①66.2	①65.5	①55.8	①58.9
駐車場がない	③30.0	③27.5	②44.2	①69.6	27.7	③28.3	②20.9	②30.6
魅力ある商品が少ない	②30.5	②32.5	14.0	26.1	③32.3	②32.7	16.3	③29.4
品数が少ない	23.6	20.6	14.0	③39.1	②35.4	16.8	③18.6	22.5
店に入りにくい	21.7	15.6	23.3	34.8	18.5	21.2	③18.6	20.2
価格が高い	21.2	17.5	③27.9	17.4	15.4	17.7	11.6	18.8
商店が集積していない	13.3	18.8	9.3	8.7	7.7	11.5	14.0	13.4
商品情報がとぼしい	18.7	8.8	0.0	8.7	16.9	13.3	7.0	12.8
交通の便がよくない	10.3	9.4	9.3	4.3	9.2	12.4	2.3	9.5
閉店時間が早い	6.9	6.3	0.0	8.7	7.7	2.7	7.0	5.7
品質・鮮度がよくない	0.5	3.8	2.3	0.0	10.8	7.1	9.3	4.2
店に清潔感がない	2.0	4.4	2.3	0.0	0.0	1.8	2.3	2.3
接客態度がよくない	3.0	1.9	2.3	8.7	0.0	1.8	0.0	2.2
開店時間が遅い	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
その他	8.4	6.9	7.0	4.3	3.1	8.8	2.3	6.9
回答者数	203	160	43	23	65	113	43	650

年代別の地元商店街を利用しない理由は、図表 3-31 のとおりです。

地元商店街を利用しない理由で一番多いのは、全年代で「一カ所で買物がすまない」です。

自動車の利用率が高い 20 歳代～40 歳代では、「駐車場がない」を 2 番目にあげています。50 歳代以上は、「魅力ある商品が少ない」を 2 番目にあげており、「駐車場がない」と「品数が少ない」は 3 番目となっています。また、3 番目に、20 歳代は「店に入りにくい」と「交通の便がよくない」を、子育て世代の 30～40 歳代は「価格が高い」をあげており、年代によって利用しない理由が分れています。

図表 3-31 年代別の地元商店街を利用しない理由(複数回答)

(単位:%)

利用しない理由	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
一カ所で買物がすまない	①61.1	①47.7	①51.0	①60.4	①64.7	①62.3	①58.9
駐車場がない	②38.9	②30.7	②41.3	③30.7	③28.9	③23.8	②30.6
魅力ある商品が少ない	5.6	21.6	27.9	②32.7	②33.2	②31.1	③29.4
品数が少ない	16.7	13.6	18.3	③30.7	25.1	21.9	22.5
店に入りにくい	③27.8	23.9	26.9	16.8	19.3	15.9	20.2
価格が高い	11.1	③27.3	③29.8	21.8	9.1	17.2	18.8
商店が集積していない	0.0	14.8	11.5	11.9	12.8	17.2	13.4
商品情報がとぼしい	11.1	19.3	15.4	17.8	10.2	7.3	12.8
交通の便がよくない	③27.8	8.0	4.8	9.9	10.7	9.9	9.5
閉店時間が早い	22.2	3.4	10.6	8.9	3.2	2.6	5.7
品質・鮮度がよくない	0.0	5.7	3.8	8.9	3.2	2.0	4.2
店に清潔感がない	0.0	3.4	1.9	1.0	2.7	2.6	2.3
接客態度がよくない	0.0	2.3	1.0	1.0	4.3	1.3	2.2
開店時間が遅い	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.3
その他	5.6	14.8	1.9	6.9	5.3	7.9	6.9
回答者数	18	88	104	101	187	151	650

(3) 狭山市内の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目

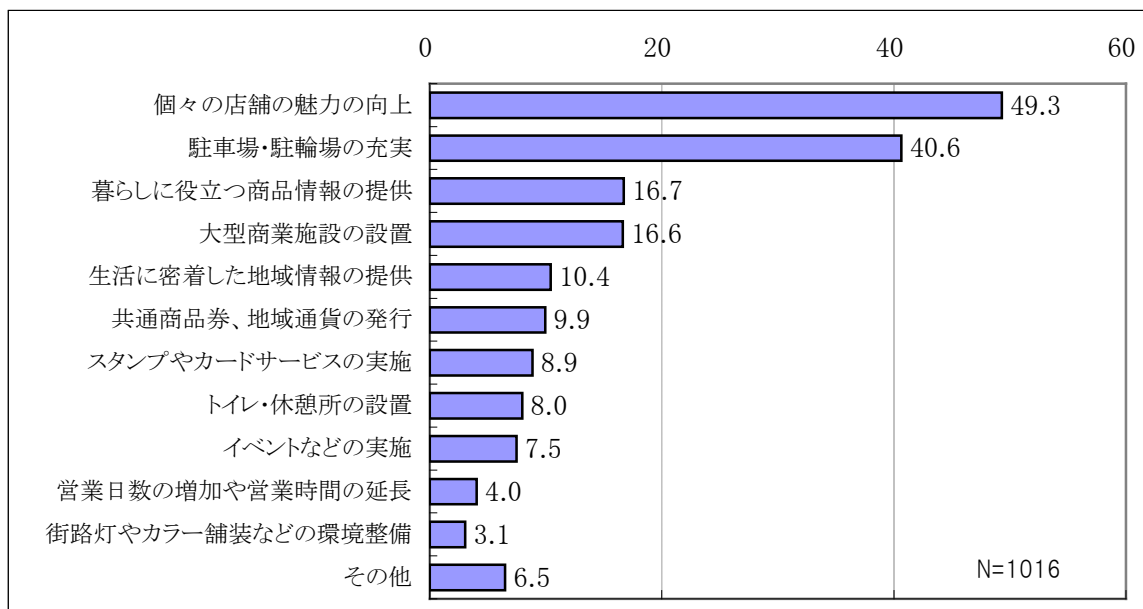
地元商店街を魅力的にするために重要なことについては、図表 3-32 のとおりです。

「個々の店舗の魅力の向上」が 49.3%と最も高くなっています。日常の買物は時短・省力で済ませています、魅力的な店には手間をかけて買物に行く傾向がありそうです。

2 番目に、「駐車場・駐輪場の充実」40.6%をあげており、この 2 項目が重点項目として突出しています。

図表 3-32 狭山市の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目

(単位:%)



地区別の地元商店街を魅力的にするために重要なことについては、図表 3-33 のとおりです。

地区別では、全地区で 1 番に「個別店舗の魅力の向上」、2 番に「駐車場・駐輪場の充実」をあげています。

3 番目は、入間川、入曽の 2 地区で「大型商業施設の設置」を、堀兼、柏原、水富、狭山台の 4 地区は「暮らしに役立つ商品提供」をあげており、奥富・新狭山地区は「スタンプやカードサービスの実施」をあげています。

図表 3-33 地区別の狭山市の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目(複数回答)

(単位:%)

魅力アップの項目	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
個々の店舗の魅力の向上	①51.2	①50.8	①42.4	①48.7	①51.1	①51.5	①40.5	①49.3
駐車場・駐輪場の充実	②40.7	②40.8	②41.2	①48.7	②40.9	②41.2	②31.0	②40.6
暮らしに役立つ商品情報の提供	16.2	14.4	③21.2	10.5	③17.0	③21.3	③19.0	③16.7
大型商業施設の設置	③17.2	③20.4	20.0	10.5	11.4	15.4	13.1	16.6
生活に密着した地域情報の提供	11.4	10.8	9.4	5.3	5.7	11.8	14.3	10.4
共通商品券、地域通貨の発行	8.1	7.6	14.1	14.5	13.6	8.1	14.3	9.9
スタンプやカードサービスの実施	5.1	9.2	5.9	③15.8	12.5	6.6	17.9	8.9
トイレ・休憩所の設置	7.4	9.6	3.5	7.9	8.0	8.1	9.5	8.0
イベントなどの実施	9.4	6.0	8.2	2.6	8.0	10.3	3.6	7.5
営業日数の増加や営業時間の延長	4.4	4.4	3.5	2.6	3.4	3.7	4.8	4.0
街路灯やカラー舗装などの環境整備	3.0	3.6	3.5	3.9	1.1	2.2	3.6	3.1
その他	9.4	4.8	9.4	5.3	3.4	5.1	4.8	6.5
回答者数	297	250	85	76	88	136	84	1,016

年代別の地元商店街を魅力的にするために重要なことの結果は、図表 3-34 となっています。

20 歳代では、「駐車場・駐輪場の充実」を 1 番に、「大型商業施設の設置」を 2 番に、「個々の店舗の魅力の向上」を 3 番目にあげています。

30 歳代以上では、1 番目と 2 番目に「個々の店舗の魅力の向上」・「駐車場・駐輪場の充実」をあげています。3 番目は、40 歳代～50 歳代は「大型商業施設の設置」を、60 歳代以上は「暮らしに役立つ商品情報の提供」をあげていますが、30 歳代では、「共通商品券、地域通貨の発行」と「イベントなどの実施」をあげており、商店街の活性化手法の必要性を示しています。

図表 3-34 年代別の地元商店街を魅力的にするために重点項目(複数回答) (単位:%)

魅力アップの項目	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
個々の店舗の魅力の向上	③20.0	①44.0	②43.9	①49.7	①54.9	①50.2	①49.3
駐車場・駐輪場の充実	①50.0	②42.2	①44.6	②47.3	②41.6	②31.0	②40.6
暮らしに役立つ商品情報の提供	15.0	13.8	9.5	15.2	③18.0	③22.0	③16.7
大型商業施設の設置	②25.0	14.7	③14.2	③17.6	13.9	20.8	16.6
生活に密着した地域情報の提供	5.0	6.4	8.1	7.9	12.3	13.3	10.4
共通商品券、地域通貨の発行	5.0	③15.6	10.8	8.5	7.9	10.6	9.9
スタンプやカードサービスの実施	10.0	10.1	12.2	7.9	8.8	7.1	8.9
トイレ・休憩所の設置	0.0	7.3	4.7	6.7	7.9	11.8	8.0
イベントなどの実施	15.0	③15.6	10.1	5.5	6.0	5.1	7.5
営業日数の増加や営業時間の延長	15.0	2.8	8.1	6.7	1.6	2.7	4.0
街路灯やカラー舗装などの環境整備	5.0	3.7	2.7	2.4	3.2	3.1	3.1
その他	15.0	10.1	8.8	5.5	4.7	5.9	6.5
回答者数	20	109	148	165	317	255	1,016

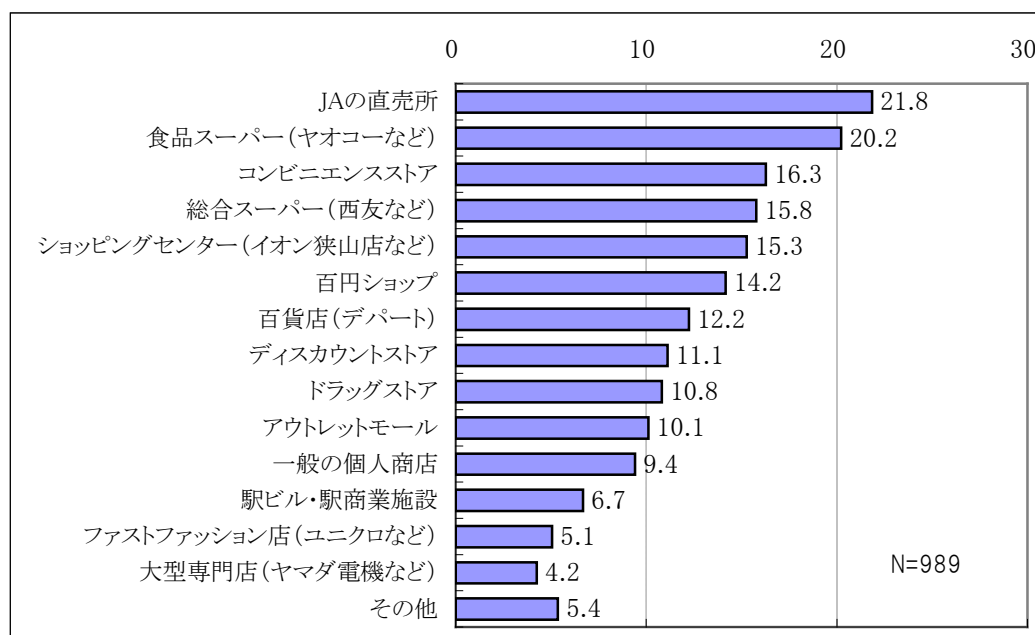
(4) 身近にあれば良いと思う買物施設

身近にあれば良いと思う買物施設は、図表 3-35 のとおりです。

最多施設は「JAの直売所」21.8%であり、次いで「食品スーパー」20.2%、「コンビニエンスストア」16.3%の順となっています。

図表 3-35 身近にあれば良いと思う買物施設(複数回答)

(単位:%)



地区別の希望する買物施設は、図表 3-36 のとおりです。
地区別の上位 3 施設は、次のとおりです。

- 入間川 ①「JA の直売所」22.6% ②「コンビニエンスストア」19.8%
③「ショッピングセンター」「百貨店」16.3%
- 入 曽 ①「総合スーパー」22.0% ②「食品スーパー」18.0% ③「JA の直売所」17.6%
- 堀 兼 ①「食品スーパー」「総合スーパー」27.5% ③「JA の直売所」18.8%
- 奥富・新狭山①「百円ショップ」26.0% ②「総合スーパー」19.2%
③「JA の直売所」・「食品スーパー」・「ディスカウントストア」・「アウトレットモール」15.1%
- 柏 原 ①「食品スーパー」46.6% ②「JA の直売所」26.1%
③「コンビニエンスストア」・「総合スーパー」・「一般の個人商店」13.6%
- 水 富 ①「JA の直売所」32.3% ②「食品スーパー」22.6% ③「ショッピングセンター」15.8%
- 狭山台 ①「JA の直売所」19.5% ②「ショッピングセンター」・「ディスカウントストア」18.2%

以上のように「JA の販売所」は、全地区で上位にあり、「食品スーパー」も入間川、狭山台を除く 5 地区で上位にあります。

そのほか、入間川、奥富・新狭山、柏原、狭山台の各地区の身近に欲しい買物施設には、ばらつきがあります。

図表 3-36 地区別の身近にあれば良いと思う買物施設(複数回答) (単位%)

買物施設の区分	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
JA の直売所	①22.6	③17.6	③18.8	③15.1	②26.1	①32.3	①19.5	①21.8
食品スーパー(ヤオコーなど)	14.2	②18.0	①27.5	③15.1	①46.6	②22.6	13.0	②20.2
コンビニエンスストア	②19.8	16.8	16.3	13.7	③13.6	14.3	10.4	③16.3
総合スーパー(西友など)	9.4	①22.0	①27.5	②19.2	③13.6	12.8	11.7	15.8
ショッピングセンター(イオン狭山店など)	③16.3	14.0	16.3	13.7	12.5	③15.8	②18.2	15.3
百円ショップ	16.0	13.2	17.5	①26.0	6.8	9.0	13.0	14.2
百貨店(デパート)	③16.3	12.0	5.0	11.0	10.2	9.0	14.3	12.2
ディスカウントストア	11.5	10.0	10.0	③15.1	8.0	9.0	②18.2	11.1
ドラッグストア	11.5	13.2	5.0	11.0	11.4	8.3	10.4	10.8
アウトレットモール	12.8	6.8	13.8	③15.1	1.1	9.8	13.0	10.1
一般の個人商店	11.1	8.0	5.0	8.2	③13.6	9.0	9.1	9.4
駅ビル・駅商業施設	4.9	14.0	5.0	9.6	2.3	0.0	5.2	6.7
ファストファッション店(ユニクロなど)	4.9	5.6	2.5	0.0	2.3	9.8	6.5	5.1
大型専門店(ヤマダ電機など)	3.8	5.6	3.8	1.4	1.1	9.0	0.0	4.2
その他	6.9	6.4	1.3	1.4	4.5	5.3	5.2	5.4
回答者数	288	250	80	73	88	133	77	989

年代別に希望する施設は、図表 3-37 のとおりです。
上位 3 施設は、年代別には次のようになっています。

20 歳代	①「百円ショップ」30.0%	②「ショッピングセンター」25.0%	③「JA の直売所」・「アウトレットモール」・「駅ビル・駅商業施設」・「ファストファッション店」20.0%
30 歳代	①「百円ショップ」22.6%	②「ドラッグストア」20.9%	③「JA の直売所」19.1%
40 歳代	①「コンビニエンスストア」24.3%	②「百円ショップ」・「ドラッグストア」20.3%	
50 歳代	①「食品スーパー」22.9%	②「コンビニエンスストア」20.5%	③「JA の直売所」18.7%
60 歳代	①「JA の直売所」28.6%	②「食品スーパー」18.3%	③「総合スーパー」17.9%
70 歳以上	①「食品スーパー」24.6%	②「JA の直売所」20.6%	③「総合スーパー」16.9%

以上のように、市全体で 1 番要望が多いのは「JA の直売所」、次いで「食品スーパー」ですが、これらの施設の要望が高いのは 50 歳代以上の年代です。

一方、若い世代の 20 歳代～40 歳代では、「百円ショップ」を 1～2 番目にあげています。

また、30 歳代、40 歳代では、「ドラッグストア」が 2 番目に入っています。

なお、20 歳代では、要望する施設にばらつきがみられます。

図表 3-37 年代別の身近にあればよいと思う買物施設(複数回答) (単位:%)

買物施設の区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
JA の直売所	③20.0	③19.1	16.2	③18.7	①28.6	②20.6	①21.8
食品スーパー(ヤオコーなど)	10.0	15.7	18.9	①22.9	②18.3	①24.6	②20.2
コンビニエンスストア	10.0	13.0	①24.3	②20.5	15.2	12.1	③16.3
総合スーパー(西友など)	5.0	14.8	11.5	15.7	③17.9	③16.9	15.8
ショッピングセンター(イオン狭山店など)	②25.0	16.5	17.6	15.7	13.1	14.5	15.3
百円ショップ	①30.0	①22.6	②20.3	15.7	7.6	12.1	14.2
百貨店(デパート)	5.0	5.2	8.1	12.0	14.5	16.1	12.2
ディスカウントストア	10.0	16.5	11.5	12.7	10.7	8.1	11.1
ドラッグストア	5.0	②20.9	②20.3	10.8	6.9	5.6	10.8
アウトレットモール	③20.0	11.3	10.1	14.5	8.6	7.7	10.1
一般の個人商店	0.0	8.7	8.1	6.0	10.7	12.1	9.4
駅ビル・駅商業施設	③20.0	7.0	4.1	6.0	7.9	5.6	6.7
ファストファッション店(ユニクロなど)	③20.0	2.6	8.8	3.0	3.8	6.0	5.1
大型専門店(ヤマダ電機など)	5.0	12.2	3.4	5.4	6.2	4.0	4.2
その他	5.0	1.7	1.4	1.8	4.5	6.5	5.4
回答者数	20	115	148	166	290	248	989

(5) コンビニエンスストアの利用状況

① 利用頻度

コンビニエンスストアの利用頻度は、図表 3-38 のとおりです。

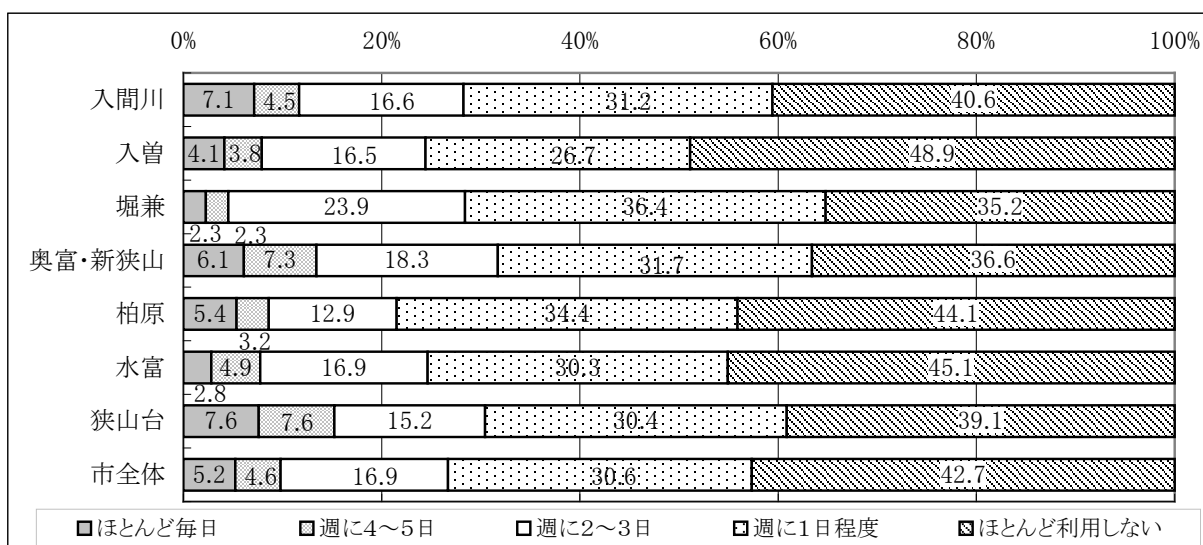
市全体では、週1回以上の利用(「ほとんど毎日」～「週に1日程度」の計)は 57.3%であり、「ほとんど利用しない」は 42.7%です。

「週1回以上の利用」の内訳は、「週に1回」が 30.6%、「週に2～3日」が 16.9%であり、「ほとんど毎日」+「週に4～5回」の高頻度利用は 9.8%と約 1割となっています。

地区別に週1回以上の利用(「ほとんど毎日」～「週に1日程度」の計)状況の多い順をみると、堀兼地区 64.9%、奥富・新狭山地区 63.4%、狭山台 60.8%、入間川 59.4%と続いています。また、高頻度利用(「ほとんど毎日」+「週に4～5回」)は、狭山台地区が 15.2%と最も多く、次いで奥富・新狭山地区が 13.4%、入間川地区が 11.6%の順です。「ほとんど利用しない」が最も多いのは入曽地区で 48.9%です。

図表 3-38 コンビニエンスストアの利用頻度(市全体・地区別)

(単位:%)



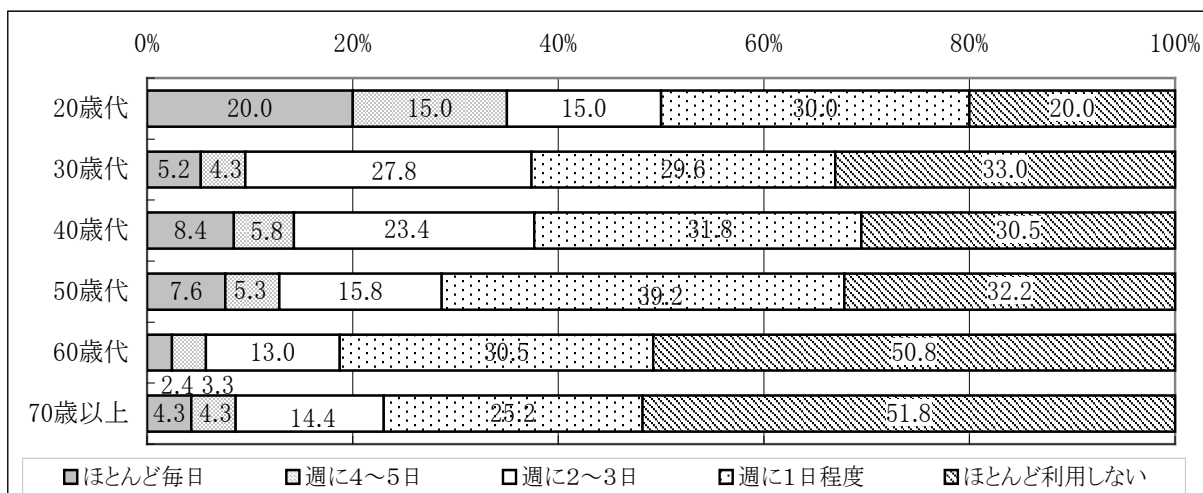
年代別のコンビニエンスストアの利用頻度は、図表 3-39 のとおりです。

「週に1日程度」以上の利用状況は、20歳代 80.0%、30歳代～50歳代ほぼ 70.0%、60歳代と70歳代はほぼ 50%となっており、利用頻度が高いのは若い年代です。

また、高頻度利用(「ほとんど毎日」+「週に4～5回」)は、20歳代が 35.0%と最も高く、次いで40歳代 14.2%、50歳代 12.9%と続いています。

図表 3-39 年代別のコンビニエンスストア利用頻度

(単位:%)



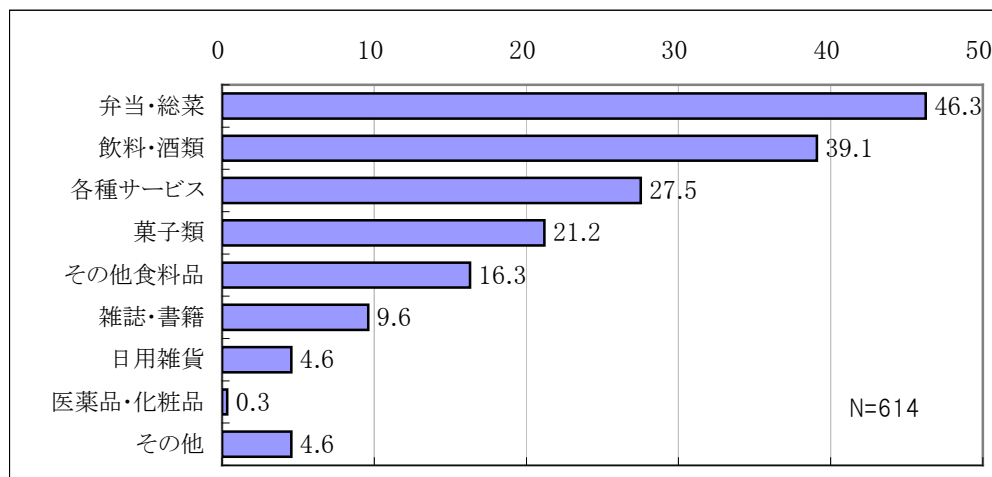
②コンビニエンスストアでの購入商品

コンビニエンスストアで購入する商品は、図表 3-40 のとおりです。

市全体では、「弁当・総菜」が 46.3%と最も多く、次いで「飲料・酒類」39.1%、「各種サービス」27.5%、「菓子類」21.2%と続いています。

図表 3-40 コンビニエンスストアでの購入商品(市全体)

(単位:%)



地区別のコンビニエンスストアでの購入商品は、図表 3-41 のとおりです。

上位 3 商品の市全体と地区別の購入商品は、次のようになっています。

入間川	①「弁当・総菜」45.4%	②「飲料・酒類」44.8%	③「各種サービス」25.7%
入 曽	①「弁当・総菜」45.4%	②「飲料・酒類」44.8%	③「各種サービス」25.7%
堀 兼	①「弁当・総菜」49.1%	②「飲料・酒類」33.3%	③「各種サービス」29.8%
奥富・新狭山	①「弁当・総菜」44.2%	②「飲料・酒類」38.5%	③「各種サービス」28.8%
柏 原	①「弁当・総菜」・「飲料・酒類」46.2%		③「各種サービス」・「菓子類」19.2%
水 富	①「弁当・総菜」41.0%	②「各種サービス」34.6%	③「飲料・酒類」30.8%
狭山台	①「弁当・総菜」57.1%	②「飲料・酒類」41.1%	③「各種サービス」28.6%

上記のように、各地区とも「弁当・総菜」「飲料・酒類」「各種サービス」が上位を占めています。

図表 3-41 地区別コンビニエンスストアでの購入商品

(単位:%)

商品区分	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏 原	水 富	狭山台	市全体
弁当・総菜	①45.4	①45.6	①49.1	①44.2	①46.2	①41.0	①57.1	①46.3
飲料・酒類	②44.8	②35.3	②33.3	②38.5	①46.2	③30.8	②41.1	②39.1
各種サービス	③25.7	③27.2	③29.8	③28.8	③19.2	②34.6	③28.6	③27.5
菓子類	23.0	19.1	21.1	15.4	③19.2	28.2	17.9	21.2
その他食料品	15.3	18.4	22.8	21.2	9.6	20.5	3.6	16.3
雑誌・書籍	9.3	15.4	7.0	5.8	7.7	6.4	8.9	9.6
日用雑貨	4.4	5.1	5.3	3.8	1.9	5.1	5.4	4.6
医薬品・化粧品	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.3
その他	3.3	5.9	5.3	3.8	5.8	5.1	3.6	4.6
回答者数	183	136	57	52	52	78	56	614

年代別のコンビニエンスストアでの購入商品の上位3商品は、図表3-42のとおりです。

20歳代	①「飲料・酒類」80.0%	②「弁当・総菜」60.0%	③「菓子類」33.3%
30歳代	①「飲料・酒類」52.6%	②「弁当・総菜」42.3%	③「菓子類」34.6%
40歳代	①「弁当・総菜」57.0%	②「飲料・酒類」44.9%	③「各種サービス」26.2%
50歳代	①「弁当・総菜」52.6%	②「飲料・酒類」44.0%	③「各種サービス」27.6%
60歳代	①「弁当・総菜」40.5%	②「飲料・酒類」35.6%	③「各種サービス」30.7%
70歳以上	①「弁当・総菜」40.3%	②「各種サービス」27.6%	③「その他食料品」26.1%

上記のように、購入商品の上位3商品によって、20歳代と30歳代、40歳代～60歳代、70歳代という3つのグループに分けられます。

図表3-42 年代別のコンビニエンスストアでの購入商品 (単位:%)

商品区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	市全体
弁当・総菜	②60.0	②42.3	①57.0	①52.6	①40.5	①40.3	①46.3
飲料・酒類	①80.0	①52.6	②44.9	②44.0	②35.6	22.4	②39.1
各種サービス	20.0	24.4	③26.2	③27.6	③30.7	②27.6	③27.5
菓子類	③33.3	③34.6	21.5	24.1	16.0	14.9	21.0
その他食料品	0.0	9.0	11.2	15.5	16.6	③26.1	16.3
雑誌・書籍	13.3	5.1	15.9	6.0	11.0	8.2	9.6
日用雑貨	0.0	1.3	0.0	0.9	3.7	14.9	4.6
医薬品・化粧品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	0.3
その他	6.7	6.4	4.7	0.9	4.9	6.0	4.6
回答者数	15	78	107	116	163	134	614

3. 狭山市駅前周辺の再開発地域について

(1) 狭山市駅周辺の再開発地域施設の利用状況

a) Emio狭山市(狭山市駅併設の商業施設)

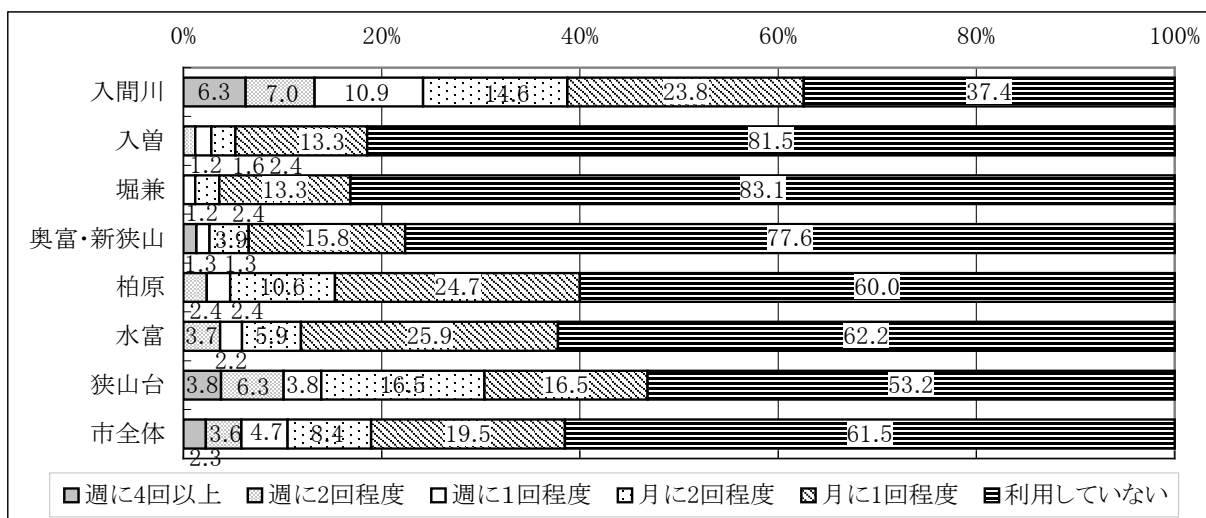
市全体のEmio狭山市の利用頻度は、図表 3-43 のとおりです。

市全体の利用状況をみると、利用者で多いのは「月に1回程度」で19.5%です。「週に4日以上」+「週に2回程度」の高頻度利用は5.9%となっています。一方、「利用していない」は61.5%と最多となっています。

地区別にみると、「週に4日以上」+「週に2回程度」の高頻度利用は、入間川地区が13.3%、次いで狭山台地区が10.1%となっています。「月に1回程度」までを含む利用者は、入間川地区が最も多く62.6%であり、狭山台地区46.9%、柏原地区40.1%、水富地区37.7%の順となっています。「ほとんど利用しない」は、堀兼地区が83.1%、入曽地区81.5%であり、利用率は非常に低い状況です。

図表 3-43 Emio 狭山市の利用頻度(市全体・地区別)

(単位:%)



年代別のEmio狭山市の利用頻度は、図表 3-44 のとおりです。

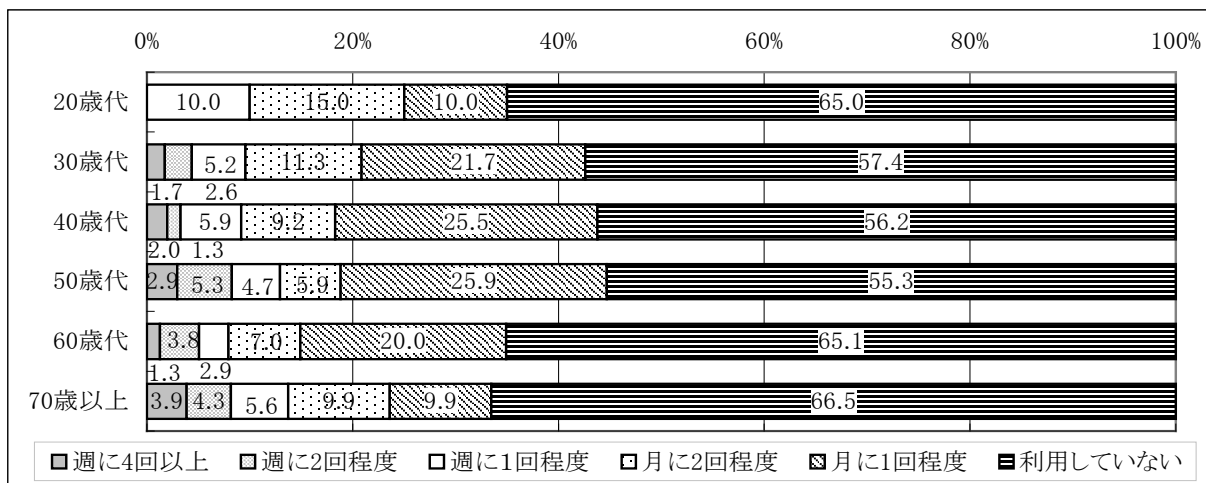
20歳代、60歳代、70歳代では、「利用していない」がほぼ65%と多くなっています。

30～50歳代では「利用していない」が56%前後ですが、「月に1回程度」は20%を超えています。

50歳代と70歳以上は、高頻度利用(「ほとんど毎日」+「週に2回程度」)が8%程度と他の年代よりも多くなっています。

図表 3-44 年代別の Emio 狭山市の利用頻度

(単位:%)



b) スカイテラス(商業棟)

市全体のスカイテラスの利用頻度は、図表 3-45 のとおりです。

市全体の利用状況をみると、「週1回程度」以上の利用者は、23.3%であり、その内訳は、「月に1回程度」が15.2%、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)は2.2%となっています。一方、「利用していない」は76.7%と、最多となっています。

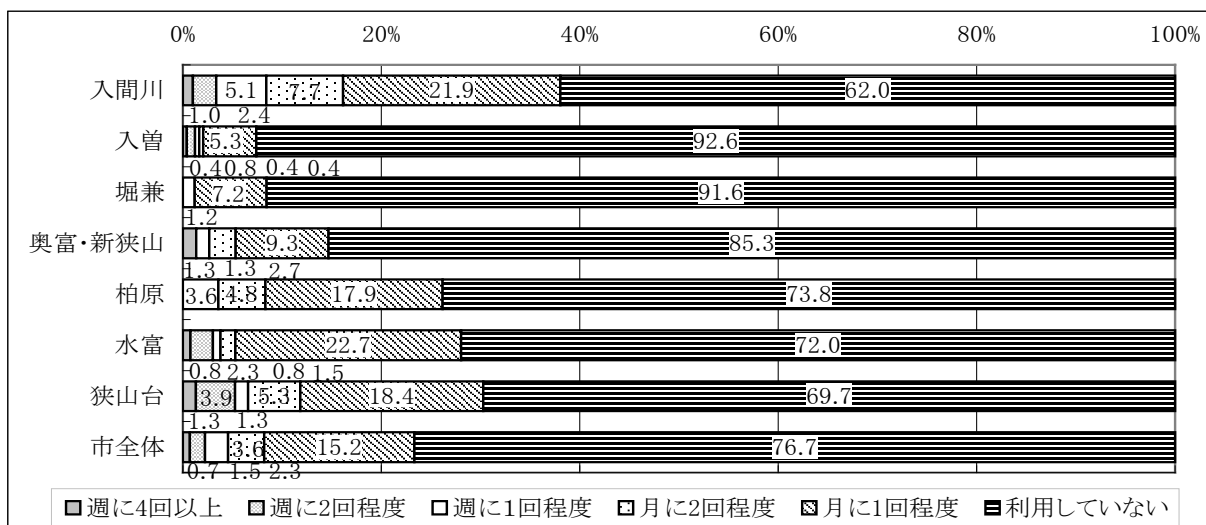
地区別では、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)が多いのは、狭山台地区の5.2%です。

「月に1回程度」までを含む利用者が多いのは、入間川地区が38.0%で最も多く、狭山台地区30.3%、水富地区28.0%、柏原地区26.2%の順となっています。

また、入曽と堀兼の2地区の利用率は7.4%、8.4%といずれも低く、逆に「利用していない」が92.6%、91.6%と他地区よりもかなり高くなっています。

図表 3-45 スカイテラスの利用頻度(市全体・地区別)

(単位:%)



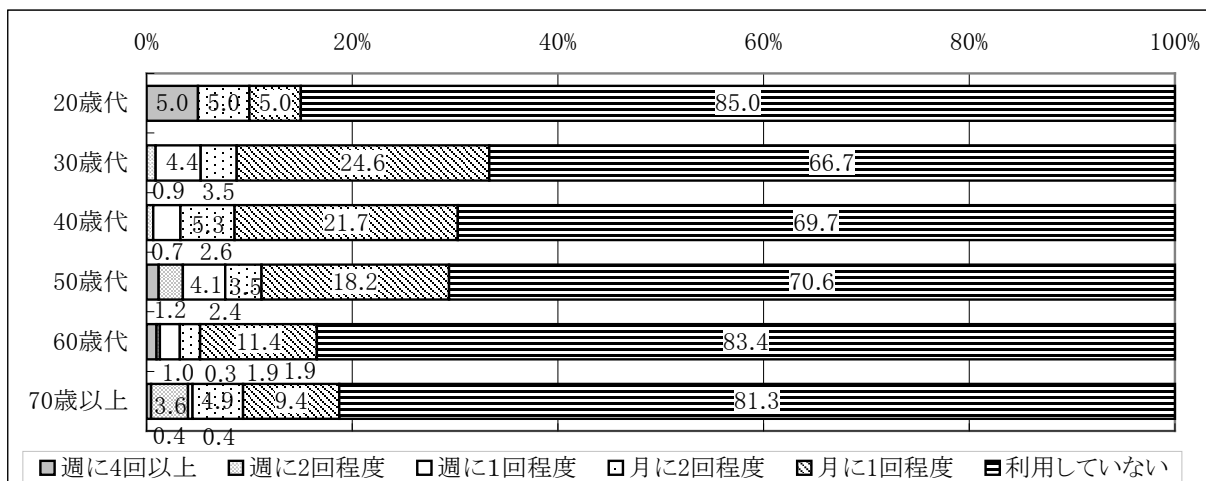
年代別のスカイテラスの利用頻度は、図表 3-46 のとおりです。

30～50 歳代の「月に1回程度」以上の利用率は、29.4%～33.3%となっています。

一方、20 歳代、60 歳代、70 歳代以上での「月に1回程度」以上の利用率は18.2～24.6%と低くなっており、「利用していない」が、81.3～85.0%と非常に多くなっています。ただし、20 歳代で、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)が5%と最多となっているのが注目されます。

図表 3-46 年代別のスカイテラスの利用頻度

(単位:%)



c) 市民交流センター・(中央)公民館

市全体の市民交流センター・(中央)公民館の利用頻度は、図表 3-47 のとおりです。

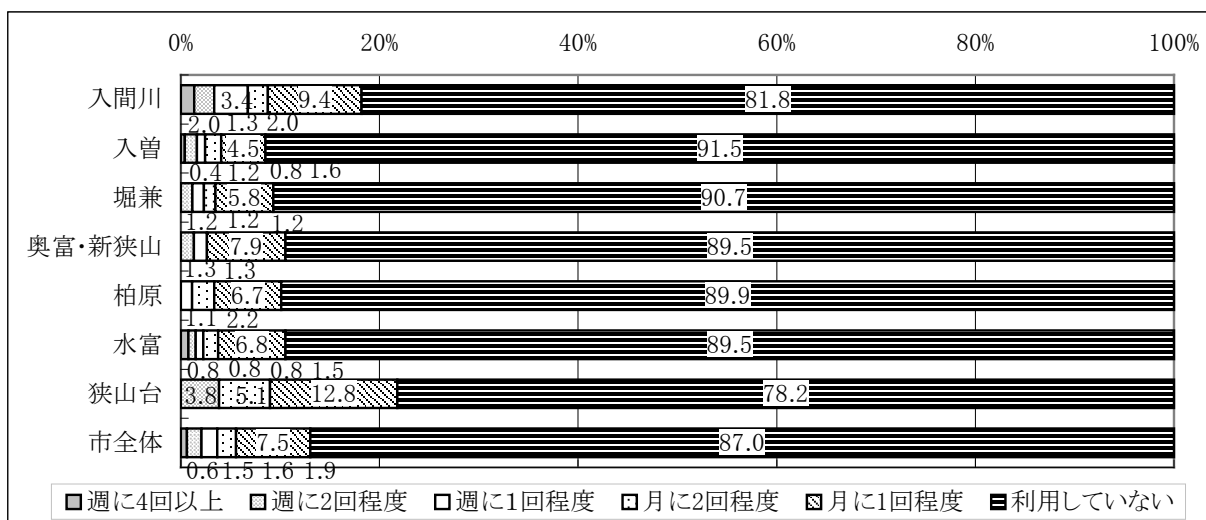
市全体の利用状況は、「月に1回程度」が7.5%、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)は、2.1%と非常に少なくなっています。一方、「利用していない」は87.0%です。

地区別にみると、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)は、狭山台地区に多く3.8%です。

「月に1回程度」までを含む利用者は、狭山台地区21.8%と最も多く、入間川地区が18.2%と続いています。入曽地区、堀兼地区は「利用していない」が91.5%、90.7%と90%を超えており、利用率は他地区より低くなっています。

図表 3-47 市民交流センター・(中央)公民館の利用頻度(市全体・地区別)

(単位:%)



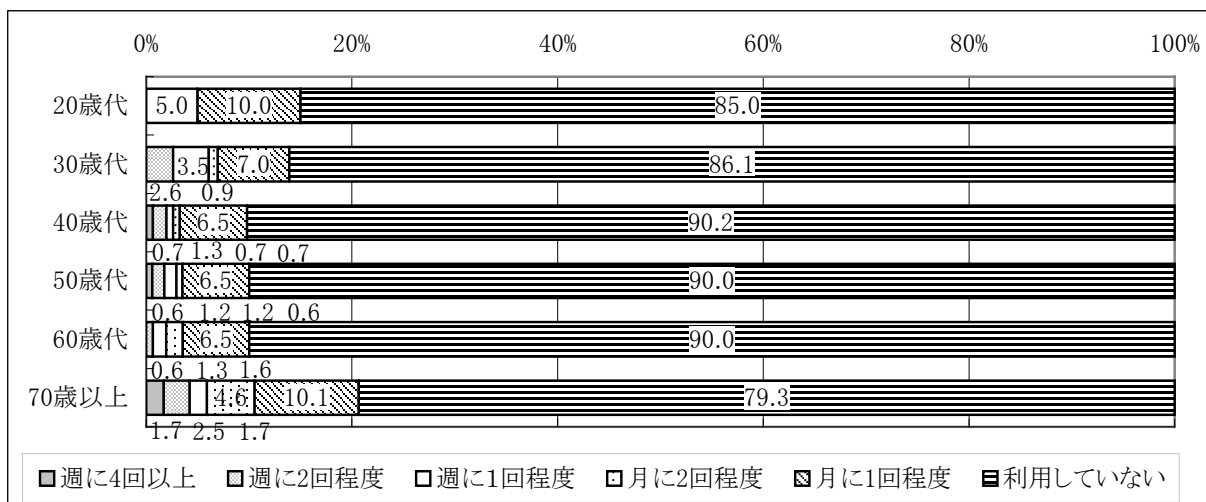
年代別の市民交流センター・(中央)公民館の利用頻度は、図表 3-48 のとおりです。

20歳代と70歳以上では、「月に1回程度」が10.0%、10.1%みられ、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)は、70歳以上で4.2%と多くなっています。

40~60歳代では、「利用していない」が20歳代、30歳代、70歳以上より多く、ほぼ90%となっています。

図表 3-48 年代別の市民交流センター・(中央)公民館の利用頻度

(単位:%)



d) 産業労働センター

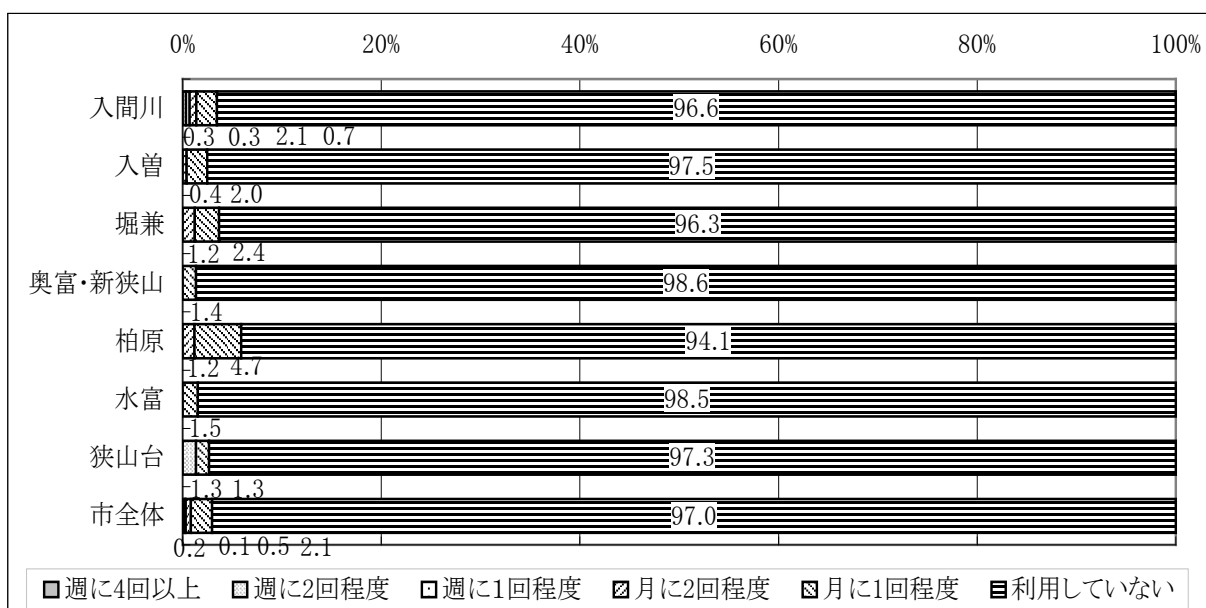
市全体の産業労働センターの利用頻度は、図表 3-49 のとおりです。

市全体の利用状況は、「月に1回程度」が2.1%であり、「週に4日以上」はおらず、「週に2回程度」の利用が0.2%と合計の利用率は3.0%と非常に低くなっています。また、「利用していない」が97.0%と最多となっています。

地区別にみても、市全体と同じ傾向となっています。

図表 3-49 産業労働センターの利用頻度(市全体・地区別)

(単位:%)



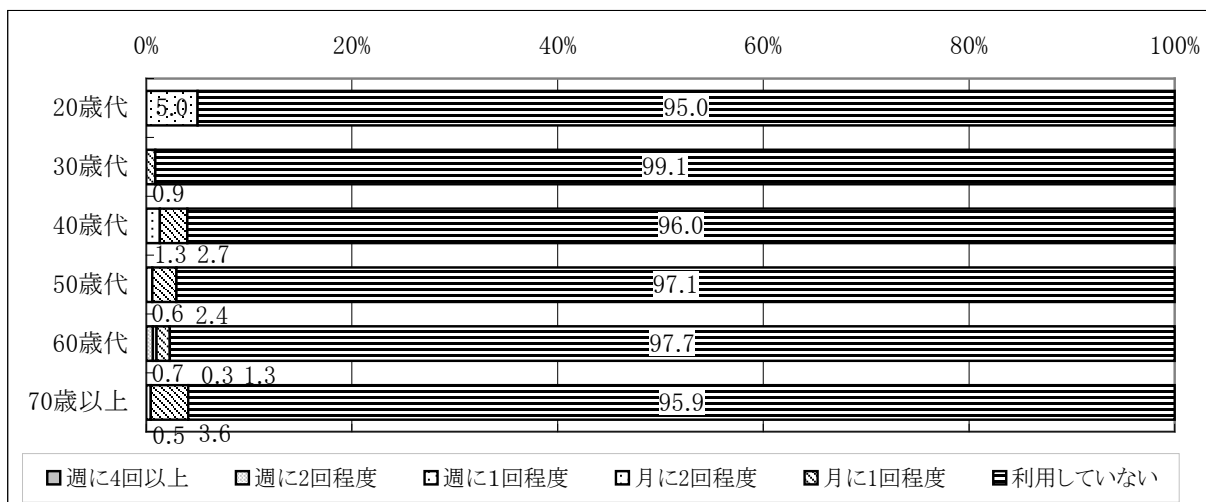
年代別の産業労働センターの利用頻度は、図表 3-50 のとおりです。

全年代において、「利用していない」が95.0%を超えています。

ただし、20歳代で「月に2回程度」が5%となっているのは注目されます。

図表 3-50 年代別の産業労働センターの利用頻度

(単位:%)



e) 共同駐車場

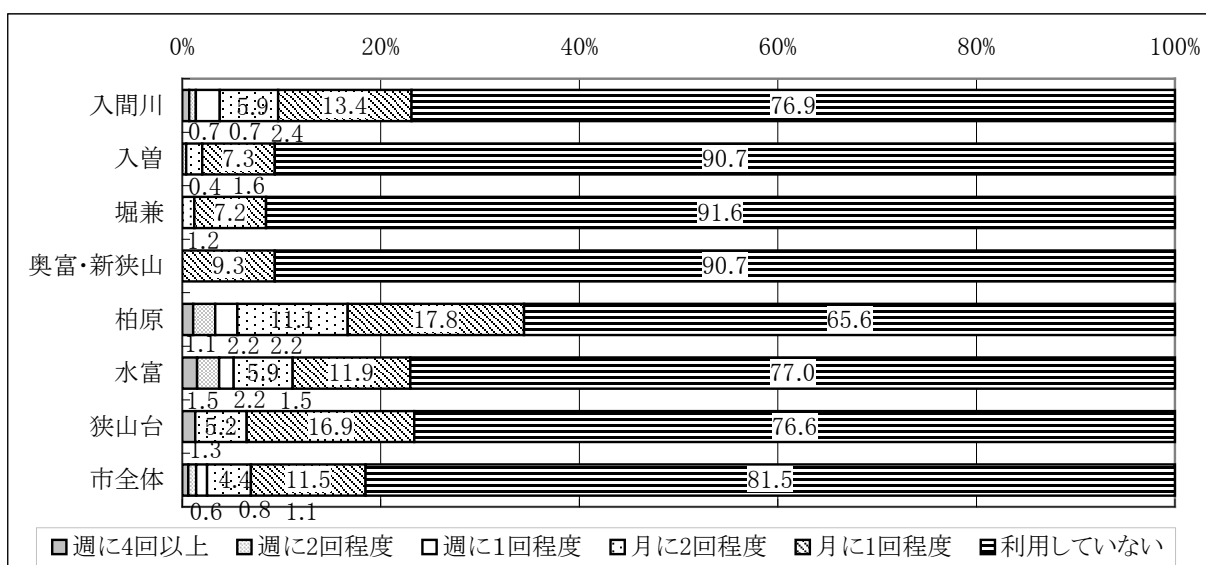
市全体の共同駐車場の利用頻度は、図表 3-51 のとおりです。

市全体では、「月に1回程度」が 11.5%であり、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)は 1.4%と非常に少なくなっています。一方で、「利用していない」は 81.5%と最多となっています。

地区別にみると、高頻度利用(「週に4日以上」+「週に2回程度」)が多いのは、水富地区の 3.7%となっています。「月に1回程度」までを含む利用者は、柏原地区が 34.4%で最も多く、次いで狭山台地区 23.4%となっています。

「利用していない」が多いのは、堀兼地区の 91.6%と入曽地区、奥富・新狭山地区の 90.7%で、これら3地区の利用率は非常に低くなっています。

図表 3-51 共同駐車場の利用頻度(市全体・地区別) (単位:%)

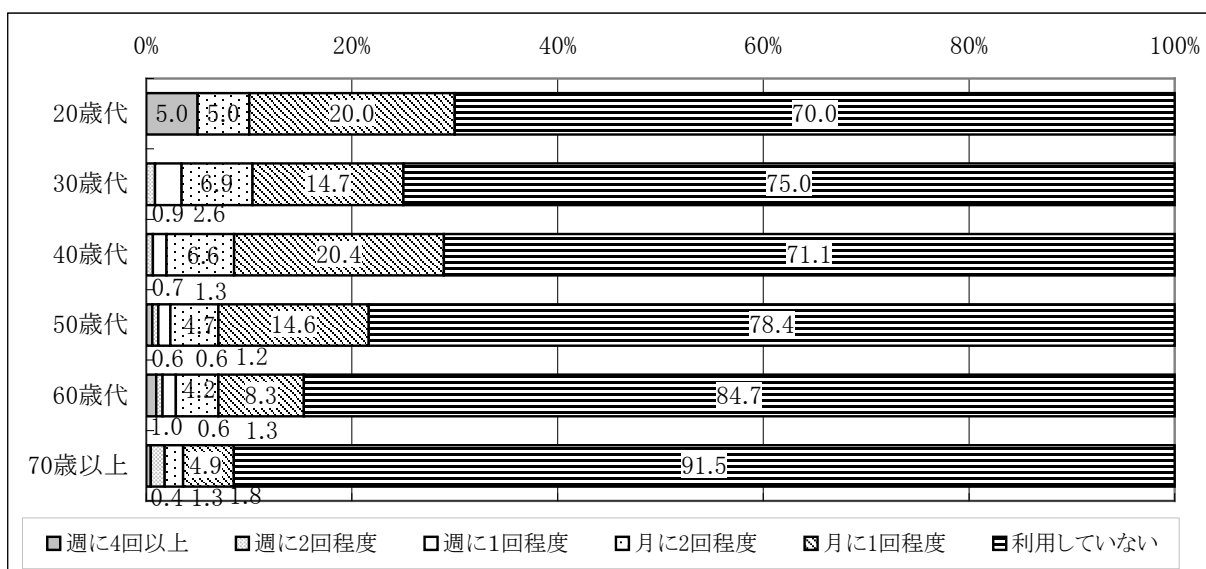


年代別の共同駐車場の利用頻度は、図表 3-52 のとおりです。

年代が高くなるにつれて、「利用していない」が多くなる傾向があります。

各年代で、「月に1回程度」が2番目に多くなっています。

図表 3-52 年代別の市民交流センター・公民館の利用頻度 (単位:%)



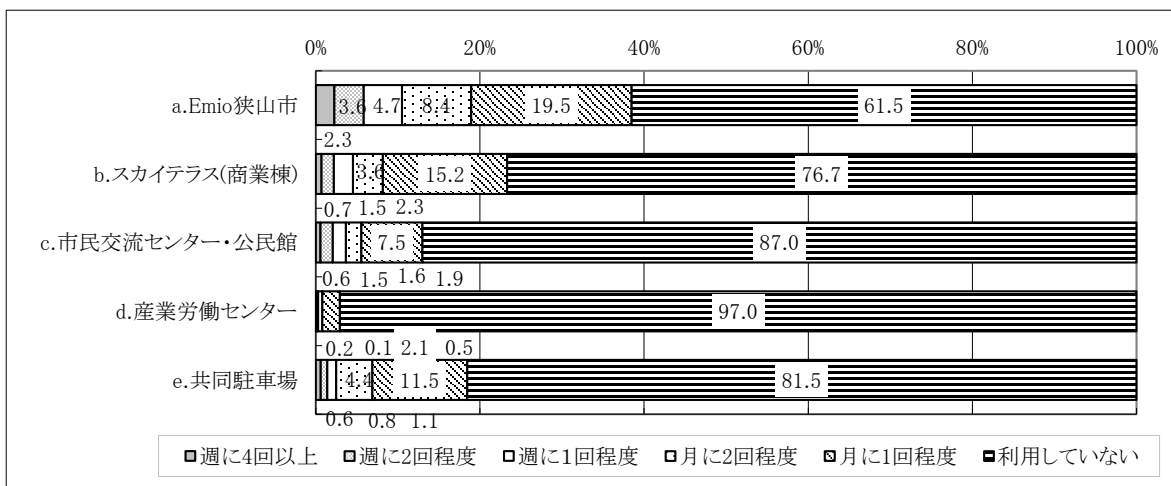
f) 狭山市駅周辺の再開発地域の施設の利用状況

再開発地域の施設の市全体の利用頻度をまとめると、図表 3-53 のとおりです。

利用率(「週に4回以上」～「月に1回以上」の合計)は、Emio 狭山市が 38.5%で最も高く、次いでスカイテラス(商業棟)23.3%、共同駐車場 18.5%、市民交流センター・(中央)公民館 13.0%、産業労働センター3.0%の順となっています。

「週に4回以上」+「週に2回程度」の多頻度の利用率は、Emio 狭山市の 5.9%が最多となっています。

図表 3-53 再開発地域の施設の利用状況 (単位:%)

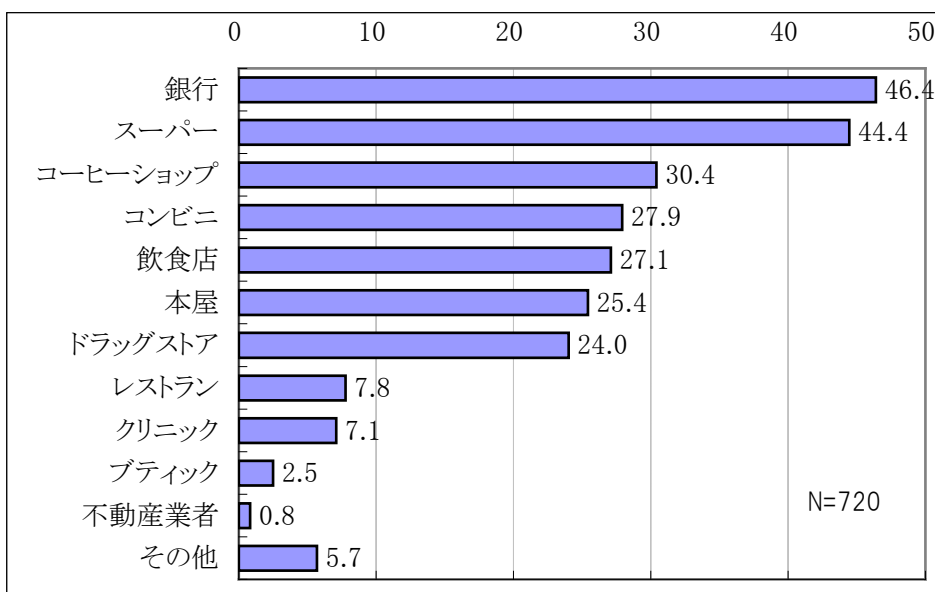


(2) 狭山市駅前再開発地域内で利用する店舗・施設等

再開発地域の中で利用する店舗や施設等は、図表 3-54 のとおりです。

市全体の利用率は、「銀行」が 46.4%、「スーパー」が 44.4%と他を引き離して多く、次いで「コーヒーショップ」30.4%、「コンビニ」27.9%、「飲食店」27.1%、「本屋」25.4%、「ドラッグストア」24.0%の順となっています。

図表 3-54 再開発地域のお店の利用状況 (N=720 単位:%)



地区別の再開発地域の施設・店舗等の利用状況は、図表 3-55 のとおりです。
地区別の上位 3 番目までの施設・店舗等は、次のようになっています。

入間川	①「スーパー」56.2%	②「銀行」49.8%	③「コンビニ」37.4%
入 曽	①「銀行」50.8%	②「スーパー」34.2%	③「コーヒーショップ」30.8%
堀 兼	①「飲食店」31.8%	②「銀行」29.5%	③「スーパー」27.3%
奥富・新狭山	①「コーヒーショップ」39.0%	②「スーパー」34.1%	③「本屋」・「ドラッグストア」29.3%
柏 原	①「銀行」52.9%	②「スーパー」45.7%	③「コーヒーショップ」32.9%
水 富	①「銀行」44.9%	②「スーパー」35.5%	③「飲食店」33.6%
狭山台	①「スーパー」46.6%	②「銀行」43.8%	③「コーヒーショップ」・「飲食店」28.8%

上記のように、多くの地区で「銀行」・「スーパー」が1・2 番目となっていますが、堀兼地区の 1 番は「飲食店」、奥富・新狭山地区では「コーヒーショップ」が 1 番目に、「本屋」・「ドラッグストア」が 3 番目にあがっているなど、各地区で利用する施設・店舗等の順位は異なります。

図表 3-55 再開発地域のお店の利用状況(市全体・地区別) (単位:%)

地 区	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏 原	水 富	狭山台	市全体
銀行	②49.8	①50.8	②29.5	26.8	①52.9	①44.9	②43.8	①46.4
スーパー	①56.2	②34.2	③27.3	②34.1	②45.7	②35.5	①46.6	②44.4
コーヒーショップ	32.8	③30.8	13.6	①39.0	③32.9	27.1	③28.8	③30.4
コンビニ	③37.4	16.7	20.5	19.5	27.1	25.2	26.0	27.9
飲食店	24.5	25.8	①31.8	24.4	25.7	③33.6	③28.8	27.1
本屋	32.1	17.5	15.9	③29.3	22.9	21.5	26.0	25.4
ドラッグストア	37.0	10.8	6.8	③29.3	24.3	12.1	23.3	24.0
レストラン	8.7	10.8	2.3	7.3	5.7	8.4	4.1	7.8
クリニック	8.3	7.5	4.5	2.4	14.3	6.5	0.0	7.1
ブティック	2.3	2.5	0.0	2.4	2.9	3.7	2.7	2.5
不動産業者	1.1	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	1.4	0.8
その他	7.5	2.5	2.3	9.8	4.3	6.5	4.1	5.7
回答者数	265	120	44	41	70	107	73	720

年代別の再開発地域の施設・店舗等利用状況の上位は、図表 3-56 のとおりです。

20 歳台	①「コンビニ」・「ドラッグストア」56.3%	③「コーヒーショップ」43.8%	
30 歳代	①「スーパー」43.4%	②「銀行」38.6%	③「コンビニ」34.9%
40 歳代	①「銀行」46.4%	②「スーパー」40.0%	③「コンビニ」38.2%
50 歳代	①「銀行」54.2%	②「スーパー」50.8%	③「コンビニ」37.5%
60 歳代	①「銀行」47.2%	②「スーパー」44.9%	③「コーヒーショップ」29.2%
70 歳以上	①「銀行」・「スーパー」45.1%	③「コーヒーショップ」31.2%	

上記のように年代別利用状況では、20 歳代は「コンビニ」・「ドラッグストア」の利用度が高くなっています。
30 歳代～50 歳代は、「スーパー」と「銀行」の利用度が高く、3 番目が「コンビニ」となっています。
60 歳以上は、「銀行」と「スーパー」の利用度は高いものの、3 番目が「コーヒーショップ」となっています。
以上のように施設等の利用形態は、大きく 3 つににわかれています。その要因は「時間の余裕度」と関係しているようです。30 歳代～50 歳代は買物等の用事のみ利用ですが、60 歳以上は休憩にも利用しています。
また、20 歳代は時短と時間の余裕が共存しています。

図表 3-56 年代別の再開発地域の施設・店舗等利用状況

(単位:%)

年 代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
銀行	31.3	②38.6	①46.4	①54.2	①47.2	①45.1	①46.4
スーパー	25.0	①43.4	②40.0	②50.8	②44.9	①45.1	②44.4
コーヒーショップ	③43.8	31.3	30.0	30.0	③29.2	③31.2	③30.4
コンビニ	①56.3	③34.9	③38.2	③37.5	22.2	15.6	27.9
飲食店	25.0	32.5	37.3	24.2	26.4	21.4	27.1
本屋	31.3	22.9	25.5	25.8	21.8	30.6	25.4
ドラッグストア	①56.3	32.5	27.3	33.3	14.8	20.2	24.0
レストラン	12.5	1.2	3.6	7.5	9.7	11.6	7.8
クリニック	0.0	8.4	6.4	8.3	4.6	9.8	7.1
ブティック	12.5	0.0	1.8	3.3	2.8	1.7	2.5
不動産業者	6.3	2.4	0.0	1.7	0.0	0.6	0.8
その他	0.0	7.2	7.3	10.8	4.2	2.9	5.7
回答者数	16	83	110	120	216	173	720

(3) 狭山市駅前周辺の再開発地域で充実してほしい店舗・施設等

再開発地域で充実してほしい店舗・施設について自由に記入してもらった内容の年代別集計結果は、図表 3-57 のとおりです。

図表 3-57 年代別の狭山市駅前再開発地域で充実してほしい店舗・施設等 (5人以上が記入しているもの)

20～30 歳代			40～50 歳代			60 歳以上		
	人	%		人	%		人	%
子供関連の店舗・施設 (子供用品店、託児所、子供連れで入れる飲食店)	15	23.1	ゆっくり食事ができる レストラン・カフェ・居酒屋	51	36.4	しゃれたレストラン・コーヒーショップ・飲食店街・フードコート	45	26.8
ファミリーレストラン・カフェ	13	20.0	駐車場(施設利用者無料・割引)・駐輪場	19	13.6	駐車場(施設利用者無料・割引)・駐輪場	38	22.6
雑貨・手芸店・文具店	12	18.5	洋服・洋品店・靴店	15	10.7	洋服(ブティック)・衣料品・靴店	20	11.9
洋服・洋品店	9	13.8	娯楽施設(映画館・ボーリング場)	11	7.9	待ち合わせや友人知人と交流できるスペースや飲食店	14	8.3
ファーストフード	8	12.3	100 円ショップ	11	7.9	百貨店・ショッピングセンター・大型スーパー	13	7.7
100 円ショップ	5	7.7	スポーツ・ジム・フィットネス	10	7.1	娯楽施設(映画館・ボーリング場)	12	7.1
CD ショップ	4	6.2	百貨店・ショッピングセンター・大型スーパー	10	7.1	降車場・一時的に停車できるスペース	9	5.4
			ファーストフード	9	6.4	花木・園芸店	7	4.2
			雑貨・手芸店・文具店	8	5.7	雑貨・手芸店・文具店	7	4.2
			ディスカウントショップ	5	3.6	銀行 ATM	5	3.0
			スポーツ用品店	5	3.6	パン・総菜店	5	3.0
			アンテナショップ・特産品店	5	3.6	子供を遊ばせたり、休んだりできる公園のようなスペース	5	3.0
回答者数	65	100	回答者数	140	100	回答者数	168	100

各年代別に上位の3施設等は次のとおりとなっています。

20～30 歳代	①子供関連の店舗・施設(子供用品店、託児所、子供連れで入れる飲食店)	23.1%
	②ファミリーレストラン・カフェ	20.0%
	③雑貨・手芸品・文具店	18.5%
40～50 歳代	①ゆっくり食事ができるレストラン・カフェ・居酒屋	36.4%
	②駐車場(施設利用者無料・割引)・駐輪場	13.6%
	③洋服・洋品店・靴店	10.7%
60 歳以上	①しゃれたレストラン・コーヒーショップ・飲食店街・フードコート	26.8%
	②駐車場(施設利用者無料・割引)・駐輪場	22.6%
	③洋服(ブティック)・衣料品・靴店	11.9%

以上をまとめると、子育て世代の20～30歳代は、「子ども関連の店舗施設の充実」、「レストラン」、「雑貨・手芸品文具といった必需品」、40歳～50歳代と60歳以上は、「食事をする店」、「駐車場」、「婦人服婦人用品」を求めています。

4. 狭山市の観光地などについて

(1) おすすめしたい狭山市の観光地やイベント

外部の人におすすめしたい市内の観光地やイベントを分野別に自由に記入してもらったところ 1,104 人の回答者中、支持が最も多かった分野は、「土産・名産品」で 411 人(37.2%)、次いで「公園」303 人(27.4%)、「イベント」230 人(20.8%)、「散策コース」166 人(15.0%)、「観光農園」101 人(9.1%)、「社寺・仏閣」71 人(6.4%)、「グルメ」65 人(5.9%)、「その他」47 人(4.3%)となっています。

個々の項目の中で、支持が最も多かったのは、「狭山茶」で 355 人 32.2%でした。
分野別の結果は、図表 3-58 のとおりです。

最多の支持があった「土産・名産品」では、狭山茶が 355 人(86.4%)、次いで、かにやのお菓子・ケンキ・あばれんぼうが 46 人(11.2%)です。

2 番目の「公園」では、智光山公園が 172 人(56.8%)で最も多く、次いで稲荷山公園・ハイドパーク 142 人(46.9%)となっています。

3 番目の「イベント」では、七夕まつり・七夕飾りが 188 人(81.7%)で最も多く、入間基地の航空祭・航空ショーは 37 人(16.1%)となっています。

4 番目の「散策コース」では、入間川サイクリングロードが 59 人(35.5%)で最も多く、入間川沿い散策道・入間川土手・河川敷が 48 人(28.9%)となっています。

5 番目の「観光農園」では、ぶどう園・宮岡ブドウ園・宮後ぶどう園・宮信観光ぶどう園・狭山ブドウ組合が 63 人(62.4%)で最も多く、ブルーベリー園・森田ブルーベリー園・ブルーベリーランド・さやまベリーランドが 20 人(19.8%)です。

6 番目の「社寺・仏閣」では、八幡神社 21 人(29.6%)です。

7 番目の「グルメ」では、さといもコロッケ、うどん(広瀬)・うどんまる・うどん屋がそれぞれ 5 人(7.7%)となっていますが、日高市所在のサイボクも 6 人(9.2%)があげています。

図表 3-58 すすめたい狭山市内の観光地やイベント(3人以上が推奨しているところ)(複数回答)

土産・名産品	人	%	公園	人	%	イベント	人	%
狭山茶	355	86.4	智光山公園	172	56.8	七夕まつり・七夕飾り	188	81.7
かにやのお菓子・ケーキ	46	11.2	稻荷山公園・ハイ ドパーク	142	46.9	入間基地の航空祭・航 空ショー	37	16.1
地場産野菜(さといも・さつ まいも・ごぼう・えだまめ)	33	8.0	赤坂の森公園	7	2.3	花火	19	8.3
狭山茶を使った菓子・加 工品(クッキー・プリン・よう かん・パン・ソバ・ワイン)	16	3.9	奥富運動公園	4	1.3	入間川灯の夕・灯の川	8	3.5
ぶどう・ブルーベリーな どくだもの	9	2.2	彩の森公園 (入間市所在)	12	4.0	奥富かかし祭り・かかし 祭り・案山子まつり	5	2.2
さといもコロッケ	7	1.7				大茶会	5	2.2
回答者数	411	100	回答者数	303	100	回答者数	230	100

散策コース	人	%	観光農園	人	%	社寺・仏閣	人	%
入間川サイクリン グロード	59	35.5	ぶどう園・宮岡ブドウ園・宮 後ぶどう園・宮信観光ぶど う園・狭山ブドウ組合	63	62.4	八幡神社	21	29.6
入間川沿い散策 道・入間川沿土 手・河川敷	48	28.9	ブルーベリー園・森田ブル ーベリー園・ブルーベリー ランド・さやまベリーランド	20	19.8	広瀬神社	12	16.9
智光山公園	21	12.7	いちご園・粕谷園	13	12.9	七曲井	7	9.9
赤坂の森公園	7	4.2	梨	9	8.9	曹洞宗天岑寺	5	7.0
稻荷山公園	6	3.6	狭山茶つみ体験	5	5.0	堀兼井	4	5.6
不老川沿い	6	3.6	サイボク (日高市所在)	8	7.9	入間野神社	4	5.6
奥富運動公園	3	1.8				源義高ゆかりの史跡、 義高公の社	3	4.2
回答者数	166	100	回答者数	101	100	回答者数	71	100

グルメ	人	%	その他	人	%
さといもコロッケ	5	7.7	稻荷山公園の桜	5	10.6
うどん(広瀬)、うどんまる、うどん屋	5	7.7	工場見学(本田、ロッテ、かにや、ダイシ ン食品)	5	10.6
サンセリテ	4	6.2	博物館	3	6.4
一国	4	6.2	ASエルフン狭山(女子サッカー)	2	4.3
小川家	4	6.2			
紋平寿し	3	4.6			
サイボク(日高市所在)	6	9.2			
回答者数	65	100	回答者数	47	100

(2) 入間川での遊びやレジャー

① 現在楽しんでいる遊びやレジャー

現在入間川で楽しんでいる遊びやレジャーについての自由回答内容の集計結果は、図表 3-59 のとおりです。

最も多かったのは、「散歩・散策・花見」の 30 人(14.9%)であり、次いで「サイクリング」27 人(13.4%)、「ウォーキング」24 名(11.9%)の順となっています。

図表 3-59 現在入間川で楽しんでいる遊びやレジャー(4 人以上が記入しているもの)(複数回答) (単位:人・%)

現在楽しんでいる入間川での遊びやレジャー							
1	散歩・散策・花見	30	14.9	8	野草観察、花の鑑賞・野鳥ウォッチング、写真撮影	8	4.0
2	サイクリング	27	13.4		9	グランドゴルフ	7
3	ウォーキング	24	11.9	10	子供を公園や河川敷で遊ばせる	6	3.0
4	ジョギング・マラソン	14	6.9	11	犬の散歩・ドッグラン	4	2.0
5	キャンプ・バーベキュー	12	5.9	12	体操・太極拳	4	2.0
6	川遊び	8	4.0				
7	釣り	8	4.0	回答者数		202	100

② 今後入間川でやってみたい遊びやレジャー

今後入間川でやってみたい遊びやレジャーに関する自由回答の集計結果は、図表 3-60 のとおりです。

最も多かったのは、「キャンプ・バーベキュー」で 77 名(43.3%)であり、次いで「釣り」25 名(14.0%)、「サイクリング」20 名(11.2%)の順となっています。

図表 3-60 今後入間川でやってみたい遊びやレジャー(複数回答) (単位:人・%)

今後してみたい入間川での遊びやレジャー							
1	キャンプ・バーベキュー	77	43.3	11	花見	4	2.2
2	釣り	25	14.0	12	グランドゴルフ	3	1.7
3	サイクリング	20	11.2	13	ジョギング・マラソン	2	1.1
4	川遊び、水遊び、魚つかみ	15	8.4	14	風景のスケッチ	1	0.6
5	カヌー、カヤック、ボート、川下り	14	7.9	15	熱気球	1	0.6
6	野草や野鳥、小石、樹木の観察	13	7.3	16	フリーマーケット	1	0.6
7	散策	8	4.5	17	ロックコンサート	1	0.6
8	ドッグラン	7	3.9	18	のんびりする	1	0.6
9	ウォーキング	5	2.8	19	景色を眺めて友人とお弁当	1	0.6
10	花火	4	2.2	回答者数		178	100

(3) 市内から見える富士山のビューポイント

市内から見える富士山のビューポイントについて自由に記入してもらい、地区ごとに集計した結果は、図表 3-61 のとおりです。

また、地区別のビューポイントとして支持者が多いのは、次のとおりです。

- 入間川 ①新富士見橋 53 人 ②いるまがわ大橋 39 人
 入 曾 ①入曾駅のプラットホーム 18 人 ②南小学校グラウンド or 校舎内 11 人
 堀 兼 ①堀兼給食センターから入曾方面 5 人 ②堀兼変電所あたりの畑 4 人
 奥 富 ①イオン狭山店屋上、駐車場 9 人 ②奥富小から(グラウンド) 4 人
 新狭山 ①新狭山改札口(2階)の窓から上り方面 6 人 ②新狭山駅ホーム 3 人
 柏 原 ①昭代橋の上 25 人
 ②智光山公園南側畑・ひょうたん池付近の畑・智光山公園キャンプ場入口付近 8 人
 水 富 ①新富士見橋歩道及びその歩道橋(16号)95 人 ②広瀬橋 31 人です。
 狭山台 ①狭山台歩道橋(2丁目)1 人

以上のとおり、富士山のビューポイントは、新富士見橋歩道及びその歩道橋(16号)95 人、新富士見橋 53 人、いるまがわ大橋 39 人、広瀬橋 31 人、昭代橋の上 25 人と、橋からの眺めが圧倒的に多くなっています。

図表 3-61 富士山のビューポイント(複数回答)

入間川地区居住者の回答	人	入曾地区居住者の回答	人
新富士見橋	53	入曾駅のプラットホーム	18
いるまがわ大橋、いるまがわ大橋の中央付近	39	南小学校グラウンド or 校舎内	11
本富士見橋周辺、本富士見橋	8	入曾駅近く若葉台団地へ行くいちょう並木から	9
ベスタ狭山周辺	4	入曾駅付近、入曾駅西口付近の畑	7
東中裏・シャローム教会に下っていく途中、東中学校のあたり	4	入間野小学校へ行くところの道路横断歩道橋の上	5
市民会館近くの橋の上から見る	3	南小付近の畑	5
イオン武蔵狭山店のすぐそばの橋・イオン武蔵狭山店屋上	3	不老荘近辺(南入曾)	5
デーツの左側に見えるところ(狭山台交番～16号方向に行く途中)	2	セキチュー北入曾店の裏の道。	4
ベルクベスタ狭山店駐車場	2	入曾駅到着直前	4
狭山市駅西口の歩道橋	2	入曾駅の車内から見える南小の横の富士山	4
市役所屋上、市役所付近の西武線跨線橋	2	水野560番地付近畑。	4
八幡神社の裏手	2	狭山市駅～入曾駅間の付近	3
いるまがわ大橋に通じる道路	1	すこやかこどもクリニック付近から南小方面	2
スカイテラスから	1	ヤオコーに向かう橋から見える富士山。	1
鶴ノ木のセブンイレブンの南側の交差点	1	レコルトSKの3階	1
狭山18-26にある西武線のふみきを渡る時、西側の線路の奥	1	狭山モータースクール(自動車学校)の前の道路(8号線)を行政道路に向いの「藤沢」交差点に出る手前	1
狭山台胃腸外科病院	1	入曾→新所沢間の車窓	1
狭山市駅コンコース	1	入曾長崎ちゃんぼん横の歩道橋を登ったところ	1
狭山市駅到着前	1	イリソモーター脇の市道	1
七夕橋	1	北入曾の歩道橋上	1
入間基地内隊舎(4階建)の屋上	1	水野	1
入間基地北側の台地	1	水野消防署付近	1
入間川1030番地付近の小道	1	水野の交差点の入曾駅寄り	1
富士見	1	入曾駅→狭山市間所沢方面へ。	1
風の森みどり幼稚園裏側の畑	1	南入曾のAコープの線路を渡って多目的広場方面で向かう一直線の道	1
キャッツアイの屋上(入間川3142付近)	1	南小学校の桜の木の所	1
石心会狭山病院3階病棟(鶴ノ木)	1		
ふれあいファームの坂町	1		
狭山市駅～新狭山駅間にある、線路沿いの道路	1		

図表 3-61 つづき 富士山のビューポイント(複数回答)

堀兼地区居住者の回答		奥富地区居住者の回答	
	人		人
堀兼給食センターから入曽方面	5	イオン狭山店屋上、駐車場	9
堀兼の変電所あたりの畑	4	奥富小から(グラント)	4
中新田の不老川から 中新田前の畑より	3	奥富の田園の中	3
東電変電所北側(東三ツ木)	2	奥富運動公園	2
堀兼中学校の裏道(回り畑ばかり)	2	上奥富グラント近く	2
オリーブ(老人ホーム)周辺(上赤坂)	2	至誠病院前のローソンからの富士、至誠病院西側付近の田	2
権現橋から不老川ぞいを歩いて北入曽方面に向いとしとらず公園の近く	1	イオン狭山の前16号との間	1
県道126号線開通の道	1	奥富の焼却場から帰る途中からみえる富士山	1
堀兼中学校の畑道からの富士山	1	奥富の道路から見える富士	1
赤坂公園、横	1	奥富環境センター付近の田んぼ	1
赤坂付近	1	16号沿いガソリンスタンド裏手(上奥富北信号機近く)	1
上赤坂の道路から	1	有料道路料金所のところ・イオン狭山の駐車場	1
上赤坂交差点と堀兼下交差点の間	1	サンパーク奥富のプール	1
堀兼の農道から見える富士山	1		
堀兼小・中の鎌倉街道	1		
堀兼地区	1		
旧加佐志公園跡	1		
大樹の家の屋上(加佐志)	1		

新狭山地区居住者の回答		柏原地区居住者の回答	
	人		人
新狭山駅改札口(2階)の窓から上り方面	6	昭代橋の上	25
新狭山駅ホーム	3	智光山公園の南側畑、ひょうたん池付近の畑、智光山公園キャンプ場入口付近	8
新狭山駅の横	1	智光山公園動物園駐車場近辺の道路	6
新狭山駅近くの踏切から	1	西武文理中高近くに新しくかかった橋の上	4
新狭山駅北口ロータリーいなげやと本やの間の道路	1	駅から柏原方面へ行く時の橋の上	1
狭山大橋	1	県道鯨井狭山線で川越市から柏原方面へ向かう道	1
新狭山北側道路(緑路ぞい)	1	5号幹線水路	1
		柏苑(老人ホーム)の手前(柏原寄)の路地	1
		柏原1533	1
		柏原中学校の音楽室・視聴覚室	1

水富地区居住者の回答			
	人		人
新富士見橋歩道及びその歩道橋(16号)	95	笹井ダム	1
広瀬橋	31	圏央道横茶畑	1
豊水橋手前サイクリングロード桜咲く時期	16	広瀬河川敷	1
根岸交差点より飯能方面に向って行く途中	4	上広瀬(短大近くの畑)	1
広瀬台虹の橋付近の道路から見る富士山	3	上広瀬県営団地付近の畑道	1
広瀬台のコンビニ(セブンイレブン)あたり	3	古谷園の茶畑	1
圏央道に乗ってすぐの区間	2	豊水橋(根岸・笹井)付近からのポイント。	1
圏央道のサービスエリア周辺の高速道路	2	299号線根岸新号から直線に見える	1
圏央道鶴ヶ島～狭山日高インター間	2	R299セブンイレブン笹井を飯能方面へ向いた所	1
ヤオコー狭山店屋上	1	あずみのの横の道(笹井小学校の裏)	1
イオン狭山店に行く間の畑やたんぼの道から	1		

狭山台地区居住者の回答	
	人
狭山台歩道橋(2丁目)	1

第4章 狭山市内の買物環境と居住継続意向

1. 居住地域の買物環境満足度

(1) 飲食料品

① 飲食料品の満足度

飲食料品についての買物環境満足度は、図表4-1のとおりです。

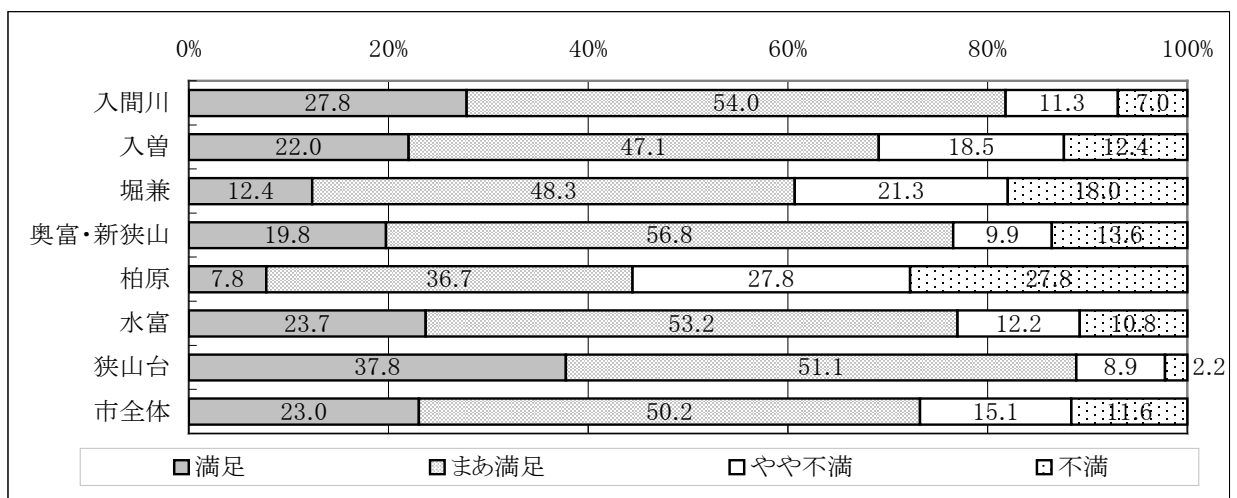
市全体では「まあ満足」が50.2%と最も多く、次いで「満足」が23.0%であり、両者を合わせると73.2%となります。

地区別に満足度（「満足」+「まあ満足」）をみると、狭山台地区が88.9%で最も高く、次いで入間川地区81.8%、水富地区76.9%、奥富・新狭山地区76.6%と続いています。

一方、柏原地区は44.5%、堀兼地区は60.7%と、他の地域に比べ満足度が低くなっています。

図表4-1 市全体と地区別の飲食料品の買物満足度

(N=1050 単位:%)

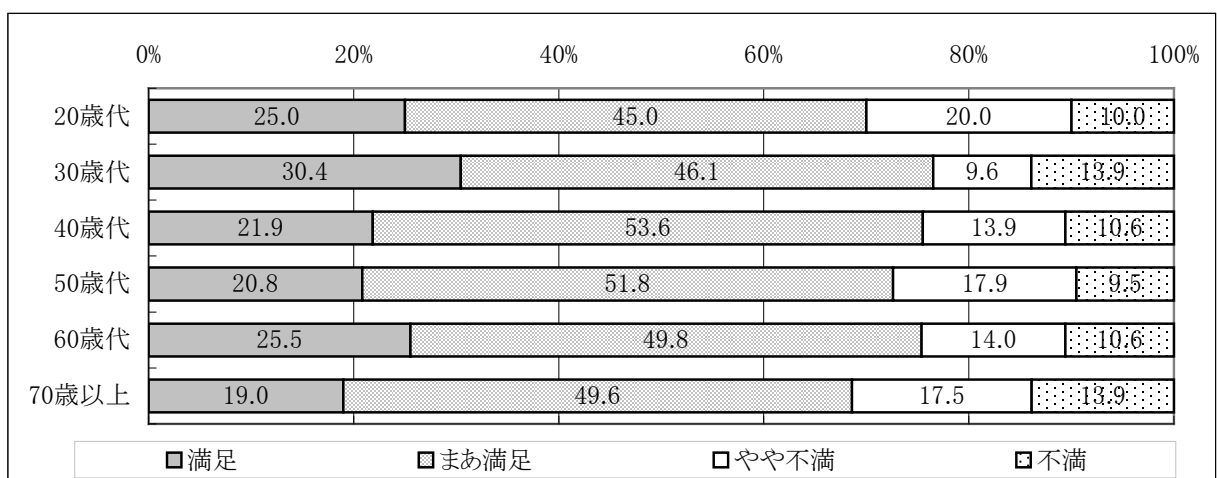


年代別の飲食料品についての買物環境満足度は、図表4-2のとおりです。

30歳代～60歳代で満足度（「満足」+「まあ満足」）が高く、ほぼ70%台となっていますが、20歳代と70歳以上はやや低い傾向にあります。

図表4-2 年代別の飲食料品についての買物環境満足度

(単位:%)



② 飲食料品の不満の内容

飲食料品についての買物環境の不満内容は、図表 4-3①・②のとおりです。

不満理由の上位は、「歩いていける所に店舗がない、自転車で行けるとところに店舗がない、遠い、近くにない、車を使わないと行けない、交通の便が悪い」が 121 人 55.3%と最も多く、「品揃えが悪い」36 人 16.4%、「個人商店・専門店・飲食料品店がない」「大型店、スーパーがない(一カ所ですませたい)」がそれぞれ 8 人 8.2%と続いています。

図表 4-3-① 地区別飲食料品の買物環境不満(「やや不満」または「不満」)の理由(複数回答) (単位:人)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市内計
歩いて行けるとところに店舗がない。遠い、近くにない。自転車で行けるとところに店舗がない。車を使わないと行けない。交通の便が悪い。	26	31	20	6	18	19	1	121
品揃えが悪い	6	6	1	5	15	3	0	36
個人商店・専門店・飲食料品店がない	4	5	2	0	0	2	5	18
大型店、スーパーがない	0	5	4	2	5	1	1	18
価格が高い	4	3	1	0	0	1	1	10
品質が悪い(鮮度が悪い)	2	3	0	0	1	1	2	9
コンビニがない	4	1	0	0	0	0	0	5
駅周辺にない	0	4	0	0	0	0	0	4
徒歩で行くには危険	0	3	1	0	0	0	0	4
駐車場がない	0	0	0	2	0	0	0	2
回答者数	45	59	29	14	35	28	9	219

図表 4-3-② 地区別飲食料品の買物環境不満(「やや不満」または「不満」)の理由(複数回答) (単位:%)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市内計
歩いて行けるとところに店舗がない。遠い、近くにない。自転車で行けるとところに店舗がない。車を使わないと行けない。交通の便が悪い。	①57.8	①52.5	①69.0	①42.9	①51.4	①67.9	③11.1	①55.3
品揃えが悪い	②13.3	②10.2	3.4	②35.7	②42.9	②10.7	0.0	②16.4
個人商店・専門店・飲食料品店がない	8.9	8.5	6.9	0.0	0.0	7.1	①55.6	③8.2
大型店、スーパーがない	0.0	8.5	②13.8	③14.3	③14.3	3.6	③11.1	③8.2
価格が高い	8.9	5.1	3.4	0.0	0.0	3.6	③11.1	4.6
品質が悪い(鮮度が悪い)	4.4	5.1	0.0	0.0	2.9	3.6	②22.2	4.1
コンビニがない	8.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
駅周辺にない	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
徒歩で行くには危険	0.0	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
駐車場がない	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 網掛けは、10%以上の上位3番目まで。以下同じ

(2)日用品・雑貨

①日用品・雑貨の満足度

日用品・雑貨についての買物環境満足度は、図表 4-4 のとおりです。

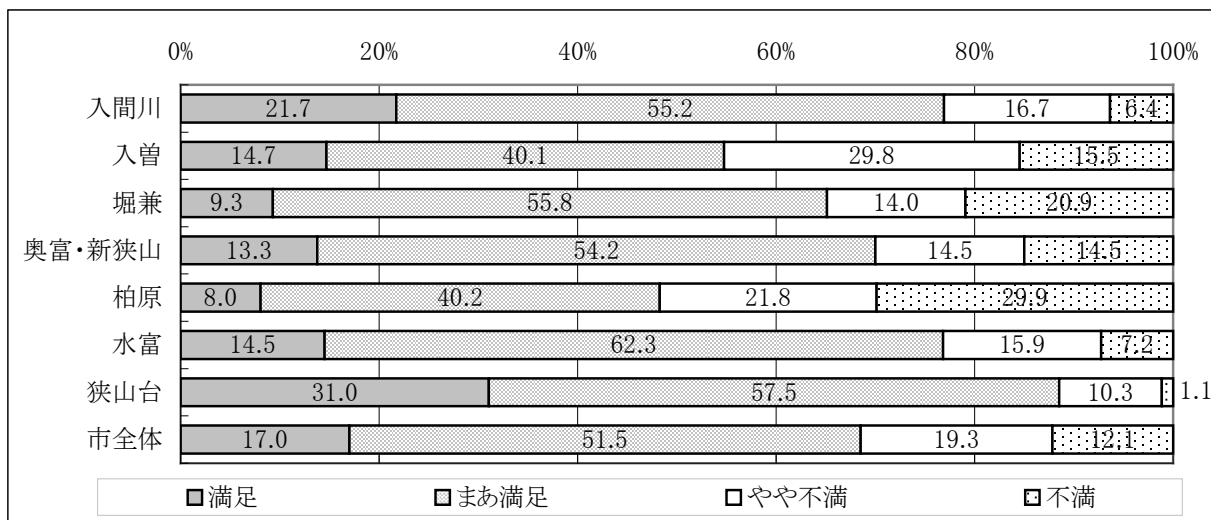
市全体では「まあ満足」が 51.5%と最も多く、「満足」の 17.0%と合わせると 68.5%となっています。

一方、「不満」の 12.1%と「やや不満」の 19.3%を合わせると 31.4%で 3 割強が不満としています。

地区別にみた満足度(「満足」+「まあ満足」)では、狭山台地区が 88.5%で最も高く、次いで入間川地区 76.9%、水富地区 76.8%と続いており、堀兼地区、奥富・新狭山地区は、ほぼ市全体と同じとなっています。一方、入曽地区は 54.8%、柏原地区は 48.2%と満足度は他地区より低くなっています。

図表 4-4 市全体と地区別の日用品・雑貨の買物環境満足度

(N=1029、単位:%)



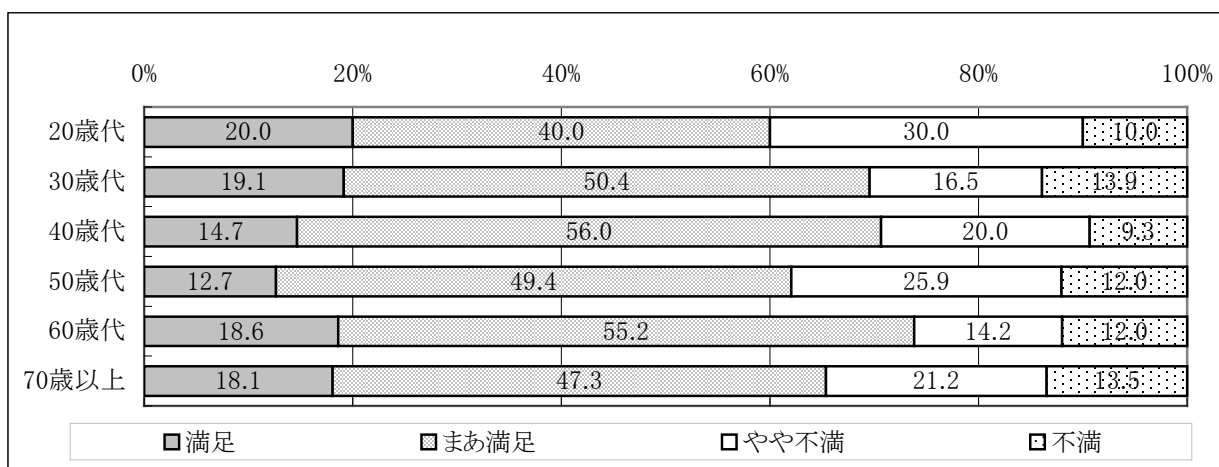
年代別の日用品・雑貨についての買物環境満足度は、図表 4-5 のとおりです。

30 歳代、40 歳代、60 歳代の満足度は、70%前後と市全体より高くなっています。

逆に、20 歳代、50 歳代と 70 歳以上の満足度は、やや低い傾向にあります。

図表 4-5 年代別の日用品・雑貨についての買物環境満足度

(単位:%)



②日用品・雑貨の不満の内容

日用品・雑貨についての買物環境の不満内容は、図表 4-6①・②のとおりです。

不満度の高い項目は、「歩いていける所に店舗がない、自転車で行けるとところに店舗がない、遠い、近くに

ない、車を使わないと行けない、交通の便が悪い」が 137 人 60.1%であり、「品揃えが悪い」38 人 16.7%、「ホームセンター、大型店、スーパーがほしい(一カ所ですませたい)」が 17 人 7.5%などとなっています。

図表 4-6-① 地区別日用品・雑貨の買物環境不満(「やや不満」または「不満」)の理由(複数回答) (単位:人)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市内計
車を使わないと行けない。歩いて行けるとところに店舗がない。遠い、近くに無い。自転車で行けるとところに店舗がない。交通の便が悪い	21	42	22	12	23	13	4	137
品揃えが悪い	17	10	1	0	3	3	4	38
ホームセンター、大型店、スーパーがほしい	3	8	0	0	2	4	0	17
日用雑貨店がない	2	8	1	0	3	1	0	15
価格が高い	2	3	0	0	0	1	0	6
ドラッグストアがほしい	2	3	0	0	0	0	0	5
駅周辺に店がほしい	0	3	0	1	0	0	0	4
徒歩では危険	0	3	0	1	0	0	0	4
駐車場が少ない	0	2	0	0	0	0	0	2
100円ショップがほしい	0	1	0	1	0	0	0	2
コンビニがない	1	0	0	0	0	0	0	1
営業時間が短い	1	0	0	0	0	0	0	1
書店がない	0	1	0	0	0	0	0	1
回答者数	44	80	24	19	29	24	8	228

図表 4-6-② 地区別日用品・雑貨の買物環境不満(「やや不満」または「不満」)の理由(複数回答) (単位:%)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市内計
車を使わないと行けない。歩いて行けるとところに店舗がない。遠い、近くに無い。自転車で行けるとところに店舗がない。交通の便が悪い	①47.7	①52.5	①91.7	①63.2	①79.3	①54.2	①50.0	①60.1
品揃えが悪い	②38.6	②12.5	4.2	0.0	②10.3	③12.5	①50.0	②16.7
ホームセンター、大型店、スーパーがほしい	6.8	③10.0	0.0	0.0	6.9	②16.7	0.0	③7.5
日用雑貨店がない	4.5	③10.0	4.2	0.0	②10.3	4.2	0.0	6.6
価格が高い	4.5	3.8	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	2.6
ドラッグストアがほしい	4.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
駅周辺に店がほしい	0.0	3.8	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	1.8
徒歩では危険	0.0	3.8	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	1.8
駐車場が少ない	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
100円ショップがほしい	0.0	1.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.9
コンビニがない	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
営業時間が短い	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
書店がない	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	100	100	100	100	100	100	100	100

(3)衣服・下着類

①衣服・下着類の満足度

衣服・下着類についての買物環境満足度は、図表 4-7 のとおりです。

市全体では、「まあ満足」が 36.3%と最も多く、「満足」の 7.0%と合わせると 43.3%となっています。

一方、「不満」25.0%と「やや不満」31.7%を合わせると 56.7%で、半数以上が不満をもっており、食料品や日用品等の満足度と比べて低くなっています。

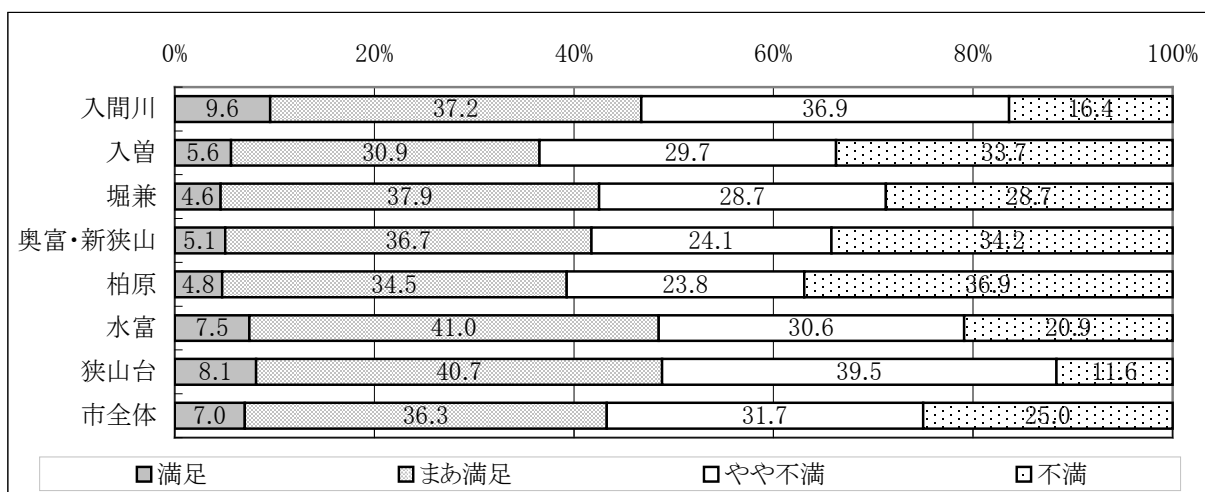
地区別にみた満足度(「満足」+「まあ満足」)では、市全体より高いのは狭山台地区 48.8%、次いで水富地区 48.5%、入間川地区 46.8%と続いています。いずれも 50%を割り込んでいます。

一方、入曽地区は 36.5%、柏原地区 39.3%と低位にあります。

「不満」についてみると、市全体より高いのは柏原地区 36.9%、奥富・新狭山地区 34.2%、入曽地区 33.7%と続いています。柏原地区と入曽地区では、「やや不満」と合わせて 60%が不満を持っています。

図表 4-7 市全体と地区別の衣服・下着類の買物環境満足度

(N=1012、単位:%)

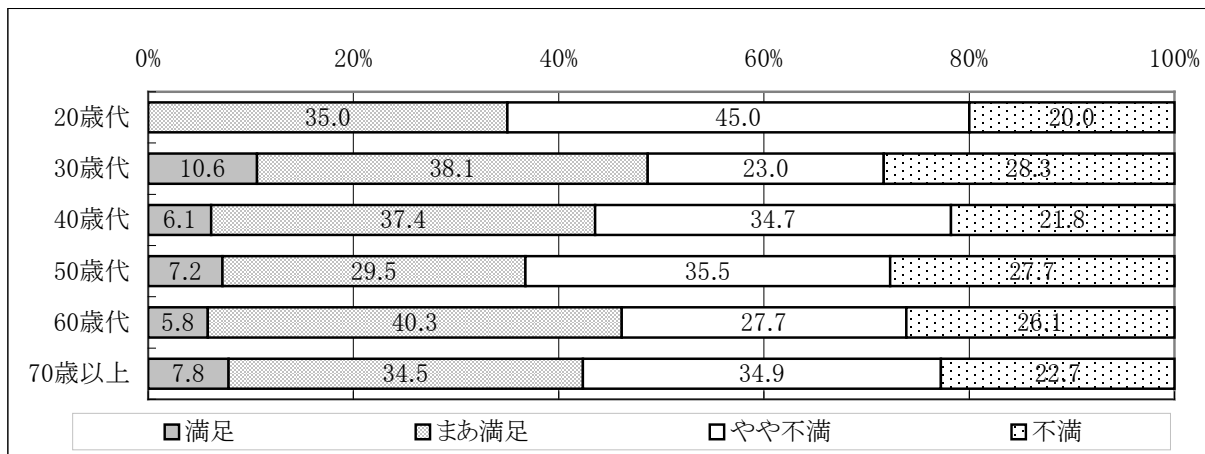


年代別の衣服・下着類についての買物環境満足度は、図表 4-8 のとおりです。

満足度(「満足」+「まあ満足」)は 30 歳代 48.7%、60 歳代 46.1%、40 歳代 43.5%、70 歳以上 42.3%と 40%を超えています。50 歳代は 36.7%とやや低く、20 歳代では「満足」は皆無であり、満足度は 35.0%と最も低くなっています。

図表 4-8 年代別の衣服・下着類についての買物環境満足度

(単位:%)



②衣服・下着類の不満の内容

衣服・下着類についての買物環境の不満内容は、図表 4-9①・②のとおりです。

不満の上位は、「品揃えが悪い、買いたいものがない」が 124 人 30.2%、「遠い、近くにない、車を使わないと行けない、歩いて行ける所に店舗がない、自転車で行けるとところに店舗がない、交通の便が悪い」が 95 人 23.1%、「おしゃれ着、外出着・センスの良い品がない、シルバー向けのセンスのよい品がない」が 58 人 14.1%となっています。

図表 4-9-① 地区別衣服・下着類の買物環境不満(「やや不満」または「不満」)の理由(複数回答) (単位:人)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
品揃えが悪い、買いたいものがない	37	41	6	8	4	18	10	124
遠い、近くに無い。車を使わないと行けない。歩いて行けるとところに店舗がない。自転車で行けるとところに店舗がない。交通の便が悪い	16	23	15	15	15	6	5	95
おしゃれ着、外出着・センスの良い品がない、シルバー向けのセンスのよい品がない	20	11	4	3	5	11	4	58
洋品店がない	8	15	8	0	2	7	0	40
ファッションモール、ブティック、ブランドショップがほしい	10	7	1	4	2	2	2	28
市内にはない	0	2	2	2	0	2	8	16
百貨店や百貨店で扱うような高級・高品質のものがほしい	6	3	1	1	1	1	1	14
若い女性、若者向けの店がない	8	2	0	0	0	1	0	11
女性向けの店がない	4	1	0	2	0	3	0	10
サイズが少ない	1	2	0	1	1	2	1	8
駅周辺に店がほしい	0	1	0	3	1	0	0	5
男性向けの店がない	0	2	0	0	2	0	1	5
大型店がほしい	0	2	0	0	2	0	1	5
電車を使わないといけけない	0	4	0	0	0	0	0	4
価格が高い	0	2	0	1	0	0	0	3
靴屋がない	1	0	0	1	0	0	0	2
子供服の店がない	0	2	0	0	0	0	0	2
30代向けの商品がない	0	0	2	0	0	0	0	2
営業時間が短い	1	0	0	0	0	0	0	1
徒歩で行くには危険	0	1	0	0	0	0	0	1
ユニクロがほしい	0	0	1	0	0	0	0	1
回答者数	110	112	36	36	33	51	33	411

図表 4-9-② 地区別衣服・下着類の買物環境不満(「やや不満」または「不満」と回答)理由(複数回答)(単位:%)

区 分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
品揃えが悪い、買いたいものがない	①33.6	①36.6	③16.7	②22.2	③12.1	①35.3	①30.3	①30.2
遠い、近くに無い。車を使わないと 行けない。歩いて行けるところに店 舗がない。自転車で行けるとところに 店舗がない。交通の便が悪い	③14.5	②20.5	①41.7	①41.7	①45.5	11.8	③15.2	②23.1
おしゃれ着、外出着・センスの良い 品がない、シルバー向けのセンスの よい品がない	②18.2	9.8	11.1	8.3	②15.2	②21.6	12.1	③14.1
洋品店がない	7.3	③13.4	②22.2	0.0	6.1	③13.7	0.0	9.7
ファッションモール、ブティック、ブラ ンドショップがほしい	9.1	6.3	2.8	③11.1	6.1	3.9	6.1	6.8
市内にはない	0.0	1.8	5.6	5.6	0.0	3.9	②24.2	3.9
百貨店や百貨店で扱ような高級・ 高品質のものがほしい	5.5	2.7	2.8	2.8	3.0	2.0	3.0	3.4
若い女性、若者向けの店がない	7.3	1.8	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.7
女性向けの店がない	3.6	0.9	0.0	5.6	0.0	5.9	0.0	2.4
サイズが少ない	0.9	1.8	0.0	2.8	3.0	3.9	3.0	1.9
駅周辺に店がほしい	0.0	0.9	0.0	8.3	3.0	0.0	0.0	1.2
男性向けの店がない	0.0	1.8	0.0	0.0	6.1	0.0	3.0	1.2
大型店がほしい	0.0	1.8	0.0	0.0	6.1	0.0	3.0	1.2
電車を使わないといけけない	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
価格が高い	0.0	1.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.7
靴屋がない	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.5
子供服の店がない	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
30代向けの商品がない	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
営業時間が短い	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
徒歩で行くには危険	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
ユニクロがほしい	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2

2. 数年後を予測して必要と思われる買物支援策

現状から数年後を予測して、つまり、今よりも高齢化したときに、「飲食料品」、「日用品・雑貨」、「衣服・下着類」の買物時に支援をして欲しいものはどのようなものかを聞いてみました。

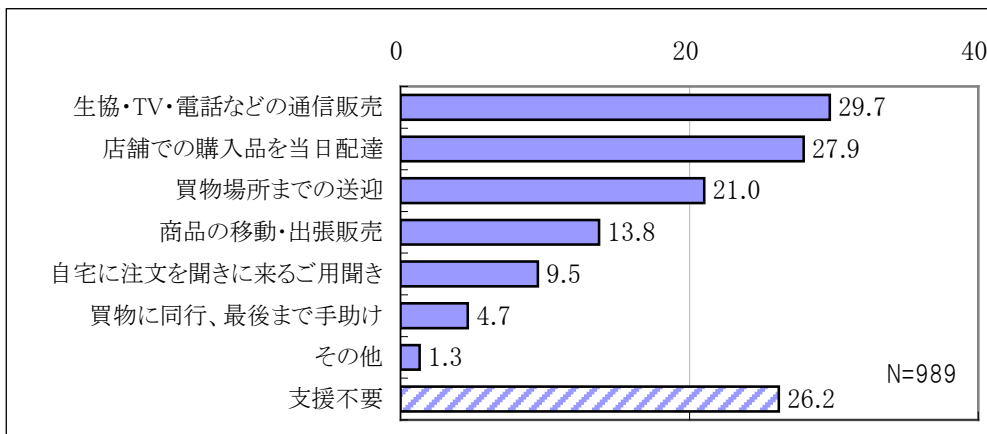
その結果は、以下のとおりとなっています。

(1) 飲食料品

飲食料品の買物で今後必要と思われる買物支援策は、図表 4-10 のとおりです。

市全体では「生協・TV・電話などの通信販売」が 29.7%と最も多く、次いで「店舗での購入品を当日配達」が 27.9%、「支援不要」が 26.2%と続いています。

図表 4-10 飲食料品に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答) (単位:%)



地区別にみた飲食料品に対する買物に今後必要と思われる買物支援は、図表 4-11 のとおりです。地区別の買物支援策の上位項目は、次のとおりです。

- 入間川 ①「店舗での購入品を当日配達」35.1% ②「生協・TV・電話などの通信販売」28.4%
③「支援不要」26.3%
- 入 曽 ①「生協・TV・電話などの通信販売」31.5% ②「店舗での購入品を当日配達」27.0%
③「支援不要」23.7%
- 堀 兼 ①「買物場所までの送迎」34.1% ②「支援不要」29.3%
③「生協・TV・電話などの通信販売」26.8%
- 奥富・新狭山①「生協・TV・電話などの通信販売」33.8%②「支援不要」27.3%
③「店舗での購入品を当日配達」20.8%
- 柏 原 ①「生協・TV・電話などの通信販売」・「支援不要」28.1%③「店舗での購入品を当日配達」27.0%
- 水 富 ①「生協・TV・電話などの通信販売」30.4% ②「店舗での購入品を当日配達」26.1%
③「支援不要」23.9%
- 狭山台 ①「支援不要」31.2% ②「生協・TV・電話などの通信販売」28.6%
③「店舗での購入品を当日配達」24.7%

買物支援の最多希望項目は、入曽、奥富・新狭山、柏原、水富の4地区では「生協・TV・電話などの通信販売」をあげており、柏原と狭山台の2地区で「支援不要」を、入間川地区で「店舗での購入品を当日配達」、堀兼地区で「買物場所までの送迎」をそれぞれあげています。

図表 4-11 飲食料品に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答)

(単位:%)

地区別	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	②28.4	①31.5	③26.8	①33.8	①28.1	①30.4	②28.6	①29.7
店舗での購入品を当日配達	①35.1	②27.0	19.5	③20.8	③27.0	②26.1	③24.7	②27.9
買物場所までの送迎	18.6	23.2	①34.1	15.6	19.1	21.7	15.6	21.0
商品の移動・出張販売	10.9	13.7	19.5	11.7	19.1	15.9	10.4	13.8
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	10.2	6.6	8.5	3.9	14.6	8.0	14.3	9.5
買物に同行、最後まで手助け	4.2	3.7	6.1	6.5	6.7	4.3	3.9	4.7
その他	1.4	0.8	1.2	3.9	1.1	0.7	1.3	1.3
支援不要	③26.3	③23.7	②29.3	②27.3	①28.1	③23.9	①31.2	③26.2
回答者数	285	241	82	77	89	138	77	989

年代別の飲食料品に対する買物に今後必要と思われる買物支援は、図表 4-12 のとおりです。

年代別の上位項目は、次のとおりです。

20 歳代 ①「支援不要」②「生協・TV・電話などの通信販売」36.8% ③「店舗での購入品を当日配達」31.6%

30 歳代 ①「支援不要」38.3% ②「生協・TV・電話などの通信販売」30.8%

③「店舗での購入品を当日配達」24.3%

40 歳代 ①「生協・TV・電話などの通信販売」30.8% ②「支援不要」30.1%

③「店舗での購入品を当日配達」28.8%

50 歳代 ①「生協・TV・電話などの通信販売」30.1% ②「支援不要」29.5%

③「店舗での購入品を当日配達」26.5%

60 歳代 ①「店舗での購入品を当日配達」30.2% ②「生協・TV・電話などの通信販売」27.3%

③「買物場所までの送迎」26.7%

70 歳以上 ①「生協・TV・電話などの通信販売」30.7% ②「店舗での購入品を当日配達」26.5%

③「買物場所までの送迎」23.9%

上記のとおり、「支援不要」を年代別にみると 20～30 歳代で最も多く、40～50 歳代は 2 番目となっており、60 歳代以上では 4 番目となっています。また、20～50 歳代では、「支援不要」もしくは「生協・TV・電話などの通信販売」が最多または 2 番目を占めています。さらにこの年代では「店舗での購入品を当日配達」が 3 番目となっています。

60 歳代と 70 歳以上では「生協・TV・電話などの通信販売」と「店舗での購入品を当日配達」が上位 2 項目であり、3 番目に「買物場所までの送迎」をあげています。

表 4-12 年代別の飲食料品に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答)

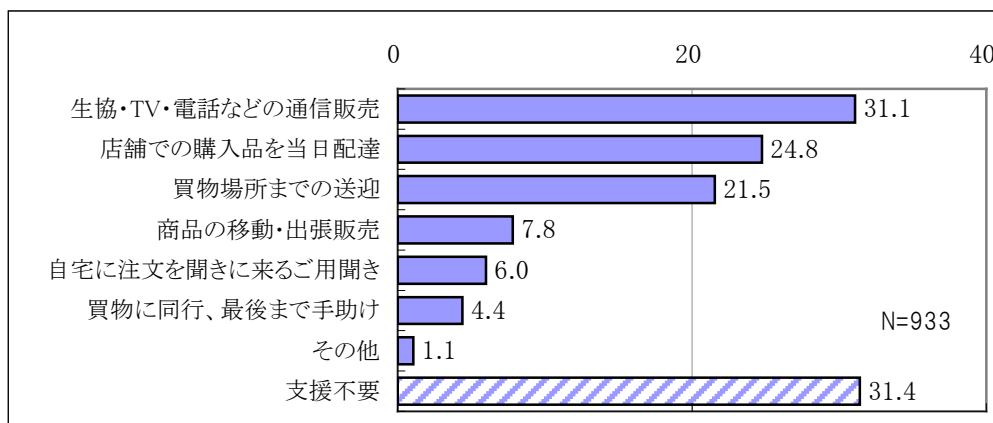
(単位:%)

年代別	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	①36.8	②30.8	①30.8	①30.1	②27.3	①30.7	①29.7
店舗での購入品を当日配達	③31.6	③24.3	③28.8	③26.5	①30.2	②26.5	②27.9
買物場所までの送迎	10.5	13.1	15.1	17.5	③26.7	③23.9	21.0
商品の移動・出張販売	10.5	15.0	12.3	10.2	14.8	15.5	13.8
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	5.3	6.5	4.1	8.4	8.4	16.8	9.5
買物に同行、最後まで手助け	0.0	4.7	4.1	4.2	3.5	7.1	4.7
その他	0.0	1.9	2.1	2.4	0.6	0.4	1.3
支援不要	①36.8	①38.3	②30.1	②29.5	25.4	17.6	③26.2
回答者数	19	107	146	166	311	238	989

(2)日用品・雑貨

日用品・雑貨の買物で今後必要と思われる買物支援策については、図表 4-13 のとおりです。市全体では、「支援不要」が最も多く 31.4%となっています。必要な支援策としては、「生協・TV・電話などの通信販売」が 31.1%、「店舗での購入品を当日配達」24.8%、「買物場所までの送迎」21.5%と続いています。

図表 4-13 日用品・雑貨に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答) (単位:%)



地区別の日用品・雑貨の買物で今後必要と思われる買物支援策は、図表 4-14 のとおりです。地区別の買物支援策の上位項目は、次のとおりです。

- 入間川** ①「店舗での購入品を当日配達」31.6% ②「支援不要」30.8%
③「生協・TV・電話などの通信販売」29.3%
- 入 曽** ①「生協・TV・電話などの通信販売」35.8% ②「支援不要」29.6%
③「店舗での購入品を当日配達」24.8%
- 堀 兼** ①「買物場所までの送迎」・「支援不要」32.9% ③「生協・TV・電話などの通信販売」28.9%
- 奥富・新狭山** ①「生協・TV・電話などの通信販売」36.0% ②「支援不要」33.3%
③「買物場所までの送迎」18.7%
- 柏 原** ①「支援不要」29.4% ②「店舗での購入品を当日配達」27.1%
③「生協・TV・電話などの通信販売」25.9%
- 水 富** ①「生協・TV・電話などの通信販売」33.3% ②「支援不要」29.6%
③「買物場所までの送迎」20.7%
- 狭山台** ①「支援不要」41.4% ②「店舗での購入品を当日配達」24.3%
③「生協・TV・電話などの通信販売」21.4%

上記のように、入曽、奥富・新狭山、水富の3地区では、最多の買物支援として1番目に「生協・TV・電話などの通信販売」を、2番目として「支援不要」をあげています。また、堀兼、柏原、狭山台の3地区では「支援不要」が最多で、3番目に「通信販売」をあげています。そのほか、入間川地区は「店舗での購入品を当日配達」を、堀兼地区は「買物場所までの送迎」を最多支援策としてそれぞれあげています。

図表4-14 日用品・雑貨に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答)

(単位:%)

地区別	入間川	入曽	堀兼	奥富・新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	③29.3	①35.8	③28.9	①36.0	③25.9	①33.3	③21.4	②31.1
店舗での購入品を当日配達	①31.6	③24.8	14.5	17.3	②27.1	20.0	②24.3	③24.8
買物場所までの送迎	19.2	23.5	①32.9	③18.7	20.0	③20.7	18.6	21.5
商品の移動・出張販売	7.1	6.6	11.8	4.0	10.6	8.9	8.6	7.8
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	6.0	4.9	3.9	5.3	7.1	5.2	12.9	6.0
買物に同行、最後まで手助け	3.4	3.5	5.3	5.3	7.1	5.9	2.9	4.4
その他	0.8	0.4	0.0	4.0	2.4	0.7	1.4	1.1
支援不要	②30.8	②29.6	①32.9	②33.3	①29.4	②29.6	①41.4	①31.4
回答者数	266	226	76	75	85	135	70	933

年代別の日用品・雑貨の買物で今後必要と思われる買物支援策は、図表 4-15 のとおりです。

年代別の買物支援策の上位項目は、次のとおりです。

20 歳代 ①「支援不要」36.8% ②「生協・TV・電話などの通信販売」「店舗での購入品を当日配達」26.3%

30 歳代 ①「支援不要」42.5% ②「生協・TV・電話などの通信販売」34.0%

③「店舗での購入品を当日配達」26.4%

40 歳代 ①「支援不要」35.5% ②「生協・TV・電話などの通信販売」32.6%

③「店舗での購入品を当日配達」27.0%

50 歳代 ①「生協・TV・電話などの通信販売」36.9% ②「支援不要」33.1%

③「店舗での購入品を当日配達」20.6%

60 歳代 ①「支援不要」29.3% ②「生協・TV・電話などの通信販売」27.0%

③「店舗での購入品を当日配達」26.3%

70 歳以上①「生協・TV・電話などの通信販売」29.9% ②「買物場所までの送迎」24.9% ③「支援不要」24.4%

上記のとおり、20～40 歳代と 60 歳代の多くの年代で「支援不要」を最多としており、2 番目に「生協・TV・電話などの通信販売」をあげています。

50 歳代は、上記の年代と 1 番目 2 番目が逆転しています。

70 歳以上は、「生協・TV・電話などの通信販売」が最多支援策となっています。

このように、上記の支援策は、基本的には直接的な対面販売の必要性を問わないということになっています。

20～60 歳代の 3 番目をみると、「店舗での購入品を当日配達」となっており、70 歳以上は「買物場所までの送迎」が 2 番目となっています。

表 4-15 年代別の日用品・雑貨に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答)

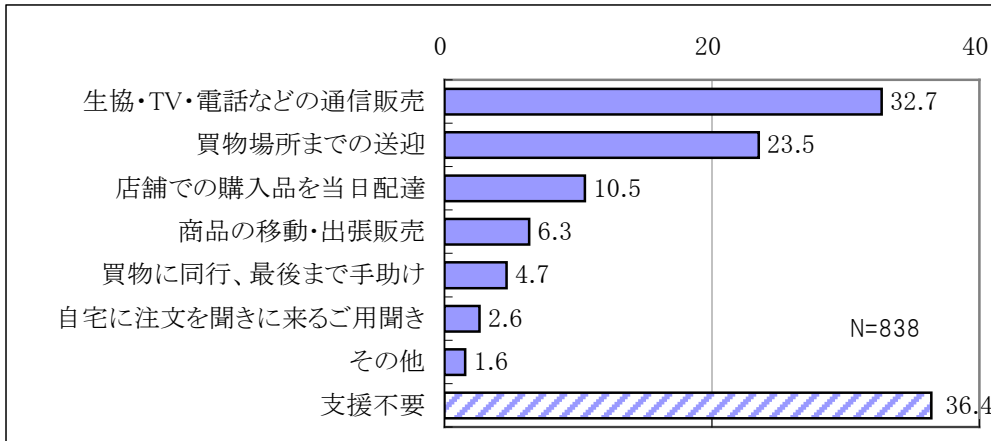
(単位:%)

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	②26.3	②34.0	②32.6	①36.9	②27.0	①29.9	②31.1
店舗での購入品を当日配達	②26.3	③26.4	③27.0	③20.6	③26.3	22.9	③24.8
買物場所までの送迎	15.8	10.4	19.1	20.0	25.7	②24.9	21.5
商品の移動・出張販売	15.8	7.5	2.8	5.6	8.9	10.9	7.8
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	0.0	4.7	2.8	3.8	7.9	8.5	6.0
買物に同行、最後まで手助け	0.0	3.8	2.8	3.8	3.9	7.5	4.4
その他	0.0	1.9	1.4	2.5	0.7	0.0	1.1
支援不要	①36.8	①42.5	①35.5	②33.1	①29.3	③24.4	①31.4
回答者数	19	106	141	160	304	201	933

(3)衣服・下着類

衣服・下着類の買物で今後必要と思われる買物支援策については、図表 4-16 のとおりです。
市全体では「支援不要」が 36.4%と最も多くなっています。
買物支援策では、「生協・TV・電話などの通信販売」32.7%、「買物場所までの送迎」23.5%となっています。

図表 4-16 衣服・下着類に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答) (単位:%)



地区別の衣服・下着類の買物で今後必要と思われる買物支援策は、図表 4-17 のとおりです。
地区別の買物支援策の上位項目は、次のとおりとなっています。

- 入間川 ①「支援不要」37.6% ②「生協・TV・電話などの通信販売」28.1% ③「買物場所までの送迎」21.9%
 入 曽 ①「生協・TV・電話などの通信販売」38.1% ②「支援不要」34.4% ③「買物場所までの送迎」22.9%
 堀 兼 ①「支援不要」37.5% ②「買物場所までの送迎」33.3% ③「生協・TV・電話などの通信販売」29.2%
 奥富・新狭山①「支援不要」40.0%②「生協・TV・電話などの通信販売」37.1%③「買物場所までの送迎」21.4%
 柏 原 ①「支援不要」33.8% ②「生協・TV・電話などの通信販売」28.8% ③「買物場所までの送迎」20.0%
 水 富 ①「生協・TV・電話などの通信販売」37.6% ②「支援不要」34.4% ③「買物場所までの送迎」26.4%
 狭山台 ①「支援不要」43.8% ②「生協・TV・電話などの通信販売」25.0% ③「買物場所までの送迎」23.4%

上記のように、入曽、水富地区では「支援不要」が 2 番目ですが、他の 5 地区は最多です。
また、順位は異なるものの、全地域で必要な買物支援策として「生協・TV・電話などの通信販売」「買物場所までの送迎」を上位にあげています。

図表 4-17 衣服・下着類に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答) (単位:%)

区 分	入間川	入 曽	堀 兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	②28.1	①38.1	③29.2	②37.1	②28.8	①37.6	②25.0	②32.7
買物場所までの送迎	③21.9	③22.9	②33.3	③21.4	③20.0	③26.4	③23.4	③23.5
店舗での購入品を当日配達	12.4	9.6	8.3	8.6	15.0	7.2	10.9	10.5
商品の移動・出張販売	7.0	6.4	8.3	4.3	7.5	5.6	4.7	6.3
買物に同行、最後まで手助け	4.5	4.1	6.9	2.9	6.3	4.8	3.1	4.7
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	2.9	2.3	1.4	1.4	2.5	3.2	3.1	2.6
その他	1.7	0.9	0.0	2.9	2.5	0.8	3.1	1.6
支援不要	①37.6	②34.4	①37.5	①40.0	①33.8	②34.4	①43.8	①36.4
回答者数	242	218	72	70	80	125	64	838

年代別の衣服・下着類の買物で今後必要と思われる買物支援策は、図表 4-18 のとおりです。
年代別の買物支援策の上位項目は、次のとおりです。

- 20 歳代 ①「支援不要」55.6% ②「生協・TV・電話などの通信販売」22.2%
③「店舗での購入品を当日配達」「商品の移動・出張販売」16.7%
- 30 歳代 ①「支援不要」45.7%②「生協・TV・電話などの通信販売」37.1%
③「店舗での購入品を当日配達」14.3%
- 40 歳代 ①「支援不要」41.0% ②「生協・TV・電話などの通信販売」35.8% ③「買物場所までの送迎」18.7%
- 50 歳代 ①「支援不要」39.7% ②「生協・TV・電話などの通信販売」37.8% ③「買物場所までの送迎」21.8%
- 60 歳代 ①「支援不要」32.4% ②「買物場所までの送迎」30.0% ③「生協・TV・電話などの通信販売」28.3%
- 70 歳以上①「生協・TV・電話などの通信販売」30.1% ②「支援不要」28.9% ③「買物場所までの送迎」27.7%

上記のとおり 20～60 歳代では、「支援不要」が最多となっています。
40～60 歳代では、「生協・TV・電話などの通信販売」「買物場所までの送迎」が上位となっています。
70 歳以上は、「生協・TV・電話などの通信販売」が最多であり、「買物場所までの送迎」は 3 番目となっています。
20 歳代は、「店舗での購入品を当日配達」と「商品の移動・出張販売」を 3 番目としており、30 歳代は「店舗での購入品を当日配達」を 3 番目としています。

図表 4-18 年代別の衣料・下着類に対する買物に今後必要と思われる買物支援(複数回答) (単位:%)

区 分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	②22.2	②37.1	②35.8	②37.8	③28.3	①30.1	②32.7
買物場所までの送迎	5.6	11.4	③18.7	③21.8	②30.0	③27.7	③23.5
店舗での購入品を当日配達	③16.7	③14.3	9.7	7.7	11.0	9.6	10.5
商品の移動・出張販売	③16.7	3.8	5.2	5.8	7.2	7.2	6.3
買物に同行、最後まで手助け	0.0	2.9	2.2	3.2	5.5	7.8	4.7
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	0.0	1.9	3.0	1.9	2.1	4.2	2.6
その他	0.0	1.9	1.5	1.9	1.0	1.8	1.6
支援不要	①55.6	①45.7	①41.0	①39.7	①32.4	②28.9	①36.4
回答者数	18	105	134	156	290	166	838

3. 居住者の家族類型

今回のアンケートでは、調査日現在で同居している家族について回答いただきました。
その同居家族の状況を家族類型として、図表 4-19 のとおりにまとめてみました。

図表 4-19 家族の類型

同居家族の状況		家族類型
1	回答者が単身の場合	単独世帯
2	回答者と配偶者	夫婦のみの世帯
3	回答者と配偶者と子供	夫婦と子供の世帯
4	回答者と子供	一人親と子供の世帯
5	回答者と配偶者と実・義父母	夫婦と親の世帯
6	回答者と配偶者と子供と実・義父母	夫婦と子供と親の世帯
7	回答者と上記以外の親族の家庭	その他の親族世帯

上記の7つの家族類型を地区別に分類した結果は、図表 4-20 のとおりです。

市全体でみると、「夫婦のみの世帯」が 36.3%で最も多く、次いで「夫婦と子供の世帯」が 29.0%、3 番目は「単独世帯」15.1%となっています。

地区別では、奥富・新狭山地区を除く 6 地区は、市全体と同じパターンとなっています。

奥富・新狭山地区では、「夫婦と子供の世帯」が 32.5%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が 31.3%、3 番目が「一人親と子供の世帯」18.1%となっています。

図表 4-20 地区別家族類型別集計 (単位:%・人)

家族類型区分	入間川	入曽	堀兼	奥富・ 新狭山	柏原	水富	狭山台	市全体
単独世帯	③17.6	③13.1	③17.0	12.0	③8.6	③12.9	③24.2	③15.1
夫婦のみの世帯	①34.3	①37.7	①37.5	②31.3	①43.0	①38.8	①31.9	①36.3
夫婦と子供の世帯	②25.5	②29.9	②28.4	①32.5	②30.1	②34.7	②25.3	②29.0
一人親と子供の世帯	8.2	6.7	5.7	③18.1	3.2	6.8	11.0	8.0
夫婦と親の世帯	2.0	1.1	0.0	1.2	0.0	0.7	2.2	1.2
夫婦と子供と親の世帯	5.6	4.1	6.8	2.4	5.4	2.7	2.2	4.4
その他の親族世帯	6.9	7.5	4.5	2.4	9.7	3.4	3.3	5.9
回答者数	306	268	88	83	93	147	91	1076

年代別に家族類型を集計した結果については、図表 4-21 のとおりです。

40 歳代を除く全年代で、最多から 3 番目までが、「単独世帯」・「夫婦のみの世帯」・「夫婦と子供の世帯」の組み合わせとなっています。

年代別に家族類型の特徴をみると、20 歳代では「単独世帯」が 50%と最も多くなっています。

30～50 歳代では、「夫婦と子供の世帯」が最多であり、子供との同居という形態が推測されます。

40 歳代では、他の年代と異なって、「夫婦と子供と親の世帯」が 2 番目となっており、実・義父母との同居形態がうかがわれます。また、「一人親と子供の世帯」が 3 番目となっているなど家族類型の多様性がみられます。

60 歳代と 70 歳以上では、「夫婦のみの世帯」が最多となっており、子育てが終わった世代と推測されます。

なお、60 歳代の家族類型は、市全体と同順位となっています。

図表 4-21 年代別家族類型別集計 (単位:%・人)

家族類型区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
単独世帯	①50.0	③11.3	8.1	③11.6	③12.9	②22.5	③15.1
夫婦のみの世帯	③15.0	②18.3	10.1	②25.6	①49.7	①49.8	①36.4
夫婦と子供の世帯	②30.0	①56.5	①51.4	①37.2	②21.6	③10.2	②29.1
一人親と子供の世帯	0.0	3.5	③10.8	7.0	7.8	9.8	8.0
夫婦と親の世帯	5.0	0.9	2.0	3.5	0.6	0.0	1.2
夫婦と子供と親の世帯	0.0	7.8	②12.2	7.0	2.4	0.0	4.4
その他の親族世帯	0.0	1.7	5.4	8.1	5.1	7.7	5.9
回答者数	20	115	148	172	334	285	1074

4. 60 歳代以上の家族類型別買物支援策

これまで述べてきた買物支援の調査のほか、60 歳代以上の家族類型別の買物支援をまとめました。

その結果は以下のとおりですが、「夫婦と親の世帯」の類型は対象者が 2 名と少ないので、調査対象から除外しています。

(1) 飲食料品

家族類型別の飲食料品の買物で今後必要と思われる支援策については、図表 4-22 のとおりです。

市全体では、「通信販売」と「店舗での購入品を当日配達」が非常に高くほぼ同率であり、次いで「買物場所までの送迎」となっています。

「夫婦のみ」、「夫婦と子供」、「夫婦と子供と親」の世帯では、「店舗での購入品を当日配達」の支援を最も多く希望しています。そのうち、「夫婦のみ」、「夫婦と子供」の世帯では、「通信販売」が2番目の支援希望となっていますが、「夫婦と子供と親の世帯」では、「通信販売」は少なくなっています。

「単独世帯」と「その他の親族世帯」では「通信販売」が最も多く、「一人親と子供の世帯」では「買物場所までの送迎」が多くなっています。

なお、「子供のいる世帯」では、「支援不要」が多くなっています。

図表4-22 60歳以上の家族類型別飲食良品買物支援 (単位:%・人)

支援区分	単独世帯	夫婦のみ の世帯	夫婦と子 供の世帯	一人親と子 供の世帯	夫婦と子供 と親の世帯	その他の 親族世帯	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	①23.4	②26.0	②26.7	③22.2	12.5	①33.3	①25.4
店舗での購入品を当日配達	②21.5	①26.6	①28.7	14.8	①37.5	②28.2	②25.3
買物場所までの送迎	③20.6	③24.0	19.8	①25.9	②25.0	15.4	③22.5
商品の移動・出張販売	12.1	13.3	13.9	18.5	0.0	10.3	13.4
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	11.2	12.0	5.9	11.1	0.0	10.3	10.6
買物に同行、最後まで手助け	7.5	4.2	1.0	3.7	0.0	10.3	4.5
その他	1.9	0.0	1.0	0.0	0.0	2.6	0.6
支援不要	18.7	19.5	③21.8	②24.1	②25.0	③20.5	20.3
回答者数	107	308	101	54	8	39	621

(2)日用品・雑貨

家族類型別の日用品・雑貨の買物で今後必要と思われる支援策については、図表4-23のとおりです。

市全体の最多の支援策は「通信販売」であり、2番目は「支援不要」、3番目が「買物場所までの送迎」となっています。

「夫婦のみ」、「夫婦と子供」、「その他の親族」の世帯では、「通信販売」の支援を最も多く希望しています。

「夫婦と子供と親の世帯」では「店舗での購入品を当日配達」の支援を最も多く希望しています。

「単独世帯」、「一人親と子供」の世帯では、「支援不要」が最多となっています。「夫婦のみ世帯」では、「支援不要」は4番目となっています。その他「夫婦と子供」、「夫婦と子供と親」、「その他の親族」の3世帯では2番目が「支援不要」となっています。

また、「単独」、「夫婦のみ」、「一人親と子供」、「夫婦と子供と親」の各世帯では、「買物場所までの送迎」が2番目となっています。

図表4-23 60歳以上の家族類型別日用品雑貨買物支援 (単位:%・人)

支援区分	単独世帯	夫婦のみ 世帯	夫婦と子 供の世帯	一人親と子 供の世帯	夫婦と子供 と親の世帯	その他の 親族世帯	市全体
生協・TV・電話などの通信販売	③19.6	①23.4	①25.7	③20.4	12.5	①25.6	①22.9
買物場所までの送迎	②20.6	②21.4	17.8	②22.2	②25.0	17.9	③20.6
店舗での購入品を当日配達	16.8	③20.8	③20.8	③20.4	①37.5	③20.5	20.3
商品の移動・出張販売	3.7	8.8	10.9	9.3	0.0	5.1	7.9
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	7.5	6.5	5.0	9.3	0.0	7.7	6.6
買物に同行、最後まで手助け	5.6	4.9	2.0	3.7	0.0	5.1	4.3
その他	0.9	0.3	1.0	0.0	0.0	2.6	0.6
支援不要	①21.5	20.1	②22.8	①25.9	②25.0	②23.1	②21.6
回答者数	107	308	101	54	8	39	621

(3)衣服・下着類

家族類型別の衣服・下着類の買物で今後必要と思われる支援策については、図表 4-24 のとおりです。市全体で最も多いのは「支援不要」です。

必要な買物支援策では、「買物場所までの送迎」が 2 番目に、「通信販売」が 3 番目となっています。

「その他の親族世帯」を除く各類型で「支援不要」が最多ですが、買物支援策としては、「買物場所までの送迎」、「生協・TV・電話などの通信販売」が上位となっています。

ファッション性の高い衣服等については、飲食料品とは異なって現物を確認したいという要求が強いと考えられます。

図表 4-24 60 歳以上の家族類型別衣服・下着類買物支援 (単位:%・人)

支援区分	単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子供の世帯	一人親と子供の世帯	夫婦と子供と親の世帯	その他の親族世帯	市全体
買物場所までの送迎	③15.0	②24.0	③21.8	②20.4	②25.0	③22.6	②21.7
生協・TV・電話などの通信販売	①20.6	③20.5	②22.8	②20.4	12.5	①35.5	③21.5
店舗での購入品を当日配達	4.7	6.8	8.9	11.1	②25.0	12.9	7.8
商品の移動・出張販売	2.8	5.8	6.9	5.6	0.0	6.5	5.4
買物に同行、最後まで手助け	5.6	4.9	4.0	5.6	0.0	3.2	4.7
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	0.9	2.6	2.0	1.9	0.0	3.2	2.1
その他	1.9	0.3	2.0	0.0	0.0	3.2	1.0
支援不要	①20.6	①24.7	①24.8	①24.1	①37.5	②29.0	①24.3
回答者数	107	308	101	54	8	31	613

5. 買物支援策のまとめ

これまでみてきた飲食料品、日用品・雑貨、衣服・下着類に関する今後の買物支援策についてまとめてみますと、図表 4-25 のとおりとなりました。

「支援不要」の項目は全体的にみてその割合が高くなっており、「買物支援の必要性」はさほど高くないと考えられます。しかし、「飲食料品」については、市全体でみた場合(20~70 歳以上の合計)、「通信販売」や「買物場所までの送迎」への要望は「支援不要」と同程度みられ、必要性がまったく無い訳ではないことが分かります。

一方、60 歳以上の家族類型別のまとめでの「支援不要」の割合は、「衣服・下着類」、「日用品・雑貨」、「飲食料品」の順となっています。

以上のことから、買物支援の必要性が高いのは、「飲食料品」、「日用品・雑貨」、「衣服・下着類」の順であり、「飲食料品」については、今後支援の必要性の度合いがさらに増すことが予想されます。

図表 4-25 品目別の今後必要と思われる買物支援(市全体・複数回答) (単位:%・人)

買物支援区分	20~70 歳以上の合計			60 歳以上		
	飲食料品	日用品・雑貨	衣服・下着類	飲食料品	日用品・雑貨	衣服・下着類
生協・TV・電話などの通信販売	①29.7	②31.1	②32.7	①25.4	①22.9	②21.7
買物場所までの送迎	②27.9	③24.8	③23.5	②25.3	③20.6	③21.5
店舗での購入品を当日配達	21.0	21.5	10.5	③22.5	20.3	7.8
商品の移動・出張販売	13.8	7.8	6.3	13.4	7.9	5.4
買物に同行、最後まで手助け	9.5	6.0	4.7	10.6	6.6	4.7
自宅に注文を聞きに来るご用聞き	4.7	4.4	2.6	4.5	4.3	2.1
その他	1.3	1.1	1.6	0.6	0.6	1.0
支援不要	③26.2	①31.4	①36.4	20.3	②21.6	①24.3
回答者数	989	933	838	621	621	613

6. 狭山市への居住継続意向

(1) 狭山市への居住継続意向

「今後も狭山市内に住み続けたい」かどうかという居住継続意向について市全体および地区別にみると、図表4-26のとおりとなっています。

市全体では、「住み続けたい」が79.3%で最も多く、「市内で転居したい」が5.7%となっており、市内居住継続意向は全体で85.0%であり、大多数は市内に住み続けたいとしています。

一方、「できれば市外に転居したい」は10.1%、「市外に転居したい」は4.9%であり、両者を合わせた市外への転居希望の割合は15.0%となっています。

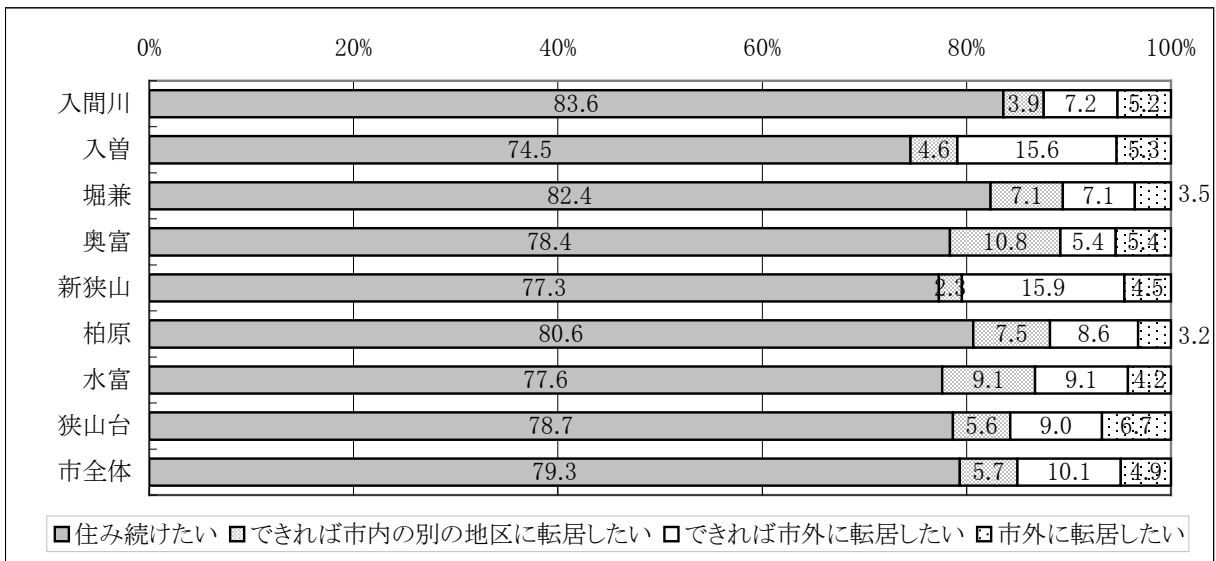
地区別に居住継続意向をみると、「住み続けたい」割合が市全体より高いのは、入間川83.6%、堀兼82.4%、柏原80.6%の3地区です。市内の他地区への転居希望が市全体より高いのは、奥富10.8%、水富9.1%、柏原7.5%、堀兼7.1%の4地区です。一方、市外転居希望（「できれば市外に転居したい」+「市外に転居したい」の計）が市全体より高いのは、入曽20.9%、新狭山20.4%、狭山台15.7%の3地区です。

以上をまとめると、次のような4つのパターンに区分できます。

- ①地区内居住継続割合が市全体より高い地区…………… 入間川
- ②地区内居住継続割合と市内転居希望の割合が市全体より高い地区…… 堀兼、柏原
- ③市内転居希望の割合が市全体より高い地区…………… 奥富、水富
- ④市外転居希望の割合が市全体より高い地区…………… 入曽、新狭山、狭山台

図表4-26 地区別の居住継続意向

(N=1059、単位：%)



年代別の「居住継続意向」は、図表4-27のとおりです。

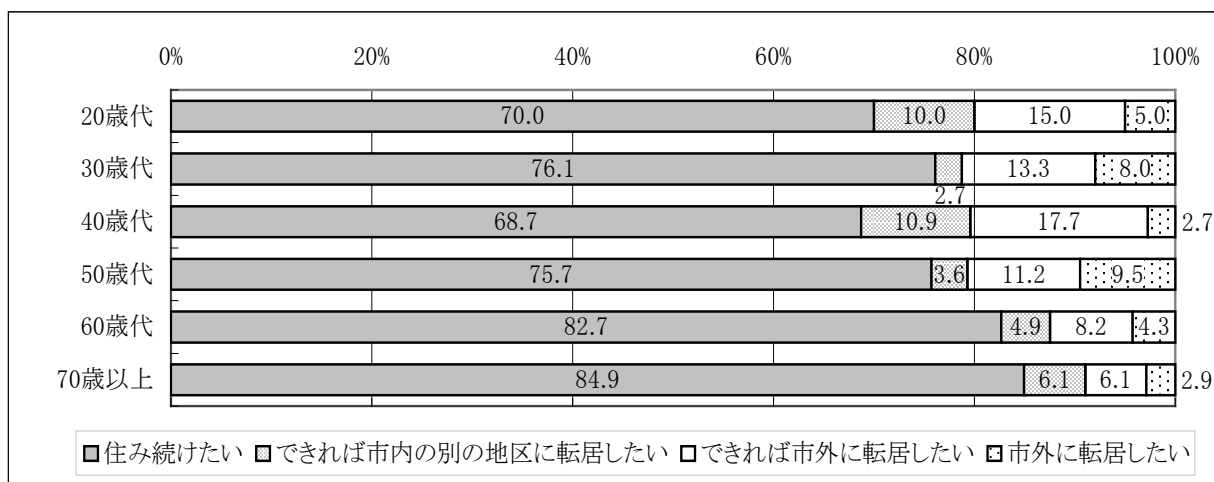
「住み続けたい」の比率は、70歳以上で84.9%、60歳代で82.7%と80%を超えており、他の年代より高くなっています。また、40歳代(68.7%)と20歳代(70.0%)では70%程度と、他の年代よりかなり低くなっています。

市内転居希望の割合が他の年代より高いのは、20歳代(10.0%)と40歳代(10.9%)です。

一方、「転居希望(できれば市外に転居したい+市外に転居したい)」の割合は、20歳代20.0%、30歳代21.3%、40歳代20.4%、50歳代20.7%と、50歳代以下で20%程度みられ、60歳代(12.5%)、70歳以上(9.0%)より高くなっています。

図表 4-27 年代別の狭山市への居住継続意向

(単位:%)



(2)居住継続意向に関する理由

①「住み続けたい」理由

図表 4-26 の「狭山市への居住継続意向」とおり、「住み続けたい」の割合は市全体で 79.3%ですが、その理由は、図表 4-28①・②のとおりです。

市全体の「住み続けたい」の最多理由は、「故郷・長く住んでいる・住みなれている」が 187 人 26.5%です。次いで「生活環境がよい・住みやすい・便利」125 人 17.7%、「自然環境(空気・水・緑・静寂)がよい」74 人 10.5%、「持家がある」71 人 10.1%の順となっています。なお、「買物環境がよい・買物施設が近い」は 17 人 2.4%と 10 番目にとどまっています。

地域別に居住継続理由をみると、全地区で、「故郷・長く住んでいる・住みなれている」が最多となっています。また、2 番目には、入間川、柏原、水富、新狭山、狭山台の 5 地区が「生活環境がよい・住みやすい・便利」をあげており、入曽、堀兼、奥富の 3 地区では「自然環境(空気・水・緑・静寂)がよい」をあげています。

図表 4-28① 狭山市への居住継続希望理由(件数)

(単位:件)

「市内継続居住」希望理由	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合計
01 故郷・長く住んでいる・住みなれている	55	53	14	8	15	23	4	15	187
02 居住環境がよい・住みやすい・便利	53	21	6	3	12	15	3	12	125
03 自然環境(空気・水・緑・静寂)がよい	12	25	9	5	10	8	2	3	74
04 持家がある	22	22	6	0	6	8	3	4	71
05 現状維持・経済的理由・転居理由なし	13	11	6	1	6	9	3	6	55
06 災害が少ない・治安がよい	12	6	4	3	3	9	2	4	43
07 バス・鉄道などの交通アクセスがよい	19	3	5	2	1	2	3	5	40
08 友人が多い・近隣の人間関係がよい	5	8	1	0	4	6	1	1	26
09 家族や親族の都合	8	2	0	1	2	3	2	2	20
10 買物環境がよい・買物施設が近い	5	5	0	0	0	3	0	4	17
11 適度な程よい田舎・ゆったりしている	3	1	6	0	0	1	0	1	12
12 子育て支援策の充実	4	3	2	0	1	1	0	0	11
13 職場が近い・通勤に便利・仕事の都合	4	2	0	0	1	1	0	0	8
14 買物環境以外は満足	1	0	2	0	1	0	0	0	4
15 公共・福祉・医療等の施設の充実	0	0	0	1	1	0	0	0	2
16 その他の理由	2	3	1	0	1	1	2	1	11
合計	218	165	62	24	64	90	25	58	706

(注) 網掛けは、最高値と 2 番目である。以下同じ。

図表 4-28② 狭山市への居住継続希望理由(構成比)

(N=706 単位:%)

「市内継続居住」希望理由		入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
01	故郷・長く住んでいる・住みなれている	25.2	32.1	22.6	33.3	23.4	25.6	16.0	25.9	26.5
02	居住環境がよい・住みやすい・便利	24.3	12.7	9.7	12.5	18.8	16.7	12.0	20.7	17.7
03	自然環境(空気・水・緑・静寂)がよい	5.5	15.2	14.5	20.8	15.6	8.9	8.0	5.2	10.5
04	持家がある	10.1	13.3	9.7	0.0	9.4	8.9	12.0	6.9	10.1
05	現状維持・経済的理由・転居理由なし	6.0	6.7	9.7	4.2	9.4	10.0	12.0	10.3	7.8
06	災害が少ない・治安がよい	5.5	3.6	6.5	12.5	4.7	10.0	8.0	6.9	6.1
07	バス・鉄道などの交通アクセスがよい	8.7	1.8	8.1	8.3	1.6	2.2	12.0	8.6	5.7
08	友人が多い・近隣の間関係がよい	2.3	4.8	1.6	0.0	6.3	6.7	4.0	1.7	3.7
09	家族や親族の都合	3.7	1.2	0.0	4.2	3.1	3.3	8.0	3.4	2.8
10	買物環境がよい・買物施設が近い	2.3	3.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.9	2.4
11	適度な程よい田舎・ゆったりしている	1.4	0.6	9.7	0.0	0.0	1.1	0.0	1.7	1.7
12	子育て支援策の充実	1.8	1.8	3.2	0.0	1.6	1.1	0.0	0.0	1.6
13	職場が近い・通勤に便利・仕事の都合	1.8	1.2	0.0	0.0	1.6	1.1	0.0	0.0	1.1
14	買物環境以外は満足	0.5	0.0	3.2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.6
15	公共・福祉・医療等の施設の充実	0.0	0.0	0.0	4.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.3
16	その他の理由	0.9	1.8	1.6	0.0	1.6	1.1	8.0	1.7	1.6
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100

②「できれば市内の他地域へ転居したい」理由

「できれば市内の他地域へ転居したい」とするグループは全体の 5.7%であり、その理由は、図表 4-29①・②のとおりです。

最多理由は、「バス・鉄道などの交通アクセスが悪い」が22人38.6%であり、次いで「居住環境がよくない・不便である」が8人14.0%と続き、「基地の飛行機・自動車・その他の騒音」7人12.3%などもあげられています。地区別では、新狭山、狭山台を除く6地区で「バス・鉄道などの交通アクセスが悪い」が最多となっています。2番目の理由は、各地区で差異がみられます。

図表 4-29① できれば狭山市内の他地域へ転居したい理由(件数)

(単位:件)

「できれば市内に転居」希望理由		入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
01	バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	4	4	3	4	2	4	0	1	22
02	居住環境がよくない・不便である	3	0	2	0	0	1	0	2	8
03	基地の飛行機・自動車・その他の騒音	1	1	0	0	1	3	0	1	7
04	買物施設が近くにない・買物環境がよくない	1	0	1	0	1	3	0	0	6
05	老後が心配・高齢時の不便を危惧	0	3	0	0	1	1	0	0	5
06	災害の危険がある・治安が良くない	0	1	0	0	0	0	0	0	1
07	通勤等に不便	0	1	0	0	0	0	0	0	1
08	その他の理由	2	2	0	0	1	0	1	1	7
合 計		11	12	6	4	6	12	1	5	57

図表 4-29② できれば狭山市内の他地域へ転居したい理由(構成比)

(N=69 単位:%)

「できれば市内に転居」希望理由	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合計
01 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	36.4	33.3	50.0	100.0	33.3	33.3	0.0	20.0	38.6
02 居住環境がよくない・不便である	27.3	0.0	33.3	0.0	0.0	8.3	0.0	40.0	14.0
03 基地の飛行機・自動車・その他の騒音	9.1	8.3	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	20.0	12.3
04 買物施設が近くにない・買物環境がよくない	9.1	0.0	16.7	0.0	16.7	25.0	0.0	0.0	10.5
05 老後が心配・高齢時の不便を危惧	0.0	25.0	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.8
06 災害の危険がある・治安が良くない	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
07 通勤等に不便	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
08 その他の理由	18.2	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0	20.0	12.3
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100

③「できれば市外に転居したい」理由

「できれば市外へ転居したい」とするグループは全体の10.1%であり、その理由は、図表4-30①・②のとおりです。

「転居希望」理由では、「バス・鉄道などの交通アクセスが悪い」が19人18.4%と最も多く、2番目は「居住環境がよくない・不便である」が18人17.5%、3番目に「魅力がない・将来性を感じない」が10人9.7%となっています。

地区別では、「できれば市外へ転居したい」割合が入曽地区で15.6%と、市全体より高くなっていますが、その理由は「居住環境がよくない・不便である」、「魅力がない・将来性を感じない」、「バス・鉄道などの交通アクセスが悪い」をあげている人が多くなっています。

図表 4-30① できれば市外へ転居したい理由(件数)

(単位:件)

「できれば市外転居」希望理由	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合計
01 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	2	7	2	0	1	4	1	2	19
02 居住環境がよくない・不便である	2	10	1	1	1	1	1	1	18
03 魅力がない・将来性を感じない	2	8	0	0	0	0	0	0	10
04 通勤等に不便	3	0	0	0	0	1	2	1	7
05 買物施設が近くにない・買物環境がよくない	2	2	1	0	1	0	0	0	6
06 税金関係	1	3	0	0	0	0	1	1	6
07 愛着を感じない・故郷に帰りたい	0	3	0	0	0	1	0	0	4
08 教養・娯楽施設が充実していない	1	2	0	0	0	1	0	0	4
09 基地の飛行機・自動車・その他の騒音	0	1	0	0	3	0	0	0	4
10 親族(親・子)等の近くに住みたい	0	2	0	0	0	1	0	1	4
11 老後が心配・高齢時の不便を危惧	0	1	1	0	0	1	0	0	3
12 自然環境がよくない	1	0	0	0	0	1	0	0	2
13 田舎や広いところに住みたい	1	1	0	0	0	0	0	0	2
14 周辺の間人間関係がよくない	1	0	0	0	0	0	0	0	1
15 公共・福祉・医療等の施設が充実していない	0	0	0	0	0	0	0	1	1
16 その他の理由	5	0	1	1	1	1	2	1	12
合計	21	40	6	2	7	12	7	8	103

(注) 網掛けは、複数以上の最高値である。以下同じ。

図表 4-30② できれば市外へ転居したい理由(構成比)

(N=103 単位:%)

「できれば市外転居」希望理由	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
01 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	9.5	17.5	33.3	0.0	14.3	33.3	14.3	25.0	18.4
02 居住環境がよくない・不便である	9.5	25.0	16.7	50.0	14.3	8.3	14.3	12.5	17.5
03 魅力がない・将来性を感じない	9.5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
04 通勤等に不便	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	28.6	12.5	6.8
05 買物施設が近くにない・買物環境がよくない	9.5	5.0	16.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	5.8
06 税金関係	4.8	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	12.5	5.8
07 愛着を感じない・故郷に帰りたい	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	3.9
08 教養・娯楽施設が充実していない	4.8	5.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	3.9
09 基地の飛行機・自動車・その他の騒音	0.0	2.5	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	3.9
10 親族(親・子)等の近くに住みたい	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	12.5	3.9
11 老後が心配・高齢時の不便を危惧	0.0	2.5	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	2.9
12 自然環境がよくない	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	1.9
13 田舎や広いところに住みたい	4.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
14 周辺の間人間関係がよくない	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
15 公共・福祉・医療等の施設が充実していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	1.0
16 その他の理由	23.8	0.0	16.7	50.0	14.3	8.3	28.6	12.5	11.7
合 計	100	100	100	100	100	100	100	100	100

④「市外へ転居したい」理由

「市外へ転居希望したい」グループは 48 人で全体の 4.9%であり、その理由は図表 4-31①・②のとおりです。「転居希望」の理由としては、「居住環境がよくない・不便である」が 9 人 18.8%、「バス・鉄道などの交通アクセスが悪い」と「親族(親・子)等の近くに住みたい」がそれぞれ 5 人 10.4%と上位になっています。

図表 4-31① 市外へ転居したい理由(件数)

(単位:件)

「市外転居」希望理由	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
402 居住環境がよくない・不便である	0	5	1	0	2	0	0	1	9
406 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	0	3	0	0	0	2	0	0	5
416 親族(親・子)等の近くに住みたい	1	0	1	0	0	1	0	2	5
401 愛着を感じない・故郷に帰りたい	0	1	0	1	0	1	0	0	3
403 自然環境がよくない	1	1	0	0	0	1	0	0	3
414 基地の飛行機・自動車・その他の騒音	1	1	0	0	0	0	0	1	3
410 老後が心配・高齢時の不便を危惧	0	1	0	0	0	1	0	0	2
415 通勤等に不便	0	0	0	0	0	0	0	2	2
408 公共・福祉・医療等の施設が充実していない	1	0	0	0	0	0	0	0	1
411 魅力がない・将来性を感じない	0	0	0	0	0	0	1	0	1
412 田舎や広いところに住みたい	0	0	0	0	0	0	1	0	1
417 その他の理由	10	1	1	1	0	0	0	0	13
合 計	14	13	3	2	2	6	2	6	48

図表 4-31② 市外へ転居したい理由(構成比)

(N=48 単位:%)

「市外転居」希望理由		入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
402	居住環境がよくない・不便である	0.0	38.5	33.3	0.0	100	0.0	0.0	16.7	18.8
406	バス・鉄道などの交通アクセスが悪い	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	10.4
416	親族(親・子)等の近くに住みたい	7.1	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	10.4
401	愛着を感じない・故郷に帰りたい	0.0	7.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	6.3
403	自然環境がよくない	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	6.3
414	基地の飛行機・自動車・その他の騒音	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6.3
410	老後が心配・高齢時の不便を危惧	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	4.2
415	通勤等に不便	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	4.2
408	公共・福祉・医療等の施設が充実していない	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
411	魅力がない・将来性を感じない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2.1
412	田舎や広いところに住みたい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2.1
417	その他の理由	71.4	7.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.1
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100

⑤「無回答者」の理由

居住継続の意思表示が無かった「無回答」の理由は、図表 4-32①・②のとおりです。

図表 4-32① 無回答の理由(件数)

(単位:件)

「無回答者」の理由		入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
01	魅力がない・将来性を感じない	1	0	1	0	0	0	0	0	2
02	基地の飛行機・自動車・その他の騒音	0	0	0	0	0	1	0	0	1
03	その他の理由	3	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計		4	0	1	0	0	1	0	0	6

図表 4-32② 市外へ転居したい理由(構成比)

(N=48 単位:%)

「無回答者」の理由		入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合 計
01	魅力がない・将来性を感じない	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
02	基地の飛行機・自動車・その他の騒音	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7
03	その他の理由	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
合 計		100	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100

(3)居住継続意向に関する個別理由の主なもの

居住継続以降に関する個別理由の主なものは、以下のとおりです。

①「住み続けたい」の主な理由

【01 故郷・長く住んでいる・住みなれている】

- ・住みなれたとこだから (61)
- ・長い間住んでいるから (31)
- ・生まれ育った所だから (25)
- ・50年近く住んでいる (2)
- ・40年も住んでいる (8)
- ・30年近く住んでいて、愛着を感じている (15)
- ・20年以上住んでいて愛着がある (5)

- ・結婚してからずっと住んでいる (4)
- ・住みやすい (12)
- ・終の住だから (3)
- ・愛着があるため (3)
- ・地元生まれ、地元育ち持家もある (3)
- ・先祖代々住んでいるから (2)

【02 居住環境がよい・住みやすい・便利】

- ・環境がよい (45)
- ・便利 (31)
- ・住みやすい (19)
- ・今のところ満足している (13)
- ・近隣に必要な施設が揃っている (8)
- ・住めば都 (3)
- ・上、下水道がしっかりしている
- ・物価も安く、大きな災害もなく、暮らしやすいと思う。ただ定年後は田舎へ戻るかもしれない(北海道)
- ・役所の書類等の料金、粗大ゴミ収集料金など安くて助かる

【03 自然環境(空気・水・緑・静寂)がよい】

- ・自然がある (33)
- ・静か (17)
- ・緑が豊かな所 (15)
- ・幸いに自然災害がほとんどなくありがたい (6)
- ・環境がよい (4)

【04 持家がある】

- ・持ち家 (47)
- ・家を買ったので (21)

【05 現状維持・経済的理由・転居理由なし】

- ・転居がたいへんである (27)
- ・仕方が無いから (10)
- ・他に住みたい場所がない (7)
- ・高齢理由 (4)
- ・経済的理由 (2)
- ・現状維持がもともと現実的 (2)

【06 災害が少ない・治安がよい】

- ・災害が少ない (21)
- ・安全だから (3)

【07 バス・鉄道などの交通アクセスがよい】

- ・駅にも近いから (20)
- ・交通の便がよい (19)

【08 友人が多い・近隣の人間関係がよい】

- ・友達も多いので、住み続けたい (11)
- ・近所との関係が良好 (13)

【09 家族や親族の都合】

- ・実家が近いため (7)
- ・子ども達が成長するまで、住み続けたい (4)

【10 買物環境がよい・買物施設が近い】

- ・買物の便利、住みやすい (16)

【11 適度な程よい田舎・ゆったりしている】

- ・のんびりしている (6)

・そこそこ田舎で特別不満を感じる程不便でもない (4)

【12 子育て支援の充実】

・子育て環境が他市よりも充実している (7)

・子ども医療費無料(中学校まで)などが充実されているため (4)

【13 職場が近い・通勤に便利・仕事の都合】

・勤務先に近い (7)

【14 買物環境以外は満足】

・買物には不便ですが、環境が良いので住みたい (3)

【15 公共・福祉・医療等の施設が近い】

・店、病院が近いから。

・大好きな公園(稲荷山・智光山)があるので

【16 その他の理由】

・近くにお墓があるから (2)

・現在の自分の健康、体力で対応出来る場所に居るので

・現状では良いが、将来どうなるかわからない

・今は新狭山ですが、狭山市駅近くが開発されて、さらに住み心地がよくなれば、そっち方面で住みたい

・市の活性化に協力したい。福祉活動に努力したい

②「市内の他地区への転居」の主な理由

【01 バス鉄道などの交通アクセスが悪い】

・駅から遠いので (14)

・交通の便が悪い (6)

・車なしで生活したい (2)

【02 居住環境がよくない・不便である】

・今住んでいる場所が不便、車を出さないと買物に行けない (2)

・今、4階に住んでいるがエレベーターがない (2)

【03 基地の飛行機・自動車・その他の騒音】

・騒音がうるさい (4)

・入間基地の飛行機がうるさい (3)

【04 買物施設がちかかきにくい・買物環境がよくない】

・歩いていける所にスーパーがない (4)

【05 老後が心配・高齢時の不便を危惧】

・高齢者になり移動手段に車が使えなくなった場合不安 (3)

・入曽駅がバリアフリーになってない。高齢になった時ほんとに困る。狭くて危ない歩道が多すぎる

【06 災害の危険がある・治安が良くない】

・近くに公園があり夜遅く人がいて怖い。自転車のマナーが悪すぎて、家の前の事故が多い

【07 通勤等に不便】

・通勤も買物も不便

【08 その他の理由】

・スカイテラス付近に転居したい

・現在の所が長いので変えてみたい

・障害があるため車いす

・踏切に引っかかるので、かからない場所にかえたい

③「できれば市外へ転居したい」の主な理由

【01 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い】

・交通の便が悪い為 (12)

・バス、電車で交通アクセスが悪い (6)

【02 居住環境がよくない・不便である】

- ・不便である (13)
- ・4mの私道の住宅内に毎日大型トラックの出入して仕事をしている家があり、振動音も大きい
- ・近くのドブ川が毎回あふれて車への浸水がいつも心配

【03 魅力がない・将来性を感じない】

- ・狭山市に、あまり魅力を感じない (6)
- ・狭山に引越して約30年、入曽駅周辺が当時と何も変わっていない (2)

【04 通勤に不便】

- ・勤務地から遠い (6)

【05 買物施設が近くにない・買物環境がよくない】

- ・買物に不便 (6)

【06 税金関係】

- ・税金が高い。税金に見合うサービスがない！ (6)

【07 愛着を感じない・故郷に帰りたい】

- ・他の土地から移り住んだが、愛着がわかない。故郷へ帰りたい (4)

【08 教養・娯楽施設が充実していない】

- ・ほとんどの用は市外に行かないと出来ないから映画館もない (2)
- ・文化施設の貧弱さ。大学系の大病院がない (2)

【09 基地の飛行機・自動車・その他の騒音】

- ・飛行機がうるさい！ (3)
- ・柏原ニュータウンのバス通りは、大型トラック、トレーラーなど高速で通り抜けるので、騒音に悩んでいる

【10 親族(親・子)等の近くに住みたい】

- ・あくまでも出来ればであって、子ども達がそれぞれ西東京市に住んでいるので近くの方が安心
- ・子どもたちが所沢市内に居住しているので、子どもたちの近くに転居はしたい希望あり
- ・知り合いや身内がいるから

【11 老後が心配・高齢時の不便を危惧】

- ・もっと便利の良い所でないとならば老後が不安(買物、交通etc) (2)
- ・出掛けるのは車だけなので、これからが心配。今までは、市の循環バスが前を走っていたが廃止となり不安

【12 自然環境がよくない】

- ・自然が(森、山、川)ない (2)

【13 田舎や広いところに住みたい】

- ・子どもが自立したら、もう少し老後が静かに暮らせる所に引越したい
- ・老後は里山のある所で田舎暮らしをしたい

【14 周辺の間人関係がよくない】

- ・閉鎖的。昔から住み付いている人で、まとまっていて入りにくい。サークル等(公民館などの)参加しようとした時も、色々、理由を付けられて入りにくい感じだった

【15 公共・福祉・医療関係施設が充実していない】

- ・福祉の充実の差

【16 その他の理由】

- ・都内に近づきたい為 (2)
- ・狭山市は昔ながらの古い考え方が多く、狭山市は時代から遅れている

④「市外へ転居したい」主な理由

【01 居住環境がよくない】

- ・何にかにつけ不便である (4)
- ・インフラ(特に下水道)が整備されておらず、今後の予定も知らされていない。深刻な問題である
- ・水(水道水)の質が悪い。住み続けたい理由やメリットがない

【02 バス・鉄道などの交通アクセスが悪い】

- ・入曽地区などはバス便が少ない(3)
- ・旅行に出掛ける時が多いので交通の便が良い所に住みたい(最終電車の時間が早い)

【03 親族(親・子)等の近くに住みたい】

- ・海外に家族と家があるから移住する
- ・知人、親族が多い所に
- ・都内に住む娘の近くに住居を移すつもり
- ・肉親の近くに住みたい
- ・夫も私も両親が東京に居るのですぐ行ける距離へ引越したい

【04 愛着を感じない・故郷に帰りたい】

- ・田舎へ帰りたい (3)

【05 自然環境がよくない】

- ・田舎なのに散歩コースがなく、アスファルトが多くて緑が少ない
- ・もう少し静かな環境、人とのつながり、自然が近くにある場所へ移りたい

【06 基地の飛行機・自動車・その他の騒音】

- ・自衛隊の飛行機の音がうるさい (3)

【07 老後が心配・高齢時の不便を危惧】

- ・入曽駅の利用で、エレベーターはなく、エスカレーターが下り(川越方面)しかない。年をとると階段利用は不便で電車の利用も出来なくなる
- ・買物も公共施設も歩いていけるところには何もなく、年をとったら生活するのは無理である

【08 通勤等に不便】

- ・都心に出るのに時間がかかる (2)

【09 公共・福祉・医療関係の施設が充実していない】

- ・道路事情の悪さ。鉄道のふみ切りも立体化はどれも無い

【10 魅力がない・将来性を感じない】

- ・特にこれといった魅力を感じられない。狭山市駅前開発が中途半端、楽しく買物する店が無い。駅前に憩いの場が全然無い(新狭山)

【11 田舎や広いところに住みたい】

- ・年をとったら、いなかでのんびり暮らしたいです

【12 その他の理由】

- ・3月末に離婚し、狭山市に住み続ける理由がなくなった。水野・南入曽周辺は買物等が不便で魅力を感じない
- ・交通の便、買物の便、文化施設が近くにある都内マンションに住みたい
- ・今マンションなので地方の一戸建に住みたい。マンションは隣近所の交流がなさすぎる
- ・自衛隊なので住み続ける(たい)理由は特に無い

⑤無回答者の理由

【01 魅力がない・将来性を感じない】

- ・引っ越す資金、きっかけはないけどずっとここにいたいと思う程良い所とは思わない
- ・買物に不便、市の財政が今後悪化し税金が増える予感(狭山市駅前開発により)がする。発展が望めない

【02 基地の飛行機・自動車・その他の騒音】

- ・入間基地の飛行機騒音

【03 その他の理由】

- ・住み続けるとは思いますが、住み続けたいかどうかは考えたことはない
- ・他県に転居しても、不安と慣れる迄が大変
- ・転居して間がない

7. 狭山市への意見・要望等

(1) 狭山市への意見・要望等

狭山市への意見・要望等は、図表 4-33①・②のとおりとなっています。

最も多い意見・要望等は、「街づくり関係」199件35.6%となっており、次いで「行政関係」105件18.8%、「産業・観光関係」66件11.8%、「公共物関係」63件11.3%、「バス運行・交通関係」58件10.4%の順となっています。

大分類による地区別に最多意見・要望をみると、入間川、入曽、奥富、柏原、新狭山の5地区では「街づくり関係」となっていますが、奥富地区では「産業・観光関係」も同率となっています。また、水富と狭山台の2地区では「行政関係」が、堀兼地区では「バス運行・交通関係」が最多となっています。

2番目には、入間川、入曽、堀兼、新狭山の4地区で「行政関係」をあげており、堀兼地区では「街づくり関係」も同率となっています。また、柏原と狭山台の2地区では「産業・観光関係」、水富地区では「街づくり関係」となっています。

地区別の意見・要望には、次のような特徴がみられます。

- 入間川** 大分類では「街づくり関係」への意見要望が最も多く53件34.2%であり、次いで「行政関係」28件18.1%、「産業・観光関係」21件13.5%、「公共物関係」19件12.3%の順となっています。
小分類では、「商業振興」が15件9.7%と最多であり、次いで「駐車場・駐輪場」13件8.4%、「行政事務」・「バス運行・交通」・「高齢者対策」が12件7.7%と続いています。
当地区では、街の中心となっている狭山市駅周辺や再開発地区に関する意見要望が多くなっているのが目立ちます
- 入 曽** 大分類でみると、「街づくり関係」が93件58.1%と過半数を超えており、次いで「行政関係」23件14.4%、「公共物関係」16件10%と続いています。
小分類では、「入曽駅とその周辺整備」についての意見が66件41.3%と集中しており、入曽駅周辺の整備関係が切実な問題となっています。
- 堀 兼** 大分類でみると、「バス運行・交通関係」が11件26.8%と最多となっており、次いで「街づくり関係」・「行政関係」が共に8件19.5%となっています。
小分類でも、「バス運行・交通」が最多となっており、市街地への足の確保が課題となっています。
- 奥 富** 大分類でみると、「街づくり関係」と「産業・観光関係」が4件25.0%と最多となっており、次いで「バス運行・交通関係」3件18.8%となっています。
小分類では、「その他の街づくり」・「商業振興」・「バス運行・交通」が同率の18.8%となっており、意見は分散傾向にあります。
- 柏 原** 大分類でみると、「街づくり関係」が11件22.4%と最多となっており、次いで「産業・観光関係」10件20.4%、「行政関係」9件18.4%と続いています。
小分類では、「行政事務」・「商業振興」・「道路整備」が共に7件14.3%と最多となっています。
- 水 富** 大分類でみると、「行政関係」が17件23.0%と最多となっており、次いで「街づくり関係」が15件20.3%、「バス運行・交通関係」が14件18.9%、「公共物関係」9件12.2%と続いています。
小分類では、「バス運行・交通」が最多であり、運行本数の増便要望が多くなっています。
- 新狭山** 大分類でみると、「街づくり関係」が8件38.1%と最多であり、「行政関係」が5件23.8%と続いています。
小分類では、「スカイテラス・再開発地区」が4件19.0%で最多となっています。
- 狭山台** 大分類でみると、「行政関係」が13件30.2%と最多であり、次いで「産業・観光関係」9件20.9%、「街づくり関係」7件16.3%と続いています。
小分類では、「行政事務」が8件18.6%で最多であり、「商業振興」が6件14.0%と続いています。

図表 4-33① 狭山市への意見・要望等(件数)

(単位:人)

大分類	小分類	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合計
街づくり	入曽駅とその周辺整備	2	66	1	0	0	0	0	1	70
	スカイテラス・再開発地区	8	8	1	0	5	3	4	2	31
	駐車場・駐輪場関係	13	0	1	1	2	4	0	2	23
	狭山市駅とその周辺	7	4	0	0	1	6	1	2	21
	狭山市駅西口	8	0	1	0	2	2	2	0	15
	狭山市駅東口	5	0	0	0	0	0	0	0	5
	その他の街づくり	10	15	4	3	1	0	1	0	34
	小計	53	93	8	4	11	15	8	7	199
行政	行政事務	12	12	5	2	7	8	2	8	56
	生活環境・環境整備	10	7	3	0	0	3	3	3	29
	騒音	1	1	0	0	0	4	0	1	7
	窓口対応等	1	3	0	0	1	1	0	1	7
	税金	4	0	0	0	1	1	0	0	6
	小計	28	23	8	2	9	17	5	13	105
産業・観光	商業振興	15	4	3	3	7	3	2	6	43
	イベント・観光	4	5	1	1	3	2	0	3	19
	狭山茶	2	2	0	0	0	0	0	0	4
	小計	21	11	4	4	10	5	2	9	66
公共物	道路整備	8	8	4	0	7	5	2	0	34
	公園・自然	7	4	1	0	0	1	0	4	17
	スポーツ・運動	4	4	0	0	0	3	1	0	12
	小計	19	16	5	0	7	9	3	4	63
	バス運行・交通	12	8	11	3	5	14	1	4	58
福祉	高齢者対策	12	1	2	1	4	5	2	3	30
	病院・福祉	1	3	1	1	1	0	0	2	9
	小計	13	4	3	2	5	5	2	5	39
文教	子育て対策・育児支援	1	0	1	1	2	6	0	1	12
	図書館・公民館	2	2	1	0	0	1	0	0	6
	文化・娯楽施設等	3	0	0	0	0	1	0	0	4
	小計	6	2	2	1	2	8	0	1	22
	その他	3	3	0	0	0	1	0	0	7
	総計	155	160	41	16	49	74	21	43	559

(注) 網掛けは、地区別の最高値と2番目である

図表 4-33② 狭山市への意見・要望等(構成比)

(単位:%)

大分類	小分類	入間川	入曽	堀兼	奥富	柏原	水富	新狭山	狭山台	合計
街づくり	入曽駅とその周辺整備	1.3	41.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	12.5
	スカイテラス・再開発地区	5.2	5.0	2.4	0.0	10.2	4.1	19.0	4.7	5.5
	駐車場・駐輪場	8.4	0.0	2.4	6.3	4.1	5.4	0.0	4.7	4.1
	狭山市駅とその周辺	4.5	2.5	0.0	0.0	2.0	8.1	4.8	4.7	3.8
	狭山市駅西口	5.2	0.0	2.4	0.0	4.1	2.7	9.5	0.0	2.7
	狭山市駅東口	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	その他の街づくり	6.5	9.4	9.8	18.8	2.0	0.0	4.8	0.0	6.1
	小計	34.2	58.1	19.5	25.0	22.4	20.3	38.1	16.3	35.6
行政	行政事務	7.7	7.5	12.2	12.5	14.3	10.8	9.5	18.6	10.0
	生活環境・環境整備	6.5	4.4	7.3	0.0	0.0	4.1	14.3	7.0	5.2
	騒音	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	2.3	1.3
	窓口対応等	0.6	1.9	0.0	0.0	2.0	1.4	0.0	2.3	1.3
	税金	2.6	0.0	0.0	0.0	2.0	1.4	0.0	0.0	1.1
	小計	18.1	14.4	19.5	12.5	18.4	23.0	23.8	30.2	18.8
産業・観光	商業振興	9.7	2.5	7.3	18.8	14.3	4.1	9.5	14.0	7.7
	イベント・観光	2.6	3.1	2.4	6.3	6.1	2.7	0.0	7.0	3.4
	狭山茶	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	小計	13.5	6.9	9.8	25.0	20.4	6.8	9.5	20.9	11.8
公共物	道路整備	5.2	5.0	9.8	0.0	14.3	6.8	9.5	0.0	6.1
	公園・自然	4.5	2.5	2.4	0.0	0.0	1.4	0.0	9.3	3.0
	スポーツ・運動	2.6	2.5	0.0	0.0	0.0	4.1	4.8	0.0	2.1
	小計	12.3	10.0	12.2	0.0	14.3	12.2	14.3	9.3	11.3
バス運行・交通		7.7	5.0	26.8	18.8	10.2	18.9	4.8	9.3	10.4
福祉	高齢者対策	7.7	0.6	4.9	6.3	8.2	6.8	9.5	7.0	5.4
	病院・福祉	0.6	1.9	2.4	6.3	2.0	0.0	0.0	4.7	1.6
	小計	8.4	2.5	7.3	12.5	10.2	6.8	9.5	11.6	7.0
文教	子育て対策・育児支援	0.6	0.0	2.4	6.3	4.1	8.1	0.0	2.3	2.1
	図書館・公民館	1.3	1.3	2.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.1
	文化・娯楽施設等	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.7
	小計	3.9	1.3	4.9	6.3	4.1	10.8	0.0	2.3	3.9
その他		1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.3
総計		100	100	100	100	100	100	100.0	100	100

(注) 網掛けは、地区別の最高値と2番目である

(2)狭山市への個別意見・要望等の主なもの

狭山市への個別意見・要望等の主なものは、以下のとおりです。

1)「街づくり」に関する意見・要望等

①入曽駅とその周辺

【駅周辺の整備・再開発】

- ・入曽駅周辺の整備・再開発を望む (42)
- ・狭山市駅ばかり立派にしないで入曽駅を見て下さい。とてもローカル色豊かでこんな駅西武線にないと思う。同じ税金を払っているのに！狭山市駅も以前の方が使い勝手が良かったと大勢の人から聞いている。中央公民館を利用するのに駐車場がないのはとても不便である
- ・狭山市駅開発ばかり集中しているが入曽駅にも少し目が向けてほしい。災害時における緊急輸送道路の指定及び避難場所(自治体)を見直してほしい
- ・市民を大切にしたい。入曽駅の開発をしてほしい
- ・長年住んでいるが昔と変わらない 特に入曽駅周辺は変化のない所である
- ・入曽に住居を構え 48 年経った。毎日駅を利用していたが、近年交通量が多く、年令も重ねてきたため、車の危険を感じるようになった。入曽駅周辺の開発を押し進めていただきたい
- ・入曽駅と駅周辺は、不潔で暗い感じがして好きではない。大規模な開発は必要ないと思うが、清潔感が感じられる程度には変えてほしい
- ・小学校の跡地を有意義に活用して入曽駅及び駅前を整理
- ・入曽駅周辺の整備と入曽に図書館を作ってほしい

【駅周辺の商店街の整備】

- ・入曽駅前商店街の充実 (2)
- ・入曽地域は駅周辺や商店街など全然整備開発されていない。若い人は「入曽はね!」と言って他所へ行くと聞く

【入曽駅にエスカレーター・エレベーターの設置】

- ・我家は入曽駅を利用しているが、年令的に駅にエレベーターまたはエスカレーターの設置を強く要望したい。ベビーカー利用の人や雨天時など困っている (7)
- ・入曽駅のエレベーター設置を宣しくお願いします。スカイテラスにも行ってみたいのですが、入曽駅からベビーカーを使って子どもを2人連れて電車で…と考えると、いつもあきらめてしまいます

【入曽駅へのバス関係】

- ・入曽駅からの日中のバスが1日1本になってしまい不便です。もっと日中のバスを増やしてほしい(3)
- ・「茶の花号」のコーセイ前からの路線を復活願いたい(狭山市駅、市役所、稲荷山へのアクセスが必要)

【新駅増設】

- ・入曽駅～新所沢駅間の新駅開業を強く望む
- ・入曽の車輛基地の所に小さな駅(南入曽駅)を作って店を募集し賑わいをつくる

②スカイテラス・再開発地区

【スカイテラスへの入店店舗について】

- ・スカイテラスの店舗をもっと充実させて欲しい。今のままでは、もったいない(2)
- ・スカイテラスのショップの充実を！不動産屋、松や、まんしゅうでは若い子は来ない。若い人達が集まるファッションのお店、雑貨屋さん等、たくさんあるともっと賑やかになるのでは
- ・スカイテラスに入る店舗にあまり魅力を感じられない。マクドナルドなどファストフード店を入れて、もっと気軽にお茶を飲んだりおしゃべりしたりできる場所ができるといい
- ・スカイテラスは飲み屋ばかりなので、ランチ、ケーキ屋(喫茶店)かわいい小物が売っている店、ファミレスなど、もっと活気が出るように工夫してほしい
- ・スカイテラスにもう少し夢のあるお店を
- ・狭山市駅スカイテラスは不便で、店舗も高級品を扱う店舗がない
- ・スカイテラスを利用しても共同駐車場がサービスにならないのが不満。せめて割引にならないか

【再開発について】

- ・狭山市駅再開発は本当に必要だったのか…交通の利用も前の方が良かったと聞く。スカイウォークは何のためか。旧商店街のさびれもひどいまま、駅前の格好だけが良くなっただけの気がする
- ・狭山市駅周辺の再開発が、果して市民の何割の人間に恩恵をもたらしたのか疑問である。その反面、入曽駅周辺の再開発の様に頓挫した計画は理由の如何を問わず、周辺住民の期待を裏切った訳で市長の責任と同時に市の展望が甘いと言わざるをえないと思う。キチンとした説明と具体的な対応策を要望する
- ・狭山市駅周辺の再開発は、必ずしも成功したとは言えない。何故、大型商業施設が出来なかったのか。「西友」の移転に伴う大型化、レベルアップが出来なかったのか。「西東京市」をもう少し勉強してほしかった
- ・狭山市駅周辺は多額の税金を使って開発したのに、入居店舗は家の近所にある店が多く、わざわざ行くのは七夕祭りの日位です。何の為の開発なのか…人を集める為だとしたら、中途半端だと思う
- ・再開発での成果を教えて欲しい。何が良くなったのか？
- ・狭山市駅周辺のみを開発しても、その他の地域に住んでいる人には関心は薄い。自分の周りの人の他にも目を向けて！年寄りだけが住人じゃない!!
- ・再開発は市民のことを考えているとは思えない

【再開発地区の利便性について】

- ・狭山市駅の再開発で、車の通行、バスから電車への乗り換え時間の増加、東・西の連絡が面倒などかえって不便になった (2)
- ・駅周辺が開発されて非常に使いにくく、不便になった。おいしい店がないし景色が良くなったわけでもないし、何の為の開発なのか。開発設計者は何の目的でこうしたのか、バス停で殆どの人が同じことを言っている
- ・狭山市駅周辺の開発ばかり進めても、あまり生活が便利になったという実感がない。買物は入間方面、所沢方面、都内に出るので。所沢と川越に挟まれて都内にも出やすい狭山は、商業や観光も大切かもしれないが、それよりも保育・教育環境の充実といった“人が住みやすい(定住しやすい)”街をめざしてほしい
- ・狭山市駅の大型開発がされても主婦にとって利便性はほとんど無く利用していないので、毎日の生活により密着している商店の方を活性化して欲しいし、子どもへの支援を増やして欲しい。(第3子以降はもっと支援増など)

【再開発地区の店舗や施設等について】

- ・狭山市駅のまわりはきれいに整備されているけど、実際歩いてみるとまわりくどい。映画や買物など楽しめる所がないので他市に行くしかない。通りすぎる町になってしまっているような気がする。花のある所に人が集まるので狭山市中に同じ花を植えるなんていかがか
- ・狭山市駅は再開発したのに活気がなく残念。大病院、大型スーパー等があればよかったのと思うが、水野では所沢、入間へ行ってしまうことが多い。すべてが中途半端で残念。近くのドブ川が豪雨のたび毎回あふれているが、快適な市民生活が守れない。下水道、雨水整備をしっかりしてほしい。
- ・駅前開発をしたが、ゆっくりできるお店や、人が集まるような施設はなく、遊びに行くなら、川越や所沢へ行ってしまう。開発した意味が分からない
- ・正直、駅前開発した現在、にはがっかりした。回りの殆どの人がそう言っている。入っている店舗も、ほとんど魅力あるものではありません。どうして、地元が、活気あるものにしないのか…。だから、どうしても遠くても他の市や県外で買物するのだと思う
- ・再開発地域を魅力のあるものにしてほしい。花屋を出してほしい

【再開発地の公共施設について】

- ・とにかく、駅直結の市民交流センターを市民全員が必要とする施設に変えて下さい。市役所の機能を少し移すとか、予防接種の場所にするとか。一見した限り、暇な人の暇つぶしスペースとしか思えません
- ・駅前の一等地に公共施設は無駄、市民交流センター等、駐車場を持てる場所の方が良いのでは
- ・駅前の不要な再開発は、とても不便になりました。図書館前の信号、改札への遠さ、公民館の料金の高さ、大変不満です。狭山そばもなくなってしまったし
- ・駅前開発に力を注いでいないで、子育て世代、高齢者世代にもっと住み良い政策に力を入れて欲しい。人口流出を止めるには、もっと他市町村より優れているアピールをしないとイケないと思う
- ・駅前再開したが全く魅力が無い。他に比べコミュニティバス料金が安い

③ 駐車場・駐輪場

【駐輪場】

- ・狭山市駅東口・西口に無料の駐輪場、駐車場の設置してほしい (6)
- ・子育て支援センターが自転車も有料になったのがおかしい。税金で成り立っている支援のはずなのに
- ・新狭山駅前に月 3,000 円位のしっかりした自転車置場を作ってほしい
- ・新狭山駅の駐輪場の充実、狭山市駅の駐車場、駐輪場の充実、狭山大橋の無料化と街灯の設置
- ・バイクも自転車も簡単に置く所がないので、狭山市の駅が良くなっても買物には行かない

【駐車場】

- ・狭山市駅前の公共施設(市民交流センター・中央公民館・子育て支援センター)の駐車を無料にしてほしい (3)
- ・狭山市駅東西の駅前広場に、一般車の送迎用の駐車個所を設けてほしい (3)
- ・狭山市の駅近くに無料の駐車場を作ってほしい (3)
- ・狭山市駅周辺の駐車場の数をもう少し増やし、安い料金(例:1日500円~600円位)にしてほしい (3)
- ・図書館利用者でない人(市民交流センター利用者)が、図書館に停めるのでいつも駐車場が混んでいる
- ・狭山市駅東口側にも市営の駐車場がほしい

④ 狭山市駅とその周辺

- ・駅ビル又は駅周辺に大型のデパートや専門店がない。総合的な商業施設の充実を (3)
- ・駅と駅周辺が使いにくい。東口から西口に抜ける通路をもっと短距離、平坦な道にして欲しい。年を取ると高低差は厳しい。また、西口側に横断歩道を作って欲しい
- ・駅ビルは食べ物为主体で面白くない。もっとウインドショッピングができるとよい
- ・駅前にもっと食事やお茶ができる所がほしい。商店街が折角あるので活性化し、昔の良い所、新しく良い所を作るバランスを大切にほしい
- ・駅周辺の施設は、上手に使わないと、本当にもったいない投資だと思う
- ・新しい駅舎が出来たが、昔に比べてホームまでが長く、年よりには遠く思える。改札から、出入口まで商店を通す必要があったのか疑問である。エレベーターなどをつければ老人対策と考えている感がある
- ・東口から西口へ車で行くのに不便。一方通行の踏み切りを何とかしてほしい
- ・狭山市駅周辺では買物がしづらいので、入間市や所沢へ出る事が多くなった
- ・狭山市駅は今までより大変不便です
- ・狭山市駅周辺をもっと魅力のある街にしてほしい。西口開発できれいにはなったが、これといった特徴もなく、集客力もないように感じる。ワクワクするような魅力ある駅になるとよいと思う
- ・駅前がきれいになり、スッキリしたが、横断に不便なところや、近くなのに雨にぬれてしまうところ、なんとなく歩く人にとってスムーズでないところがある。バス停に近いエスカレーターにも屋根が必要である
- ・狭山市駅前にだけお金をかけている気がする。他地域もきちんと整備して欲しい
- ・狭山市駅が橋上駅となり、東と西に分断され何かと往来が不便になり、残念だ

⑤ 狭山市西口

- ・狭山市駅西口は階段が多く不便になって残念。改札口に行くのが大変です。東口はちょうどいい (2)
- ・狭山市駅西口は、エスカレーターがないので不便 (2)
- ・狭山市駅西口から東口へ行く場合、西口のトイレの横あたりから東口へ車椅子でも行ける高架歩道を付けてほしい。踏切を渡らないでも安全に行ける様に考えて
- ・狭山市駅西口のロータリーの造りが悪い。自転車を降りて図書館まで行かなくてはならず不便。スカイテラスの地下が空いているなど活用されていない
- ・西口ロータリーの柏原ニュータウン行バス停を初めての人でもきちんと並べるように工夫してほしい。日によって並び方が違うのでどこに並べばいいのかわからない時がある
- ・狭山駅の西口駅前には、箱物の建物ばかりで住民はとでも不満。今迄の方が便利で、今の西口を良いと言う人は余りいない
- ・狭山市駅西口から市民会館に行く途中、街路樹が無い所があるので植樹してほしい
- ・狭山市西口の広場が広すぎてもったいない！草木を植えるなら、他の地域には無い特色ある花木を春、夏、秋、

冬と楽しめるようにしてはどうか。花は目立って長く咲くものもいい。駅前は、自転車はどう通行してよいのかわかりづらく、使いにくい！

- ・西口開発などせず、その分子算を住民のために役立てれば、すばらしい狭山市になっていたと思う。つくづく残念。狭山の魅力も半限
- ・狭山市駅西口のマンションなどは、部屋を小さくしても、高齢者専用に建設して、中に病院や市役所の窓口、銀行、郵便局などを併設し、モデル的構想を持ち出し、実行するべきであった。単に、人が住めば良い訳ではない。この様な柔軟な考えを持たない役人の居る市に住んで絶望感さえも感じる…

⑥狭山市東口

- ・東口駅ロータリーは、前より不便になった
- ・狭山市駅周辺は殺伐としていて暖かみがない。特に東口は緑も少なく、一息つける所もなく、早く帰れと言わんばかりの風情である。狭山市の中心は何処なのか？やはり、駅周辺に人が集まり、若い人、老いた人の交流が無ければ楽しい街ではない
- ・狭山市駅東口の道路は、ほとんど必要としていないのに広いのはなぜか。住宅地の中は、狭まい道ばかりで安心して散歩もできない

⑦その他の街づくり

- ・魅力ある街。他の場所から来た人が又、訪れたいくなる住み良い市造りをして下さい (5)
- ・新狭山駅も、もう少しきれいにするなど開発してほしい。エスカレーターがほしい (3)
- ・若者達、子ども達が魅力を感じるような活気のある街づくりを期待している (2)
- ・商業振興ももちろん大事だが、今暮らしている市民が安心して暮らせる施設を検討してもらいたい。また子どもから老人・弱者まで安全に通れる道路や歩道を増やすなど安心して暮らせる環境づくりをお願いしたい (2)
- ・きれいな町並みを行政と地域が協力して造ってほしい。バラバラに開発が行われ、雑然とした所が増えている。狭山市が持っていた自然豊かな環境が失われてきている
- ・狭山の中心ばかりでなく、周り全体(トータル)での発展を考えてもらいたい。高齢者も多く、道路、医療、店舗など色々サポートが必要
- ・狭山は、所沢や川越と比べて何の特徴もない町のように皆から思われている。大きなイベントや商業施設がなくても「子ども」と「お年寄り」を大切に、子どもやお年寄りがいきいきと暮せるエネルギー溢れる町にしてほしい
- ・狭山市に来て、子どもが産まれてから普通車免許を取った。市内には、バスなど公共交通機関が殆ど利用できない地区が多く、免許がなく子どもが小さい頃は本当に大変だった。特に車を運転しないお年寄りは同じ思いを抱えていると思う。タクシー会社などと連携して何とか身動き取りやすい町にしてほしい
- ・日本一ゴミのない(ゴミを拾う、捨てない市民)狭山市を目指して、きれいな街づくりを推進してほしい
- ・人口減の中で、所沢と川越に挟まれて厳しい。自然は飯能に負けるし都市特性が難しいと思う。大規模商業施設、総合大学の誘致はどうか
- ・所沢と川越に挟まれた狭山ですが、もっと人が来てお買物出来る所があるとよい
- ・狭い住宅地に家ばかり増え、道路はごちゃごちゃと未整備なのが不満です。街づくりを考えてないと思う
- ・余計な開発なんかせず、環境の事をもっと考えて下さい！
- ・開発をする際も今の時代に合った開発が必要だと思うし、人口流出を止める手段を早めに実行しないとと思う
- ・環境破壊につながる建物などは制限してほしい
- ・テレビなどで言われている買物難民にならないような街づくりを望む
- ・狭山市駅以外にも目を向けて下さい
- ・入間小学校の跡地を子供達のために早くどうにかしてほしい。
- ・入間小学校の跡地を中心に武蔵藤沢駅東口のような飲食街、駐車場など人が集まる施設ができると良い
- ・狭山茶はもちろん有名ですが、他に狭山市の目玉になるものがあればもっと狭山に遊びに来てくれるのでは？
- ・他市・他県からも訪れたいくなるような施設がほとんどないので、その辺をもっと増やした方が良い
- ・住民の殆どが都内で働き買物をしている感じなので、狭山市駅・入曽駅周辺の開発をもっと推進してほしい
- ・下水道などの整備をしてほしい

2)「行政」に関する意見・要望等

①行政事務

【ゴミ回収】

- ・ごみの回収頻度を増やしてほしい。特に資源ゴミの回収を増やしてほしい (4)
- ・燃えないゴミの出し方を変えてほしい。以前居た所は事前に処分するものにあわせた金額シールを購入して貼付して電話連絡のみで立会不要だった。仕事をしていると立会いが難しい
- ・ゴミ減量推進の報道が少ない。ゴミ問題は右肩上りの意識を要す。例:プラ回収後の成り行きやゴミ全般の出し方の問題点など繰り返し公報してほしい
- ・ゴミ収集車の回収の際、音楽を掛けてほしい。出し忘れに気づく

【一般行政事務】

- ・毎月市報(公報)を拝見していますが人口の減少が気になる。人口増になる様対策を取って下さい (3)
- ・行政情報(公報)(もっと具体的に)の強化 (2)
- ・工場誘致を積極的に進めて欲しいと思う (2)
- ・本田技研工業(株)が寄居町に工場を一部移転し2000人の移動があったようだが、他の会社を含め狭山で活動してもらえる施策が必要なのは(緑地化の比率を下げるなど実施しているようだが)
- ・人間味あふれる市政希望
- ・市政に係わる方は狭山に在住の知識人の意見、智恵を借りたらどうですか?外に向けての狭山の宣伝が足りないのでは?狭山の顔の駅前が何とも味気ない空間になったような気がする
- ・市民の生活を大事に考えてください
- ・市民の声が反映されていない。希望とかけ離れている。特に駅前開発。議会に期待出来ない
- ・過剰なサービスを自治体には求めず自己責任が原則。今のサービスを低下させても財政健全化を目指すべき
- ・狭山独自の味が無くなって来た。無くなるのであれば違った味を出せる行政を
- ・今の市長さんのままが良いです。老若男女、大事に考えてくれているのがわかる
- ・借金をしてまで便利さを向上させて欲しくない(させる必要がない)
- ・身の丈に合った行政を!再開発自体に疑問を感じている
- ・現居住地域は非常に便利で住みやすいが、市内でも地域による利便性の差を感じる。16号を境にその差が分かっている。今後、人口を増やすためには利便性の他に、子育て支援、高齢者支援が必要だと思う。
- ・古い物を壊すとき、前より良くしようという気持ちを感じられない。ただきれいに格好良く、おしゃれにことだけでは、かえって田舎丸出し。人間川小跡地はいい利用だと誰が思うのか、稲荷山の自然を破壊して眺めのよい公園と言えるのか、人間性の感じられる市政が出来る人材がいらない
- ・狭山市の迷子等の放送が全然聞こえず、人間市のものが聞ける。付ける場所を考えてほしい
- ・行方不明者の放送をしているが結果も放送して下さい。心配している
- ・市の情報が耳を澄まさなければ聞きとれない。各家庭屋内で聞けるようにできないものか。全国で事件、事故が年々多くなっている。おだやかな環境にしたい
- ・少子高齢化に対する危機意識の欠如(部による温度差が著しい)。環境経済部や市民部は高いがそれ以外は?活性化に対し速やかに対応して、いただきたい
- ・市役所での書類手続きが平日しかできないので困った
- ・市役所等手続きに行くが対応がわかりにくく、不親切な所がある。障害の人等を助けられる制度等をもっと分かり易くしてほしい
- ・上赤坂は、住所は狭山市だが所沢市にした方が良いのではないかと?現に、買物(スーパー等)も所沢市のお店に行く方が近いし、小・中学校も堀兼小・中学校まではとてもじゃないが通えない。所沢市の富岡小・中の方がはるかに近い。最寄駅も新所沢駅になるし
- ・所沢市と合併したら狭山市ももっと魅力になり、発展すると思う
- ・自治会から毎月、届く狭山市広報で色々行事その他なことがわかってとても良い
- ・住民を増やし、活気がほしい。良い所が多い事をピーアールし人口減少を止める
- ・住民自治が弱い。タウン・ミーティングを持ち、直接住民の声を聞くべき
- ・やはり若者を目標にしなければダメで
- ・水富地区は狭山市の端のためか何でも後回しにされている様に見受けられる。特に笹井地区がそうである

- ・西口の開発に、たくさんのお金がかかったことでしょう。陽のあたらない地区にもたくさんの人達が住んでいる。老人達が一生懸命生きている事も知って下さい。柏原には、市営プールも児童館もない。暑い夏を過ごす場所、楽しい場所を考えて下さい。狭山大橋の無料化にする事でもっと活気も出るのでは…
- ・赤坂の森(公園の一部に市営の火葬儀所がと思います)、現在では火葬まで10日近く待たされては、この先どうなることか
- ・長年続いている地域活動の照会や交流を手助け願いたい。独居老人者の健康確認と近隣居住者との話し合い活動を増進下さい
- ・埼玉で一番というものを作ってもらいたい(例)大病院・遊具が充実した大公園・大プール・ゴミのない街作り)
- ・2020年東京オリンピックで霞ヶ関カントリークラブがゴルフ競技会場になるので至近距離の狭山市も今より更に活性化出来たらよい
- ・市役所の屋上を、例えば正月ごろに一般開放してもらいたい。富士山もスカイツリーも良く見え、楽しめる

②生活環境・環境整備

- ・住みやすい生活が安心して出来る街にしてほしい (4)
- ・街路灯が少ないので拡充を (3)
- ・安心して暮らせる社会、地域づくりをして頂けるとうれしい。特に子ども達の健やかな成長を支援願いたい
- ・市民の生活環境の向上、利便性の改善への思想が極めて希薄で非常に不満を感じている。どんどん魅力に欠ける街に傾いている。若い人達が愛着を抱き、誇りに思える環境づくりに最大の努力を払うべきだ
- ・雑木林をこれ以上減らさないで下さい (3)
- ・公営の霊園の設置を (2)
- ・緑地保存に市としてのプランがほしい。入曽駅前、入間小跡地の整備と公共施設商業地区としての開発を望む
- ・自然を残してもらいたい。山林を個人から買い上げて自然を残してもらいたい
- ・緑の豊かさに惹かれ、40年前から住み続けているが、この何年かの間に、どんどん森や林がなくなり、とても残念である。市として、古くからある住宅地の近くの緑をぜひ保存し、環境を保ってほしい
- ・狭山にきて30年、緑の多さは保たれている。次は生活者を意識した環境整備・充実を
- ・狭山市という本来、自然豊かな町というイメージを大事にして欲しい。特に入間基地の存在がイラク戦争の時など米軍に呼応するかの如く夜間軍訓練が繰返された。軍都にならない為に狭山市に自衛隊の夜間訓練の中止を願う。パトリオットが配備されてなく、親アメリカと敵対する国のターゲットにされている事も国際的にみた場合忘れてはならない！
- ・古い団地の多くにエレベーターない。高齢化により階段では生活が困難になる。新団地が必要かもしれない
- ・都市化は川越・所沢などにまかせ、生活に密着した店舗の充実、公園の整備等住環境をより良くしてほしい
- ・自然災害が今のところ無く有難い。公衆トイレ、ベンチの設置等願いたい
- ・年々畑をやる人の高齢化が進んで放置の場所もちらほら、外灯もなく物騒です。夜に農薬散布とか野焼きとか迷惑なので、農家の作業時間を規制して欲しい
- ・排水溝の整備。道路の整備
- ・ゲリラ豪雨が多くなったので排水溝整備、川の中州整備を

③騒音

- ・自衛隊の飛行機の騒音が非常にうるさい 何とかしてほしい(テレビの音が聞こえない) (3)
- ・入間基地の飛行機がうるさい。騒音地域に住んでいるが、なにひとつ防止策がとられていない。広瀬小学校はヒドイです。何年に1度かは飛行ルートを変えてほしい。沖縄住民の気持が良くわかる
- ・飛行練習は、川の上空を飛ばす

④窓口対応等

- ・市職員の窓口対応、以前と比べて良くなり、親切で有難い (2)
- ・市民サービスコーナーの業務を拡大して欲しい。出張所で住民登録や印鑑登録、その他登録が出来るように
- ・公務員の勤務態度の改善を徹底して
- ・すぐやる課をつくってほしい。積極さが無い

- ・狭山市の人口に対して、市職員及び市議会議員の人数が多過ぎないか

⑤税金等

- ・税金を安くしてほしい
- ・エスカレーターやエレベーターが多く税金の掛けすぎだ
- ・税金、健康保険料、介護保険料が高い。年金ではアップアップであまり楽しみたいと思わない。介護保険の利用は上限枠を設けても良いのでは。明日は我身かもしれないが乱立する老人ホームへ税金を投入するより、元気な老人作りに税金を使ってほしい
- ・河川敷の土砂の撤去に数千万円も使っている場合ではない
- ・もっと税金の使い方を勉強してください

3)「産業・観光」に関する意見・要望等

①商業振興

- ・七夕通り商店街に活気が無い (2)
- ・七夕通りの活用。空き店舗を安価で提供するなど中小企業への商業支援をお願いしたい
- ・七夕通りの変化を望みます。シャッター通りなどと呼ばれないための改革が必要だ
- ・七夕商店街もやっている店とやっていない店があり、特別おいしい店もないので行かないのだと思う。都内の商店街のような是非行ってみたい
- ・このような調査を行って市政を検討していくことはとても良いことだと思う。私は車を持っていないのでベルクベスタ狭山店に行くには自転車で行くので、雨の日や荷物が多くあると買物できません。足の便や宅配サービスがあれば良いと思う。狭山市内で買物したいと思っても欲しい物が手に入らないので通勤途中の都内ターミナル駅周辺で極日常の品物以外は買物している
- ・ちょっと立ち寄れるコーヒーショップ、カフェなどがあると商店街にも行ってみようかなと思うような気がする。高齢になったらタクシー券などがあると免許を返納してもらいぶ便利になると思う。それから巡回バスの充実
- ・おいしい飲食店があったらいいと思う
- ・西武デパートとか丸広の様な中堅でも良いので、デパートが1軒位は欲しい。(人に差し上げる物はしっかりしたメーカーの物を差し上げたい)
- ・地元商店に活気がないし、将来の見通しもない経営が多いのでは。本気で街を作る指導者が出る必要がある。個人商店を大切に出来る事。大型店とコンビニの出店競争にも個人商店の良さがある
- ・商店街にシャッターが目立つと、街全体が廃れた感じがするので、空き店舗の再利用に力を入れて欲しい
- ・川越、所沢に対抗できる商業的発展がないと買物へは期待できない
- ・多方面から人が集まる商業施設がないので残念。狭山市にお金を落としてもらえらる事を一番に考えてほしい
- ・アウトレットのような大きな総合店舗が少ない
- ・大型店があると人が集まって来ると思うが、他の市町村に比べると、特に服を扱う大型店が少ない
- ・イオン等の店舗が近くにあれば便利
- ・ベシアが市内にあれば良い。入間市の様に低価格のお店が欲しい
- ・移動販売が来てくれることを希望。足が悪(歩くのが困難)、お店の宅配が増えることを希望
- ・稲荷山公園駅周辺にスーパーを作してほしい。以前家政大学だった所は何になるのか知りたい
- ・狭山市駅西口の本屋さん3回入ったが対応が感じ悪くもう行かないと思った。所沢の西武の本屋さん等とても親切で仕事を止めて探してくれる。駅のお店にここに入ってみたくてあまり思わない
- ・駅周辺のシャッター店舗が多いが活性化を求む(花火大会当日でも地域商店はメリットを受けていないのでは?)
- ・家族も多く、買物は一ヶ所ですませる食品スーパーに行ってしまう。エコの為に歩いて買物等をしたが、我が家には障害児もいて、個人店等は狭すぎて入りにくい面がある
- ・狭山市駅と周辺にもう少し店舗充実して欲しい。駅東口に一般車両が短時間駐停車できるスペースが欲しい
- ・Emioに専用駐車場はあるか?車で通りかかって買物をしたくても駐車場の有無が分からずあきらめることがよくある。Emioの店舗は魅力的なのでたくさん買物をしたら定期を持ってはいるが、車で帰りたい(新狭山駅利用者)
- ・狭山市駅の東西交通が絶たれている。駅直近に魅力ある大型店舗を誘導して欲しい。近隣の入間市、所沢市、川越市に比較して魅力ある大型ショッピングセンターが全くない。祇園、富士見周辺の道路幅が狭く、迷路のよう

になっており、交通整備が出来なければ街づくりは不可能

- ・近くにスーパーがなく、今は良いが車の運転が出来なくなると不便になるので、楽しんで買物が出来る西友、ヤオコー等の大型スーパーが近くにほしい
- ・笹井地区にスーパーがほしい
- ・入曽駅周辺に大型スーパーを作してほしい
- ・新狭山にも大きなショッピングセンターなどが出来ると買物がしやすくなる。特に南口にはこれといってスーパーがないので不便です
- ・近くにスーパーを作ってください。100円コンビニなどがあるといい
- ・今は車で運転して買物に行けるが、将来的には近くにスーパーがあればよいと切に思う
- ・市内の商店は散らばっていて行くのが大変。再開発等で雨降りでも行けるアーケードの商店があったらよい
- ・高校生、大学生、20代、30代に魅力ある店が駅の近くにあると活気づくと思う。家族での買物は車で移動するが、これらの世代も電車等で所沢や川越に流れているように思う
- ・小さくても魅力ある店舗、商店街が欲しい
- ・小売店は近所にあるが、やはり大きな店へ行ってしまう。品数の点で、何か特典やイベント・サービスでお客さんを引きつける小売店の援助・支援をして欲しい。それが、街・市の活性化につながると思う。小売店が賑やかな街ほど人が元気になる。大きなお店は何もしなくても人が集まるので
- ・生産者(特に農業)が直接出せる市場のような処があったら良いと思う。ふれあいマートをもう少し大きくしたような処、果物の生産者が少ないけど、最近の気候は南や北の産物(りんご、みかん)等も狭山でも出来るのでは
- ・狭山市駅前と同じ様な店舗が多く、あまり魅力的な店がない。せっかく新駅になったのに、少しガッカリしている
- ・入間川を利用した高所デッキでの飲食店がほしい
- ・柏原は店舗が少なく、生活に不便である事が難点である
- ・柏原ニュータウン、ショッピングセンター近くにコンビニが欲しい

②イベント・観光

- ・狭山市が関東三大七夕祭りならば、花火ももっとレベルアップしてほしい！ (2)
- ・七夕まつりの飾り等、以前より簡易化していい、つまらない。準備が大変とは思いますが
- ・祭りなどのイベントを増やしてほしい。平日休みの人でも楽しめるようなもの
- ・清瀬の向日葵畑に行ってきた。堀兼にあるのを知らなかった。期間中バスを出してイベントとしてやったらどうか
- ・名所・旧跡が非常に多いのでウォーキングイベントを開催し、完歩賞に地元商店街有効の地域振興商品券を渡したらどうか
- ・入間市、狭山市、その他近隣地域合同のイベントを考えて県外からの人々を呼び込んで活性化してほしい
- ・9月7日に交流センターで狭山寄席に参加しました。[駅直通で近く]高齢の人も参加していた。これからも施設の有効利用を望む。東口駅までの道を早く整備して下さい
- ・施設が点々としていて情報が伝わりにくい。イベントなど一箇所が絞れない。何かイベントありますというのは、大きな公園があって駐車スペースが大きく、その横の建物でもショーや展示スペースがあるとか
- ・友人を呼んでも近くに観光できる所が少なく、自然を利用した施設を作るほか、遊園地やお茶を利用した温泉や名産を取り揃えた店などを増やすべき！ もっとアピールした方がよいと思う
- ・1コインで楽しめるイベントを更に充実下さい
- ・富士山も見える。茶畑もある
- ・休耕地をもっと利用して観光客を呼び、元気ある狭山を望む
- ・入間川周辺にキャンプ場・バーベキュー場がほしい。柏原のパチンコ店前の敷地等に作れないか
- ・川を使った観光、自然を利用した物、お茶以外の農産物を作る
- ・活気がない。交通機関が利用しにくい。他から人が流れてくるような興味のもてる健全なイベントを作り出す。
- ・市外から遊びに来た人を案内する所が少ない
- ・会員にならずともいつでも利用できる温水プールがあると嬉しい。泳げないが川越のオアシスを時々水中ウォークで利用している
- ・地域の連携が少ない。参加したいと思うイベントがなかなかない

③狭山茶

- ・お茶香るまち狭山市でいてほしい！静岡よりも宇治、八女茶よりも、一番狭山茶おいしく飲みやすい
- ・地場産業であるお茶を使ったグッズ、グルメ、お土産品等の販売
- ・伝統を守るために常に開発が必要というが、狭山茶で紅茶を作って全国に広めるのはどうか

3)「公共物」に関する意見・要望等

①道路整備

- ・狭山環状道路の狭山大橋無料化を望む (5)
- ・道路・交通設備の充実 (4)
- ・街の道路が暗いところが多い。夜歩いて保安上街灯の大切さを確認して対処して欲しい (4)
- ・新富士見橋は老朽化しており、いつ崩壊するかと心配になる。早期に付替えてほしい (3)
- ・街路樹(花水木など)の手入れをしてほしい (2)
- ・時間や場所によるが、特に16号へ出る橋などは車の渋滞がひどい
- ・市内の道が狭く、車の運転が不便
- ・道路が狭い所が多いのに、考えもせず停車している地元の住民が多い。死角になる場所も多いので怖い
- ・道路の拡張を願いたい。裏通りは、互にゆずり合って通行している(車対車)
- ・年を取ると歩道が斜めだったり、凸凹だったりすると躓くので、道路管理をしてほしい
- ・障害者にやさしい道路や歩道にしてほしい。段差がありすぎ
- ・幹線以外の道路はくねくねして、不便。入間市へ行くアクセスが悪い。根本的な区画整理が必要では
- ・道路の車量が多い。入曾を通過する車をバイパスで一本化に
- ・狭山環状道路に外灯が無い所があり、夜間自転車等で通るのも心配。オオタカへの配慮としても一考を願う
- ・自治会から、道路の白線の幅を狭めるように提案して実施してもらったが、効果はいまいちである
- ・通学路の標示、住宅地内の街灯を増やしてほしい。入間川小学校前の車道は車が多く(抜け道?)住民の高齢化で危険。今の内に対策を
- ・車道・自転車道・歩道の区分を願う
- ・自転車の専用道路を確保して欲しい
- ・自転車の無灯火、傘さし、スピード運転で危ない
- ・40年住んでいるが歩道や道路の整備が他市に比べて遅い。車の交通量も増えているので、子どもと一緒に自転車での遠出もすることが少なくなったが、子どもが事故に会わないか心配
- ・雨が降ると川のようにになってしまう道(中央2丁目の坂道、沢自治会前など)が多い

②公園・自然

- ・稲荷山公園の見晴台の整備・拡充
- ・公園がとても少ない。子どもが安心して遊べる場所がない。森がどんどん減っている。駐車場にするくらいなら市が買いとって公園にしてほしい。北小学校の跡地が、市民の為に全く活用されていない。駐車場にとめていたら、何人もの職員にじろじろ見られたりした。校庭の跡地も子どもは遊びにくく、荒れ放題でもったいない
- ・公園にもう少し遊具を増やしてもらえとうれしい。家の近くは鉄棒位しかなく、ボールあそびも禁止で、稲荷山公園に行っても自転車もダメ、ラジコンもダメ…。狭山市では子どもが遊ばず隣の入間市の「彩の森公園」でしか自由に遊べないので、もう少しのびのび遊ばせてあげたい
- ・子育て中なので子どもが遊べる公園・場所がもっとあると良いと思う。イベントなどをもっと市主催でやってほしい
- ・北入曾近くは公園がないのでほしい。赤坂の森あたり…子どもから高齢者までが楽しめるジョギングコースとか、充実した公園がほしいです
- ・今、子どもが思いきり遊ぶ所がない。中央公園とか安心してあそべる大きい公園をもう1か所作ってほしい
- ・智光山公園をさらに整備し、他市、他県からの人寄せの目玉にする。
- ・入間川の河川敷に畑を作っている人がいるがどうにかして欲しい。子どもたちの遊ぶ場が減っている時代、自然のスロープで転がったりカケッコしたりの楽しさを奪っている。又、整備もほどほどに花壇等きれいでありがたいが、あまりにも自然がなくなりお花1本で遊ぶことも出来ない
- ・入間川の流れをいつもきれいにしたい。元花寿美の通りにあるいくつかの公園は草がたくさん生えているの

で、キレイにして欲しい

- ・入間川近辺の公園や、河原にトイレを多く設置してほしい。入間川の公園等もキャンプが出来る様にしてほしい
- ・近所の公園にはトイレがないので、何かあった時は困る
- ・入曽運動場の利用日曜日AM9～11の2時間限定して。外国では日曜は道路を通行止にして野菜などの露天市(テント市)、ファーマーズマーケットやフェイラで(朝市)利用出来てとても便利
- ・公園の近くに住んでいますが、ホコリが立つので草刈り機の草取りはしないで下さい車にキズがつきます
- ・稲荷山公園の草刈り機や枝をくたく機械、落ち葉を風圧で集める機械の音がうるさくて公園本来の目的が失われている。週3日以上は何らかの騒音がある
- ・公園の古い樹木や枯れて傷んだ草木があるので環境整備をしてほしい。ただ切るだけでは保全とはいえない

③スポーツ・運動

- ・観覧席のある野球場がほしい
- ・健康体操が出来る公園(特にシニア向け)
- ・高齢者が安く利用出来る体育施設があれば良い
- ・気軽に歩ける散策コースを整備してほしい(車で行って歩けるようなコースを作してほしい)
- ・ウォーキングコースなどの詳しい地図をもらいに行ったが何も無い。狭山には、色々なコースの見どころ、全長、所要時間などそういったコースは無いのか
- ・サイクリングロードに照明がほしい
- ・スポーツ、文化の機会を継続して欲しい
- ・スポーツイベントを増やしてほしい
- ・運動できる場所が市内の交通至便の所に少ない。長野県のPR化運動のように、運動と食生活改善の取組みを
- ・駅の近くにスポーツジムの施設を作してほしい。その施設に風呂など設置して、喫茶店など(飲食できる店)もあれば、人も集まるのではないかと思う

5)「バス運行・交通」に関する意見・要望等

【茶の花号】

- ・「茶の花号」の本数を増やしてほしい。買物に行くための足として必要です
- ・「茶の花号」をもっと増やして欲しい。(毎日とか)運行日、時間を(コースがまちまちでわからない)
- ・「茶の花号」がもう少し便の悪い所を走ってほしい
- ・「茶の花号」のバスの利用時間帯が大幅に変わり、まったく利用出来なくなった。料金が高くなっても良いのもっと利用しやすい時間変更を希望する
- ・以前は新狭山狭山台からサピオ稲荷山まで「茶の花号」があったが、今はなくなってしまった。どうして「茶の花号」のコースが変更になったか、納得できない。是非上記コースの検討を願いたい
- ・西武バスの乗次ぎが悪く不便。柏原地区には、狭山市駅に行くバスがニュータウンまで行かないと無い。「茶の花号」も走っていない。駅前ばかりに力を入れて、過疎地はそのままでも老後がとても心配だ
- ・通勤・通学に便利な時間にバスが欲しい(「茶の花号」)
- ・年寄りが住みよい町、住宅、買物等、「茶の花号」も出して下さい。今の「茶の花号」は若い人が多くて、年寄りなかなか乗る事が出来ない
- ・バスの時刻表が変更になる度に駅～ハイツ間の西武バスの本数が減っている。本数を増やすか、「茶の花号」の本数を増やして欲しい
- ・友人達の話に「『茶の花号』バスが以前より停留所が遠くなった。70歳になっても有料で入間市に比べて良くない」との話がでる

【その他のバス】

- ・バスの運行本数が少ないので、もっと本数を増やしてほしい (5)
- ・水富は、駅から遠いのでバスを利用したいが一日何本もないので不便。せめて15分に1本欲しい。バス路線が行き届いていない所の差が大きい (3)
- ・市役所等に行きづらい。コミュニティバスなどがあると嬉しい (2)
- ・市内路線バスについて、高齢者(75歳以上など)は無料化を (2)

- ・市内循環バスを充実させてほしい (2)
- ・狭山市内の循環バス(100 円位)で 1 時間に 3 便でも運行してほしい。老人達のためにもお願いする
- ・ネットスーパーや宅配サービスの充実などを検討するよりも、高齢者が気軽に利用できる小回りの利く「小型順回バス」が欲しい
- ・今は車を運転して用事を済ませているが、バスが1日に1本という状況では買物もままならず心配。小さいバスを走らせてもらえないか。入曽は狭山台との差が余りにも大きい。差別では？
- ・市役所、病院、狭山市駅東口、郵便局、ベルク等に行きたい時、もっと交通(バス)の便がほしい(80 歳女性)
- ・狭山台発の市内循環バスや路線バスが市役所の前迄通ってほしい
- ・バス、駅など公共交通の充実を。駅は不便になった！駅で買物をしなくなった
- ・普段使わない人にもバスの本数や経路を分かり易くして欲しい
- ・ベスタ狭山店から狭山市駅までバスがあると便利である
- ・稲荷山公園駅から狭山市駅行のバスの本数など、交通の便の改善をして欲しい
- ・稲荷山公園はバス等のアクセスが不便。渋滞もあり坂も多く、自転車利用がきびしい。狭山台より直通便がない。サピオや公園、リサイクルプラザが利用しづらい
- ・水富から狭山市駅に市内バスで、直接一本でいけるバスがあれば良い
- ・御狩場→入曽間のバスを希望する
- ・公園・博物館等文化施設が中心部から遠い上に、バス等も乗り換えがあって不便。高齢者にとってもう少し利便であってほしい。農産物が豊富な狭山なので公共施設の中にそれらを使ったレストラン等があってもいいのでは
- ・市内でも場所によっては不便なのでバスの停留所が増えると良い(狭山市狭山地区など)
- ・市内公営バス路線(狭山入曽通り)を追加してほしい
- ・新狭山駅から、新狭山ハイツのバスが、もっと、多くしてほしい
- ・新狭山駅南口←→新狭山ハイツのバスは、「茶の花号」が停車する西武新狭山団地に停車してほしい
- ・堀兼地区は、西武バスの運行本数が極端に少なく不便である。市から指導していただけないか
- ・堀兼の青柳地区にバスを通して下さい
- ・川越市(駅)までバスで行けるように、本数を普通に増やして運行してほしい
- ・早朝・夕方のみでいいので、飯能駅北口←→狭山市駅のバスの本数を増やしてほしい
- ・東急は100円バスが通らないのでプール行くにも公園に行くのも不便。東京近辺は通っているので国分寺ー東京方面で買物その他リクレーションしている
- ・つつじの団地から武蔵野大学へむかうキツイ坂にもバスを走らせて下さい(狭山市方面行きの)
- ・狭山市と入間市間のバスの便が少ない

【交通機関】

- ・普通に住むにはすごくいい所だが、西武線が人身事故等で止まると、代用バスや電車がほとんどないので中々帰れない。動き出すまで待つか、最悪タクシーになるのでイザという時の交通網がもうちょっとあればいいと思う
- ・都心乗り入れの地下鉄等とつなげて欲しい
- ・富山市のような路面電車で、駅と商店街地区を結べるとよいと思う

6)「福祉」に関する意見・要望等

①高齢者対策

- ・今後高齢化社会へ向かっての対策(交通、特養施設、病院、老人ホームや高齢者用住宅など)強化 (6)
- ・低料金(年金の支給額の範囲)で利用できる老人施設を拡充してほしい (3)
- ・10 数年後の 70 代になった時近所にスーパーなどあるか不安だ。今後高齢者向けの買物支援サービスも導入の検討をお願いしたい (2)
- ・私も 70 歳になる。介護などこれからの事が分かり易い広報を出してほしい
- ・どこへ何を聞けば(頼めば)いいか、大きく見易い一覧表を欲しい。例:道路に穴がとか水道管の水洩れとか、調べればわかるが、年寄りにも一目でわかる一覧表が欲しい。
- ・一人暮らしでもなるべく最後まで自分でやっていけるように、必要な部分に力を貸して貰える窓口を作してほしい
- ・60 歳以上でも仕事を斡旋あるいは紹介してほしい
- ・年寄りに仕事を下さい。今 4 時間働いているが、身体が持つような午後の仕事をください

- ・買物より病院や介護支援が心配。老後一人になった時のリフォームや病気になった時の通院とか。買物ボランティアがあったらやってみてもいい
- ・動きにくい高齢者になった時に、買物や安否確認等の生活支援が欲しい
- ・高齢化で買物難民が出てくると思うので、行政指導が必要。予算があれば「茶の花号」みたいなバス(直通)を利用して。これからは公的サービスの良い所への人口の流出が始まるのでは？
- ・高齢者で同じ年齢でも個人差があるし、元気な方は同世代に寄り添った支援が出来ると思うのでスタッフとして一緒に買物環境を作っていて欲しい。年を取るってこういうことだったのかということが、年令を重ねなければ解らない事が多々あるので
- ・自分もそうだが高齢者をご近所に多い。若い人がもう少し住めるような町、商品等も若物向けのを置くなど工夫し、高齢者と若者が協同していける街にして下さい
- ・高齢者の送迎バスがほしい
- ・他の自治体では高齢者にタクシー券など色々あるがなぜ狭山市にはないのか
- ・年々高齢化が進み、車の利用が出来なくなる時、どうしたらいいのか不安
- ・無料バス券(西武バス)が欲しい
- ・駅のそばに老人用マンションがほしい
- ・老人が転ばないように段差の解消、手摺り設置を推進して下さい

②病院・福祉

- ・老人が住み続けるには、福祉施設の充実が不可欠 (2)
- ・近所に病院・医院が少ない
- ・市立の総合病院を作ってもらいたい。介護施設の増設、住み良い環境に努めてもらいたい
- ・糖尿病の針とセンサーが年間41,400円、おムツ年間17,760円と合わせ59,160円かかる。できれば、おムツを支給してほしい
- ・耳鼻科が近くにないし、入曽地区にあっても判りにくい。入間市に行って治療した
- ・福祉協議会に助けていただいております

7)「文教」に関する意見・要望等

①子育て対策・育児支援

- ・保育園を増やしてほしい。待機児童ゼロでお願いしたい
- ・働いているのに子どもが保育園に未だに入所できない。働いている家庭にもっと優しくしてほしい。市役所の保育課の人も相談しても冷たい！
- ・市立保育所はどれも古い建物が多い。2年前の時は平気だったが地震が来たら大丈夫か？
- ・公立の幼稚園が少なすぎてきつい
- ・子育てに力を入れるならば…保健センターを綺麗にするとか…
- ・子育て支援の充実
- ・子育て環境の充実。学校教師の能力の有無の判断。教師のモラルの低下。子どもへの暴言など気になることが多いが、子どもに不利になると思うと声を上げられない
- ・今回、中学生と小学生の入学式があり、やっと夫に休みをとってもらったが、同日の午前と午後など少し配慮してほしい。入学式が重なった人は知人だけでも5人いる
- ・狭山台中学の制服が高すぎる。強制的「制服」が指定され続けるなら1着目は無料にすべき。成長期に1着で済むはずもない。ユニクロとか青山にでも発注すれば！
- ・子どもが習い事で市民交流センターを利用しているが、有料駐輪なので子どもにお金を持たせているので心配
- ・子どもが楽しめる市営プールがあると良い
- ・子どもたちの施設がほしい。自然を活かして子どもがのびのびと育つ狭山に。地域毎に、安心して遊べる公園、自転車やローラースケート、ボード、プールなどなど。このままではゲームで遊ぶ子を増すだけである

②図書館・公民館

- ・北入曽に図書館が欲しい

- ・市役所や図書館に行くのが不便。水野地域にも図書館を作って欲しい
- ・図書館の充実
- ・図書館や公民館の予算を減らさないで欲しい。注文図書の入荷が遅すぎる
- ・中央公民館の利用者の駐車場と駐輪場を無料にして下さい
- ・飯能の図書館を超える取組みをしてほしい

③文化・娯楽施設

- ・もっと文化施設を充実して欲しい
- ・娯楽施設、デパート等、総合施設があったら良い
- ・色々な建物ができ、(市民会館)コミュニケーションは取れているが、大きなスーパー(子ども連れでも利用できる)とか映画館等あれば良いと思う。孫を遊ばせる乗物等が多少整った公園が少ない。熊谷、深谷、上尾まで連れて行く

8)「その他」の意見・要望等

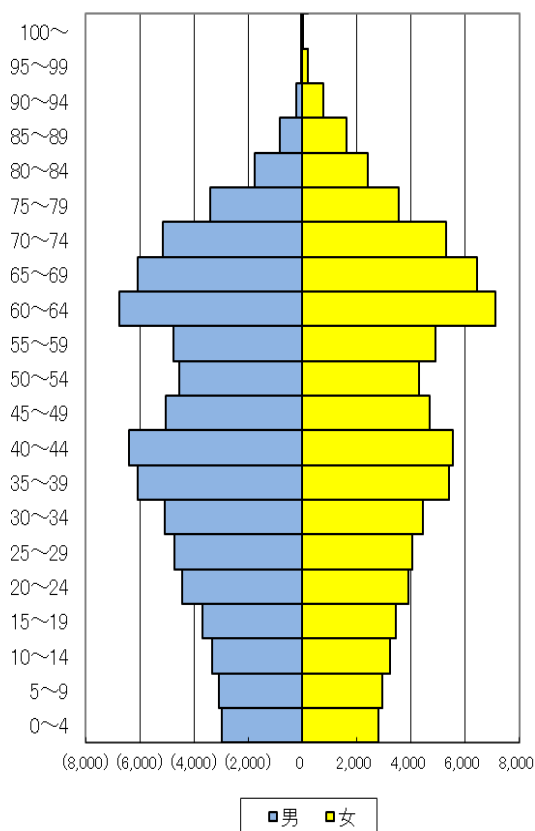
- ・メガバンクを求む
- ・入曽の一番端の地区で何かと不便。郵便局が欲しい
- ・稲荷山公園があり戸建の場合、電波が入りにくくケーブルテレビ等加入時費用がかかる。無料にしてほしい
- ・このアンケートを設計した人達は、もっと世論調査、市場調査の技法の勉強をして下さい。聞きたいことをそのまま聞けば回答が得られる訳ではない。プロに相談されたら如何か。こんな未熟な質問紙には腹が立つ

第5章 資料編

1. 狭山市の人口と世帯

(1) 市内全域の人口と世帯

図表 5-1 狭山市の人口ピラミッド(H25.1.1)



図表 5-2 狭山市の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢(歳)	男	女	総数	構成比(%)
0～4	2,968	2,805	5,773	3.7
5～9	3,071	2,930	6,001	3.9
10～14	3,336	3,241	6,577	4.2
年少人口計	9,375	8,976	18,351	11.8
15～19	3,690	3,449	7,139	4.6
20～24	4,435	3,909	8,344	5.4
25～29	4,727	4,068	8,795	5.7
30～34	5,088	4,441	9,529	6.1
35～39	6,091	5,404	11,495	7.4
40～44	6,420	5,532	11,952	7.7
45～49	5,051	4,684	9,735	6.3
50～54	4,562	4,293	8,855	5.7
55～59	4,769	4,894	9,663	6.2
60～64	6,755	7,102	13,857	8.9
生産年齢人口計	51,588	47,776	99,364	63.9
65～69	6,075	6,437	12,512	8.0
70～74	5,152	5,302	10,454	6.7
75～79	3,407	3,567	6,974	4.5
80～84	1,750	2,410	4,160	2.7
85～89	828	1,625	2,453	1.6
90～94	236	754	990	0.6
95～99	55	196	251	0.2
100～	5	36	41	0.0
老年人口計	17,508	20,327	37,835	24.3
合計	78,471	77,079	155,550	100.0

男女ともに、60～64歳、40～44歳でピークを持っています。図表 5-3 のとおり、飯能市以外の近隣市・県と比べて平均年齢が高く、老年人口割合が高く、年少人口割合が低いことが分かります。

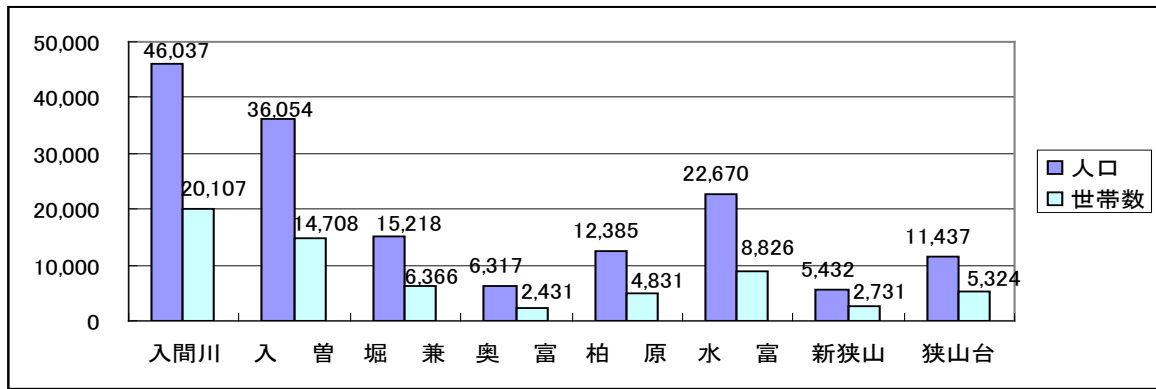
図表 5-3 狭山市、埼玉県、近隣市の年齢3区分別人口割合(国勢調査平成22年10月1日)

市区町村	人口	年齢3区分別人口割合			平均年齢(歳)
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	
狭山市	155,314	12.0	65.4	22.6	45.1
県計	7,167,636	13.3	66.3	20.4	43.6
所沢市	340,728	12.8	66.6	20.7	43.7
飯能市	83,467	11.7	65.0	23.3	45.9
入間市	149,811	13.4	66.4	20.1	43.6
川越市	34,1329	13.0	66.0	21.0	43.7

図表 5-4 狭山市の総人口・世帯数推移(各年1月1日現在)

年	世帯		人口				1世帯当り(人)
	総数(人)	増減率(%)	総数(人)	男(人)	女(人)	増減率(%)	
19	62,651	0.9	157,448	79,898	77,550	△ 0.5	2.51
20	63,060	0.7	156,919	79,616	77,303	△ 0.3	2.49
21	63,462	0.6	156,324	79,301	77,023	△ 0.4	2.46
22	63,760	0.5	155,668	78,918	76,750	△ 0.4	2.44
23	64,055	0.5	155,049	78,540	76,509	△ 0.4	2.42
24	64,415	0.6	154,526	78,255	76,271	△ 0.3	2.40
25	65,324	1.4	155,550	78,471	77,079	0.7	2.38

図表 5-5 狭山市の地区別人口・世帯分布(H25.1.1)

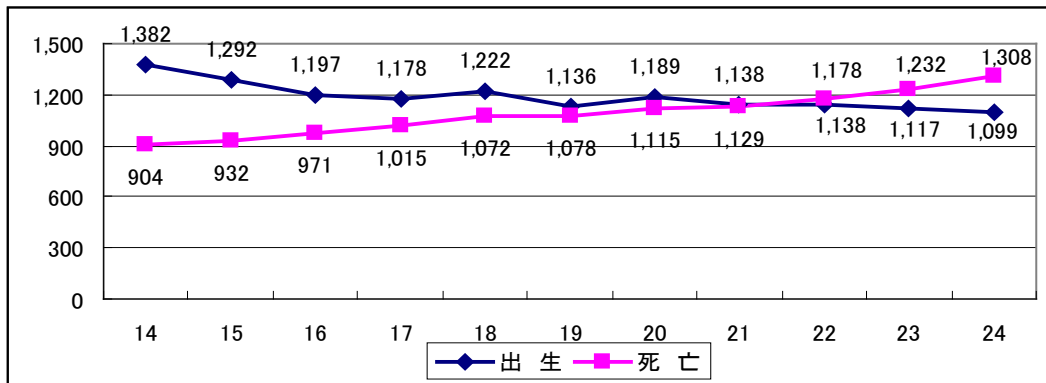


(2)人口の動態

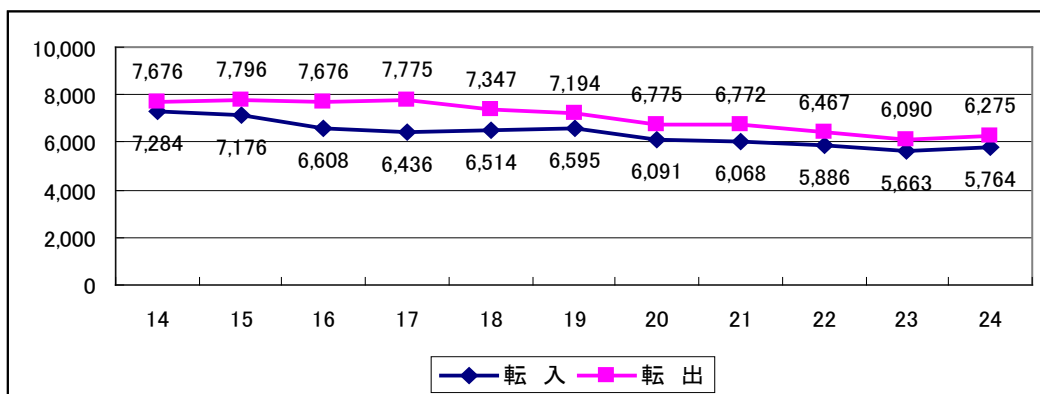
図表 5-6 狭山市の人口動態推移(各年1月～12月)

年	自然増減			社会増減				増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	その他	増減	
17	1,178	1,015	163	6,436	7,775	51	△ 1,288	△ 1,125
18	1,222	1,072	150	6,514	7,347	△ 56	△ 889	△ 739
19	1,136	1,078	58	6,595	7,194	12	△ 587	△ 529
20	1,189	1,115	74	6,091	6,775	15	△ 669	△ 595
21	1,138	1,129	9	6,068	6,772	39	△ 665	△ 656
22	1,138	1,178	△ 40	5,886	6,467	2	△ 579	△ 619
23	1,117	1,232	△ 115	5,663	6,090	19	△ 408	△ 523
24	1,099	1,308	△ 209	5,764	6,275	△ 274	△ 785	△ 994

図表 5-7 狭山市の人口動態(自然動態)



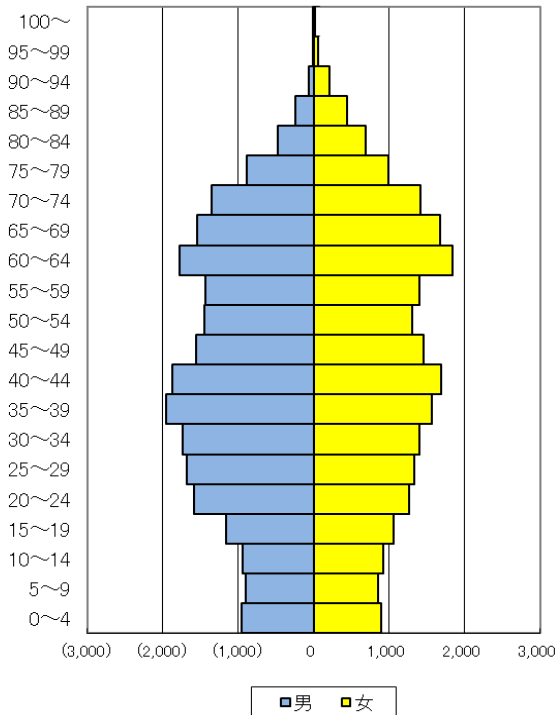
図表 5-8 狭山市の人口動態(社会動態)



2. 狭山市各地区の人口ピラミッド

(1) 入間川地区

図表 5-9 入間川地区の人口ピラミッド



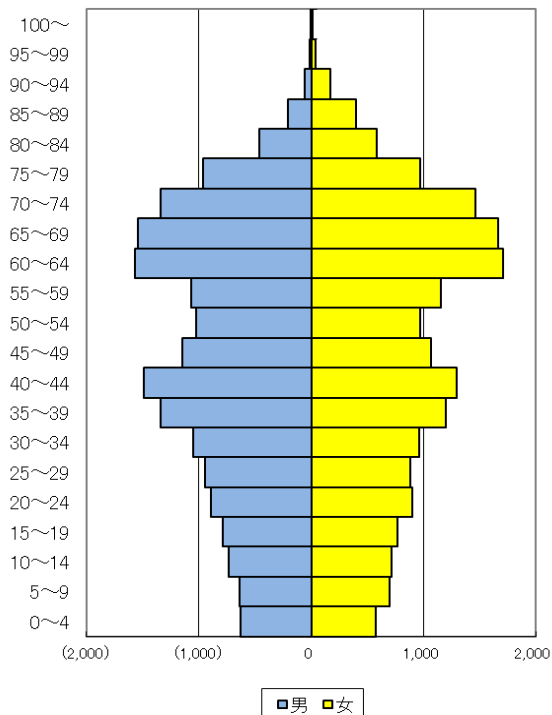
図表 5-10 入間川地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	951	899	1,850	4.0
5～9	897	846	1,743	3.8
10～14	943	917	1,860	4.0
年少人口計	2,791	2,662	5,453	11.8
15～19	1,155	1,058	2,213	4.8
20～24	1,581	1,268	2,849	6.2
25～29	1,679	1,332	3,011	6.5
30～34	1,741	1,407	3,148	6.8
35～39	1,956	1,570	3,526	7.7
40～44	1,869	1,691	3,560	7.7
45～49	1,553	1,462	3,015	6.5
50～54	1,454	1,310	2,764	6.0
55～59	1,430	1,400	2,830	6.1
60～64	1,774	1,838	3,612	7.8
生産年齢人口計	16,192	14,336	30,528	66.3
65～69	1,547	1,680	3,227	7.0
70～74	1,352	1,413	2,765	6.0
75～79	888	983	1,871	4.1
80～84	481	686	1,167	2.5
85～89	241	444	685	1.5
90～94	62	203	265	0.6
95～99	14	53	67	0.1
100～	1	8	9	0.0
老年人口計	4,586	5,470	10,056	21.8
合計	23,569	22,468	46,037	100.0

男性は20歳～44歳でゆるやかに膨らんでいます。生産年齢人口割合が高いことがわかります。特に35～39歳が最も多く、60～64歳を超えています。60歳代前半のピークは女性が多くなっています。高齢化率は21.8%です。

(2) 入曽地区

図表 5-11 入曽地区の人口ピラミッド



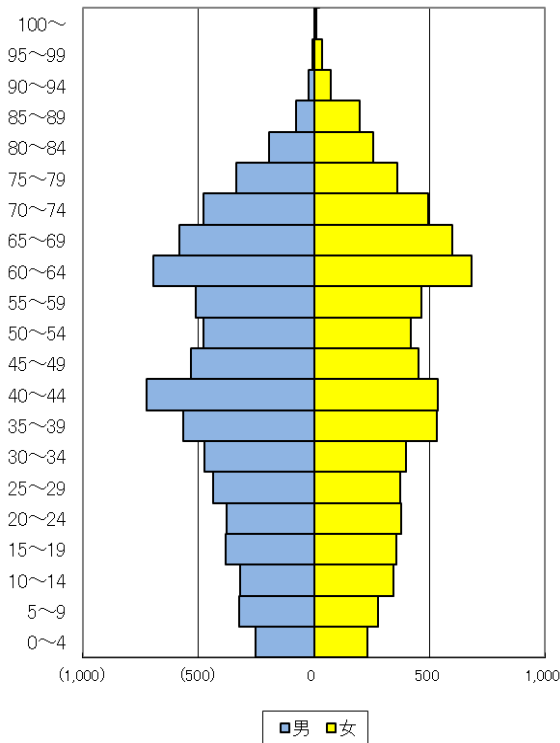
図表 5-12 入曽地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	631	577	1,208	3.3
5～9	640	700	1,340	3.7
10～14	730	716	1,446	4.0
年少人口計	2,001	1,993	3,994	11.1
15～19	789	765	1,554	4.3
20～24	895	902	1,797	5.0
25～29	941	879	1,820	5.0
30～34	1,052	957	2,009	5.6
35～39	1,344	1,195	2,539	7.0
40～44	1,492	1,299	2,791	7.7
45～49	1,143	1,067	2,210	6.1
50～54	1,020	974	1,994	5.5
55～59	1,065	1,152	2,217	6.1
60～64	1,565	1,704	3,269	9.1
生産年齢人口計	11,306	10,894	22,200	61.5
65～69	1,539	1,666	3,205	8.9
70～74	1,341	1,458	2,799	7.8
75～79	964	973	1,937	5.4
80～84	459	586	1,045	2.9
85～89	210	403	613	1.7
90～94	57	173	230	0.6
95～99	13	37	50	0.1
100～	1	10	11	0.0
老年人口計	4,584	5,306	9,890	27.4
合計	17,891	18,193	36,084	100.0

60歳代から70歳代前半が大きく膨らんでおり、女性のほうが多くなっています。35歳～44歳もピークを持っていますが、60歳～74歳のピークよりは低くなっています。高齢化率は27.4%と市全体より高くなっています。

(3)堀兼地区

図表 5-13 堀兼地区の人口ピラミッド



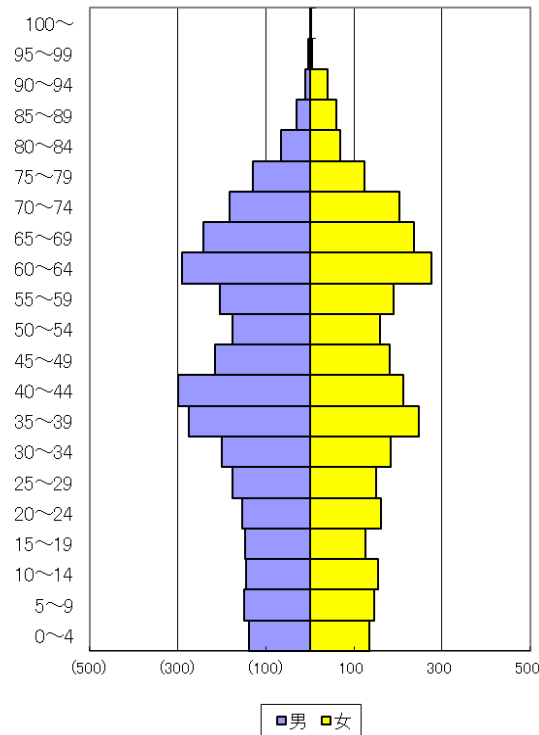
図表 5-14 堀兼地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	251	230	481	3.2
5～9	322	277	599	3.9
10～14	320	343	663	4.4
年少人口計	893	850	1,743	11.5
15～19	381	355	736	4.8
20～24	378	376	754	5.0
25～29	435	371	806	5.3
30～34	475	399	874	5.7
35～39	567	531	1,098	7.2
40～44	723	537	1,260	8.3
45～49	533	453	986	6.5
50～54	479	417	896	5.9
55～59	512	464	976	6.4
60～64	693	683	1,376	9.0
生産年齢人口計	5,176	4,586	9,762	64.1
65～69	582	596	1,178	7.7
70～74	477	492	969	6.4
75～79	335	361	696	4.6
80～84	194	255	449	3.0
85～89	78	196	274	1.8
90～94	25	73	98	0.6
95～99	7	34	41	0.3
100～	0	8	8	0.1
老年人口計	1,698	2,015	3,713	24.4
合計	7,767	7,451	15,218	100.0

60歳代前半と40歳代前半にピークがありますが、男性は40歳代前半が最も多くなっています。60歳代前半は女性の方が男性より多くなっています。高齢化率は市全体とほぼ同じで24.4%となっています。

(4)奥富地区

図表 5-15 奥富地区の人口ピラミッド

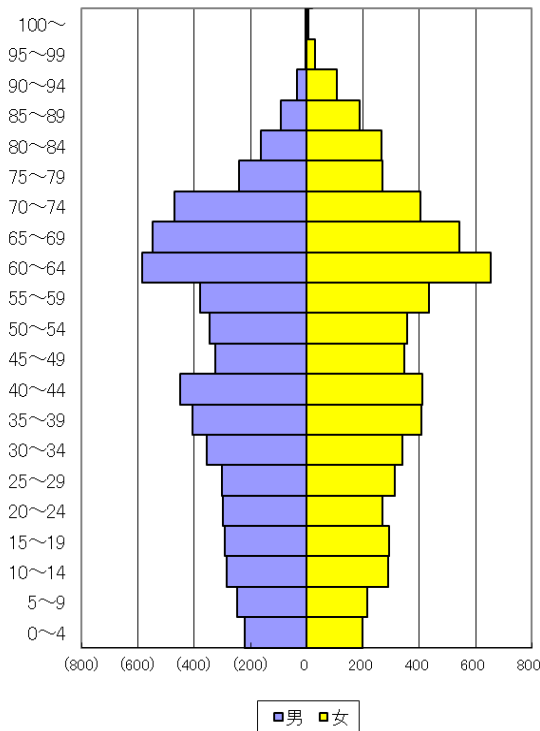


図表 5-16 奥富地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	138	135	273	4.3
5～9	150	146	296	4.7
10～14	144	154	298	4.7
年少人口計	432	435	867	13.8
15～19	146	126	272	4.3
20～24	153	162	315	5.0
25～29	175	150	325	5.2
30～34	199	183	382	6.1
35～39	274	247	521	8.3
40～44	298	213	511	8.1
45～49	215	182	397	6.3
50～54	175	160	335	5.3
55～59	205	191	396	6.3
60～64	289	275	564	9.0
生産年齢人口計	2,129	1,889	4,018	63.9
65～69	242	236	478	7.6
70～74	182	204	386	6.1
75～79	129	125	254	4.0
80～84	65	70	135	2.1
85～89	30	60	90	1.4
90～94	10	40	50	0.8
95～99	4	5	9	0.1
100～	0	1	1	0.0
老年人口計	662	741	1,403	22.3
合計	3,223	3,065	6,288	100.0

35歳～44歳と60歳前半にピークがありますが、35歳～44歳のほうが多く、かつ男性の方が多くなっています。高齢化率は22.3%となっています。年少人口割合が市内で最も高くなっています。

図表 5-17 柏原地区の人口ピラミッド



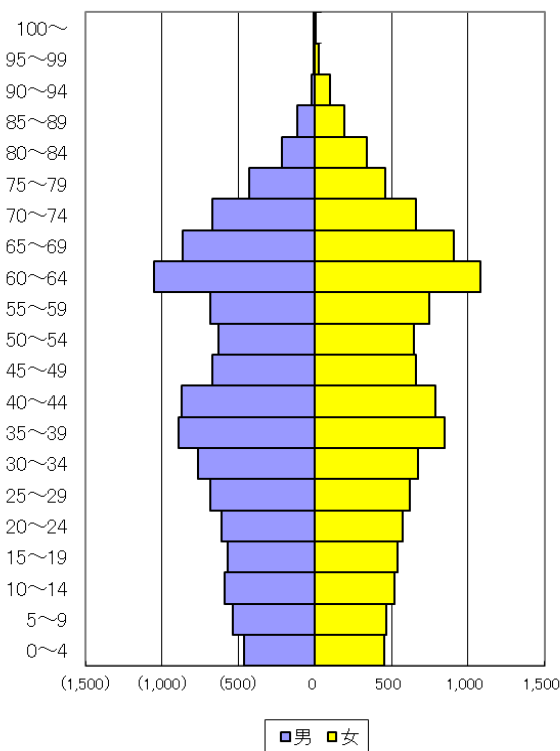
図表 5-18 柏原地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0~4	221	198	419	3.4
5~9	248	214	462	3.7
10~14	286	288	574	4.6
年少人口計	755	700	1,455	11.7
15~19	290	292	582	4.7
20~24	298	270	568	4.6
25~29	302	314	616	5.0
30~34	355	341	696	5.6
35~39	405	406	811	6.5
40~44	450	411	861	7.0
45~49	326	347	673	5.4
50~54	345	356	701	5.7
55~59	380	434	814	6.6
60~64	585	654	1,239	10.0
生産年齢人口計	3,736	3,825	7,561	61.0
65~69	549	544	1,093	8.8
70~74	469	403	872	7.0
75~79	241	269	510	4.1
80~84	163	267	430	3.5
85~89	92	189	281	2.3
90~94	35	108	143	1.2
95~99	5	29	34	0.3
100~	1	5	6	0.0
老年人口計	1,555	1,814	3,369	27.2
合計	6,046	6,339	12,385	100.0

60歳から70歳代前半が市全体に比べて大きく膨らんでおり、60歳代前半は女性が多くなっています。35歳~44歳の生産年齢層はピークが小さくなっています。高齢化率は27.2%と市全体より高くなっています。

(5)水富地区

図表 5-19 水富地区の人口ピラミッド



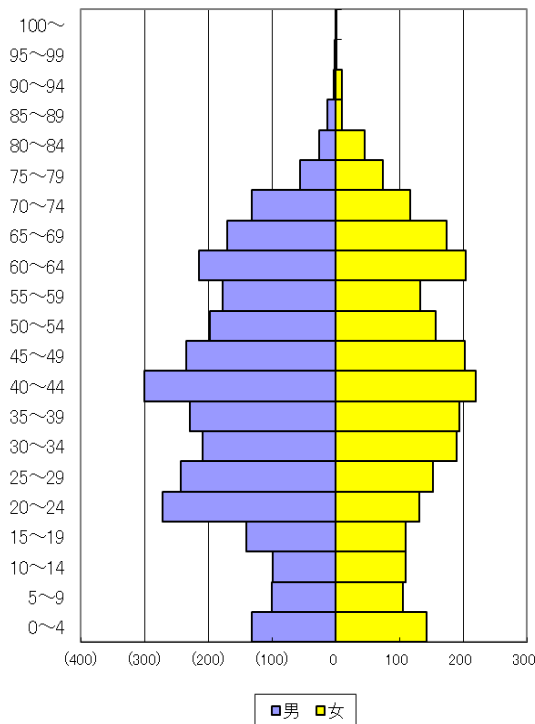
図表 5-20 水富地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0~4	464	455	919	4.1
5~9	536	462	998	4.4
10~14	594	518	1,112	4.9
年少人口計	1,594	1,435	3,029	13.4
15~19	571	540	1,111	4.9
20~24	614	574	1,188	5.2
25~29	684	616	1,300	5.7
30~34	768	674	1,442	6.4
35~39	892	848	1,740	7.7
40~44	874	875	1,659	7.3
45~49	669	660	1,329	5.9
50~54	634	646	1,280	5.6
55~59	687	748	1,435	6.3
60~64	1,054	1,083	2,137	9.4
生産年齢人口計	7,447	7,174	14,621	64.5
65~69	866	905	1,771	7.8
70~74	671	657	1,328	5.9
75~79	431	458	889	3.9
80~84	220	341	561	2.5
85~89	117	192	309	1.4
90~94	25	100	125	0.6
95~99	6	26	32	0.1
100~	1	3	4	0.0
老年人口計	2,337	2,682	5,019	22.1
合計	11,378	11,291	22,669	100.0

男女とも60歳から70歳代前半が大きく膨らんでおり女性のほうが多いですが、市全体よりも割合は低くなっています。35歳~44歳のピークは男性のほうが多く、かつ市全体よりも割合が高くなっています。高齢化率は22.1%で市全体よりも低くなっています。

(6)新狭山地区

図表 5-21 新狭山地区の人口ピラミッド



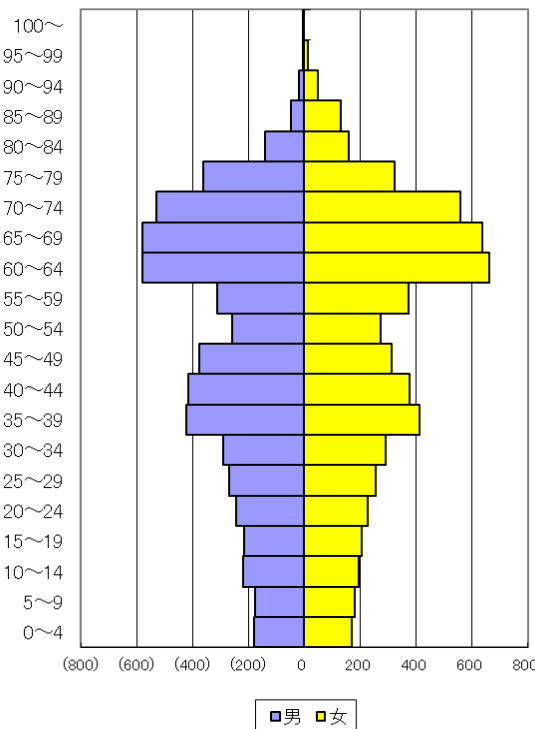
図表 5-22 新狭山地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	132	142	274	5.0
5～9	100	105	205	3.8
10～14	99	110	209	3.8
年少人口計	331	357	688	12.7
15～19	141	109	250	4.6
20～24	272	131	403	7.4
25～29	243	152	395	7.3
30～34	209	190	399	7.3
35～39	229	194	423	7.8
40～44	300	219	519	9.6
45～49	234	202	436	8.0
50～54	197	157	354	6.5
55～59	178	133	311	5.7
60～64	215	204	419	7.7
生産年齢人口計	2,218	1,691	3,909	72.0
65～69	171	174	345	6.4
70～74	132	117	249	4.6
75～79	56	74	130	2.4
80～84	26	45	71	1.3
85～89	13	10	23	0.4
90～94	3	10	13	0.2
95～99	2	1	3	0.1
100～	0	1	1	0.0
老年人口計	403	432	835	15.4
合計	2,952	2,480	5,432	100.0

市全体と大きく異なるピラミッドです。男性は20歳代前半と40歳代前半にピークがあり、女性よりも多くなっています。生産年齢人口割合は市内の地区で最も高く72.0%です。高齢化率は15.4%と最も低くなっています。

(7)狭山台地区

図表 5-23 狭山台地区の人口ピラミッド



図表 5-24 狭山台地区の5歳階級別総人口(H25.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比(%)
0～4	180	169	349	3.1
5～9	178	180	358	3.1
10～14	220	195	415	3.6
年少人口計	578	544	1,122	9.8
15～19	217	204	421	3.7
20～24	244	226	470	4.1
25～29	268	254	522	4.6
30～34	289	290	579	5.1
35～39	424	413	837	7.3
40～44	414	377	791	6.9
45～49	378	311	689	6.0
50～54	258	273	531	4.6
55～59	312	372	684	6.0
60～64	580	661	1,241	10.9
生産年齢人口計	3,384	3,381	6,765	59.2
65～69	579	636	1,215	10.6
70～74	528	558	1,086	9.5
75～79	363	324	687	6.0
80～84	142	160	302	2.6
85～89	47	131	178	1.6
90～94	19	47	66	0.6
95～99	4	11	15	0.1
100～	1	0	1	0.0
老年人口計	1,683	1,867	3,550	31.0
合計	5,645	5,792	11,437	100.0

市全体と大きく異なるピラミッドです。男女とも60歳代から70歳代前半で大きく膨らんでおり、それぞれほぼ10%で女性のほうが多くなっています。35歳～44歳のピークは大きくありません。生産年齢人口割合は市内地区で最も低く、高齢化率は31.0%と最も高くなっています。年少人口割合は市内地区で最も低くなっています。

お買物アンケート

アンケート調査へのご協力をお願い

狭山市では、市民の皆さまが**どこで、どのような買物をしているか**といった買物の状況や満足度等を把握し、今後の施策に生かすためにアンケート調査を行うこととしました。現在、高齢化が進む中**“買物が困難な方”**が増えるなど、商業振興施策の策定は単に商業の発展のためだけでなく、より一層市民の皆さまの生活に多大な影響をもたらす課題となってきました。

また、併せて狭山市の魅力づくりに市民の皆さまのご意見を参考とさせていただきますため、昨年オープンした狭山市駅西口再開発地域の利用状況や狭山市の観光資源などの質問も加えております。

この調査結果は、市民の皆さまの暮らしに寄り添った商業振興施策を進める上で貴重な資料となります。ご多忙のところお時間を頂戴して恐縮ですが、アンケート調査にどうぞご協力をお願いいたします。

- ・ このアンケートの対象となる世帯は、住民基本台帳より統計的手法(無作為抽出)によって、世帯別の抽出により発送しています。
 - ・ 宛名は世帯主の方宛てとなっておりますが、アンケートの記入は、日常のお買物をされる方をお願いします。記入にあたっては家事全般のこと(例えば、ご家族の買物など)を考えてご記入ください。
平成25年9月1日現在の状況でお答え願います。
 - ・ 質問は、できる限り全ての問いにお答えいただきますようお願いいたします。また、特に指示がない限り、飛ばさず順番にお答えください。
 - ・ 調査の結果は集計し公表しますが、結果公表の際に、ご協力いただいた方のお名前や個人が特定できる形でデータが出ることはありません。また、本調査以外で調査の結果を使用することはありません。
- ※ 設問数が多く、また紙面上に限りがあり、文字が小さいなど読みにくいところがありますことを、お詫び申し上げます。不明な点がありましたら、商工業振興課までお問い合わせください。

ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒で、**9月27日(金曜日)**までに投函をお願いします。

平成25年9月5日

お問い合わせは

狭山市役所 環境経済部 商工業振興課

電話 2953-1111内線2551

問1. お住まいはどちらですか。下表の町名の該当する番号に1つだけ○をつけてください。

	町名	
入間川	101. 沢	111. 祇園
	102. 狭山	112. 中央1丁目
	103. 入間川	113. 中央2丁目
	104. 入間川1丁目	114. 中央3丁目
	105. 入間川2丁目	115. 中央4丁目
	106. 入間川3丁目	116. 富士見1丁目
	107. 入間川4丁目	117. 富士見2丁目
	108. 鶉ノ木	
	109. 稻荷山1丁目	
	110. 稻荷山2丁目	
入曽	201. 北入曽	
	202. 南入曽	
	203. 水野	
堀兼	301. 堀兼	304. 青柳
	302. 上赤坂	305. 加佐志
	303. 中新田	306. 東三ツ木
奥富	401. 上奥富	
	402. 下奥富	
	403. 柏原新田	
柏原	501. 柏原	
水富	601. 上広瀬	611. 広瀬東3丁目
	602. 広瀬台1丁目	612. 広瀬東4丁目
	603. 広瀬台2丁目	613. つつじ野
	604. 広瀬台3丁目	614. 根岸
	605. 下広瀬	615. 根岸1丁目
	606. 広瀬1丁目	616. 根岸2丁目
	607. 広瀬2丁目	617. 笹井
	608. 広瀬3丁目	618. 笹井1丁目
	609. 広瀬東1丁目	619. 笹井2丁目
	610. 広瀬東2丁目	620. 笹井3丁目
新狭山	701. 新狭山1丁目	
	702. 新狭山2丁目	
	703. 新狭山3丁目	
狭山台	801. 狭山台1丁目	
	802. 狭山台2丁目	
	803. 狭山台3丁目	
	804. 狭山台4丁目	

問2. 主たる収入のある方のご職業は(該当する番号に1つだけ○)

1. お勤め(狭山市内)
2. お勤め(県内の狭山市以外の市町村)
3. お勤め(東京都23区内)
4. お勤め(東京都23区以外の市町村)
5. お勤め(埼玉県及び東京都以外の他府県)
6. 商工関係の自営業
7. 自由業
8. 農林水産業
9. その他(年金、不動産収入など)

問3. 主に買物をされる方の年齢は(該当する番号に1つだけ○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20-24歳 | 7. 50-54歳 |
| 2. 25-29歳 | 8. 55-59歳 |
| 3. 30-34歳 | 9. 60-64歳 |
| 4. 35-39歳 | 10. 65-69歳 |
| 5. 40-44歳 | 11. 70-74歳 |
| 6. 45-49歳 | 12. 75歳以上 |

問4. 主に買物をされる方の職業は(該当する番号に1つだけ○)

1. 有給の仕事(常勤・パート等)
2. 有給の仕事には就いていない(専業主婦など)

問5. 普段買物をされる回数は(該当する番号に1つだけ○)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. ほとんど毎日 | 4. 週に1回くらい |
| 2. 週に4~5回 | 5. その他(月に数回程度) |
| 3. 週に2~3回 | |

問6. 1回の買物の予算は(該当する番号に1つだけ○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 2000円以下 | 4. 6001円~8000円 |
| 2. 2001円~4000円 | 5. 8001円~10000円 |
| 3. 4001円~6000円 | 6. 10001円以上 |

問7. 普段の買物で主に利用する交通手段は
(該当する番号に1つだけ○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 徒歩 | 6. 電車 |
| 2. 自転車 | 7. バス |
| 3. バイク | 8. タクシー |
| 4. 自動車(自分で運転) | 9. その他 |
| 5. 自動車(家族や知人に乗せてもらう) | |

問8. 買物の時間帯は
(平日と休日それぞれ該当する番号に1つだけ○)

- | ① 平日
(月~金曜日) | ② 休日
(土・日曜日、祝日) |
|-----------------|--------------------|
| 1. 午前 7~10時 | 1. 午前 7~10時 |
| 2. 午前 10~12時 | 2. 午前 10~12時 |
| 3. 午後 0~ 6時 | 3. 午後 0~ 6時 |
| 4. 午後 6~ 8時 | 4. 午後 6~ 8時 |
| 5. 午後 8~翌午前7時 | 5. 午後 8~翌午前7時 |
| 6. 不定 | 6. 不定 |

問9 右の表に記載のA群～F群の買物などをする場合、普段どこにあるお店を利用されていますか。

買物品目ごとに「買物場所一覧表」の中から、1番多く利用する店舗番号を1つだけ選んで、解答欄の①に記入ください。

また、2番目に利用する店舗番号も1つだけ選んで、解答欄の②に記入ください。

なお、普段買物しない品目等については、記入しなくて結構です。

買物場所一覧表

区域	店舗番号	買物場所(名称等)
入間川	1	スカイテラス
	2	Emio狭山市(含 ブルーミングブルーミー、マツモトキヨシ)
	3	西友狭山市駅前店
	4	イオン武蔵狭山店
	5	マルエツ入間川店
	6	ベスト電器狭山店
	7	ビッグA狭山店
	8	ビッグA狭山台店
	9	ユニクロベスタ狭山店
	10	ベルクベスタ狭山店(含 ザ・ダイソー、マツモトキヨシ)
	11	ABCマート ベスタ狭山店
	12	ケーヨーデイツー狭山店
	13	サンドラッグ狭山店
	14	入間川地区のコンビニ
	15	狭山市駅周辺商店街(天神通り、さくら坂通り、銀星会、入間川七ヶ通り)
	16	その他入間川地区の商店・店舗
入曽	17	ヤオコー北入曽店(含 ザ・ダイソー、スギ薬局)
	18	セキチュー北入曽店
	19	しまむら・Avail北入曽ファッションモール
	20	ヤオコー入曽店
	21	Aコープ入間店
	22	ウエルシア狭山北入曽店
	23	入曽地区のコンビニ
	24	入曽駅周辺の商店街
	25	その他入曽地区の商店・店舗
堀兼	26	堀兼地区のコンビニ
	27	その他堀兼地区の商店・店舗
奥富	28	イオン狭山店
	29	ヤマダ電機テックランド狭山店
	30	PC DEPOT
	31	奥富地区のコンビニ
	32	その他奥富地区の商店・店舗
新狭山	33	いなげや新狭山駅前店
	34	しまむら新狭山店
	35	Avail新狭山店
	36	ウエルシア狭山東三ツ木薬局
	37	新狭山地区のコンビニ
	38	新狭山駅周辺の商店街
	39	その他新狭山地区の商店・店舗
柏原	40	かしわばらマート
	41	柏原地区のコンビニ
	42	その他柏原地区の商店・店舗
水富	43	ヤオコー狭山店(含 パシオス、スギ薬局、キャン・ドウ)
	44	TSUTAYA狭山店
	45	ザ・ダイソー狭山店
	46	バイゴー上広瀬店
	47	バイゴー根岸店
	48	ビッグA狭山広瀬東店
	49	ドラッグエース広瀬東店
	50	ジャパン狭山店
	51	水富地区のコンビニ
	52	その他水富地区の商店・店舗
狭山台	53	コープ狭山台店(ポレール狭山台)
	54	狭山台地区のコンビニ
	55	その他狭山台地区の商店・店舗

買物品目・外出目的	回答欄		
	① 一番多く 利用する 買物場所 (品物別 に番号 1つ) ↓	② 2番目に 利用する 買物場所 (品物別 に番号 1つ) ↓	
記入例	肉・魚・野菜・果物	4	2
	婦人服・婦人用品雑貨	5	10
A群	肉・魚・野菜・果物		
	調理済み食品(総菜・弁当等)		
	その他の食料品・飲料		
	日用・家庭雑貨		
B群	呉服・帯		
	寝具		
	紳士服・紳士用品雑貨		
	婦人服・婦人用品雑貨		
	子供服・ベビー服		
	下着・肌着		
C群	靴・はきもの		
	かばん・ハンドバッグ		
D群	家具・インテリア		
	家庭用電化製品		
	自転車		
E群	時計・メガネ・コンタクトレンズ		
	医薬・化粧品		
	書籍・文房具		
	楽器・CD		
	玩具		
	スポーツ用品		
	花木・園芸・生花		
F群	家族で買物を楽しむ場合		
	飲食を楽しむ場合		

狭山市外	56	入間市
	57	所沢市
	58	飯能市
	59	川越市
	60	日高市
	61	その他県内
埼玉県外	62	池袋・新宿など都内
	63	立川・吉祥寺など東京都下
	64	東京都以外の県外都市
	65	通信販売(テレビ・カタログ・ネット等)

問10 現在パソコンはお持ちですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. パソコンを持っており、インターネットを利用している |
| 2. パソコンを持っているが、インターネットは利用していない |
| 3. パソコンを持っていない |

問11 商品購入に通信販売を利用していますか。

利用頻度について、媒体ごとに該当する番号に1つだけ○をつけてください。

媒 体	利用している			利用していない	
	月1回以上	2ヶ月に1回程度	半年に1回程度	今後は利用したい	今後も利用しない
a. インターネットショッピング	1	2	3	4	5
b. テレフォンショッピング(テレビ・ラジオ)	1	2	3	4	5
c. 新聞・雑誌・カタログ販売	1	2	3	4	5
d. 共同購入(生協などが行う)	1	2	3	4	5
e. 宅配サービス(生協などが行う)	1	2	3	4	5

問12 通信販売で、どのような商品を購入していますか。

次の中から主なもの3つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|--------------|
| 1. 肉・魚・野菜・果物 | 7. 婦人服・洋品雑貨 | 13. 家庭用電化製品 | 19. 玩具 |
| 2. 一般飲食料品 | 8. ベビー・子供服 | 14. 自転車 | 20. スポーツ用品 |
| 3. 日用・家庭雑貨 | 9. 下着・肌着 | 15. 時計・メガネ | 21. 花木・園芸・生花 |
| 4. 呉服・帯など | 10. 靴・はきもの | 16. 医薬品・化粧品 | 22. その他 |
| 5. 寝具 | 11. かばん・ハンドバッグ | 17. 書籍・文房具 | () |
| 6. 紳士服・洋品雑貨 | 12. 家具・インテリア | 18. 楽器・CD | |

問13 市内の商店街や個人商店で週に何回くらい買物をしますか。

該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| 1. ほとんど毎日 →問15へ | 3. 週に2～3回 →問15へ | 5. ほとんど利用しない →問14へ |
| 2. 週に4～5回 →問15へ | 4. 週に1回 →問15へ | |

次の問14は【問13】で「5. ほとんど利用しない」を選んだ方のみ記入してください。

問14 市内の商店街や個人商店をほとんど利用しない理由は何ですか。

次の中から主なもの3つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. 魅力ある商品が少ない | 6. 品数が少ない | 11. 開店時間が遅い |
| 2. 品質・鮮度がよくない | 7. 価格が高い | 12. 閉店時間が早い |
| 3. 商品情報がとぼしい | 8. 接客態度がよくない | 13. 駐車場がない |
| 4. 一カ所で買物がすまない | 9. 店に入りにくい | 14. 交通の便がよくない |
| 5. 商店が集積していない | 10. 店に清潔感がない | 15. その他() |

ここからはすべての方が記入してください。

問15 市内の商店街や個人商店をより魅力的にするためにはどうしたら良いと思いますか。

次の中から主なものを2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 個々の店舗の魅力の向上 | 7. スタンプやカードサービスの実施 |
| 2. 生活に密着した地域情報の提供 | 8. 駐車場・駐輪場の充実 |
| 3. 暮らしに役立つ商品情報の提供 | 9. トイレ・休憩所の設置 |
| 4. イベントなどの実施 | 10. 街路灯やカラー舗装などの環境整備 |
| 5. 営業日数の増加や営業時間の延長 | 11. 大型商業施設の設置 |
| 6. 共通商品券、地域通貨の発行 | 12. その他() |

問23 富士山が世界遺産となりましたが、あなたが紹介したい市内から見える富士山のビューポイントを教えてください。

(例)市内柏原000番地付近の畑

--

買物の環境について

問24 あなたは現在お住まいの地域の買物環境に満足していますか。

次の3つの買物区分ごとに、最もお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけ、その理由もお書きください。

買物区分	満足度	満足度の理由
a. 飲食料品	1. 満足	(例)【満足】歩いて行ける所に食品スーパーがあるので、便利で満足している
	2. まあ満足	
	3. やや不満	
	4. 不満	
b. 日用品・雑貨	1. 満足	(例)【まあ満足】今は車で買物に行けるので良いが、年取って運転が出来なくなると不安
	2. まあ満足	
	3. やや不満	
	4. 不満	
c. 衣服・下着類	1. 満足	(例)【不満】洋品店の品揃えが貧弱。女性向けのもっとファッション性のある店が欲しい
	2. まあ満足	
	3. やや不満	
	4. 不満	

問25 あなたの現状もしくは数年後を予測し、必要と思われる買物支援について、買物区分ごとに2つまで○をつけてください。

買物区分	1. 生協・TV・電話などの通信販売	2. 自宅に注文を聞きに来るご用聞き	3. 商品の移動・出張販売	4. 店舗での購入品を当日配達	5. 買物場所まで車で送迎	6. 買物に同行、最後まで手助け	7. その他	8. 支援不要
a. 飲食料品	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.()	8.
b. 日用品・雑貨	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.()	8.
c. 衣服・下着類	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.()	8.

問26 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 単身	4. 既婚の子供	7. 他の親族(兄弟姉妹、叔父伯母など)
2. 配偶者	5. 実・義父母	8. 非親族
3. 未婚の子供	6. 孫	9. その他()

狭山市の居住環境等について

問27 狭山市に今後も住み続けたいですか。

お気持ちに最も近い番号に1つだけ○をつけ、下の枠にその理由もお書きください。

1. 住み続けたい	3. できれば市外に転居したい
2. できれば市内の別の地区に転居したい	4. 市外に転居したい

上記の理由は？

(理由)

--

問28 狭山市への意見や要望等がある方は、ご自由にお書きください。

(意見等)

--

ご協力ありがとうございました

平成25年度 狭山市消費動向調査報告書

平成26年3月14日 発行

駿河台大学	飯能市阿須 698 tel 042-972-1211
飯能信用金庫	飯能市栄町 24-9 tel 042-972-8111
狭山商工会議所	狭山市入間川 3-22-8 tel 04-2954-3333
狭山市	狭山市入間川 1-23-5 tel 04-2953-1111